

守 谷 市

子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査 報告書

平成 3 1 年 3 月

守 谷 市

目 次

I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収結果	1
4. 分析・表示について	1

II 調査結果

1 妊娠期

1. お住まいの地域について	3
2. 家族の状況について	4
3. 配偶者の就労状況について	8
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向について	16
5. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	19
6. 幼児教育・保育の無償化について	21
7. 地域子育て支援事業の利用状況について	22
8. 育児休業など、職場の両立支援制度について	27

2 就学前児童保護者

1. お住まいの地域について	33
2. 子どもと家族の状況について	34
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	37
4. 保護者の就労状況について	41
5. 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況について	51
6. 幼児教育・保育の無償化について	63
7. 地域子育て支援事業の利用状況について	66
8. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	72
9. 子どもの病気の際の対応について	77
10. 不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	82
11. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	88
12. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	94

3 小学生児童保護者

1. お住まいの地域について	107
2. 子どもと家族の状況について	108
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	110
4. 保護者の就労状況について	114
5. 児童クラブ・放課後子ども教室の利用状況について	124
6. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について	130
7. 子どもの病気の際の対応について	135
8. 不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	138

4 自由回答

1. 妊娠期 自由記述	149
2. 就学前児童保護者 自由記述	152
3. 小学生児童保護者 自由記述	160

I 調査概要

1. 調査の目的

守谷市では、国の政策による、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づき、「守谷市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、教育・保育・子育て支援の充実を図ってきました。このたび2020年度から始まる「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、この計画で確保する教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、市民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

2. 調査の設計

1) 回答者

調査対象	対象者数	抽出方法	調査方法
市内在住の初めて母子健康手帳の交付を受けた妊婦	100	母子健康手帳の交付を受けた妊婦より無作為抽出	郵送配布，郵送回収
市内在住の就学前児童をもつ保護者	950	住民基本台帳から該当年齢の子どもを無作為抽出	郵送配布，郵送回収
市内在住の小学生児童をもつ保護者	950	学年別抽出	郵送配布，郵送回収

2) 調査期間

調査期間：平成31年1月31日（木）～平成31年2月22日（金）

3. 回収結果

	発送数	回収数	回収率
総 数	2,000	925	46.3%
有効回収計		925	46.3%
妊娠期	100	50	50.0%
就学前児童	950	443	46.6%
小学生児童	950	432	45.5%

4. 分析・表示について

- ・比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%にならないこともあります。
- ・複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基礎とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。
- ・報告書中の文章やグラフにおいて、設問や選択肢の一部を省略して記載している場合があります。
- ・グラフ中の「n」という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
- ・クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があり、単純回答

調査概要

の結果と合致するとは限りません。

- ・調査結果を回答者の子どもの年齢別でみる場合、教育・保育事業の利用状況等をみる関係上、調査実施時の年齢ではなく、平成30年3月31日時点での満年齢（学齢）を使用しています。「学齢」は子どもの生年月から以下のように区分しています。また、平成30年3月31日時点で生まれていなかった子ども（0歳未満）については、クロス分析軸では「0歳」に含めています。

【学齢区分】

年齢（学齢）表記	調査時実年齢	生年月
0歳未満	0歳	平成30年4月～平成30年11月
0歳	0－1歳	平成29年4月～平成30年3月
1歳	1－2歳	平成28年4月～平成29年3月
2歳	2－3歳	平成27年4月～平成28年3月
3歳	3－4歳	平成26年4月～平成27年3月
4歳	4－5歳	平成25年4月～平成26年3月
5歳	5－6歳	平成24年4月～平成25年3月
6歳	6－7歳	平成23年4月～平成24年3月
7歳	7－8歳	平成22年4月～平成23年3月
8歳	8－9歳	平成21年4月～平成22年3月
9歳	9－10歳	平成20年4月～平成21年3月
10歳	10－11歳	平成19年4月～平成20年3月
11歳	11－12歳	平成18年4月～平成19年3月

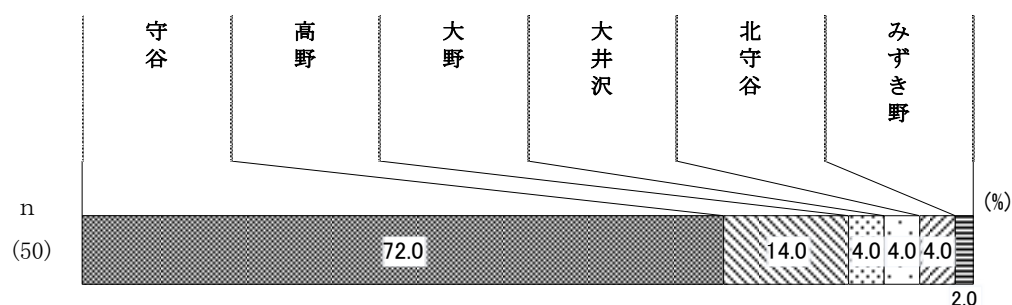
Ⅱ 調査結果

1 妊娠期

1. お住まいの地域について

■居住地域

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1 つに○をつけてください。

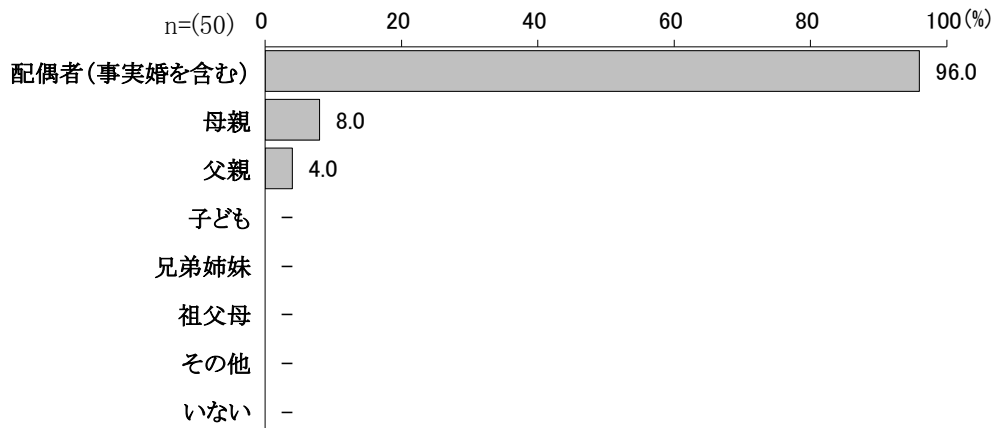


居住地区は、「守谷」が72.0%で最も多く、次いで「高野」(14.0%)、「大野」「大井沢」「北守谷」(ともに4.0%)の順となっています。

2. 家族の状況について

■同居人

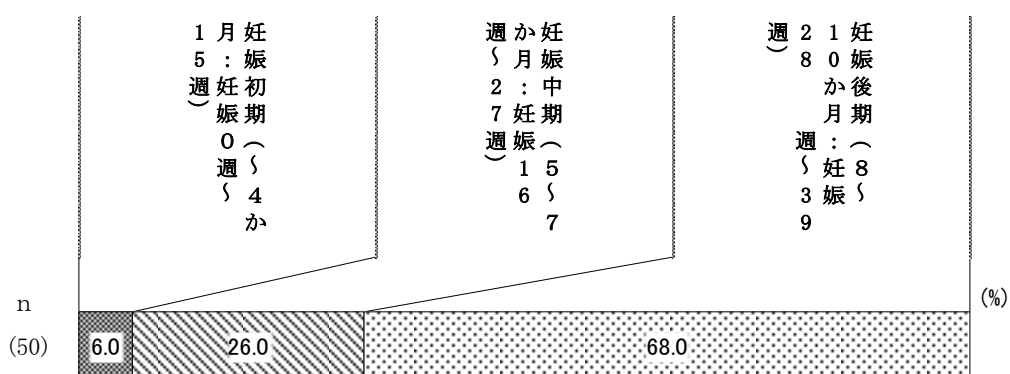
問2 現在、あなたは、誰と一緒に暮らしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



同居している人は、「配偶者（事実婚を含む）」が96.0%、「母親」が8.0%、「父親」が4.0%となっています。

■妊娠経過

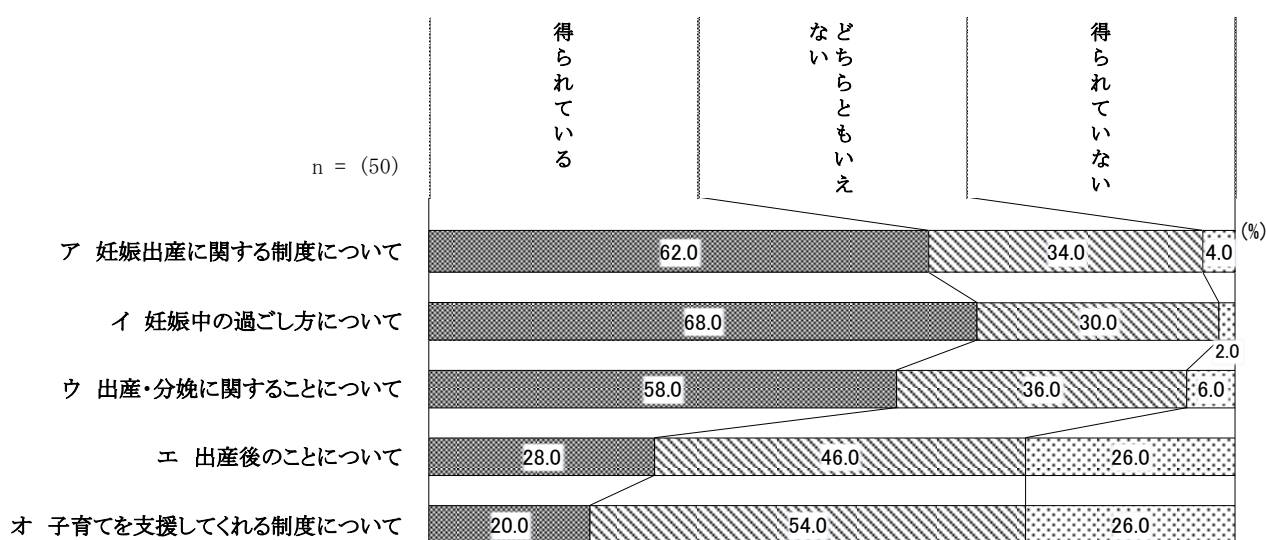
問3 妊娠経過について当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。



母親の妊娠経過は、「妊娠後期（8～10か月：妊娠28週～39週）」が68.0%で最も多く、次いで「妊娠中期（5～7か月：妊娠16週～27週）」（26.0%）、「妊娠初期（～4か月：妊娠0週～15週）」（6.0%）となっています。

■必要な情報の取得状況

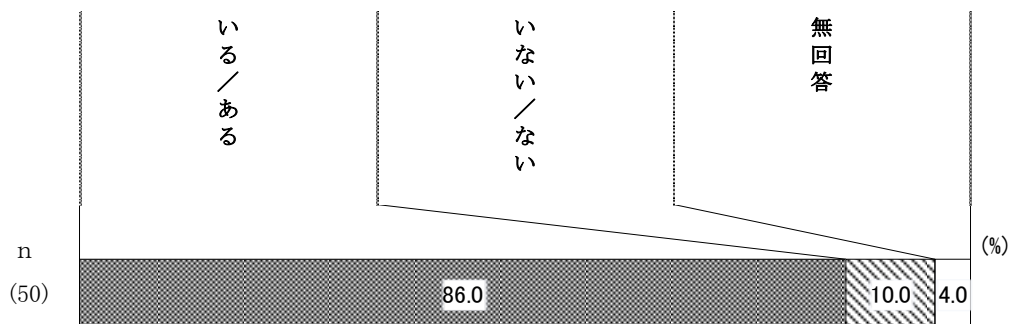
問4 あなたは、妊娠・出産に関する必要な情報は入手できていますか。ア～オについて、それぞれ1つずつ○をつけてください。



妊娠・出産に関する必要な情報の入手状況について、「得られている」は“イ 妊娠中の過ごし方について”が68.0%で最も多く、以下“ア 妊娠出産に関する制度について” (62.0%)，“ウ 出産・分娩に関することについて” (58.0%)，“エ 出産後のことについて” (28.0%)，“オ 子育てを支援してくれる制度について” (20.0%)となっています。逆に「得られていない」は，“エ 出産後のことについて”と“オ 子育てを支援してくれる制度について”がともに26.0%となっています。

■妊娠・出産・子育て・教育に関して気軽に相談できる人や場所の有無

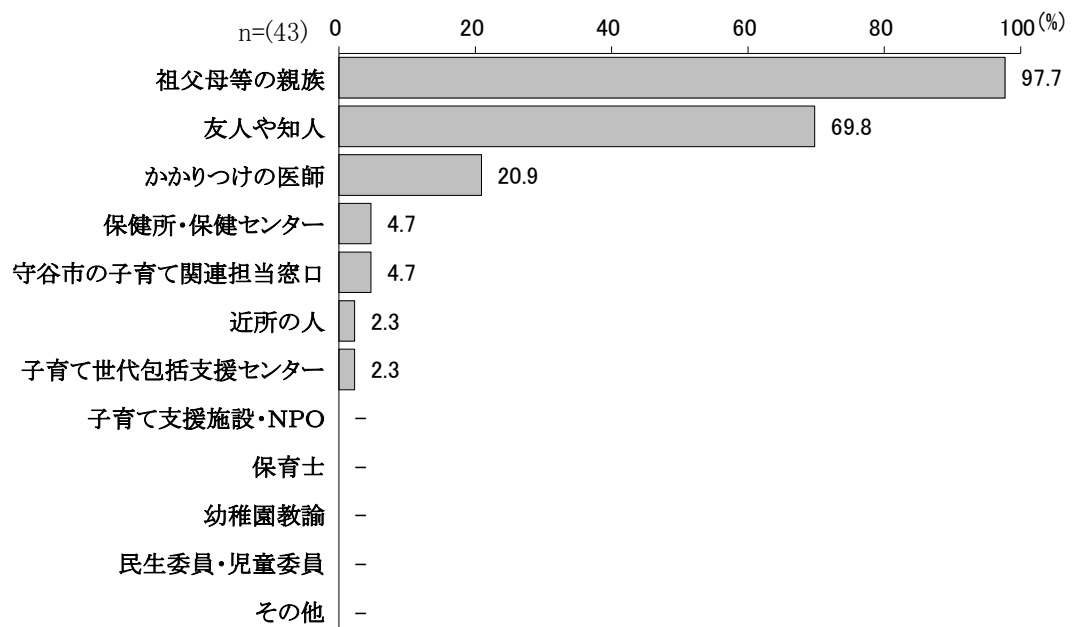
問5 妊娠・出産・子育て・教育に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



妊娠・出産・子育て・教育に関して気軽に相談できる人は、「いる／ある」が86.0%を占めており、「いない／ない」が10.0%となっています。

■妊娠・出産・子育て・教育に関して気軽に相談できる相手（先）

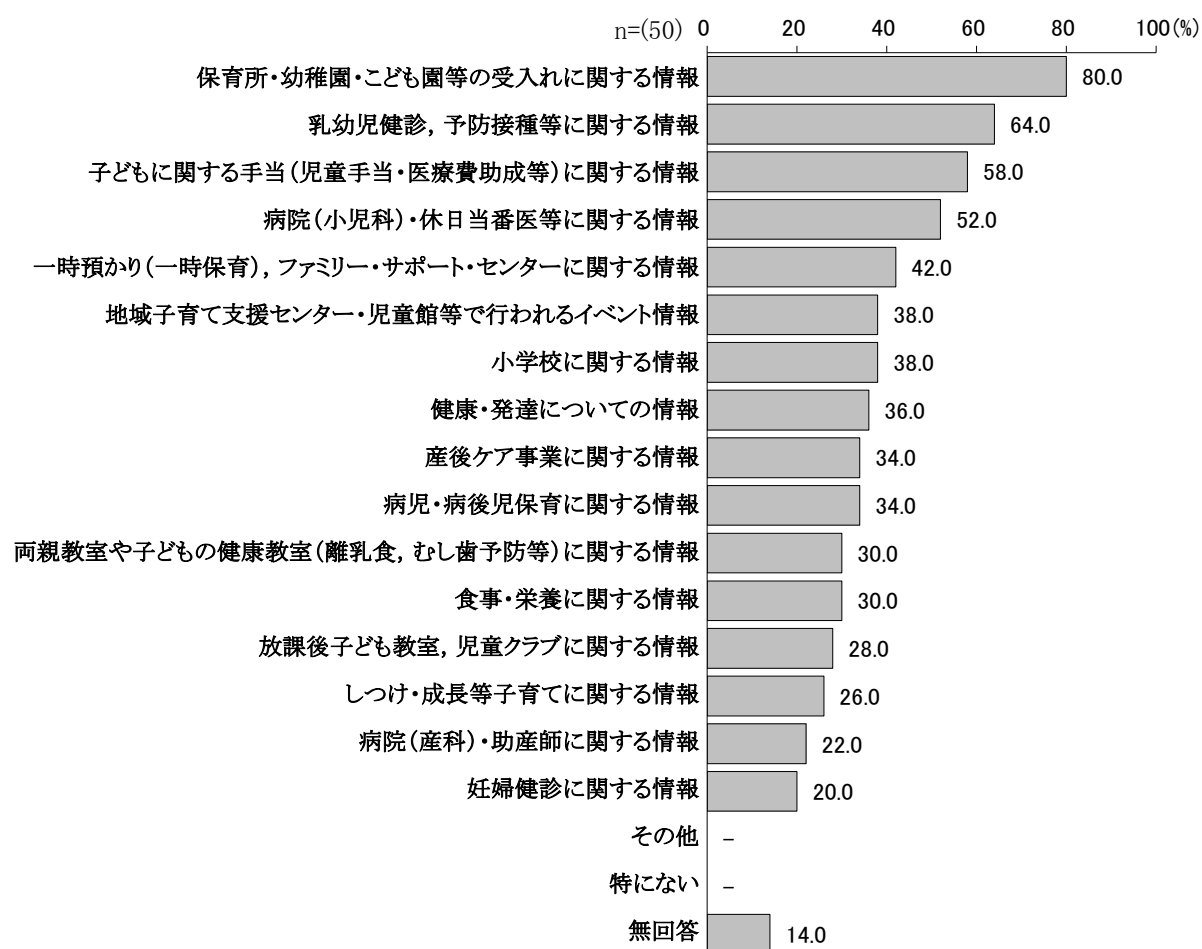
問5-1 問5で「1. いる／ある」に○をつけた方にお伺いします。妊娠・出産・子育て・教育に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。



妊娠・出産・子育て・教育に関して気軽に相談できる相手（先）は、「祖父母等の親族」が97.7%と最も多く、次いで「友人や知人」（69.8%）、「かかりつけの医師」（20.9%）となっています。

■妊娠・出産・子育て・教育に関して知りたい情報

問6 あなたは、妊娠・出産・子育て・教育に関して、どのような情報を知りたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



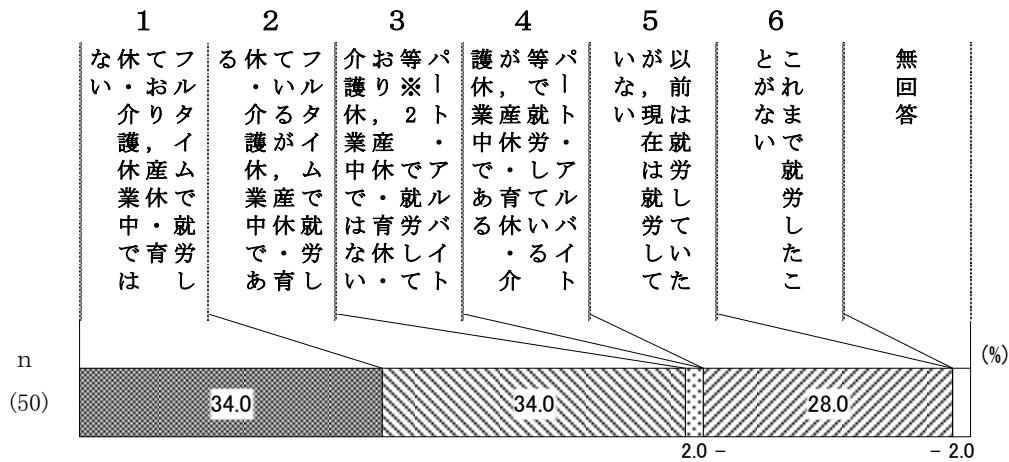
妊娠・出産・子育て・教育に関して知りたい情報は、「保育所・幼稚園・こども園等の受入れに関する情報」が80.0%と最も多く、次いで「乳幼児健診, 予防接種等に関する情報」(64.0%), 「子どもに関する手当 (児童手当・医療費助成等)に関する情報」(58.0%), 「病院 (小児科)・休日当番医等に関する情報」(52.0%) となっています。

3. 配偶者の就労状況について

■母親の就労状況

問7 あなた（母親）と配偶者（父親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。

（1）あなた（母親）

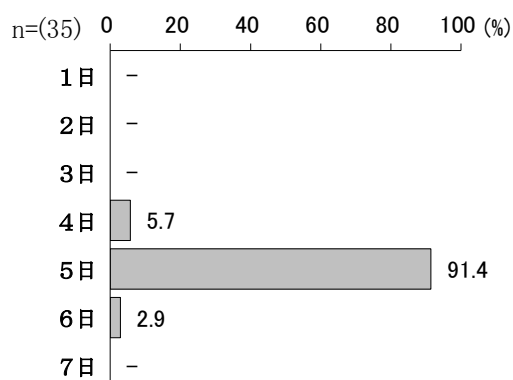


母親の現在の就労状況は、「1 フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」がともに34.0%で最も多く、次いで「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」が28.0%となっています。

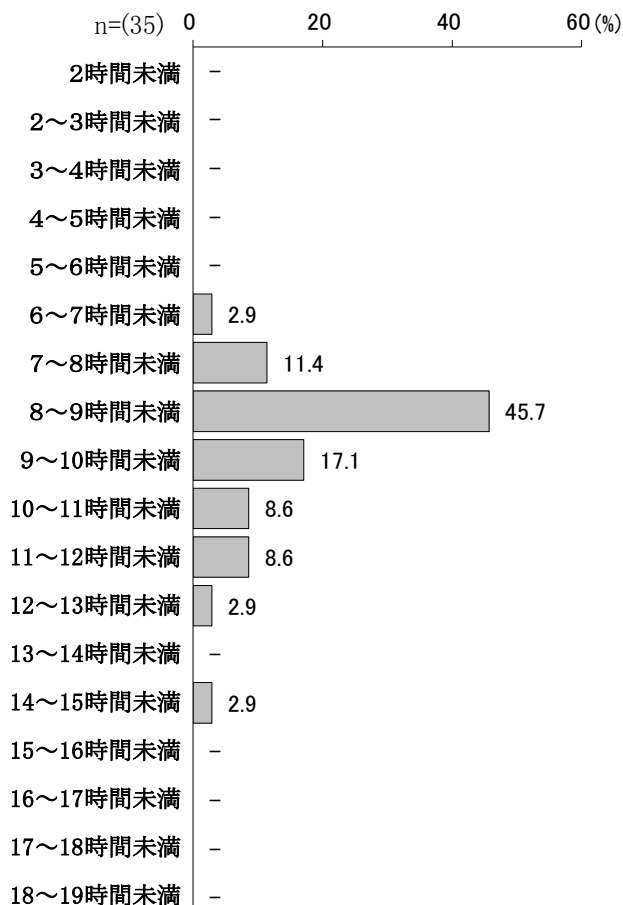
■母親の就労日数・就労時間

(1) -1 (1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で、時間は24時間制。)

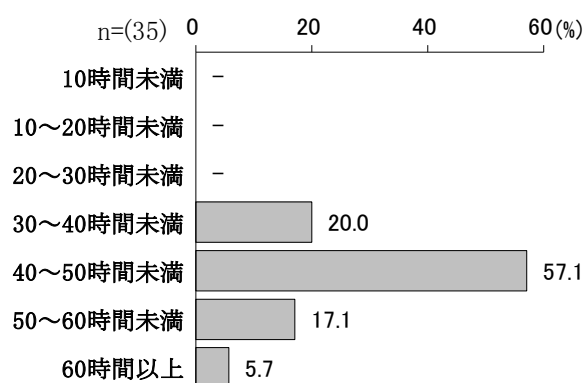
【就労日数 (週当たり)】



【就労時間 (1日当たり)】



【就労時間 (週当たり)】

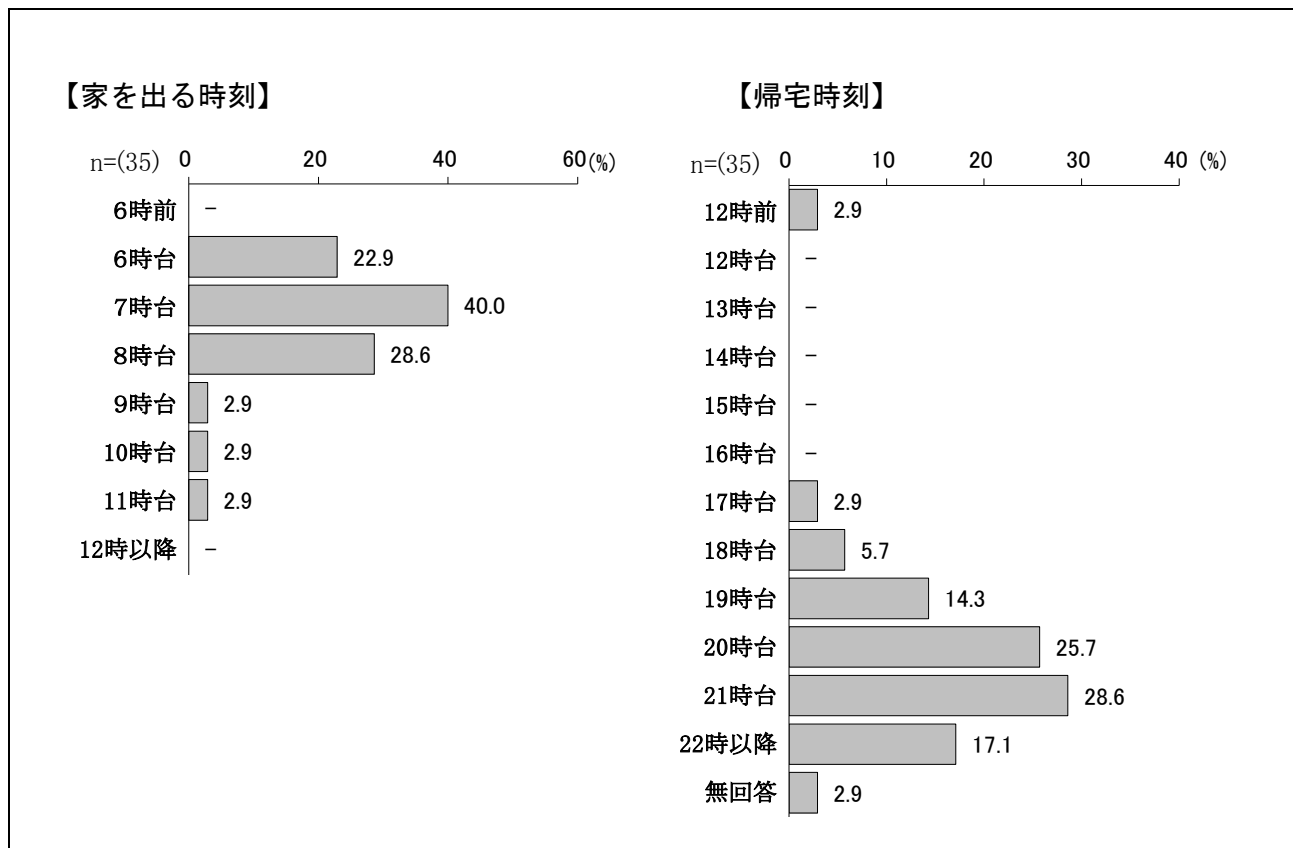


就労している母親の1週間当たりの就労日数は、「5日」が91.4%を占めており、次いで「4日」(5.7%),「6日」(2.9%)となっています。

1週間当たりの就労時間は、「40～50時間未満」が57.1%で最も多く、次いで「30～40時間未満」(20.0%),「50～60時間未満」(17.1%)の順となっています。

1日当たりの就労時間は、「8～9時間未満」が45.7%で最も多く、次いで「9～10時間未満」(17.1%),「7～8時間未満」(11.4%)の順となっています。

■母親の家を出る時刻，帰宅時刻



就労している母親の家を出る時刻は、「7時台」が40.0%で最も多く、次いで「8時台」(28.6%)、「6時台」(22.9%)の順となっています。

帰宅時刻は、「21時台」が28.6%で最も多く、次いで「20時台」(25.7%)、「22時以降」(17.1%)、「19時台」(14.3%)の順となっています。

■母親のフルタイムへの転換希望

(1) -2 (1)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(人)				
n	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
1	-	-	1	-

パート・アルバイト等で就労していると回答いただいた母親は1人で、フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」となっています。

■母親の就労希望

(1) -3で「5.」「6.」(就労していない)に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【就労希望】

(以下すべて単位は人数)

n	1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	2 1年より先, 一番下の子どもが()歳になったところに就労したい	3 すぐにでも, もしくは1年以内に就労したい	無回答
14	-	10	3	1

【就労希望時期の末子年齢】(就労希望で2と回答した人)

n	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	無回答
10	-	1	1	5	-	2	1

【就労希望形態】(就労希望で2または3と回答した人)

n	1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	2 パートタイム, アルバイト等(「左記」以外)	3 就労形態まではまだ考えていない	無回答
13	-	5	1	7

【就労希望日数(週当たり)】(就労希望形態で2と回答した人)

n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
5	-	-	1	3	1	-	-

【就労希望時間(1日当たり)】(就労希望形態で2と回答した人)

n	4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6時間以上
5	-	-	3	2

現在就労していないと回答いただいた母親(14人)の就労希望は、「2 1年より先, 一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が10人で、「3 すぐにでも, もしくは1年以内に就労したい」が3人となっています。

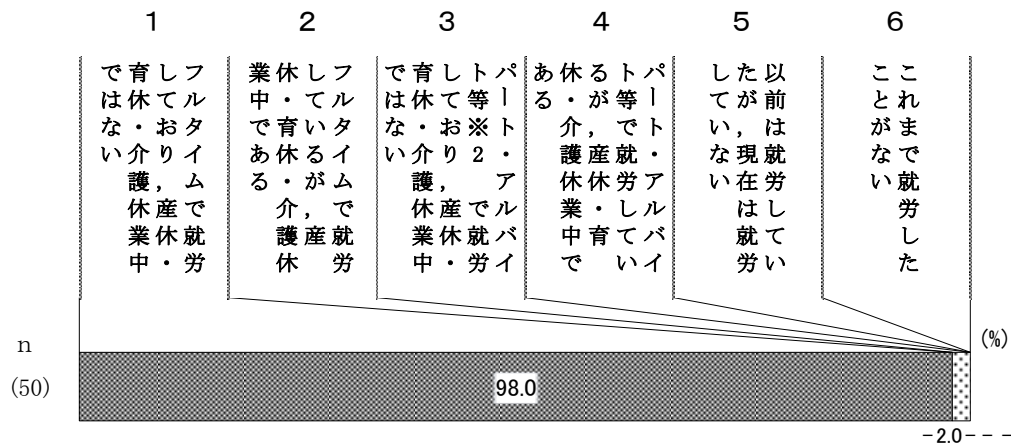
1年より先に就労を希望する母親(10人)が, 就労希望時の末子年齢は、「3歳」が5人で最も多く, 次いで「5歳以上」が2人となっています。

就労を希望する母親(13人)が希望する就労形態は、「パートタイム, アルバイト等」が5人となっています。

パートタイム, アルバイト等の就労を希望する母親(5人)の1週間当たりの就労希望日数は、「4日」が3人, 「3日」と「5日」が各1人となっており, 1日当たりの就労希望時間は, 「5～6時間未満」が3人, 「6時間以上」が2人となっています。

■配偶者（父親）の就労状況

（２）配偶者（父親） 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

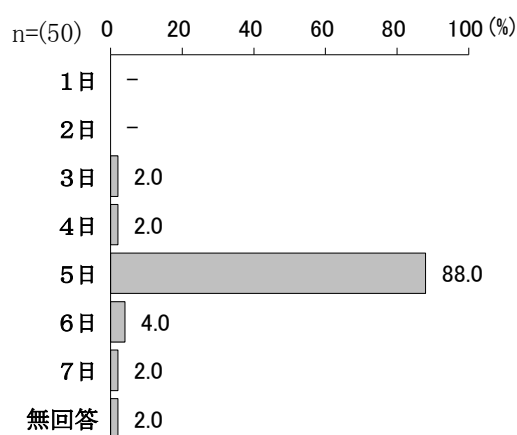


配偶者（父親）の就労状況では、「フルタイムで就労しており，産休・育休・介護休業中ではない」が98.0%を占めており，「パート・アルバイト等で就労しており，産休・育休・介護休業中ではない」が2.0%となっています。

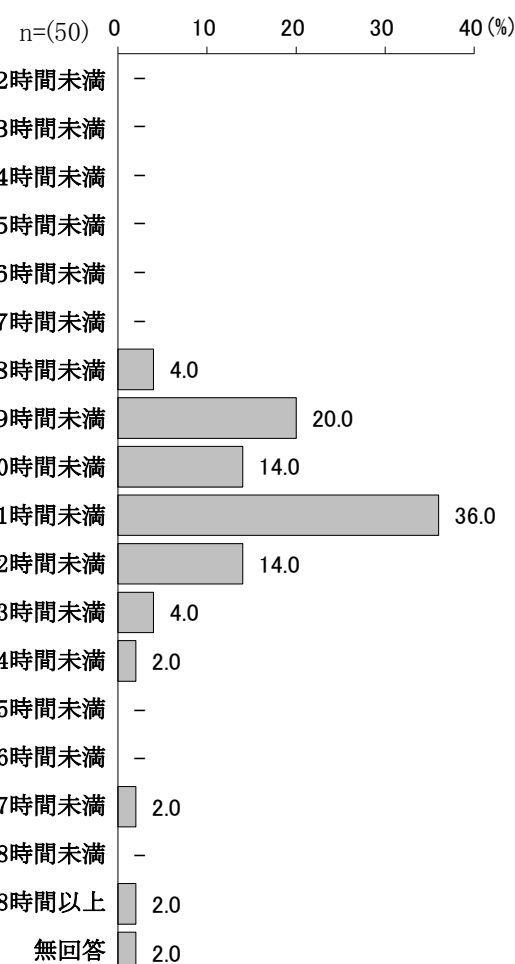
■父親の就労日数・就労時間

(2) -1 (2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。1週間当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で、時間は24時間制。)

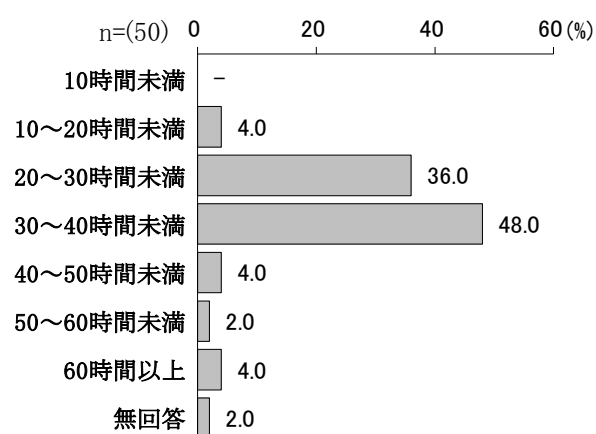
【就労日数 (週当たり)】



【就労時間 (1日当たり)】



【就労時間 (週当たり)】

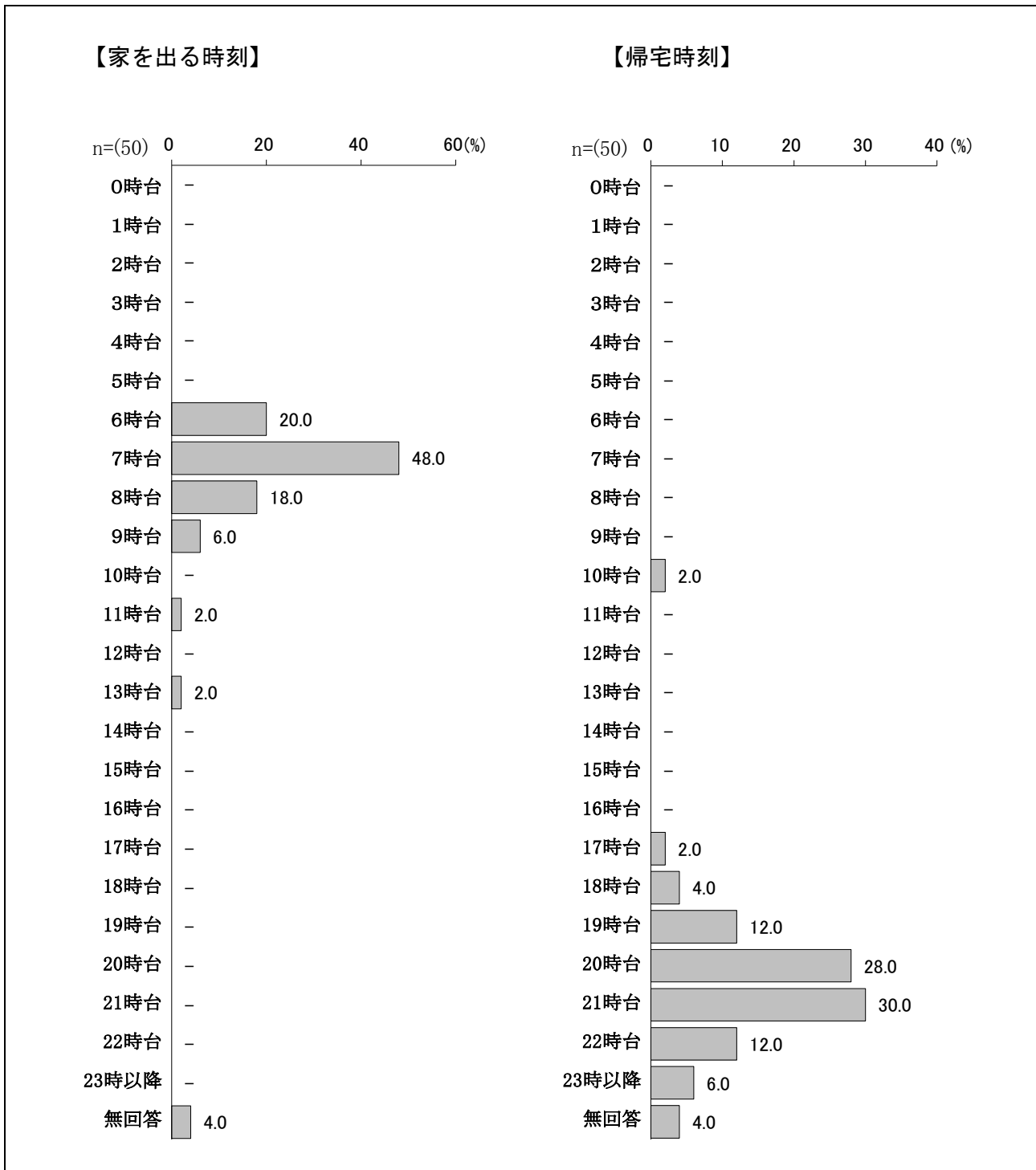


就労している父親の1週間当たりの就労日数は、「5日」が88.0%を占めています。

1週間当たりの就労時間は、「30～40時間未満」が48.0%で最も多く、次いで「20～30時間未満」(36.0%)となっています。

1日当たりの就労時間は、「10～11時間未満」が36.0%で最も多く、次いで「8～9時間未満」(20.0%),「9～10時間未満」と「11～12時間未満」(ともに14.0%)となっています。

■父親の家を出る時刻，帰宅時刻



就労している父親が家を出る時刻は、「7時台」が48.0%で最も多く、次いで「6時台」(20.0%)，「8時台」(18.0%)の順となっています。

帰宅時刻は、「21時台」が30.0%で最も多く、次いで「20時台」(28.0%)，「19時台」と「22時台」(ともに12.0%)となっています。

■父親のフルタイムへの転換希望

(2) -2で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(人)

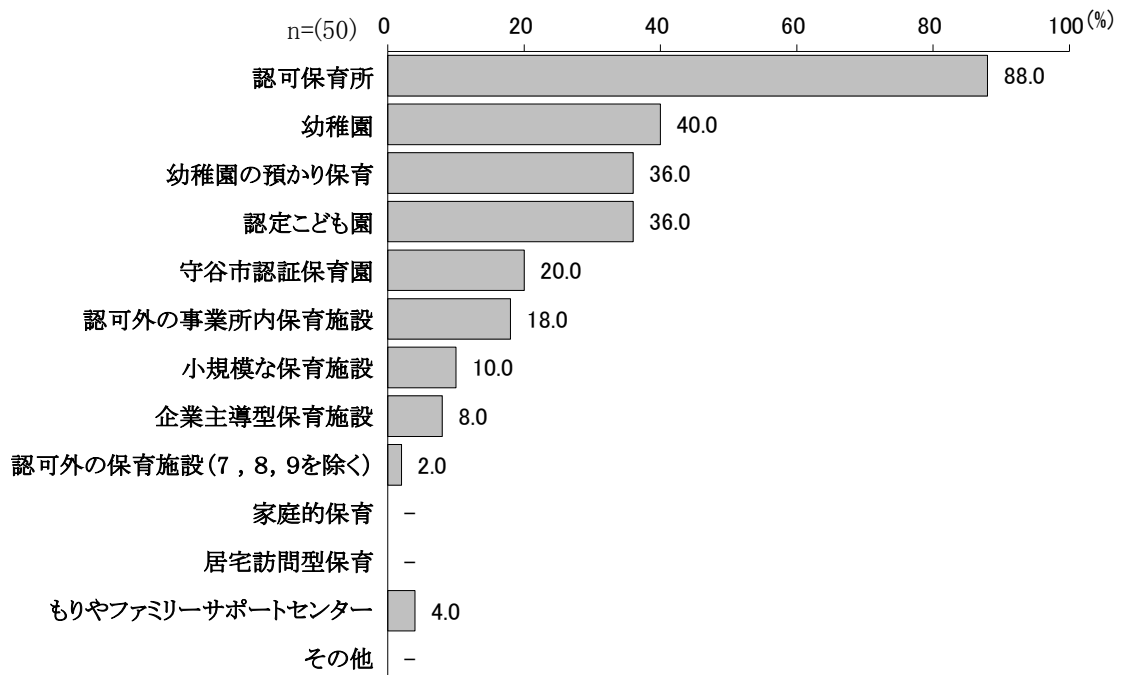
n	フルタイムへの転換希望があり, 実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが, 実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
1	-	-	1	-

現在, パート・アルバイト等で就労している父親(1人)のフルタイムへの転換希望については, 「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」となっています。

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向について

■ 定期的な教育・保育事業の利用意向

問8 これから生まれるお子さんについて、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。



平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したい事業は、「認可保育所」が88.0%で最も多く、次いで「幼稚園」(40.0%)、「幼稚園の預かり保育」と「認定こども園」(ともに36.0%)となっています。

■利用希望事業への期待

問8で選んだ事業に何を期待しますか。

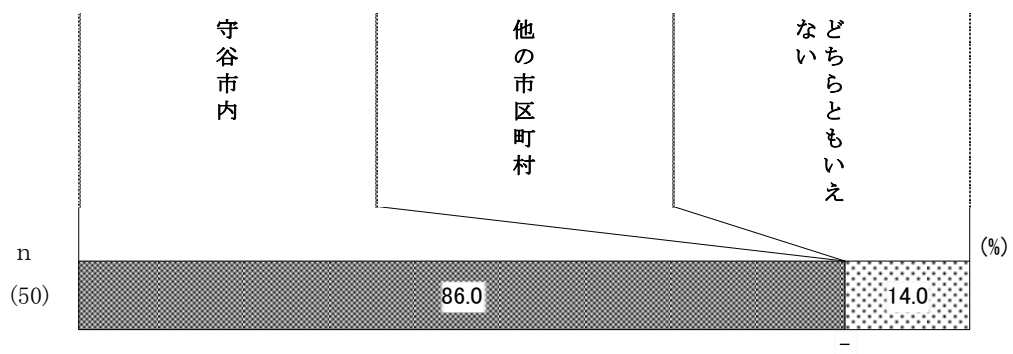
利用を希望する事業に期待することを自由記述形式でたずねたところ、35人の方から記入がありました。記載内容を問8で選んだ事業ごとに分類すると以下の通りとなっています。1人の方が複数の事業を選んでいたり、複数の意見を記載していることがあるため、意見の合計は49件（延べ147件）となっています。

(件)

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	認可外の事業所内保育施設	守谷市認証保育園	企業主導型保育施設	認可外の保育施設	居宅訪問型保育	もりやファミリーサポートセンター	その他	計(延べ回答数)	計(回答者数)
安心して預けられる(安全・健全経営)	6	6	13	5	3	0	5	3	2	1	0	2	0	46	15
入所・入園のしやすさ	1	2	10	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	18	10
社会性の育成・教育の充実	5	4	8	6	2	0	3	1	1	0	0	0	0	30	9
就労環境づくり(長時間預かり等)	4	5	8	6	1	0	3	4	3	1	0	1	0	36	8
保育士不足の解消・質の向上	1	0	3	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	8	3
利用価格の軽減	1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	2
駅近など立地上での利用のしやすさ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
保育園の新規開園	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1
計(延べ回答数)	18	17	46	23	8	0	12	12	6	2	0	3	0	147	
計(回答者数)	13	13	32	14	4	0	7	7	3	1	0	2	0		35

■教育・保育事業を利用したい場所

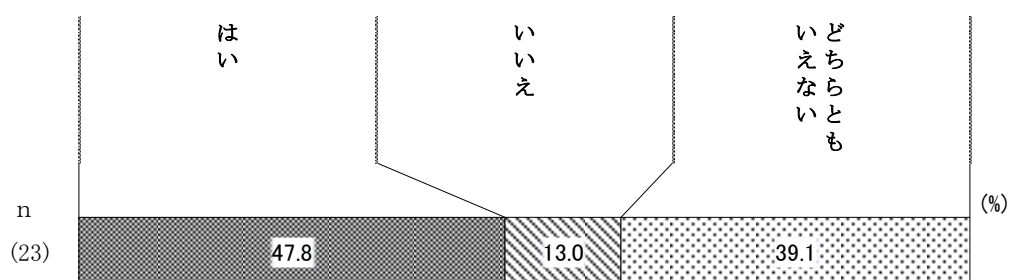
問 8-1 教育・保育事業を利用したい場所についてお伺いします。いずれかに○をつけてください。



教育・保育事業を利用したい場所としては、「守谷市内」が86.0%を占めており、「どちらともいえない」が14.0%となっています。

■幼稚園の強い利用希望

問 8-2 問 8 で、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3.」～「12.」にも○をつけた方にお伺いします。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。



幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の強い利用希望については、「はい」が47.8%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が39.1%、「いいえ」が13.0%となっています。

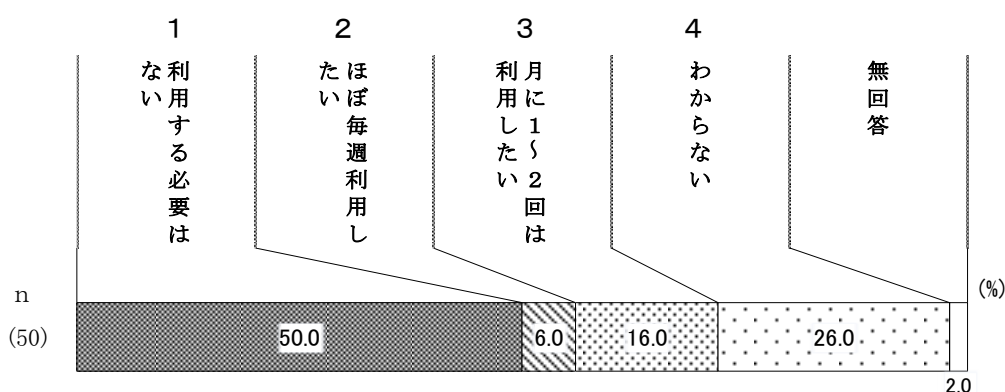
5. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

■土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

問9 これから生まれるお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日の利用希望】



【利用希望開始時刻】（利用希望で2または3と回答した人に）

(人)

n	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台以降
11	-	4	4	3	-

【利用希望終了時刻】（利用希望で2または3と回答した人に）

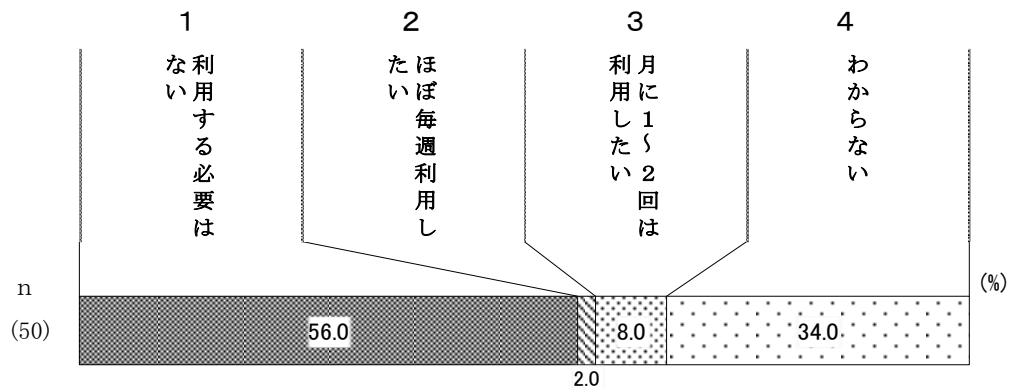
(人)

n	14時前	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台以降
11	-	2	-	4	4	1	-

土曜日の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が50.0%で最も多くなっています。次いで「わからない」が26.0%となっています。「月に1～2回は利用したい」（16.0%）と「ほぼ毎週利用したい」（6.0%）を合わせた『利用したい』は22.0%となっています。

『利用したい』人（11人）の希望する利用開始時刻は、「7時台」と「8時台」がともに4人、「9時台」が3人となっています。利用希望終了時刻は、「17時台」と「18時台」がともに4人で、「15時台」が2人、「19時台」が1人となっています。

【日曜日・祝日の利用希望】



【利用希望開始時刻】（利用希望で2または3と回答した人に）

(人)

n	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台以降
5	-	-	2	3	-

【利用希望終了時刻】（利用希望で2または3と回答した人に）

(人)

n	14時前	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台以降
5	-	-	1	3	-	1	-

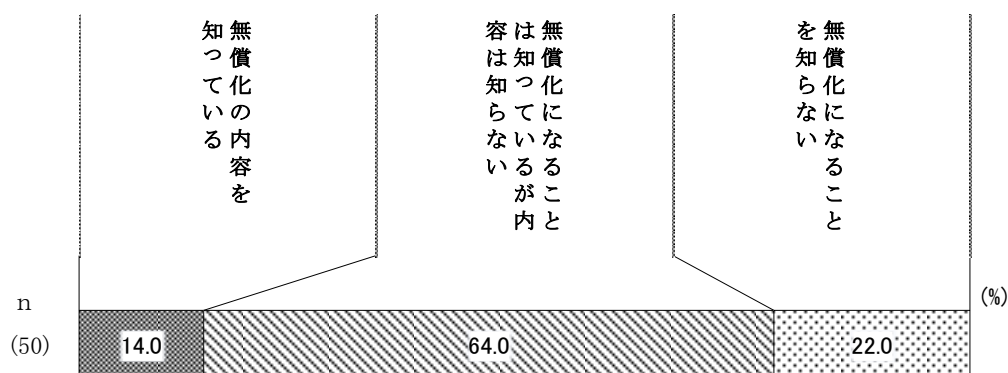
日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が56.0%で最も多くなっています。次いで「わからない」が34.0%となっています。「月に1～2回は利用したい」（8.0%）と「ほぼ毎週利用したい」（2.0%）を合わせた『利用したい』は10.0%となっています。

『利用したい』人（5人）の希望する利用開始時刻は、「9時台」が3人、「8時台」が2人となっています。利用希望終了時刻は、「17時台」が3人で、「16時台」と「19時台」がともに1人となっています。

6. 幼児教育・保育の無償化について

■幼児教育・保育の無償化に対する認知度

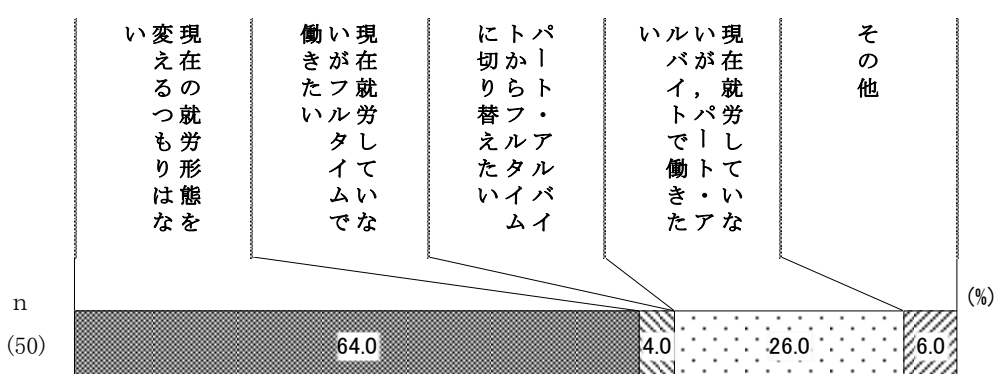
問10 2019年10月から幼児教育・保育の無償化が実施される予定ですが、無償になる上限金額が定められていることや、0～2歳児は住民税非課税世帯のみが無償化の対象になることなど、無償化の内容をご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



幼児教育・保育の無償化の内容の認知については、「無償化になることは知っているが内容は知らない」が64.0%で最も多く、以下「無償化になることを知らない」が22.0%、「無償化の内容を知っている」は14.0%となっています。

■幼児教育・保育の無償化が実現した場合の就労形態

問11 幼児教育・保育の無償化が実現したら、これにより就労したい、または就労形態を変えたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



幼児教育・保育の無償化が実現した場合の就労・就労形態の希望については、「現在の就労形態を変えるつもりはない」が64.0%で最も多くなっています。「現在就労していないが、パート・アルバイトで働きたい」(26.0%)と「現在就労していないがフルタイムで働きたい」(4.0%)を合わせた『就労したい』が30.0%となっています。

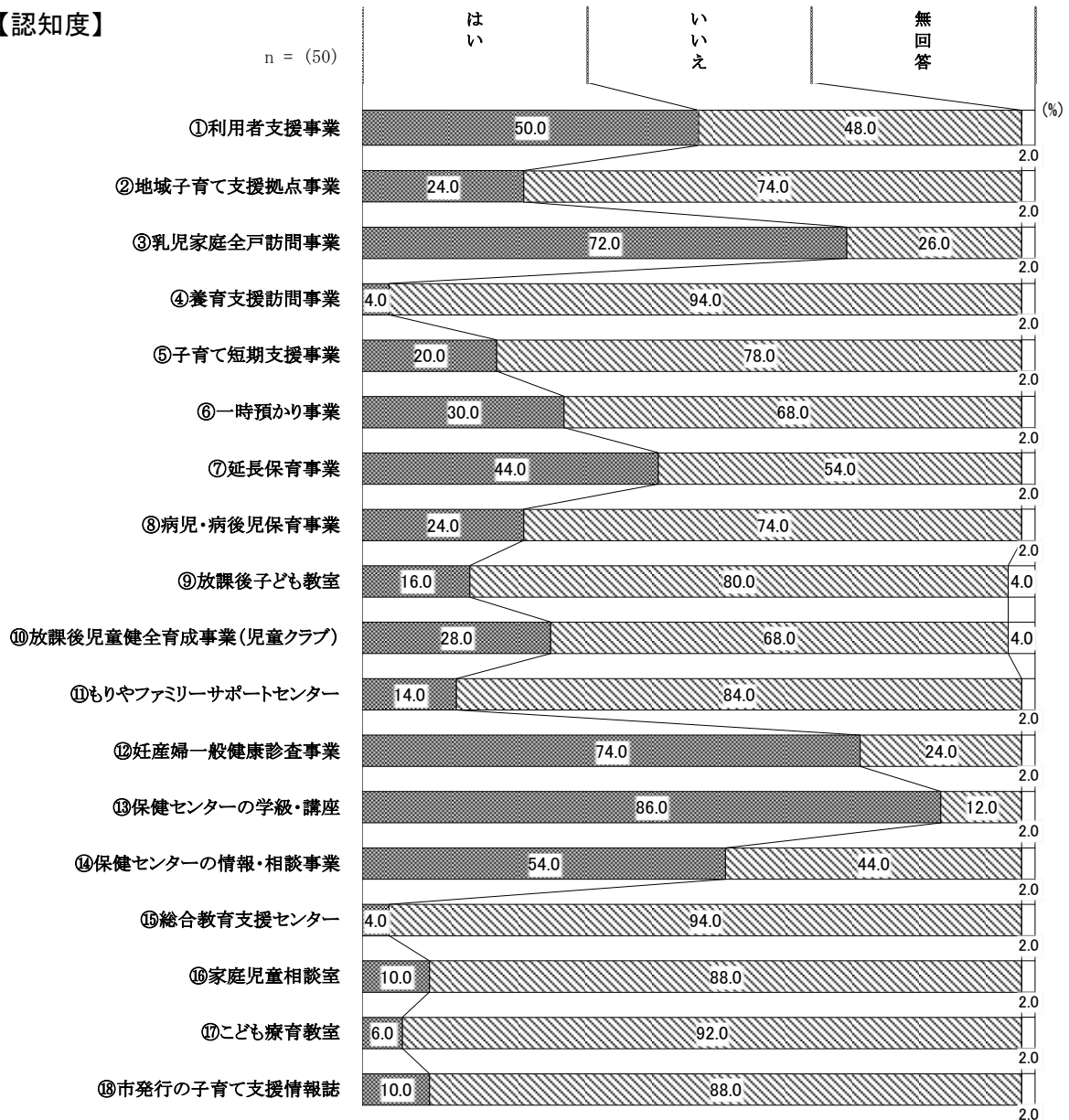
7. 地域子育て支援事業の利用状況について

■各種支援事業の認知度，利用経験，利用希望

問12 市では，安心して子育てすることができるよう，親子が集まって過ごしたり，子育てについて相談したり，お子さんを一時的に預けたりできる様々な事業を実施しています。

下記の事業のうち，知っているものや，これまでに利用したことがあるもの，今後，利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに，AからCのそれぞれについて，「はい」，「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

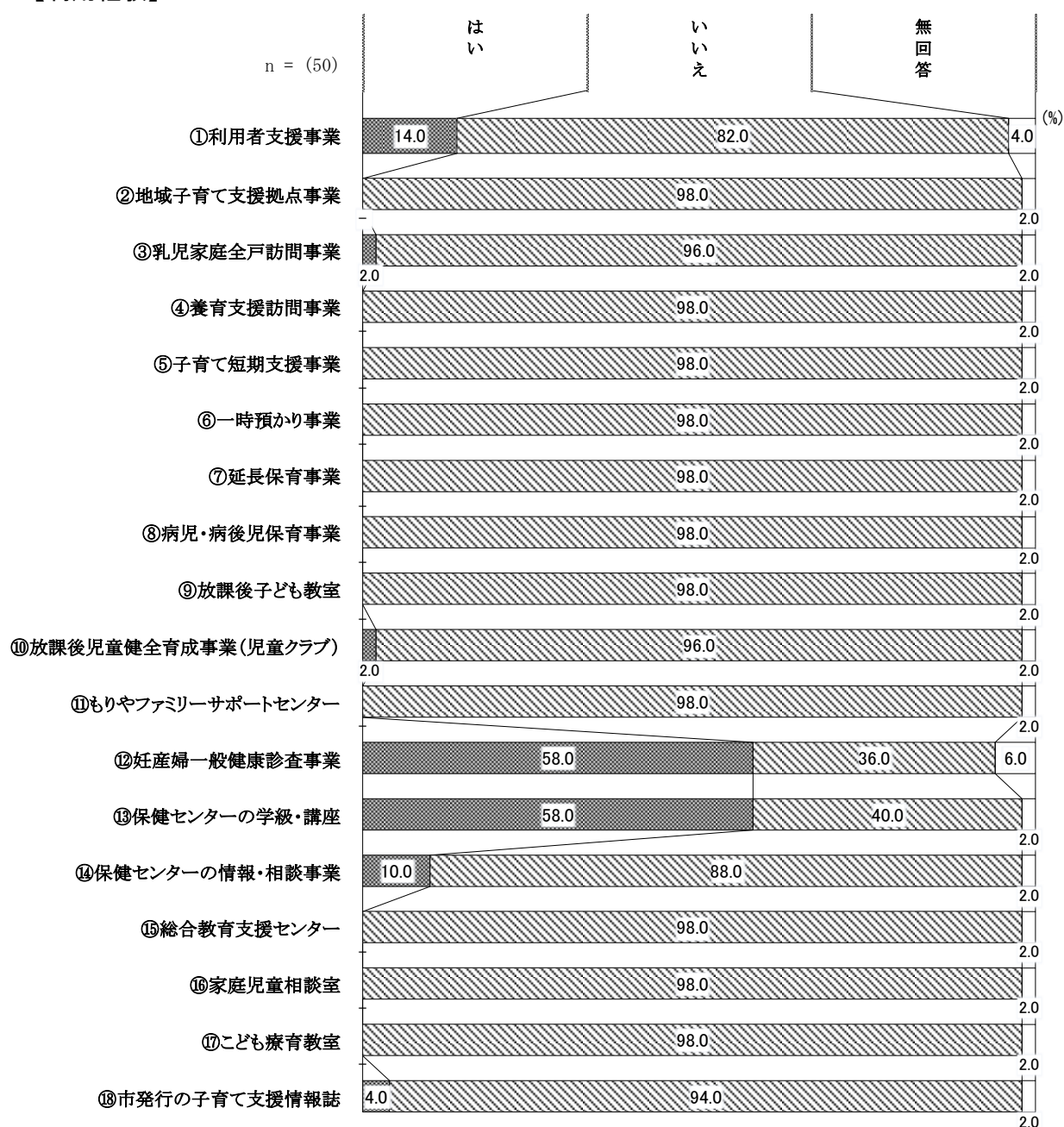
【認知度】



地域の子育て支援事業の認知度について，「はい（知っている）」は「⑬保健センターの学級・講座」が86.0%で最も多く，次いで「⑫妊産婦一般健康診査事業」（74.0%），「③乳児家庭全戸訪問事業」（72.0%），「⑭保健センターの情報・相談事業」（54.0%）となっています。

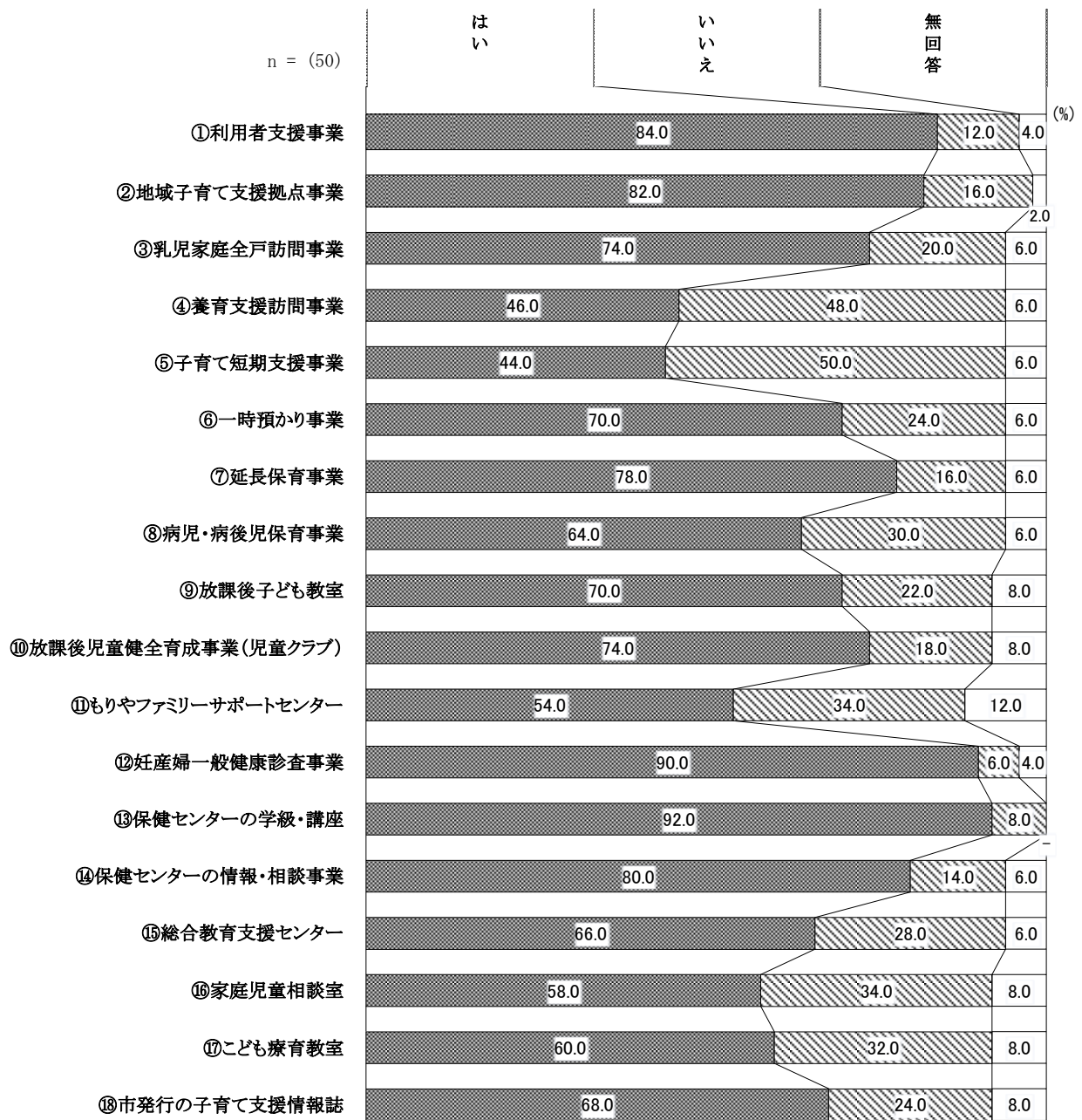
一方，「いいえ（知らない）」は，「④養育支援訪問事業」と「⑮総合教育支援センター」がともに94.0%で最も多くなっています。

【利用経験】



地域の子育て支援事業の利用経験について、「はい（利用したことがある）」は「⑫妊産婦一般健康診査事業」と「⑬保健センターの学級・講座」が58.0%で最も多く、次いで「①利用者支援事業」（14.0%）、「⑭保健センターの情報・相談事業」（10.0%）となっています。

【利用希望】



地域の子育て支援事業の利用意向について、「はい（利用したい）」は「⑬保健センターの学級・講座」が92.0%で最も多く、以下「⑫妊産婦一般健康診査事業」（90.0%）、「①利用者支援事業」（84.0%）、「②地域子育て支援拠点事業」（82.0%）、「⑭保健センターの情報・相談事業」（80.0%）などとなっています。

■現在利用している事業の月当たりの利用回数

問12-1 問12で、下記の事業B欄の「これまでに利用したことがある」に「はい」を選んだ内容についてお伺いします。（すべて「いいえ」を選んだ方は、問12-2へお進みください）

現在、利用している事業のおよその利用回数（頻度）を【 】内に数字で記入ください。

【月当たりの利用回数】

(人)

	n	1回未満	1～2回未満	2～3回未満	3～4回未満	4回以上	無回答
利用者支援事業	7	2	1	-	-	-	4
地域子育て支援拠点事業	-	-	-	-	-	-	-
養育支援訪問事業	-	-	-	-	-	-	-

利用者支援事業を利用したことがある母親で利用回数の回答をいただいたのは3人であり、「1回未満」が2人、「1～2回未満」が1人となっています。

■今後利用したい月当たりの利用希望回数

問12-1 問12で、下記の事業C欄の「今後利用したい」に「はい」を選んだ内容についてお伺いします。

（すべて「いいえ」を選んだ方は、問12へお進みください）

今後利用したい事業のおおよその利用回数（頻度）を【 】内に数字でご記入ください。

【月当たりの利用希望回数】

(人)

	n	1回未満	1～2回未満	2～3回未満	3～4回未満	4回以上	無回答
利用者支援事業	42	-	14	1	-	8	19
地域子育て支援拠点事業	41	-	10	3	-	9	19
養育支援訪問事業	23	-	5	1	-	3	14

今後利用したいと回答いただいた事業の今後の利用希望回数は、「利用者支援事業」（回数の回答者は23人）、「地域子育て支援拠点事業」（回数の回答者は22人）、「養育支援訪問事業」（回数の回答者は9人）の各事業とも「1～2回未満」が最も多く、次いで「4回以上」となっています。

■地域子育て支援拠点事業への要望

問13 市が実施する地域子育て支援事業について、今後のどのような支援があればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

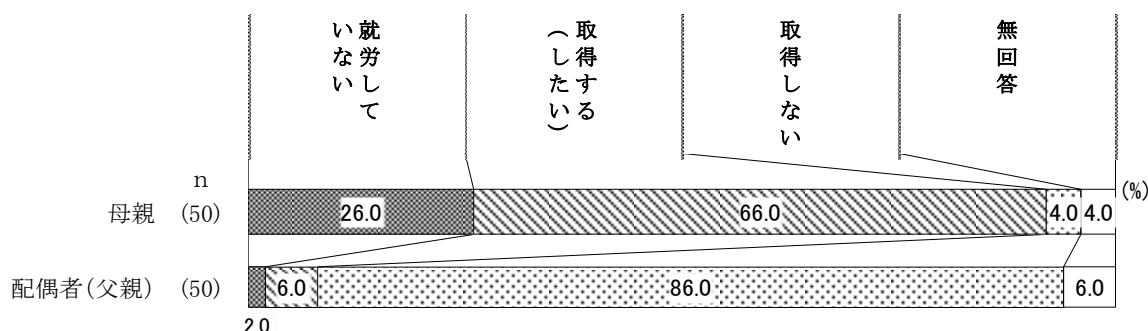
地域子育て支援事業について今後あればよいと考える支援を自由記述形式でたずねたところ、12人の方から以下の通り回答がありました。

- ・保育所に関する情報が全くないので、保育所に関する情報を発信して欲しい。調査票にあったような子育て支援事業があるとは知らなかった。もっと内容や場所など、教えて欲しい。
- ・駅近くに子どもを預けられる施設を増やして欲しい！
- ・支援内容が分かりやすい名称にして欲しい。支援内容を一覧にしてまとめて欲しい。
- ・初めての妊娠で、何をどこで見て、調べて、どんな事業が、どんなものがあるのか分からないので、それを分かりやすく説明して、教えてくれる教室？みたいなものが欲しい。すでにあったとしたら、それを市役所などで伝えて欲しい。
- ・待機児童がなくなるよう、市の積極的な施策の推進をお願いします。病気になった児童を預けることができる施設の設置をお願いしたい（東京都にはあると聞いています）。
- ・働きたいと思っても、子どもを預ける場所がなく、働けない心配があります。定期的に預けられる場所の他に、緊急時に一時的に子どもを預けられる場所も増えて欲しいです。子育てに悩みがあって、相談できる窓口があったとしても、話を聞くだけの精神論で終わるのではなく、具体的に建設的な解決策を教えてもらえることを望みます。
- ・産後ケア事業制度がとても良いと思っており、利用したいと考えています。宿泊型の利用料がもう少し下がったら良いと思います。
- ・小さい子から大きい子まで遊べる室内外の広い施設。
- ・守谷駅から、各保育所や幼稚園へバスなどで送迎してくれる制度。流山おおたかの森駅で実施していると聞いたことがあります。駅から離れた保育園、幼稚園への入園だとしても、この制度があれば助かりますし、待機児童が分散されたりしないでしょうか。
- ・近隣のママ同士のコミュニティ活性化のための教室やイベントの開催。実際には、既に開催されているかと思いますが、情報の入手方法が分かりません。
- ・幼稚園・保育園の数を増やして欲しい。待機児童への対策。
- ・両親学級・母親学級の回数を増やして欲しい。産休に入ってから参加しようとしたら、もうすでに終わっていた。仕事中に平日に休むのは難しい。初めての出産なので参加したかった。

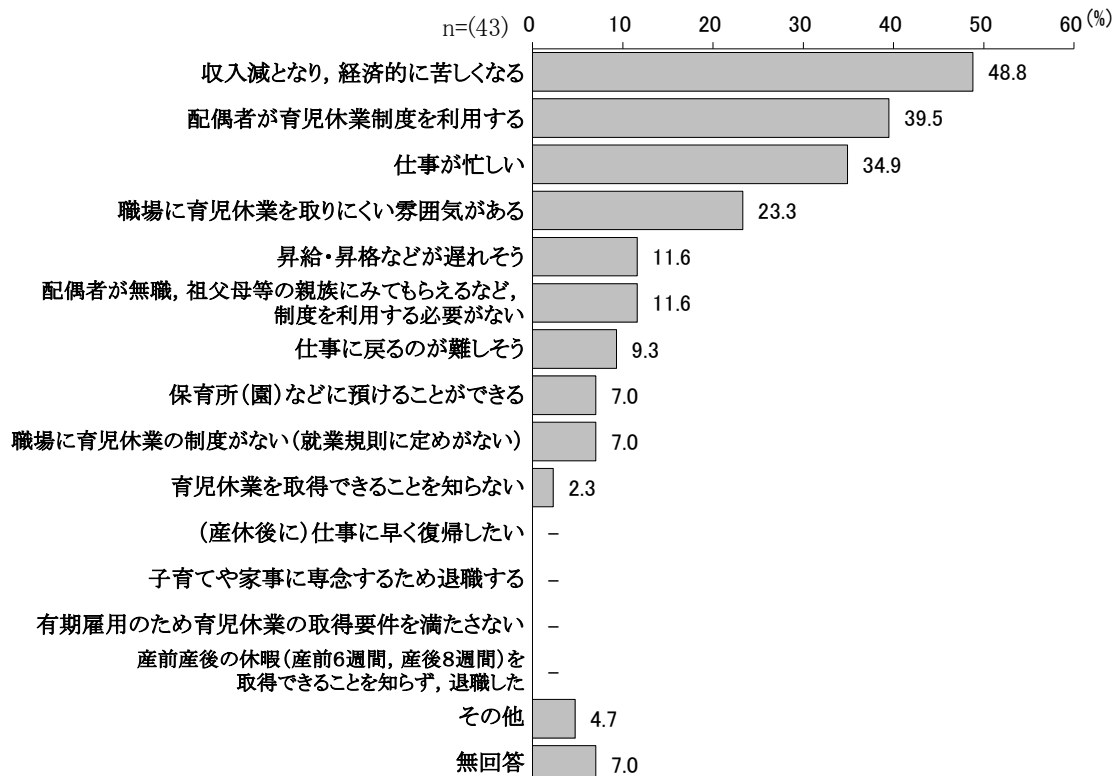
8. 育児休業など、職場の両立支援制度について

■育児休業の取得状況

問14 出産後、あなたや配偶者は育児休業を取得しますか。あなた（母親）と配偶者（父親）のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、取得する（したい）場合の期間について、□内に数字をご記入ください。また、取得しない方はその理由をご記入ください。



<育児休業を取得しない理由> 配偶者（父親）

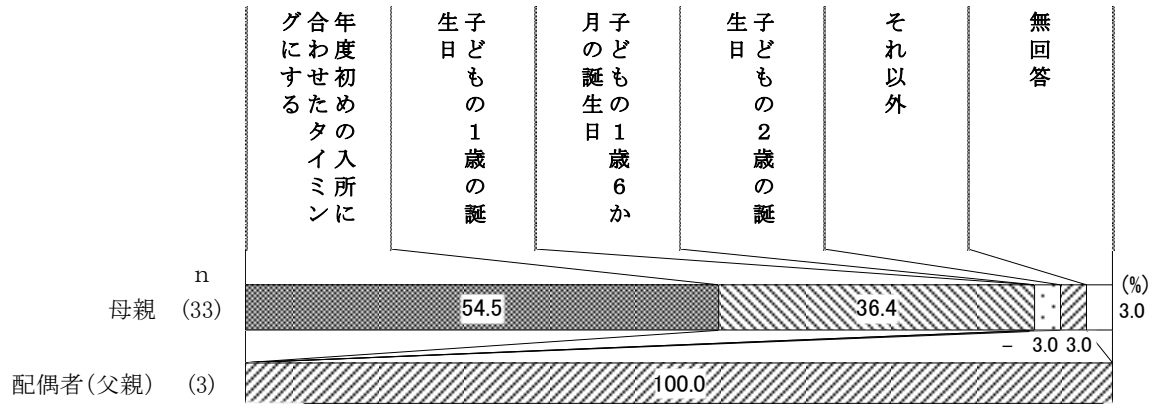


育児休業の取得意向については、“母親”は「取得する（したい）」が66.0%、「就労していない」が26.0%、「取得しない」が4.0%となっています。“父親”は「取得しない」が86.0%、「取得する（したい）」が6.0%、「就労していない」が2.0%となっています。

「取得しない」と回答された理由は、“母親”は2人で「職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある」と「妊娠しながら働くのが難しく退職した。産前6週間では無理だった」という理由でした。“配偶者（父親）”は「収入減となり、経済的に苦しくなる」が21人で最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用する」(17人)、「仕事が忙しい」(15人)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある」(10人)となっています。

■育児休業から職場復帰のタイミング予定

問14-1 問14で「2. 取得する（したい）」に○をつけた方にお伺いします。育児休業から仕事に復帰するには、年度初めの保育施設への入所に合わせたタイミングにする予定ですか。

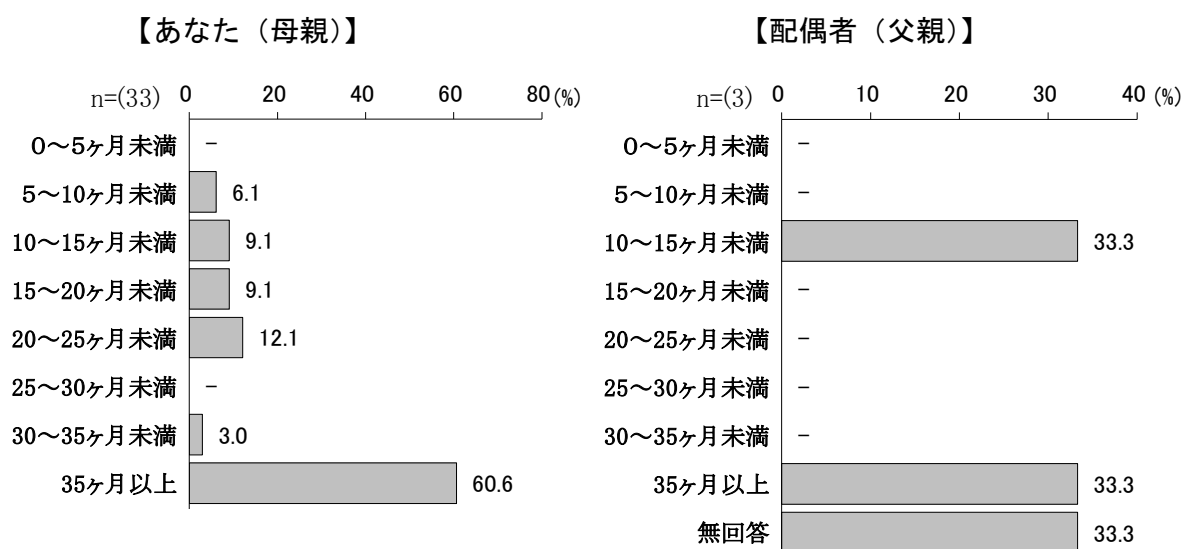


育児休業から職場復帰するタイミングについて、“母親”では「年度初めの入所に合わせたタイミングにする」が54.5%で最も多く、次いで「子どもの1歳の誕生日」(36.4%)となっています。

“配偶者(父親)”は該当者が3人で、3人とも「その他」となっています。

■ 3歳まで取得できる休暇制度があった場合の取得希望

問14-2 問14で、「2. 取得する(したい)」に○をつけた方にお伺いします。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

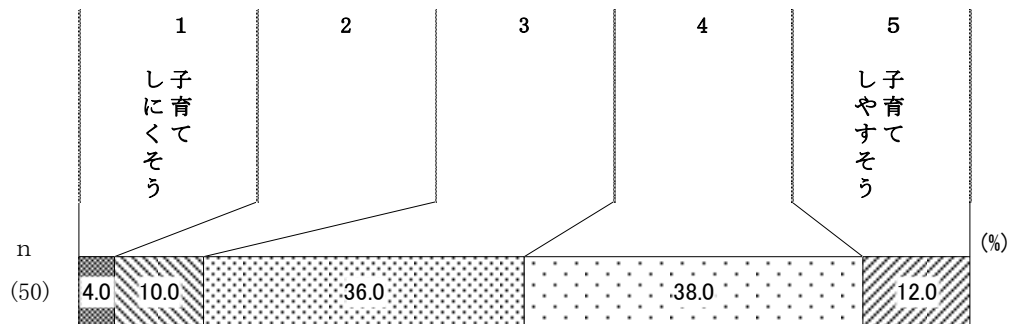


3歳まで取得できる休暇制度があった場合に希望する取得期間は、母親は「35ヶ月以上」が60.6%で最も多く、次いで「20～25ヶ月未満」(12.1%)、「10～15ヶ月未満」と「15～20ヶ月未満」(ともに9.1%)の順となっています。

配偶者(父親)は該当者が3人で、「10～15ヶ月未満」が1人、「35ヶ月以上」が1人となっています。

■子育ての環境や支援への満足度

問15 守谷市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



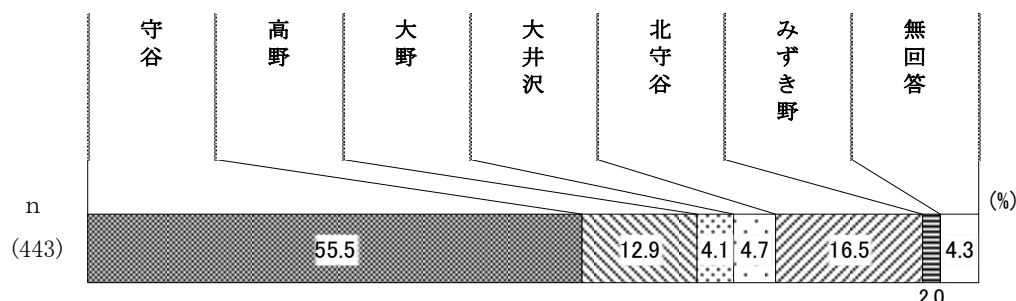
子育ての環境や支援への満足度を5段階評価でたずねたところ、「4（どちらかといえば子育てしやすい）」が38.0%で最も多く、次いで「3（どちらともいえない）」(36.0%)、「5（子育てしやすい）」(12.0%)の順となっており、平均得点は3.44点となっています。

2 就学前児童保護者

1. お住まいの地域について

■居住地

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1 つに○をつけてください。



【年齢別】

	n	守谷	高野	大野	大井沢	北守谷	みずき野	無回答
全体	443	55.5	12.9	4.1	4.7	16.5	2.0	4.3
0歳	106	64.2	12.3	2.8	2.8	11.3	0.9	5.7
1歳	79	55.7	11.4	1.3	11.4	15.2	1.3	3.8
2歳	68	57.4	11.8	5.9	1.5	10.3	5.9	7.4
3歳	63	42.9	14.3	4.8	6.3	27.0	3.2	1.6
4歳	62	53.2	12.9	4.8	3.2	19.4	1.6	4.8
5歳	62	51.6	16.1	6.5	3.2	21.0	-	1.6

※塗りつぶし枠は全体（平均）より割合が高くなっています。

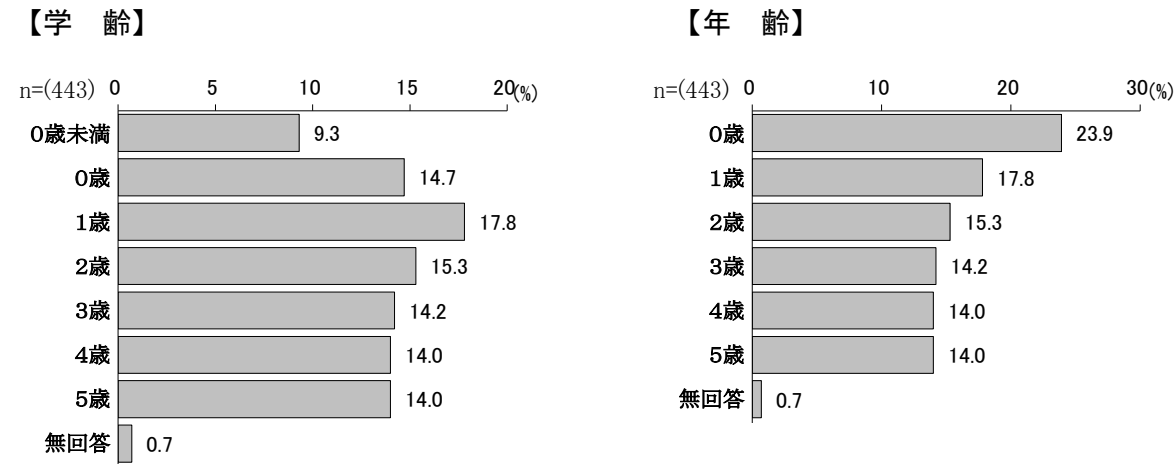
居住地区は、「守谷」が55.5%で最も多く、次いで「北守谷」(16.5%)、「高野」(12.9%)の順となっています。

年齢別にみると、「守谷」は“2歳以下”で全体より多く、「高野」「大野」「北守谷」は“3歳以上”で全体より多くなっています。

2. 子どもと家族の状況について

■年齢

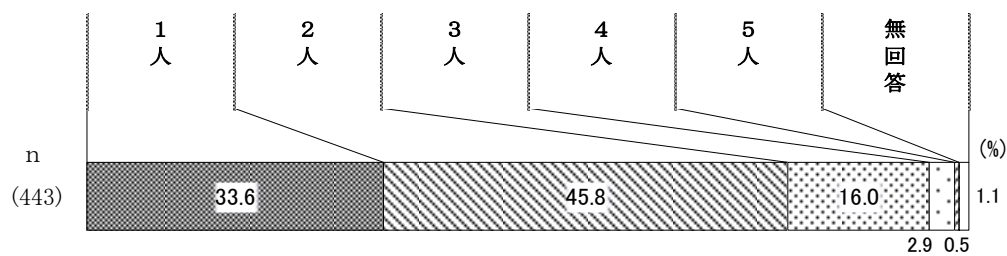
問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。



回答者の子どもの年齢は、「2歳」が17.8%で最も多く、次いで「3歳」(15.3%)、「1歳」(14.7%)、「4歳」(14.2%)の順となっています。

■子どもの数

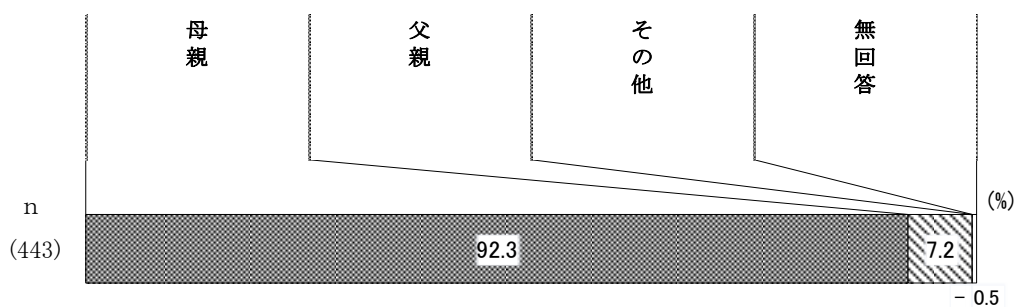
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。



子どもの数は、「2人」が45.8%で最も多く、次いで「1人」(33.6%)、「3人」(16.0%)と続いています。

■回答者

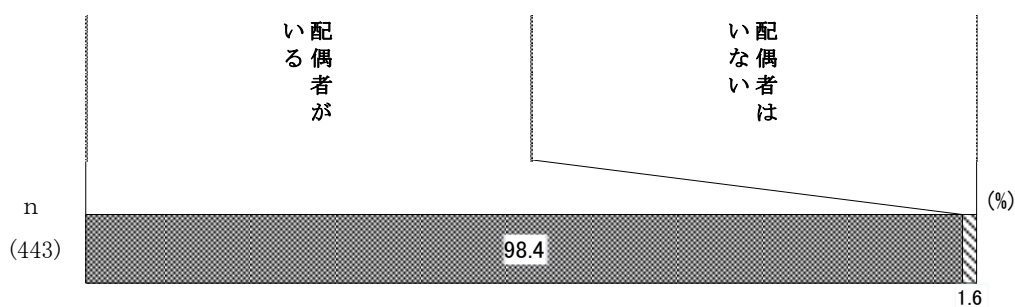
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



調査の回答者は、「母親」が92.3%を占め、「父親」は7.2%となっています。

■回答者の配偶関係

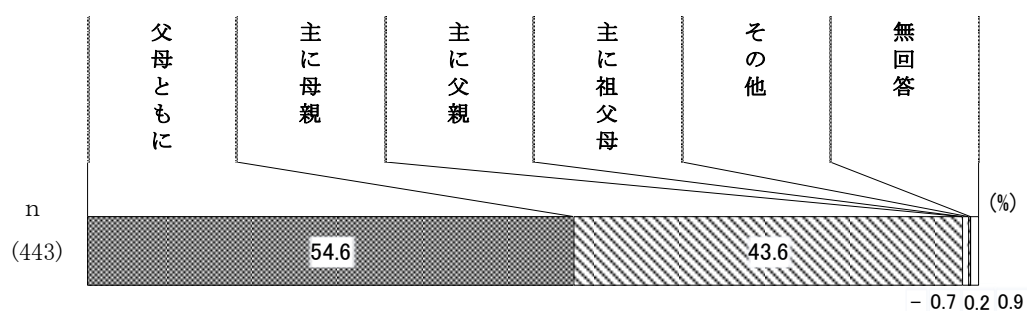
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が98.4%を占め、「配偶者がいない」は1.6%となっています。

■子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

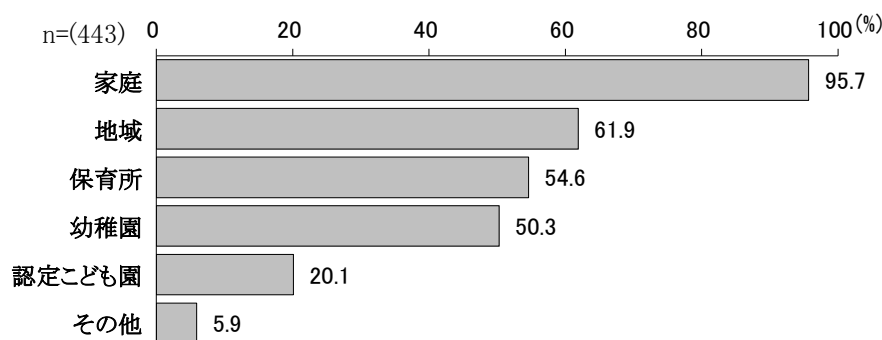


回答者の子どもの子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が54.6%、「主に母親」が43.6%となっています。

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

■子育てに大きく影響すると思われる環境

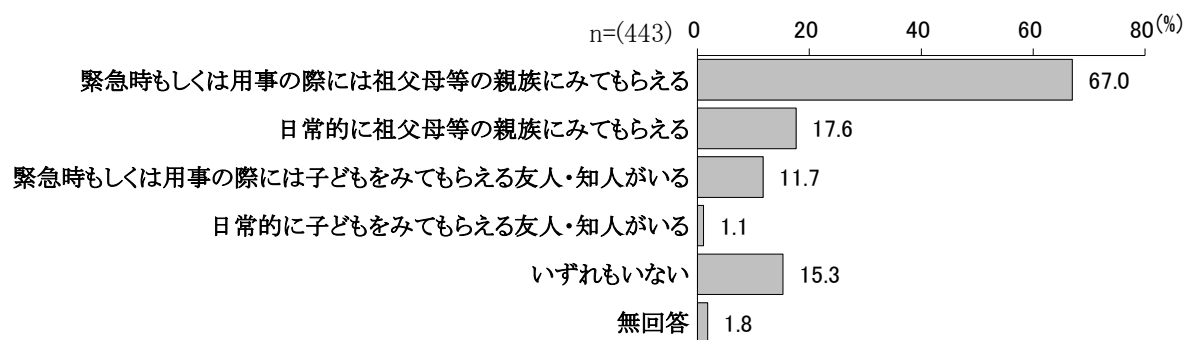
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



回答者の子どもの子育て（教育を含む）に最も影響すると思われる環境は、「家庭」が95.7%と最も高く、次いで「地域」(61.9%)、「保育所」(54.6%)、「幼稚園」(50.3%)の順となっています。

■日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無

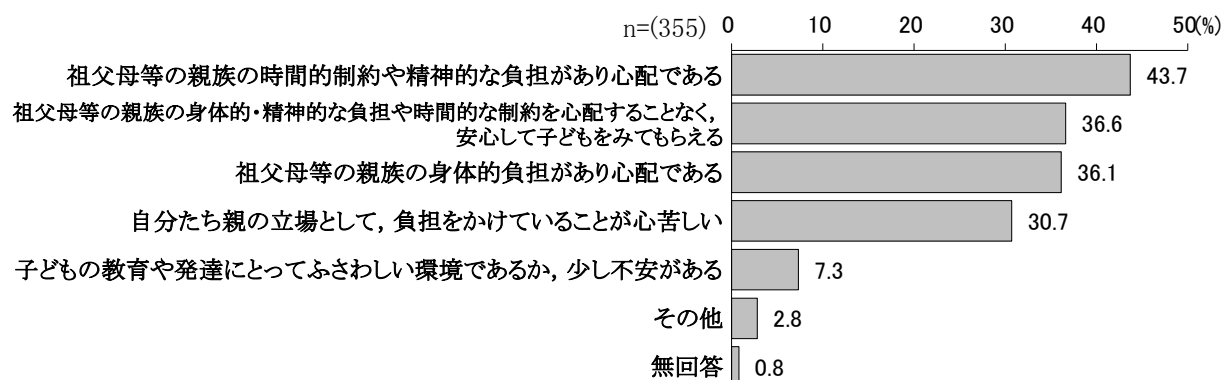
問8 保育所等施設の通所の有無に関わらず、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



回答者の子どもを日頃みてもらえる親族や知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が67.0%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(17.6%)、「いずれもない」(15.3%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(11.7%)の順となっています。

■祖父母等の親族の預かり状況

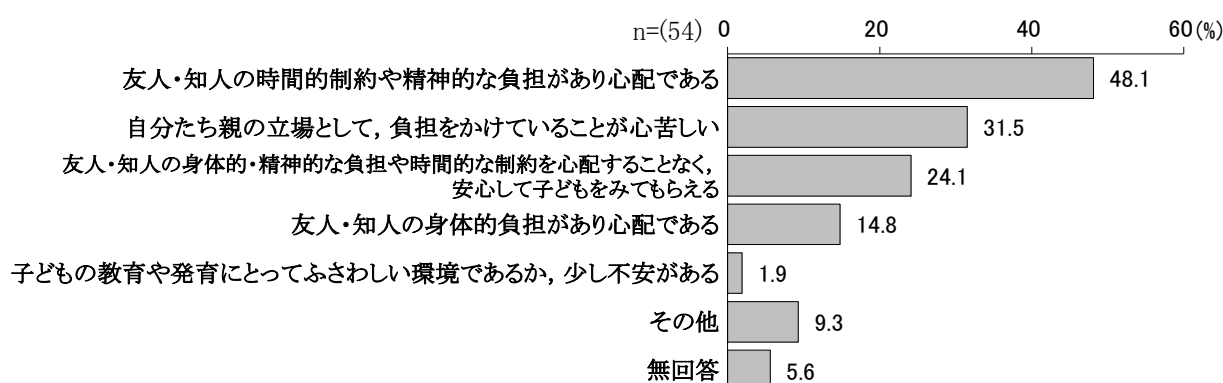
問8-1 問8で「1.」または「2.」に○をつけた方にお伺いします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担があり心配である」が43.7%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(36.6%)、「祖父母等の親族の身体的負担があり心配である」(36.1%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(30.7%)などの順となっています。

■友人・知人の預かり状況

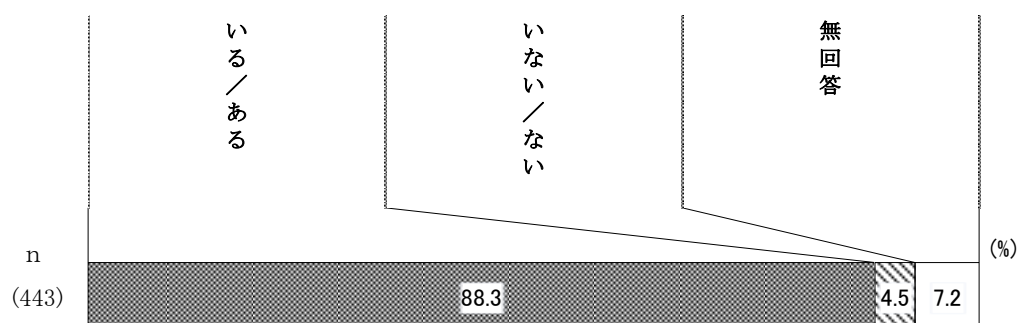
問8-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にお伺いします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



友人・知人に子どもをみてもらっている人に、その状況をたずねたところ、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担があり心配である」が48.1%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(31.5%)、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(24.1%)、「友人・知人の身体的負担があり心配である」(14.8%)などの順となっています。

■子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無

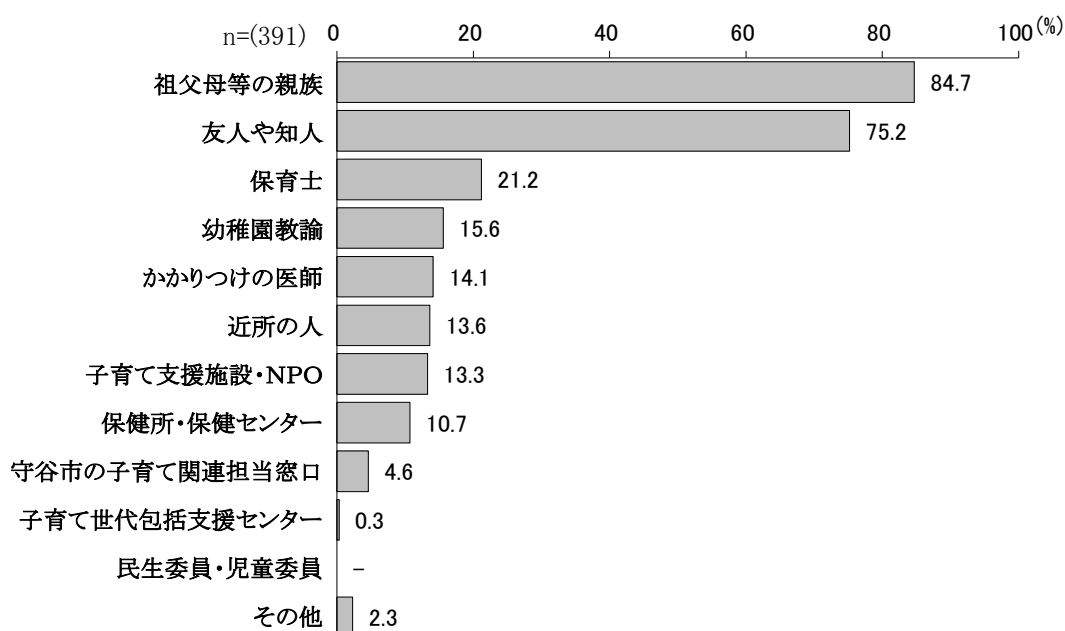
問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人の存在については、「いる／ある」が88.3%を占めており、「いない／ない」は4.5%となっています。

■子育てについて気軽に相談できる相手（先）

問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にお伺いします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。



気軽に相談できる相手（先）は、「祖父母等の親族」（84.7%）と「友人や知人」（75.2%）をあげる人が圧倒的に多く、身近な人を頼っていることがわかります。次いで「保育士」（21.2%）、「幼稚園教諭」（15.6%）、「かかりつけの医師」（14.1%）などとなっています。

■子育てをする上で周囲に望むサポート

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上であればよいと考える周囲からのサポートについて自由記述形式でたずねたところ、179人の方から記入がありました。1人の方が複数の内容を記載していることがあるため、意見の合計は238件となっています。記載内容をまとめると以下の通りとなっています。

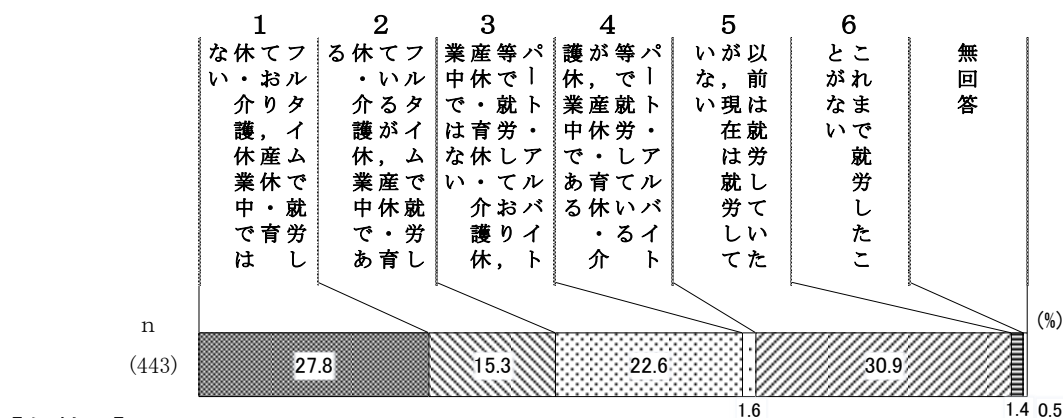
内 容	件 数
一時預かり事業の充実，利用料の減額	60
育児相談，アドバイス，話を聴いてもらえるなど精神的サポート	42
子育て交流の場や体験談が聞ける機会の提供・充実	19
情報提供の充実	15
保育所の増設，待機児童の解消，入所条件の緩和	14
地域や行政からの親や子どもに対する見守り・声掛け，近所付き合いを増やす	13
保育施設や習い事等への送迎サービス	9
保育所の保育時間の延長，保育内容の充実	8
経済的援助の充実	7
病児・病後児保育の充実	7
家事代行・訪問支援サービスの充実	6
子育てイベントの開催・充実	6
公園など屋外で遊べる場所の充実	5
児童センターなど屋内で遊べる場所の充実	5
子育て講座の開催	5
健診の回数の増加，土日受診可に	3
土日・祝日でも行政での手続きができるように	3
児童クラブ（学童保育）など，小学生の預かり事業の充実	2
その他	3
満足している，助かっている，特にサポートは必要ない	6
計	238

4. 保護者の就労状況について

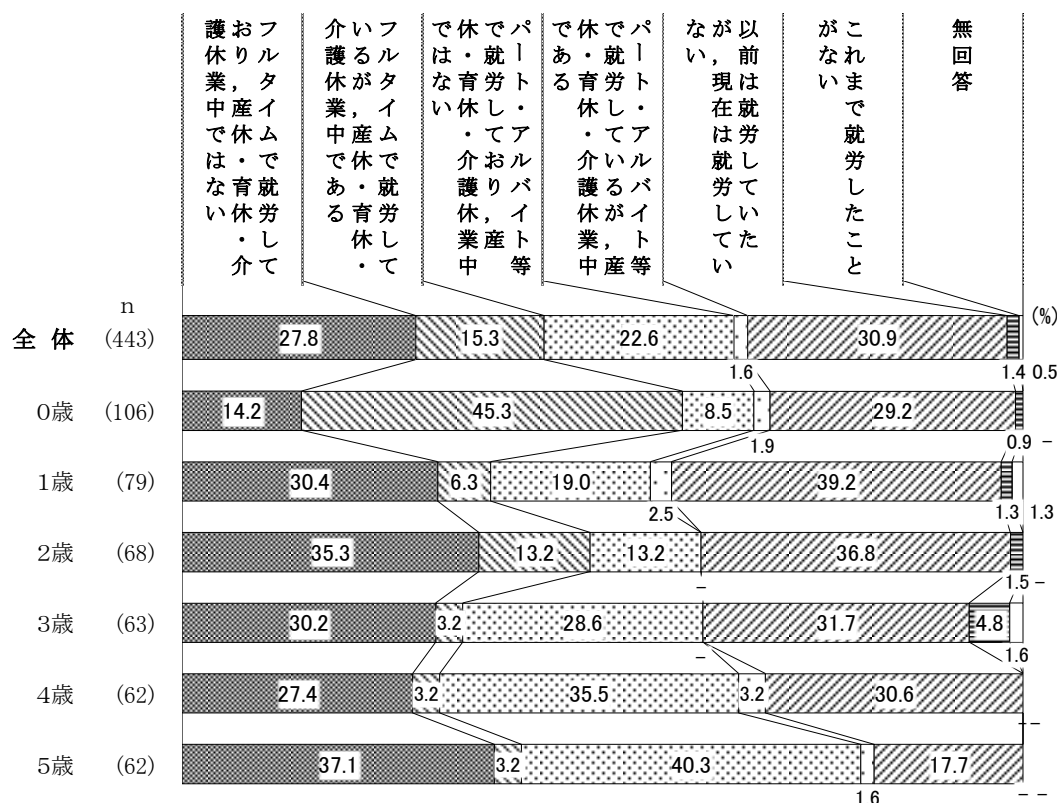
■母親の就労状況

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。

（１）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。



【年齢別】



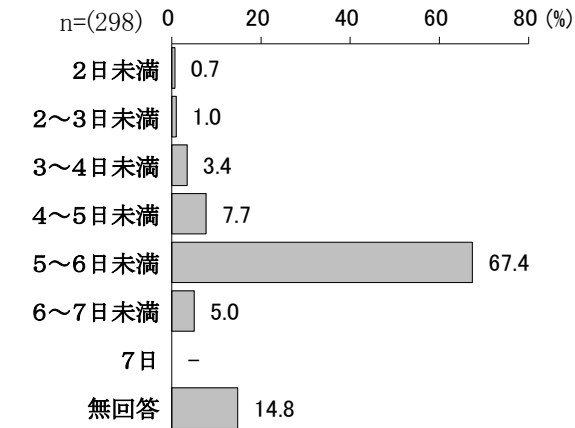
母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が30.9%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(27.8%)、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(22.6%)となっています。

年齢別では、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は“0歳”(45.3%)で最も多く、概ね年齢が上がるほど少なくなる傾向がみられます。一方、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は年齢が上がるほど多くなる傾向がみられ、6歳(40.3%)で最も多くなっています。

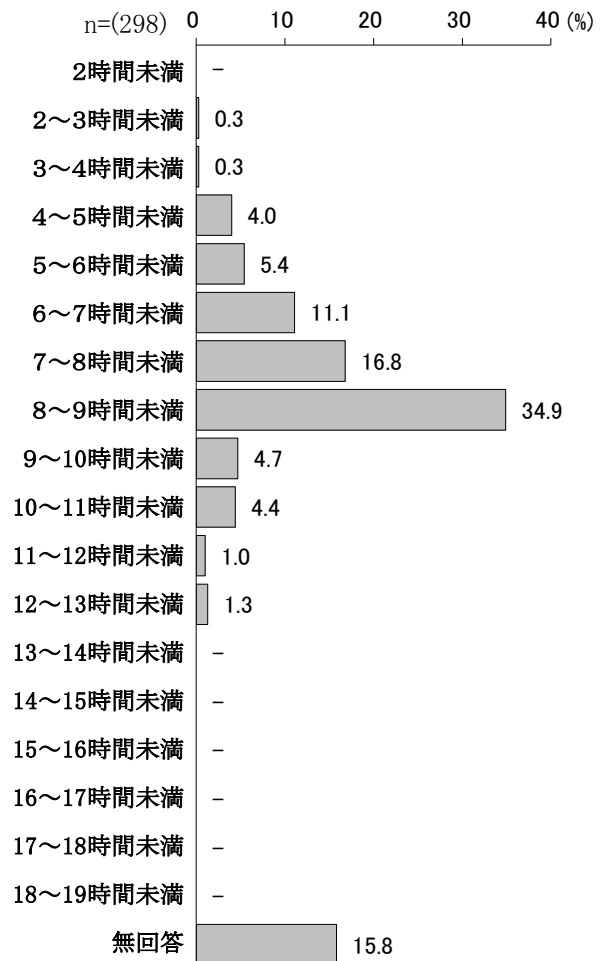
■母親の就労日数・就労時間

(1) -1 (1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で、時間は24時間制。)

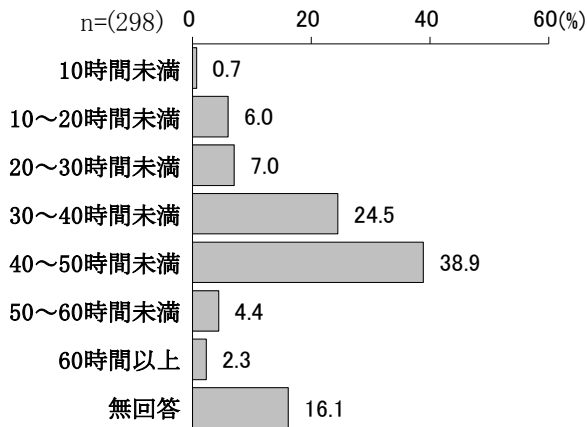
【就労日数(週当たり)】



【就労時間(1日当たり)】



【就労時間(週当たり)】

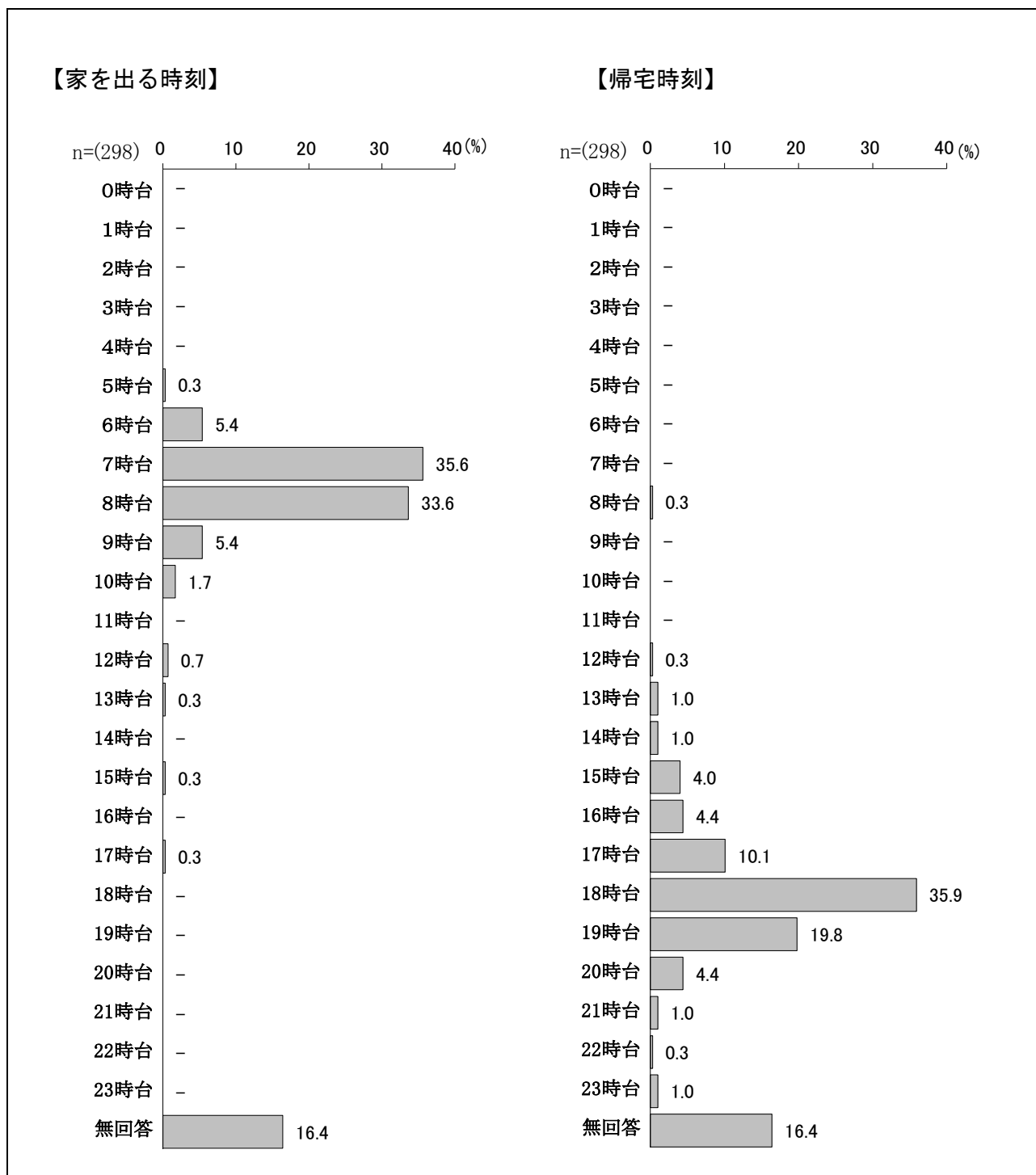


就労している母親の1週間当たりの就労日数は、「5～6日未満」が67.4%で最も多く、次いで「4～5日未満」(7.7%)、「6～7日未満」(5.0%)の順となっています。

1週間当たりの就労時間は、「40～50時間未満」が38.9%で最も多く、次いで「30～40時間未満」(24.5%)、「20～30時間未満」(7.0%)の順となっています。

1日当たりの就労時間は、「8～9時間未満」が34.9%で最も多く、次いで「7～8時間未満」(16.8%)、「6～7時間未満」(11.1%)の順となっています。

■母親の家を出る時刻，帰宅時刻

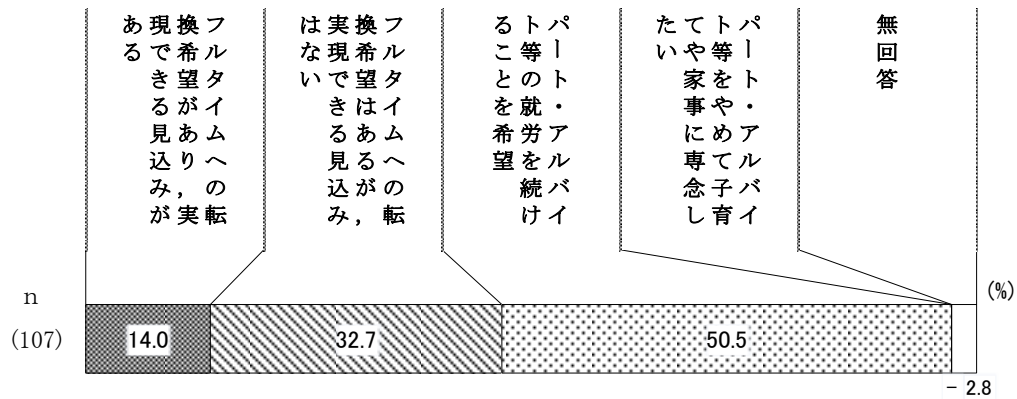


就労している母親の家を出る時刻は、「7時台」が35.6%で最も多く、次いで「8時台」(33.6%)、「6時台」と「9時台」(ともに5.4%)の順となっています。

帰宅時刻は、「18時台」が35.9%で最も多く、次いで「19時台」(19.8%)、「17時台」(10.1%)の順となっています。

■母親のフルタイムへの転換希望

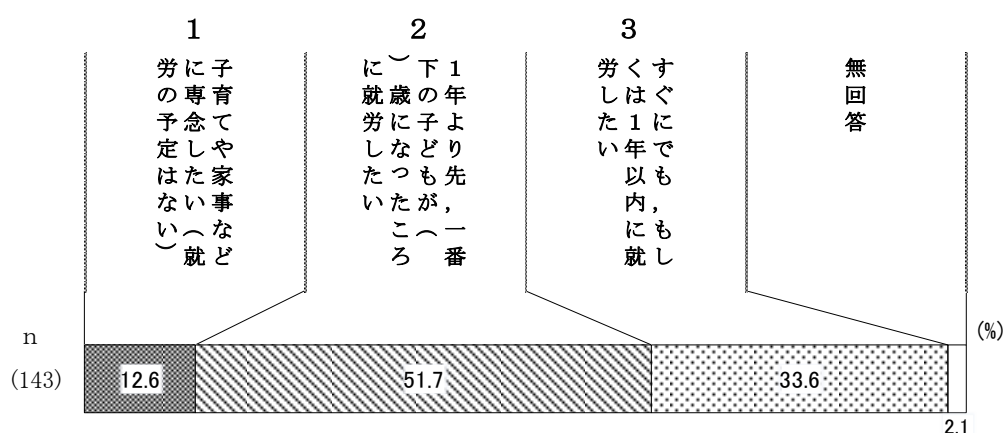
(1) -2 (1)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



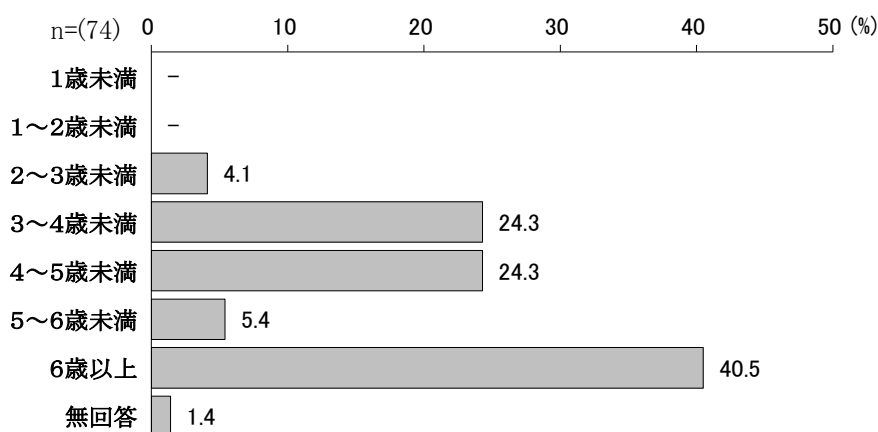
パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が50.5%を占め、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(32.7%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(14.0%)となっており、《フルタイムの希望はない》が50.5%に対し、《フルタイムの希望がある》は46.7%となっています。

■母親の就労希望

(1) -3 (1)で「5.」「6.」(就労していない)に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



【就労希望時期の末子年齢】(就労希望で2と回答した人)

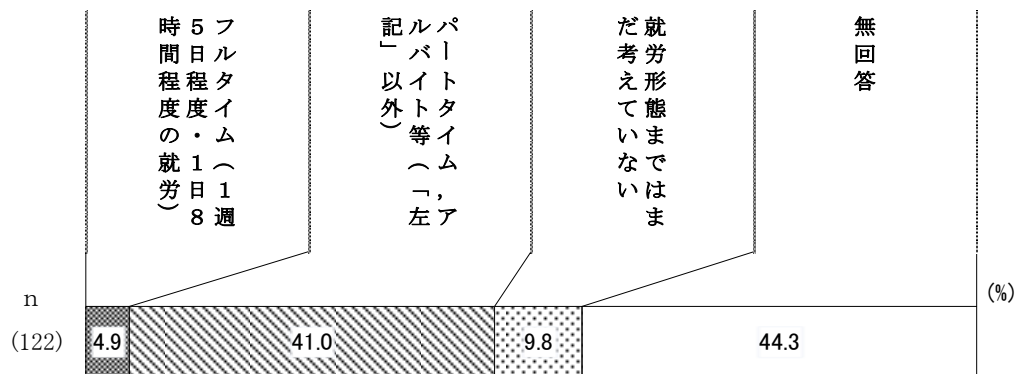


現在就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子が()歳になったころに就労したい」が51.7%を占め、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(33.6%)と合わせると、就労を希望している人は85.3%を占めています。

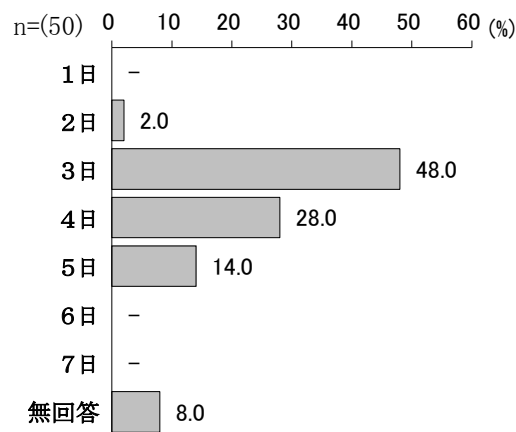
1年より先に就労を希望すると回答された母親が就職希望時の末子年齢は、「6歳以上」が40.5%で最も多く、次いで「3～4歳未満」と「4～5歳未満」(ともに24.3%)となっています。

■母親の就労希望

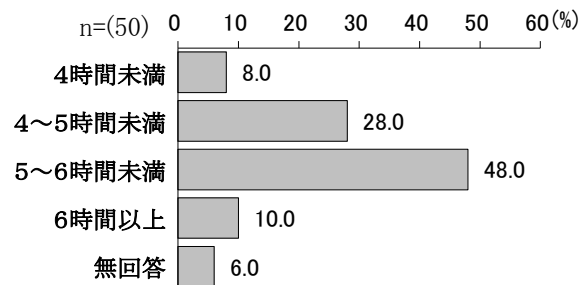
【就労希望形態】（就労希望で2または3と回答した人）



【就労希望日数（週当たり）】



【就労希望時間（1日当たり）】



※日数・時間は就労希望形態が「パートタイム、アルバイト等」の場合

就労したいと回答された母親が希望する就労形態は、「無回答」（44.3%）が多いものの、「パートタイム、アルバイト等」が41.0%を占めています。

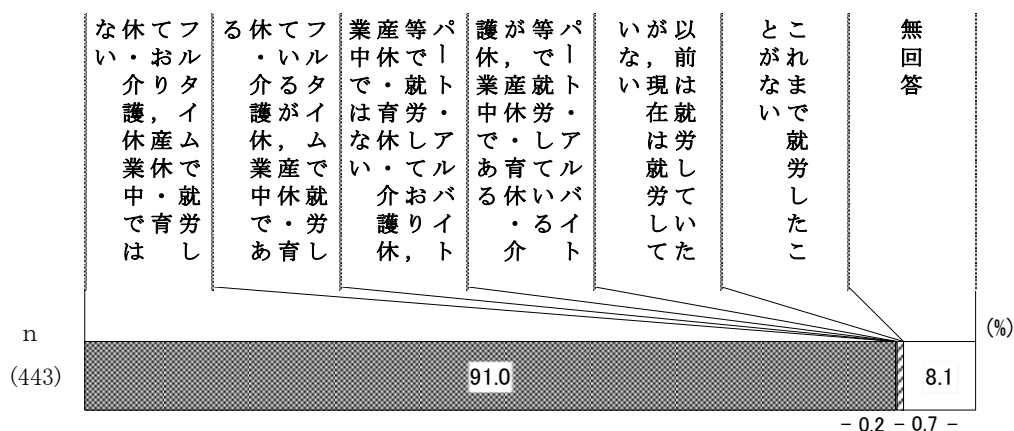
パートタイム、アルバイト等の就労を希望する人の1週間当たりの就労希望日数は、「3日」が48.0%で最も多く、次いで「4日」（28.0%）、「5日」（14.0%）の順となっています。

1日当たりの就労希望時間は、「5～6時間未満」が48.0%で最も多く、次いで「4～5時間未満」（28.0%）、「6時間以上」（10.0%）の順となっています。

■父親の就労状況

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

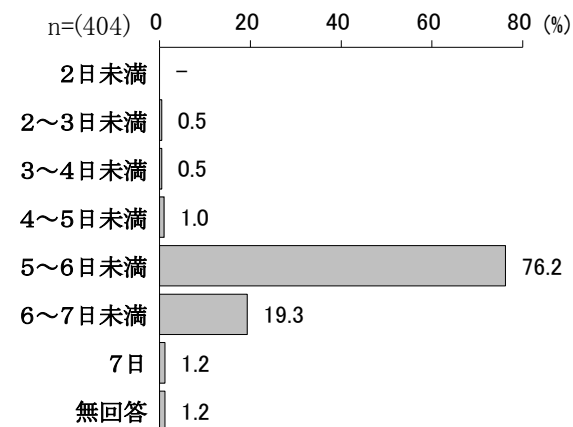


父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が91.0%を占めています。

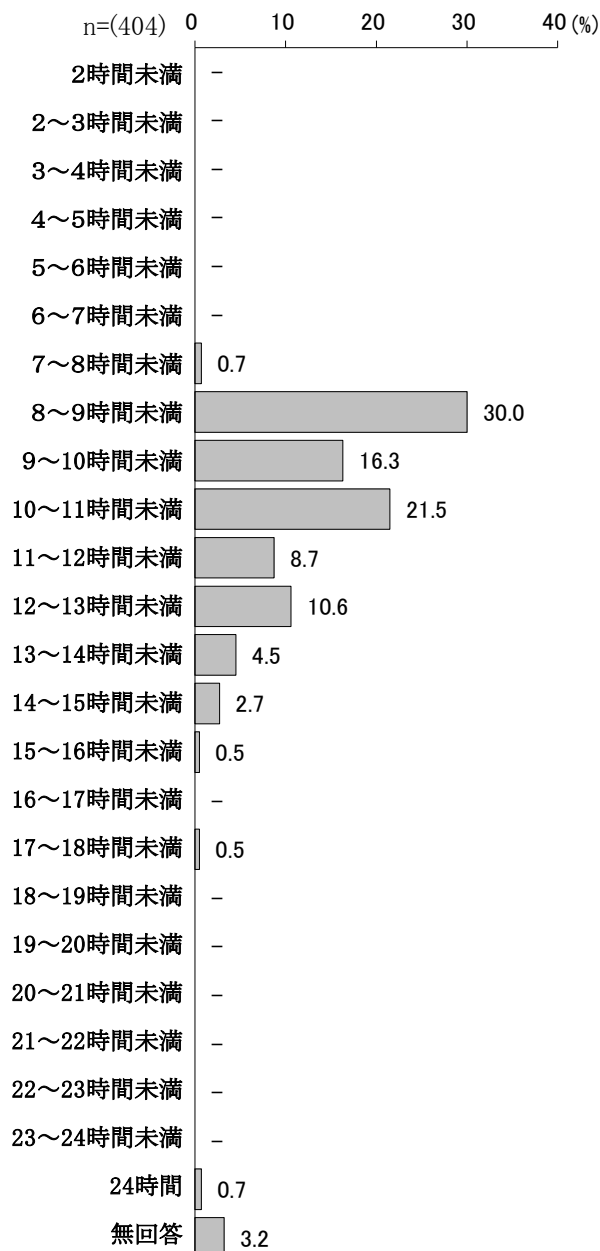
■父親の就労日数・就労時間

(2) -1 (2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で、時間は24時間制。)

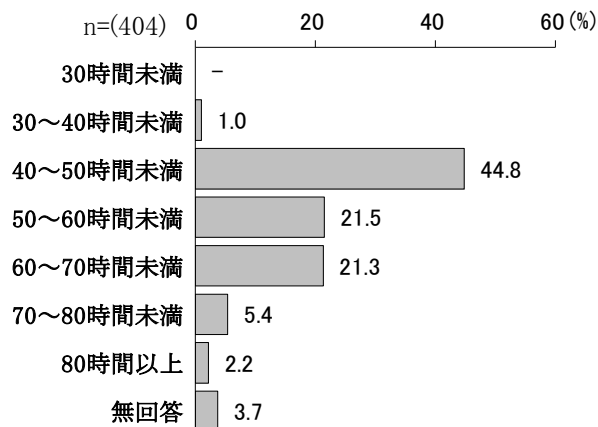
【就労日数 (週当たり)】



【就労時間 (1日当たり)】



【就労時間 (週当たり)】

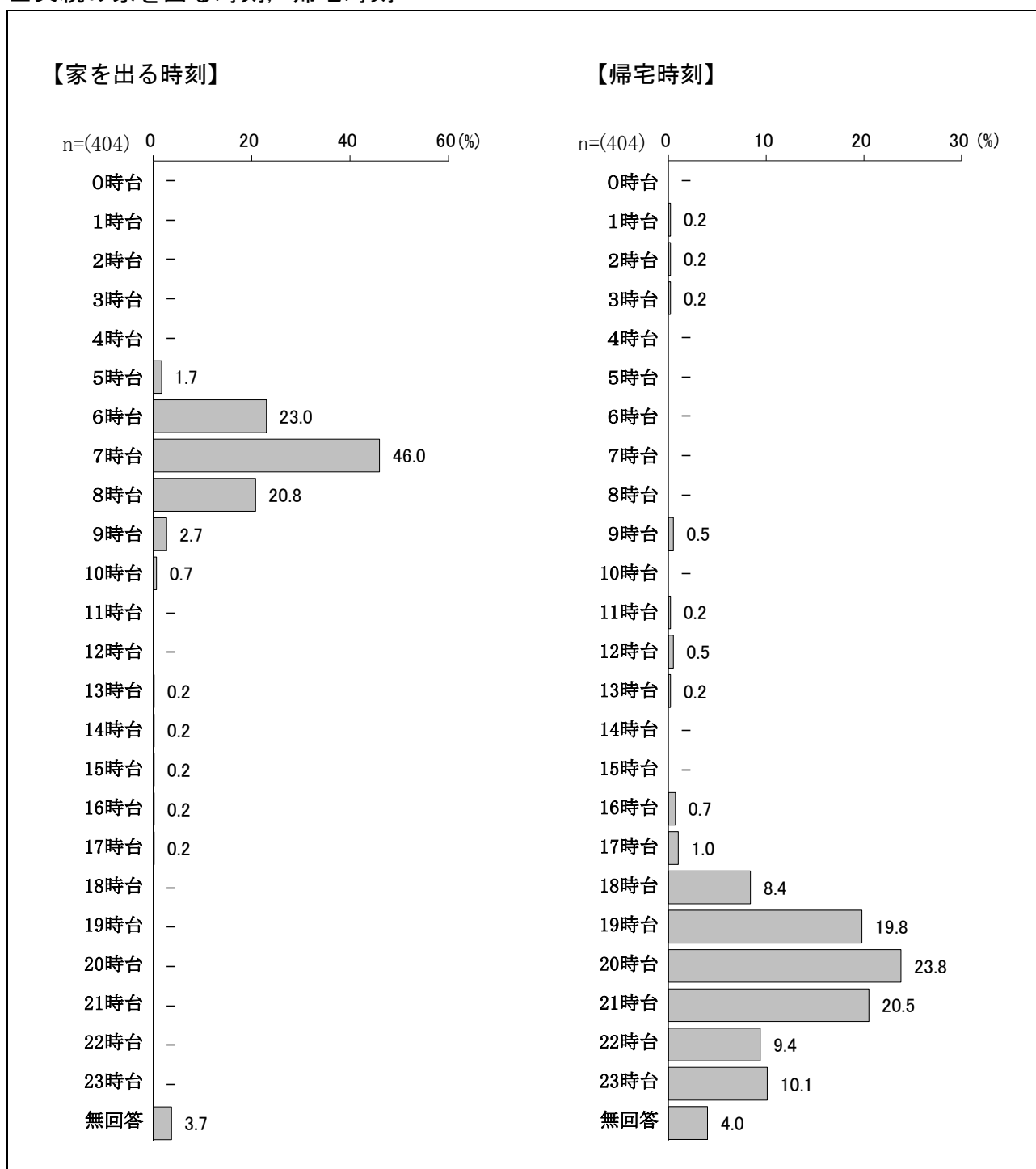


就労している父親の1週間当たりの就労日数は、「5～6日未満」が76.2%を占めており、次いで「6～7日未満」(19.3%)となっています。

1週間当たりの就労時間は、「40～50時間未満」が44.8%で最も多く、次いで「50～60時間未満」(21.5%)、「60～70時間未満」(21.3%)の順となっています。

1日当たりの就労時間は、「8～9時間未満」が30.0%で最も多く、次いで「10～11時間未満」(21.5%)、「9～10時間未満」(16.3%)の順となっています。

■父親の家を出る時刻，帰宅時刻



就労している父親の家を出る時刻は、「7時台」が46.0%で最も多く、次いで「6時台」(23.0%)、「8時台」(20.0%)の順となっています。

帰宅時刻は、「20時台」が23.8%で最も多く、次いで「21時台」(20.5%)、「19時台」(19.8%)の順となっています。

■父親のフルタイムへの転換希望

(2) -2で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(人)

n	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
1	-	1	-	-

パート・アルバイト等で就労している父親(該当者1人)のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」となっています。

■父親の就労希望

(2) -3 (2)で「5.」「6.」(就労していない)に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

(人)

n	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	無回答
3	-	-	2	1

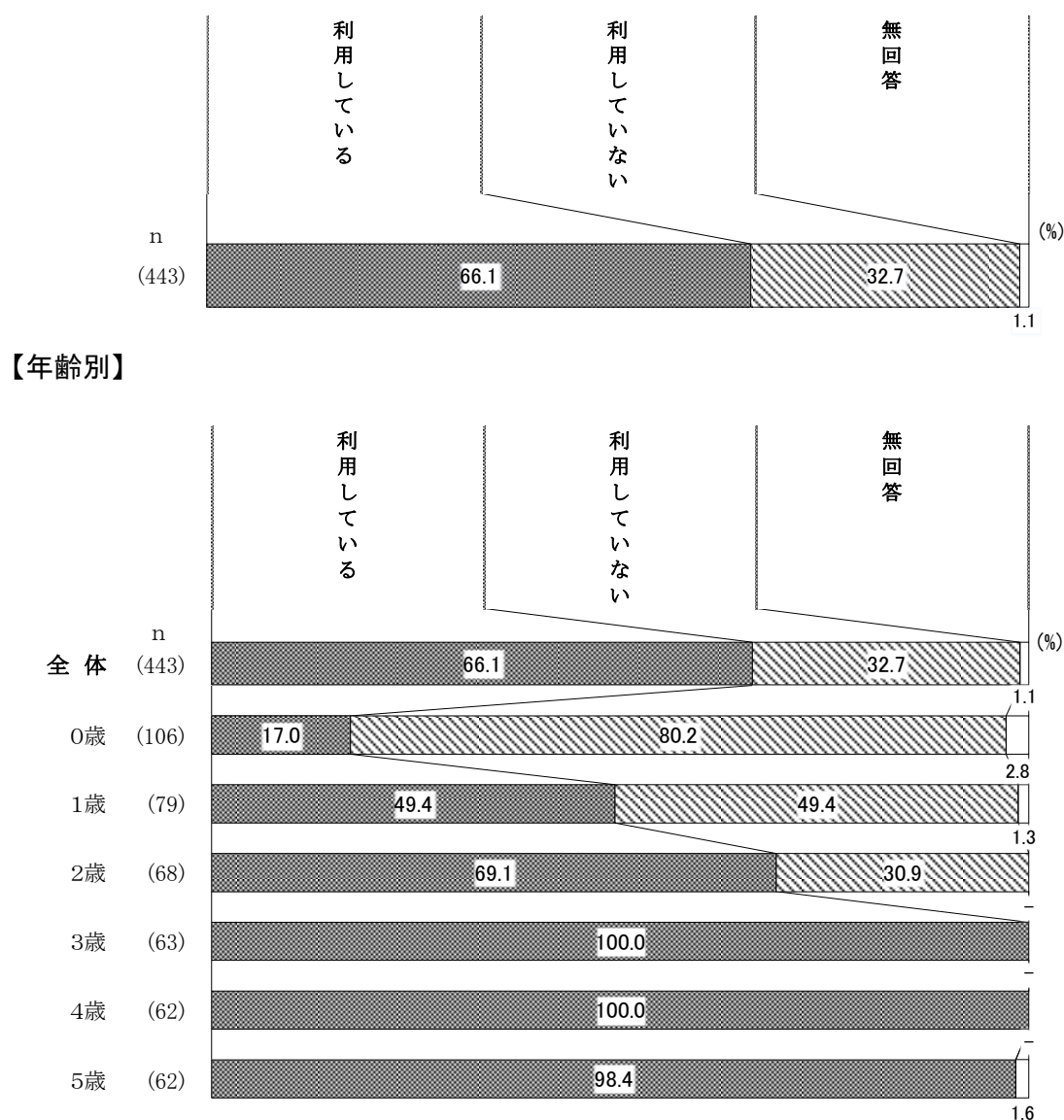
※「就労したい」と答えた人の就労希望時期および就労希望形態はいずれも無回答だった。

現在就労していない父親(該当者3人)の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2人となっています。

5. 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況について

■ 定期的な教育・保育事業の利用状況

問12 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

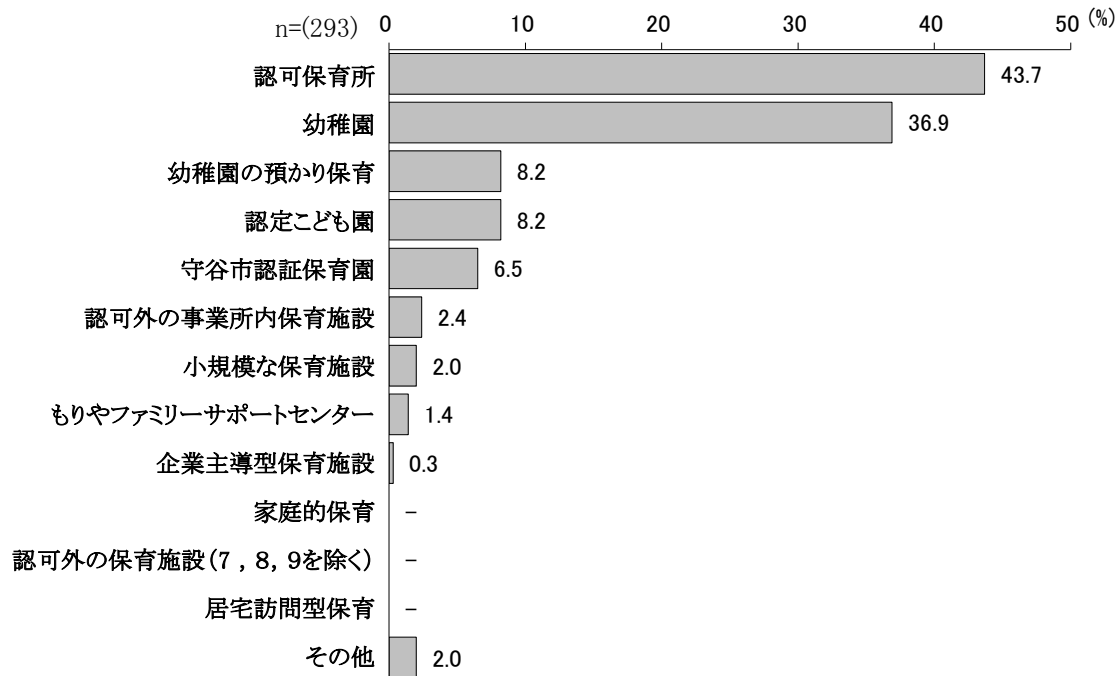


幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が66.1%、「利用していない」が32.7%となっています。

年齢別でみると、「利用している」は年齢が上がるほど多くなり、“3歳以上”では、ほぼ全数となっています。

■定期的に利用している教育・保育の事業

問12-1 問15で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



【年齢別】

	n	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	認可外の事業所内保育施設	守谷市認証保育園	企業主導型保育施設	認可外の保育施設	居宅訪問型保育	もりやファミリーサポートセンター	その他
全体	293	36.9	8.2	43.7	8.2	2.0	-	2.4	6.5	0.3	-	-	1.4	2.0
0歳	18	-	-	66.7	5.6	-	-	11.1	11.1	5.6	-	-	-	-
1歳	39	2.6	-	53.8	2.6	7.7	-	-	25.6	-	-	-	5.1	5.1
2歳	47	14.9	4.3	66.0	-	4.3	-	-	8.5	-	-	-	-	4.3
3歳	63	50.8	6.3	33.3	14.3	-	-	4.8	3.2	-	-	-	1.6	-
4歳	62	48.4	11.3	37.1	14.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6
5歳	61	62.3	18.0	29.5	4.9	1.6	-	3.3	1.6	-	-	-	1.6	1.6

利用している教育・保育事業は、「認可保育所」が43.7%で最も多く、次いで「幼稚園」(36.9%)、「幼稚園の預かり保育」と「認定こども園」(ともに8.2%)の順となっています。

年齢別にみると、「認可保育所」は“2歳以下”で最も多く、「幼稚園」は“3歳以上”で最も多くなっています。また、「幼稚園の預かり保育」は年齢が上がるほど多くなっており、“5歳”で18.0%と多くなっています。

【居住地区別】

(%)

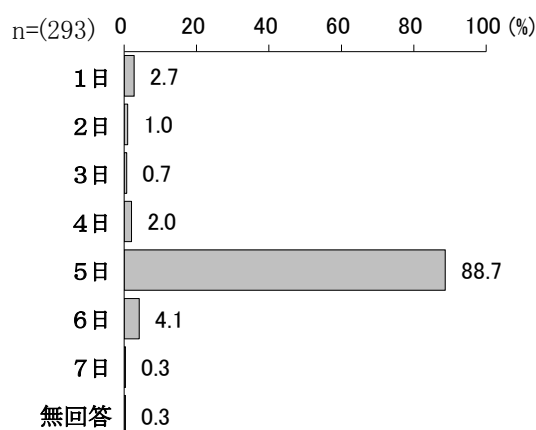
	n	幼稚園	幼稚園の預かり 保育	認可保育所	認定こども園	小規模な 保育施設	家庭的保育	認可外の事業所内 保育施設	守谷市認証 保育園	施設 企業主導型保育	認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	サポーターセンター もりやファミリー	その他
全体	293	36.9	8.2	43.7	8.2	2.0	-	2.4	6.5	0.3	-	-	1.4	2.0
守 谷	156	33.3	7.1	50.0	6.4	1.9	-	2.6	3.8	0.6	-	-	1.9	2.6
高 野	40	30.0	12.5	52.5	2.5	2.5	-	-	12.5	-	-	-	-	-
大 野	12	50.0	8.3	25.0	16.7	-	-	8.3	-	-	-	-	-	8.3
大井沢	14	21.4	7.1	28.6	14.3	7.1	-	-	21.4	-	-	-	-	-
北守谷	53	52.8	9.4	24.5	17.0	1.9	-	3.8	7.5	-	-	-	1.9	1.9
みずき野	7	57.1	14.3	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

居住地区別では、「認可保育所」は“守谷地区”（50.0%），“高野地区”（52.5%），“大井沢地区”（28.6%）で最も多く、「幼稚園」は“大野地区”（50.0%），“北守谷地区”（52.8%），“みずき野地区”（57.1%）で最も多くなっています。また、「幼稚園の預かり保育所」は“高野地区”（12.5%）“みずき野地区”（14.3%）で比較的多く、「認定こども園」は“大野地区”（16.7%）と“北守谷地区”（17.0%）で比較的多くなっています。

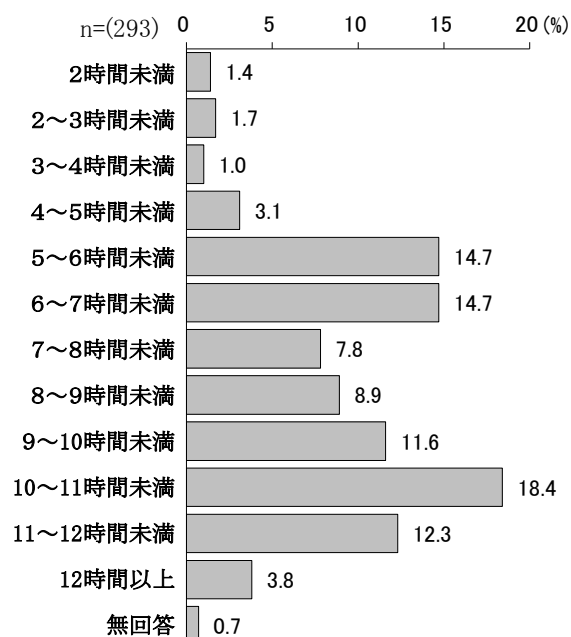
■現在の利用日数、利用時間

問12-2 問12で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

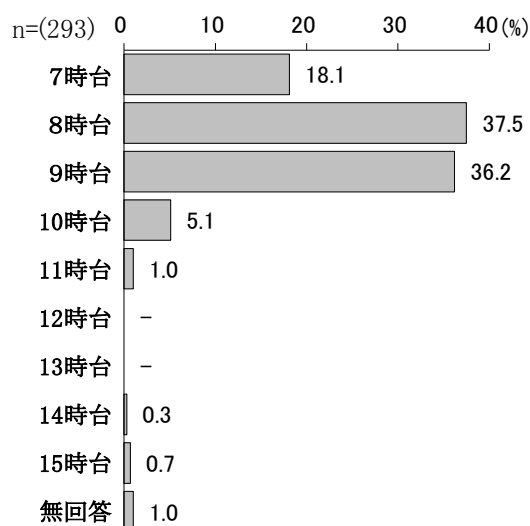
【現在の利用日数（週当たり）】



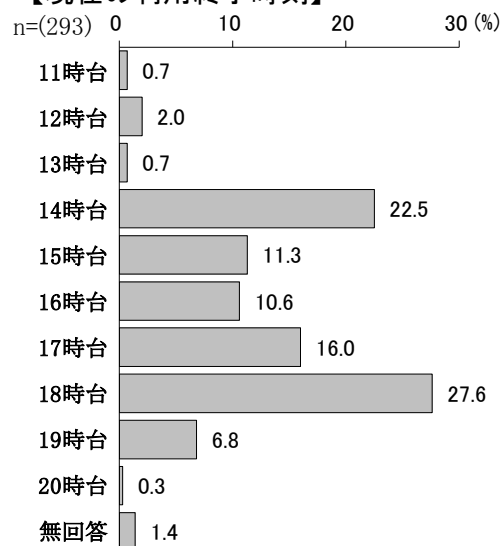
【現在の利用時間（1日当たり）】



【現在の利用開始時刻】



【現在の利用終了時刻】

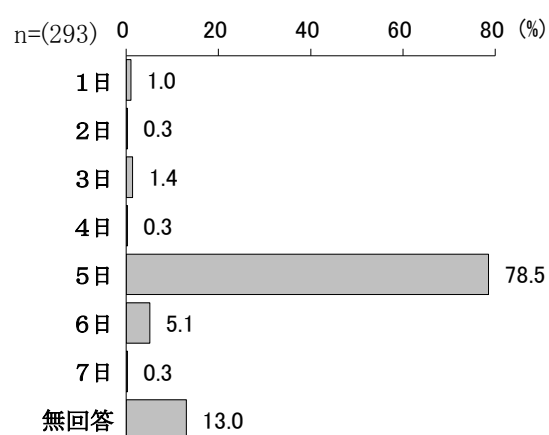


教育・保育事業の1週間当たりの利用日数は、「5日」が88.7%を占めています。1日当たりの利用時間は「10～11時間未満」が18.4%で最も多く、次いで「5～6時間未満」と「6～7時間未満」（ともに14.7%）、「11～12時間未満」（12.3%）の順となっています。

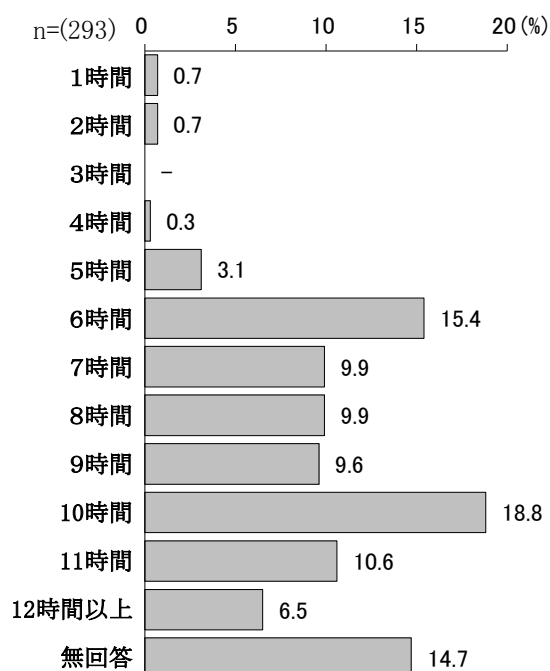
利用開始時刻は、「8時台」（37.5%）が最も多く、次いで「9時台」（36.2%）、「7時台」（18.1%）の順となっています。利用終了時刻は、「18時台」（27.6%）が最も多く、次いで「14時台」（22.5%）、「17時台」（16.0%）の順となっています。

■利用希望日数，利用時間

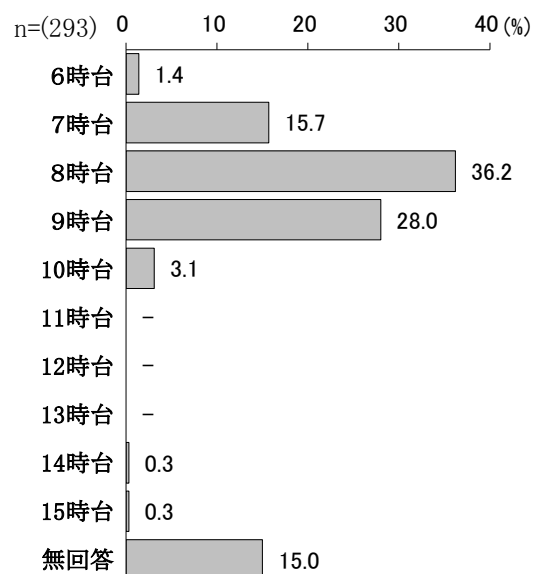
【利用希望日数（週当たり）】



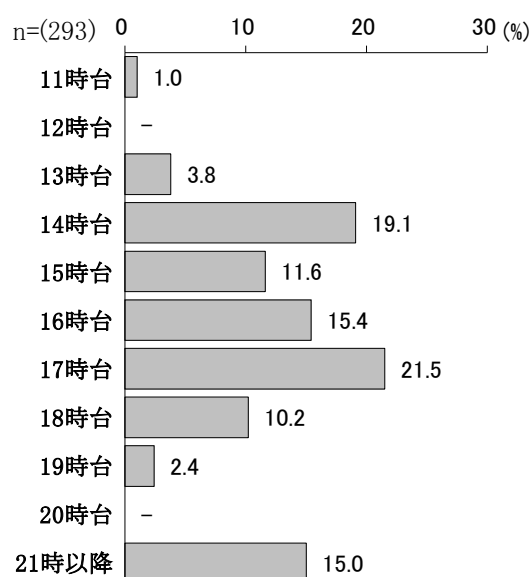
【利用希望時間（1日当たり）】



【利用希望開始時刻】



【利用希望終了時刻】

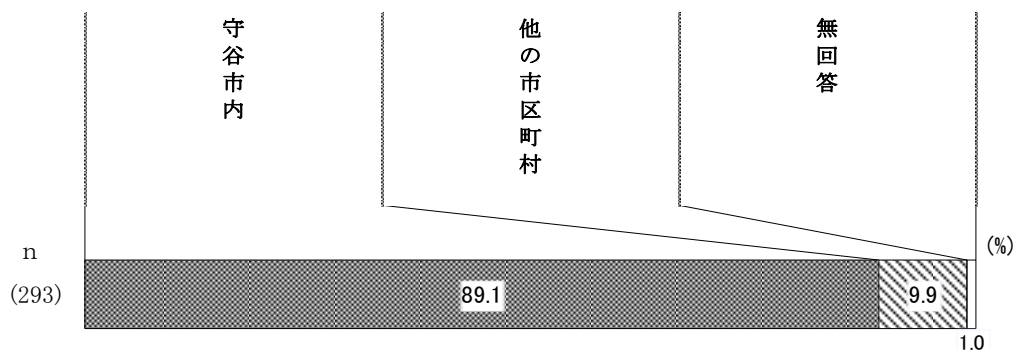


今後希望する1週間当たりの利用日数は、「5日」が78.5%で最も多く、次いで「6日」(5.1%)となっています。1日当たりの利用時間は「10時間」(18.8%)が最も多く、次いで「6時間」(15.4%)、「11時間」(10.6%)、「7時間」と「8時間」(ともに9.9%)の順となっています。

希望する利用開始時刻は、「8時台」(36.2%)が最も多く、次いで「9時台」(28.0%)、「7時台」(15.7%)の順となっています。利用希望終了時刻は、「17時台」(21.5%)が最も多く、次いで「14時台」(19.1%)、「16時台」(15.4%)の順となっています。

■利用している教育・保育の事業の実施場所

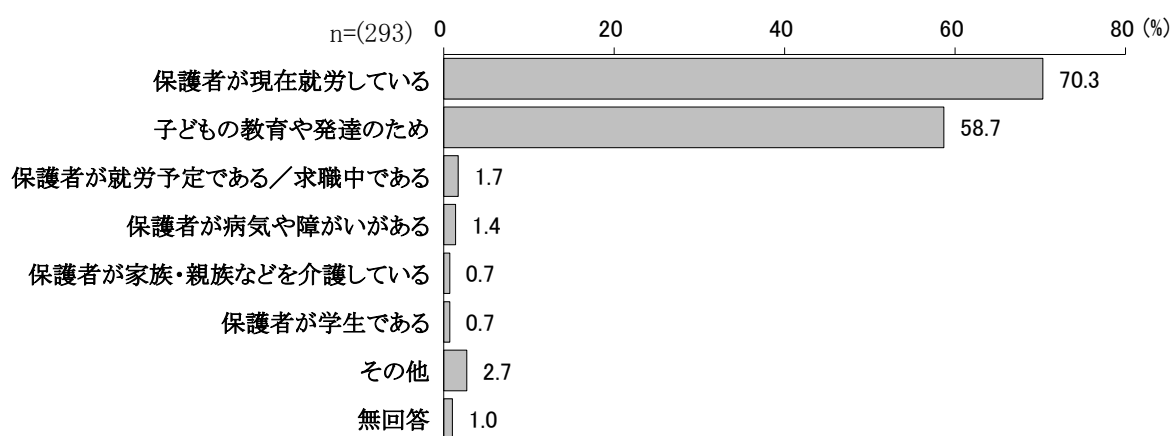
問12-3 問12で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。現在、利用している教育・保育事業の実施場所がどこであるか、当てはまる番号1つに○をつけてください。



現在利用している教育・保育の事業の実施場所は、「守谷市内」が89.1%を占めています。

■平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由

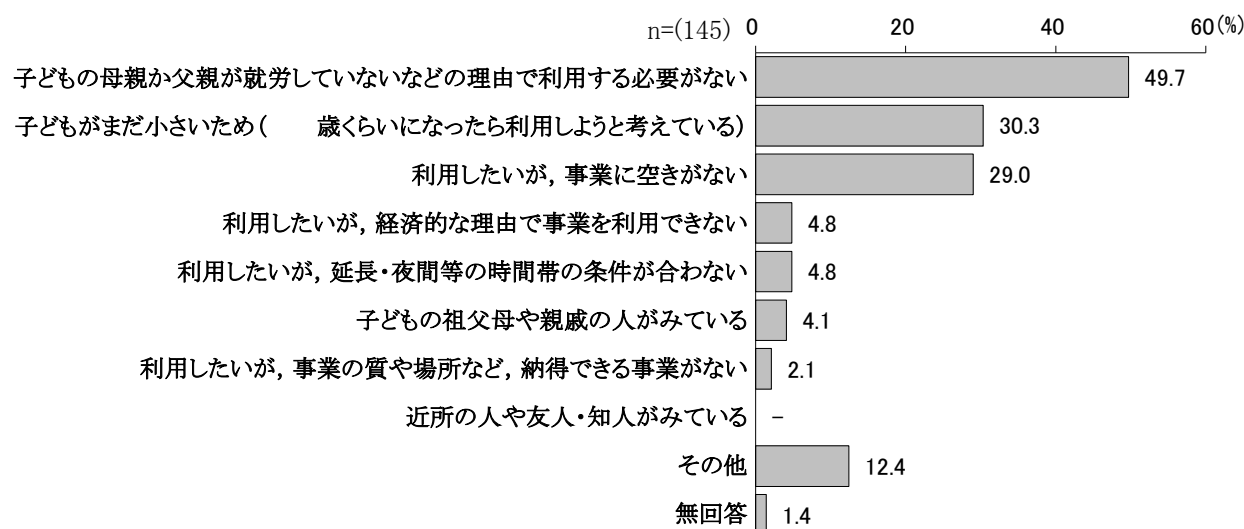
問12-4 問12で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。



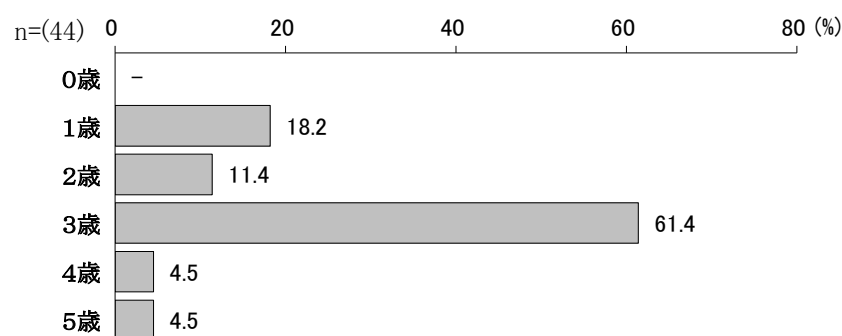
平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「保護者が現在就労している」が70.3%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が58.7%となっており、それ以外の理由はわずかとなっています。

■教育・保育の事業を利用していない理由

問12-5 問12で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。



【利用したい年齢】

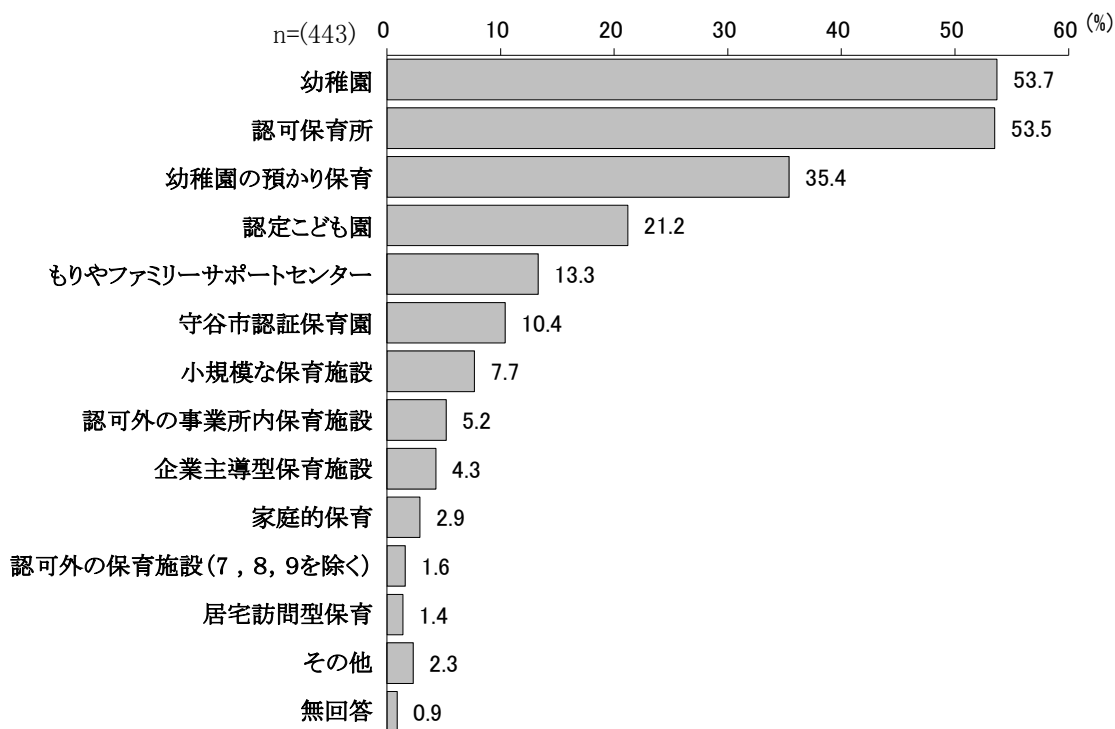


現在、教育・保育の事業を利用していない理由は、「子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない」が49.7%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）」（30.3%）、「利用したいが、事業に空きがない」（29.0%）の順となっています。

また、「子どもがまだ小さいため」と回答した人に、子どもが何歳になったら利用しようと考えているかかったところ、「3歳」が61.4%で最も多く、次いで「1歳」（18.2%）、「2歳」（11.4%）となっています。

■教育・保育の事業として、定期的に利用したい事業

問13 すべての方にお伺いします。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。



現在、利用している利用していないにかかわらず、教育・保育の事業で定期的に利用したいと考えている事業は、「幼稚園」が53.7%で最も多く、次いでわずかの差で「認可保育所」(53.5%)となっています。以下、「幼稚園の預かり保育」(35.4%)、「認定こども園」(21.2%)、「もりやファミリーサポートセンター」(13.3%)の順となっています。

【年齢別】

(%)

	n	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	認可外の事業所内保育施設	守谷市認証保育園	企業主導型保育施設	認可外の保育施設	居宅訪問型保育	サポーターセンター もりやファミリー	その他	無回答
全体	443	53.7	35.4	53.5	21.2	7.7	2.9	5.2	10.4	4.3	1.6	1.4	13.3		2.3
0歳	106	43.4	33.0	72.6	30.2	15.1	4.7	11.3	20.8	6.6	3.8	1.9	19.8	3.8	-
1歳	79	57.0	31.6	54.4	22.8	11.4	3.8	7.6	13.9	6.3	3.8	1.3	17.7	3.8	1.3
2歳	68	44.1	25.0	54.4	10.3	5.9	2.9	1.5	8.8	-	-	-	7.4	1.5	-
3歳	63	61.9	47.6	49.2	22.2	1.6	-	4.8	6.3	4.8	-	-	11.1	1.6	-
4歳	62	58.1	40.3	38.7	24.2	4.8	1.6	-	-	3.2	-	3.2	11.3	1.6	3.2
5歳	62	66.1	38.7	37.1	11.3	1.6	3.2	1.6	4.8	3.2	-	1.6	8.1	-	1.6

【居住地区別】

(%)

	n	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	認可外の事業所内保育施設	守谷市認証保育園	企業主導型保育施設	認可外の保育施設	居宅訪問型保育	サポーターセンター もりやファミリー	その他	無回答
全 体	443	53.7	35.4	53.5	21.2	7.7	2.9	5.2	10.4	4.3	1.6	1.4	13.3	2.3	0.9
守 谷	246	54.5	33.3	55.3	19.1	8.1	4.1	6.1	10.2	4.1	1.6	1.2	13.8	2.4	0.4
高 野	57	45.6	35.1	63.2	21.1	3.5	-	1.8	8.8	3.5	-	1.8	7	3.5	1.8
大 野	18	61.1	38.9	38.9	11.1	5.6	-	5.6	11.1	11.1	-	5.6	-	-	-
大井沢	21	38.1	38.1	61.9	33.3	19	4.8	4.8	14.3	4.8	4.8	-	14.3	-	-
北守谷	73	64.4	39.7	41.1	30.1	8.2	1.4	6.8	11	5.5	2.7	1.4	17.8	2.7	2.7
みずき野	9	66.7	33.3	44.4	11.1	-	-	-	11.1	-	-	-	11.1	-	-

年齢別では、「幼稚園」は“1歳”(57.0%)，“3歳”(61.9%)，“4歳”(58.1%)，“5歳”(66.1%)で最も多く、「認可保育所」は“0歳”(72.6%)，“2歳”(54.4%)で最も多くなっています。「幼稚園の預かり保育」は“3歳”と“4歳”で4割以上となっています。

居住地区別では、「幼稚園」は“大野地区”(61.1%)，“北守谷地区”(64.4%)，“みずき野地区”(66.7%)で最も多く、「認可保育所」は“守谷地区”(55.3%)，“高野地区”(63.2%)，“大井沢地区”(61.9%)で最も多くなっています。「幼稚園の預かり保育」はいずれの地区でも3割台となっています。

■利用希望事業への期待

問13で選んだ事業に何を期待しますか。

利用を希望する事業に期待することを自由記述形式でたずねたところ、325人の方から記入がありました。記載内容を問13で選んだ事業ごとに分類すると以下の通りとなっています。1人の方が複数の事業を選んだり、複数の意見を記載していることがあるため、意見の合計は397件（延べ929件）となっています。

(件) (人)

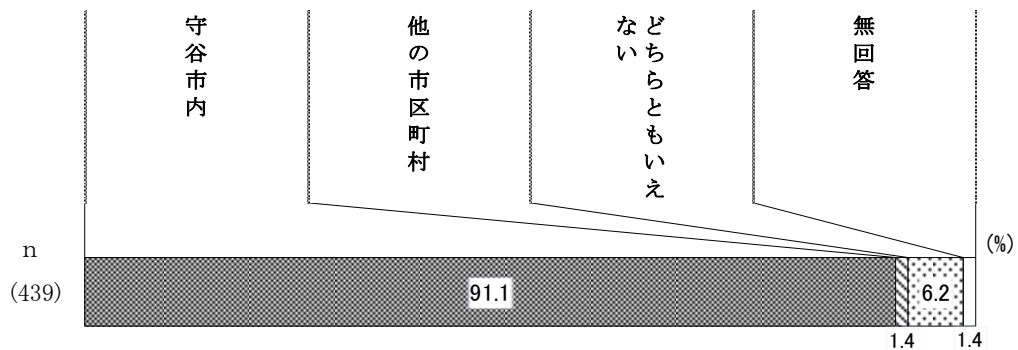
	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	認可外の事業所内保育施設	守谷市認証保育園	企業主導型保育施設	認可外の保育施設	居宅訪問型保育	もりやファミリースupportセンター	その他	計(延べ回答数)	計(回答者数)
(教育・保育内容)															
安心して預けられる(安心・安全・衛生的)	46	42	74	31	15	3	8	13	13	13	4	22	3	287	98
集団生活への適応・関わり方の学習	60	30	31	15	5	2	5	8	3	3	2	3	1	168	78
教育内容の充実・高度化	15	8	17	7	0	0	0	3	0	0	0	3	1	54	32
子どもが楽しめる, のびのび過ごせる	14	6	20	7	4	1	0	1	1	1	1	2	0	58	30
子どもの発達度に応じた教育・保育	16	13	14	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	52	29
保育士の質の向上, 愛情を持って接する	9	4	13	6	0	0	1	1	0	0	0	1	0	35	19
基本的な生活習慣を身につけさせる, しつけをする	9	6	6	5	0	0	0	2	1	1	0	1	0	31	14
行事・イベントの充実	5	3	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	15	7
食育, 給食の実施, アレルギーへの対応	3	4	6	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	18	7
子どもの心の成長, 情操教育, 思いやりの心を養う	3	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	11	5
体力を身につけさせる, スポーツ等の充実	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	4
子育て相談の充実	2	2	1	1	0	0	0	1	1	2	0	1	0	11	3
(施設・制度面)															
預かり時間の延長・緊急時の預かり対応	8	9	10	5	6	3	4	4	2	3	0	12	1	67	20
保育所の増設, 待機児童の解消	5	5	13	6	3	0	1	2	1	1	1	3	0	41	16
利用料金が安い, 経済的支援	8	4	2	1	1	0	1	2	0	1	1	2	0	23	10
土日祝日・長期休暇中の稼働対応	0	1	5	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	11	5
親の就労環境の補助・充実	1	2	4	2	1	1	1	2	0	0	0	2	1	17	4

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	認可外の事業所内保育施設	守谷市認証保育園	企業主導型保育施設	認可外の保育施設	居宅訪問型保育	もりやファミリーサポートセンター	その他	計(延べ回答数)	計(回答者数)
病児・病後児保育の充実	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2
利用制限(人数等)の緩和	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
その他	2	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	3
特になし、現状で満足している	6	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	11	10
計(延べ回答数)	214	146	231	99	38	11	23	44	22	25	9	58	9	929	
計(回答者数)	174	118	183	76	29	9	18	33	17	6	6	47	8		397

利用を希望する事業に期待することとしては、“安心して預けられる（安心・安全・衛生的）”が98人で最も多く、次いで、“集団生活への適応・関わり方の学習”（78人），“教育内容の充実・高度化”（32人），“子どもが楽しめる、のびのび過ごせる”（30人）となっています。

■教育・保育事業を利用したい場所

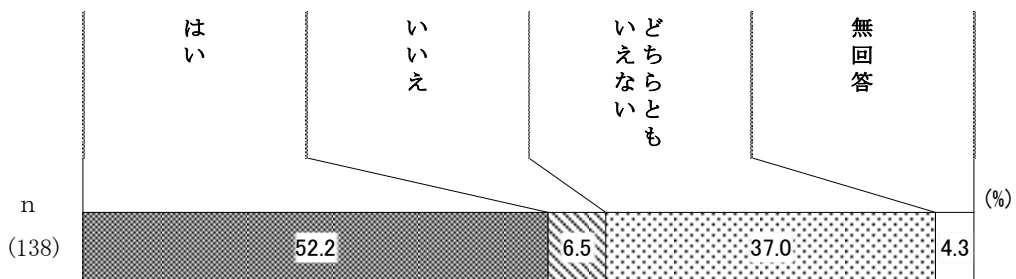
問13-1 教育・保育事業を利用したい場所についてお伺いします。いずれかに○をつけてください。



平日の教育・保育の事業を利用したい場所は、「守谷市内」が91.1%を占めています。

■幼稚園の利用意向

問13-2 問13で、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3.」～「12.」にも○をつけた方にお伺いします。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

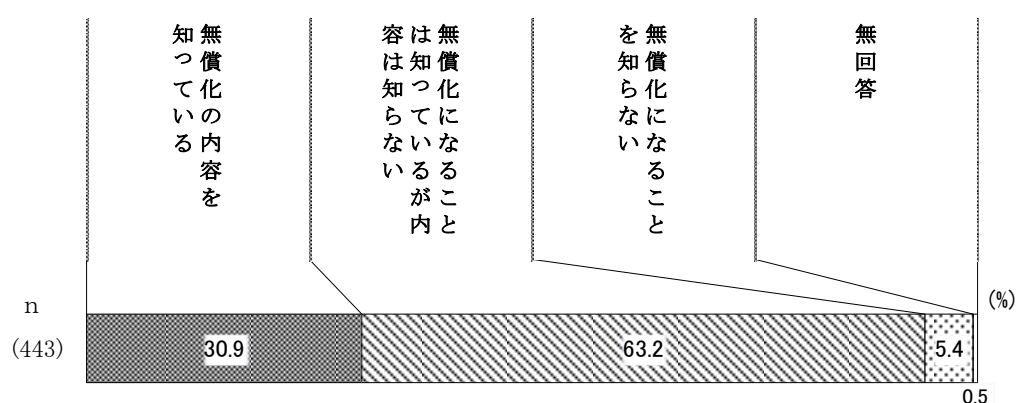


幼稚園（「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」）の利用に対する強い意向は、「はい」が52.2%で最も多く、次いで「どちらともいえない」（37.0%）、「いいえ」（6.5%）となっています。

6. 幼児教育・保育の無償化について

■幼児教育・保育の無償化に対する認知度

問14 2019年10月から幼児教育・保育の無償化が実施される予定ですが、無償になる上限金額が定められていることや、0～2歳児は住民税非課税世帯のみが無償化の対象になることなど、無償化の内容をご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

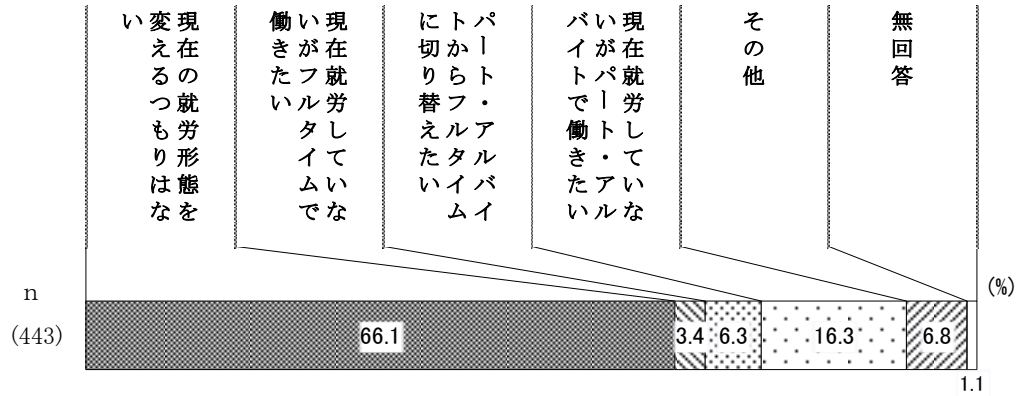


幼児教育・保育の無償化に対する認知度については、「無償化になることは知っているが内容は知らない」が63.2%で最も多く、次いで「無償化の内容を知っている」(30.9%)、「無償化になることを知らない」(5.4%)となっています。

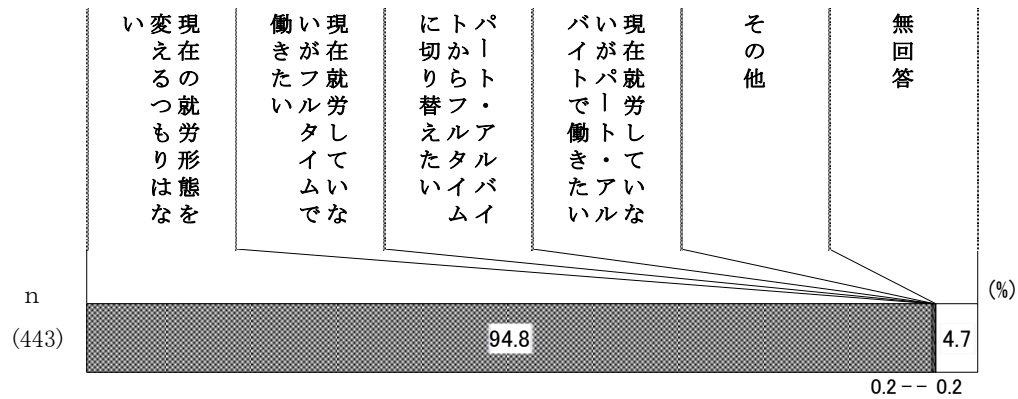
■ 幼児教育・保育の無償化が実現した場合の就労形態

問15 幼児教育・保育の無償化が実現したら、就労したい、または就労形態を変えたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親



(2) 父親

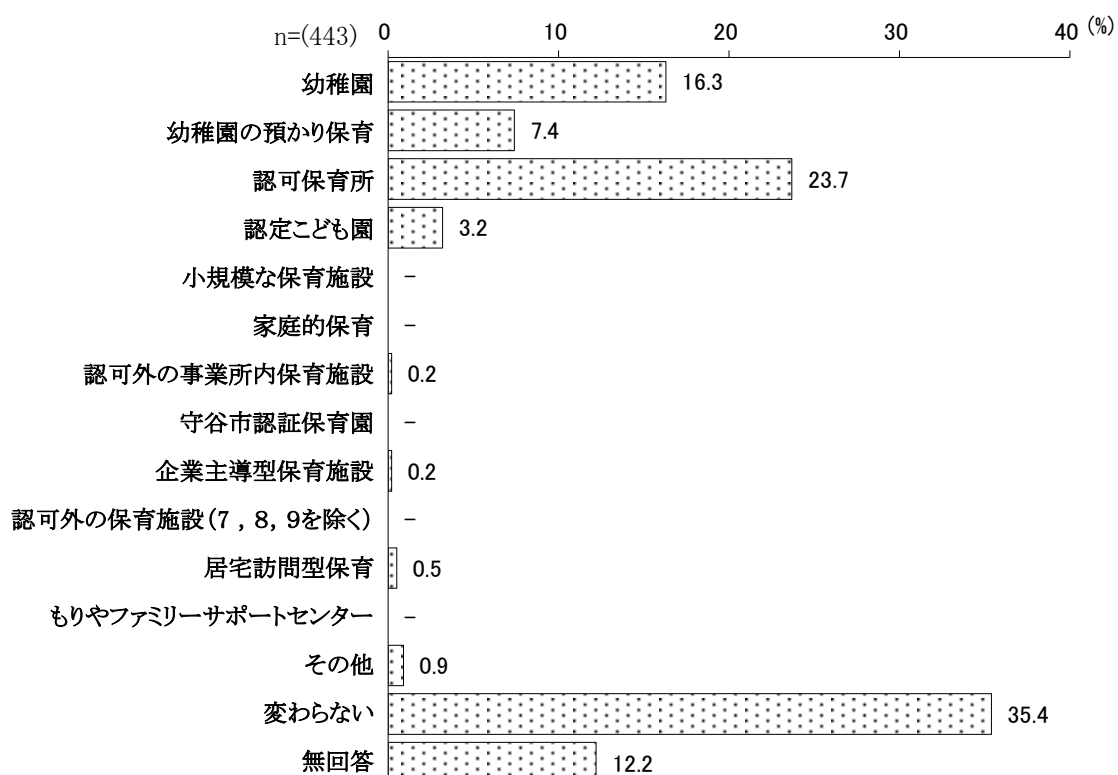


幼児教育・保育の無償化が実現した場合の就労形態については、母親では、「現在の就労形態を変えない」が66.1%で最も多く、次いで「現在就労していないがパート・アルバイトで働きたい」(16.3%)、「パート・アルバイトからフルタイムに切り替えたい」(6.3%)となっています。

父親では、「現在の就労形態を変えない」が94.8%を占めています。

■ 幼児教育・保育の無償化が実現した場合に希望するサービス

問16 幼児教育・保育の無償化が実現したら、希望するサービスが変わりますか。無償化後で希望するサービスについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。



幼児教育・保育の無償化が実現した場合の利用希望サービスの変化については、「変わる」が52.4%で、「変わらない」が35.4%、「無回答」が12.2%となっています。

利用希望が変わるサービスとしては、「認可保育所」が23.7%で最も多く、次いで「幼稚園」(16.3%)、「幼稚園の預かり保育」(7.4%)となっています。

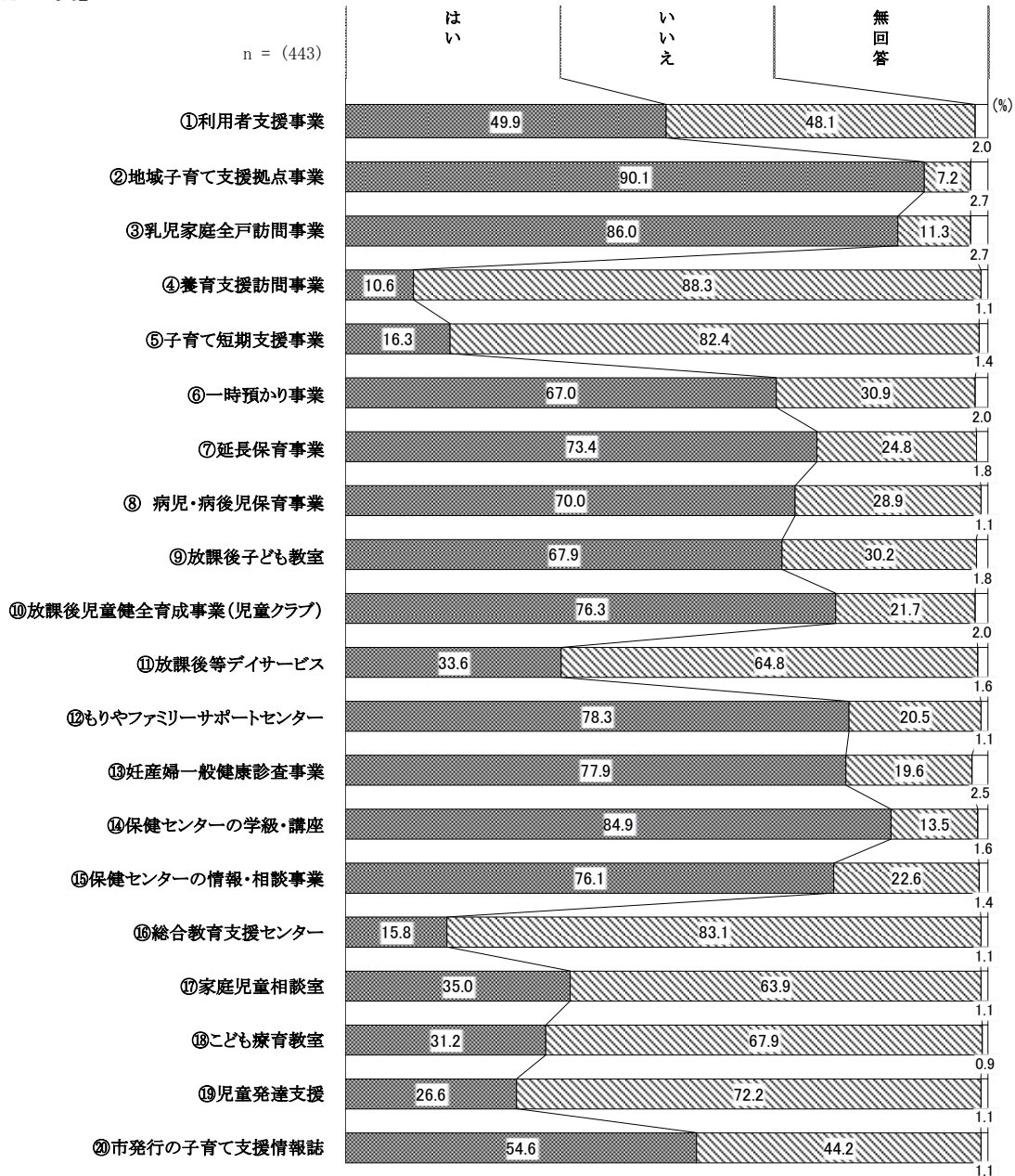
7. 地域子育て支援事業の利用状況について

■子育て支援事業の認知度、利用経験、利用希望

問17 市では、安心して子育てすることができるよう、親子が集まって過ごしたり、子育てについて相談したり、お子さんを一時的に預けたりできる様々な事業を実施しています。

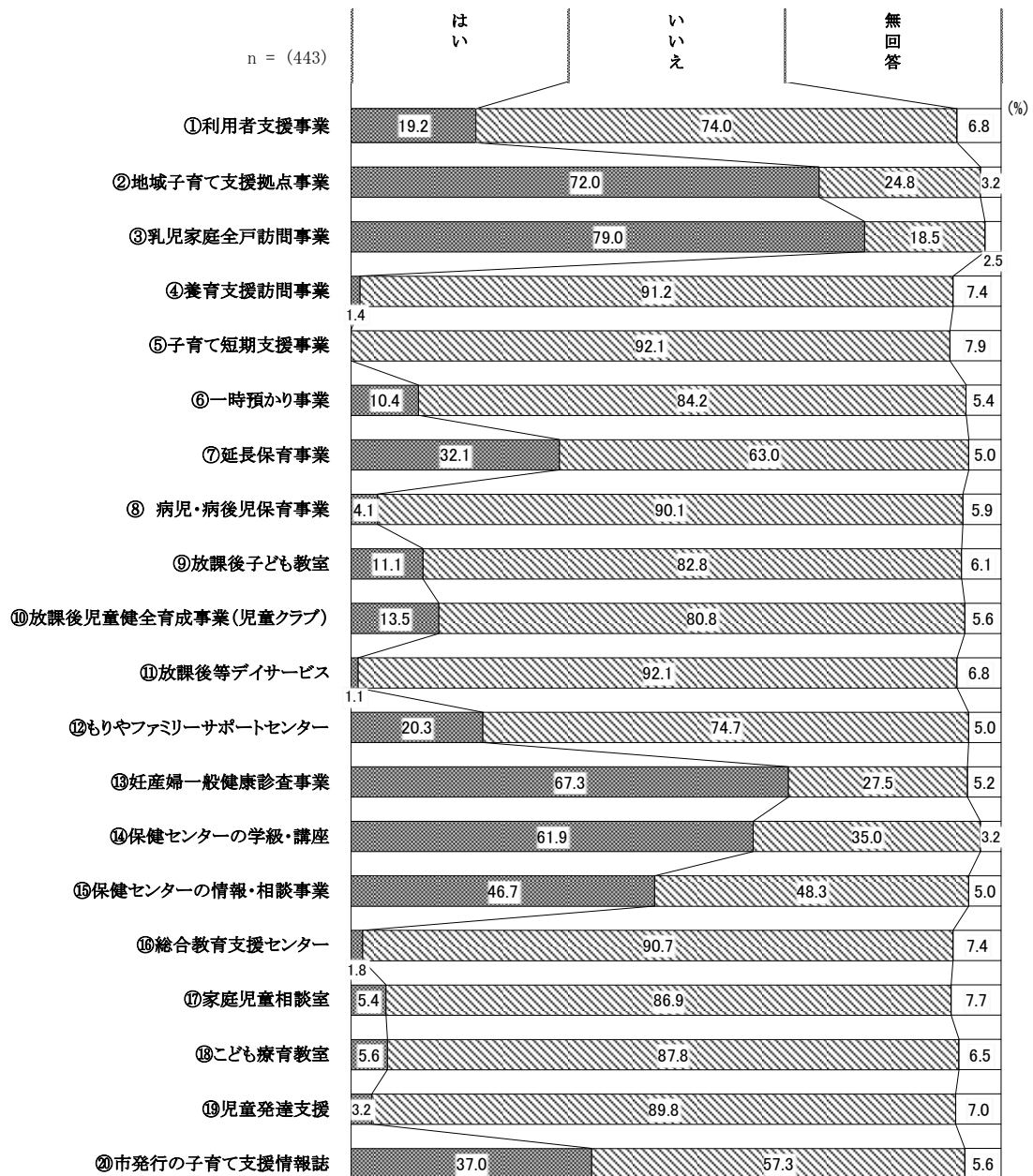
下記の事業のうち、知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、AからCのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【認知度】



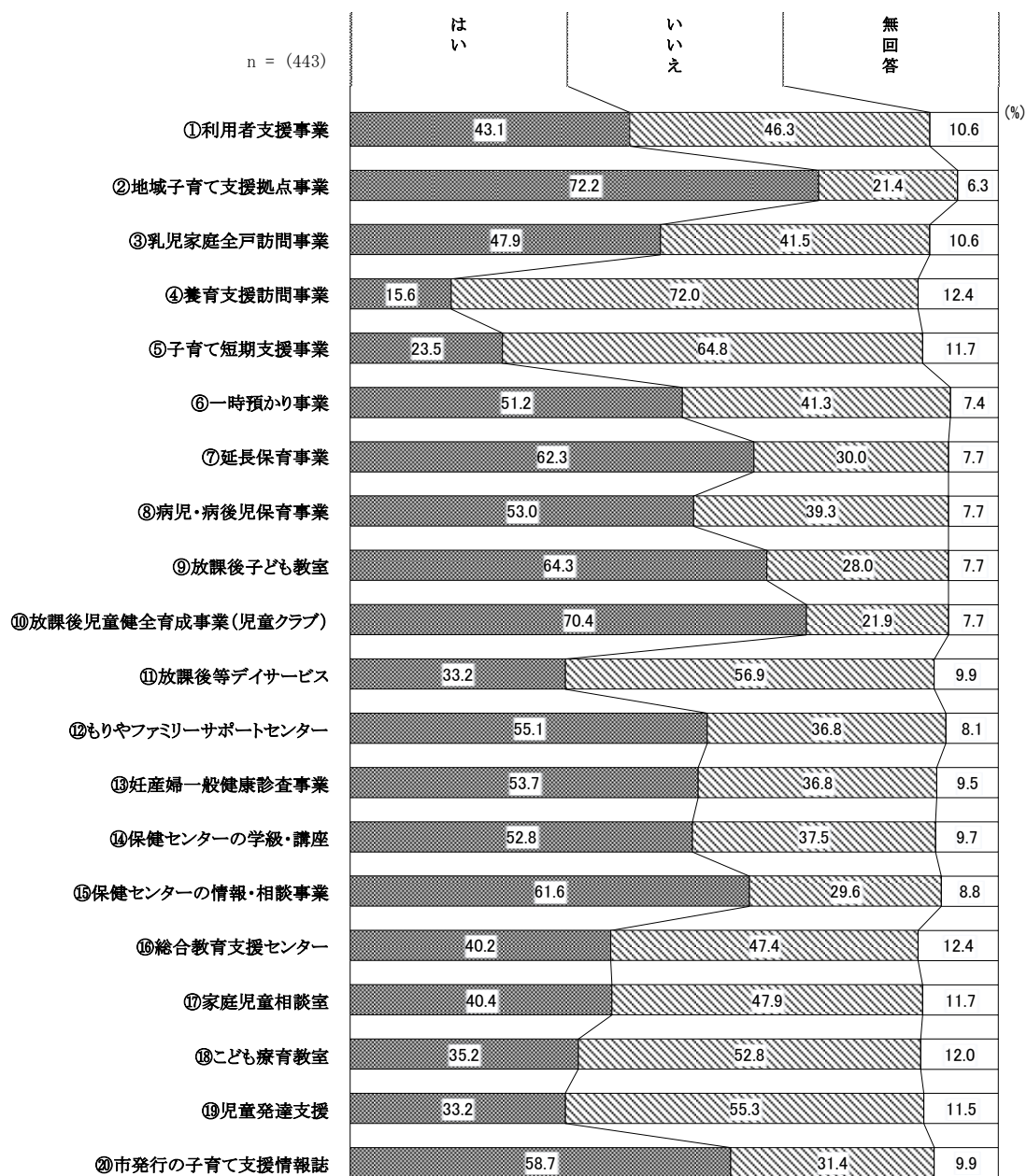
子育て支援事業の認知度については、「②地域子育て支援拠点事業」が90.1%で最も多く、次いで「③乳児家庭全戸訪問事業」(86.0%)、「⑭保健センターの学級・講座」(84.9%)、「⑫もりやファミリーサポートセンター」(78.3%)、「⑬妊産婦一般健康診査事業」(77.9%)となっています。

【利用経験】



子育て支援事業の利用経験については、「③乳児家庭全戸訪問事業」が79.0%で最も多く、次いで「②地域子育て支援拠点事業」(72.0%)、「⑬妊産婦一般健康診査事業」(67.3%)、「⑭保健センターの学級・講座」(61.9%)、「⑮保健センターの情報・相談事業」(46.7%)となっています。

【利用希望】



今後利用したいと思う子育て支援事業については、「②地域子育て支援拠点事業」が72.2%で最も多く、次いで「⑩放課後児童健全育成事業（児童クラブ）」(70.4%)、「⑨放課後子ども教室」(64.3%)、「⑦延長保育事業」(62.3%)、「⑮保健センターの情報・相談事業」(61.6%)となっています。

■地域子育て支援拠点事業の利用回数

問17-1 問17で、下記の事業B欄の「これまでに利用したことがある」に「はい」を選んだ内容についてお伺いします。（すべて「いいえ」を選んだ方は、問17-2へお進みください）

現在、利用している事業のおよその利用回数（頻度）を【 】内に数字で記入ください。

【月当たりの利用回数】

(%)

	n	1回未満	1～2回未満	2～3回未満	3～4回未満	4回以上	無回答
利用者支援事業	85	3.5	27.1	4.7	2.4	10.6	51.8
地域子育て支援拠点事業	319	4.7	24.8	8.8	1.6	16.3	43.9
養育支援訪問事業	6	－	－	－	－	－	100.0
子育て短期支援事業	－	－	－	－	－	－	－
一時預かり事業	46	10.9	10.9	2.2	－	8.7	67.4
延長保育事業	142	2.1	14.8	4.9	2.8	37.3	38.0
病児・病後児保育事業	18	5.6	11.1	－	－	－	83.3
放課後子ども教室	49	2.0	6.1	－	－	38.8	53.1
放課後児童健全育成事業(児童クラブ)	60	－	3.3	－	－	50.0	46.7
もりやファミリーサポートセンター	90	4.4	21.1	2.2	1.1	8.9	62.2

地域子育て支援拠点事業を利用した回数について、「4回以上」は“放課後児童健全育成事業（児童クラブ）”が50.0%で最も多く、次いで“放課後子ども教室”（38.8%）、「延長保育事業」（37.3%）となっています。

■地域子育て支援拠点事業の利用希望回数

問17-2 問17で、下記の事業C欄の「今後利用したい」に「はい」を選んだ内容についてお伺いします。(すべて「いいえ」を選んだ方は、問19へお進みください)
 今後利用したい事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

【月当たりの利用希望回数】

(%)

	n	1回未満	1～2回未満	2～3回未満	3～4回未満	4回以上	無回答
利用者支援事業	191	2.1	31.4	2.1	－	6.3	58.1
地域子育て支援拠点事業	320	0.6	22.5	6.9	1.9	15.6	52.5
養育支援訪問事業	69	1.4	33.3	1.4	－	－	63.8
子育て短期支援事業	104	1.9	25	2.9	－	5.8	64.4
一時預かり事業	227	1.8	26	4.4	0.4	12.3	55.1
延長保育事業	276	0.7	8	2.5	1.8	40.2	46.7
病児・病後児保育事業	235	1.3	29.8	2.1	0.4	6.0	60.4
放課後子ども教室	285	0.7	4.2	1.4	－	44.2	49.5
放課後児童健全育成事業(児童クラブ)	312	0.3	2.9	0.6	－	47.8	48.4
もりやファミリーサポートセンター	244	1.2	27	4.1	1.6	15.2	50.8

地域子育て支援拠点事業を利用したい回数について、「4回以上」は“放課後児童健全育成事業(児童クラブ)”が47.8%で最も多く、次いで“放課後子ども教室”(44.2%)、「延長保育事業」(40.2%)となっています。

■地域子育て支援拠点事業への要望

問18 市が実施する地域子育て支援拠点事業について、今後のどのような支援があればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

地域子育て支援拠点事業への要望を自由記述形式でたずねたところ、132人の方から記入がありました。1人の方が複数の内容を記載していることがあるため、意見の合計は149件となっています。記載内容をまとめると以下の通りとなっています。

内 容	件 数
幼児教育・保育サービスの質の向上	34
一時預かりの充実	29
病児・病後児保育預かりの充実	16
場（遊び場・居場所等）づくりについて	13
子育てに関する情報提供の充実	13
送迎サービス・通所通園時の見守りについて	10
親（親子）同士の交流の場の充実	7
子育てに関する経済的支援	5
定員拡大などの待機児童対策	5
子育てに関する相談支援の充実	5
妊娠・出産・子育てのための切れ目のない支援	4
その他	8
計	149

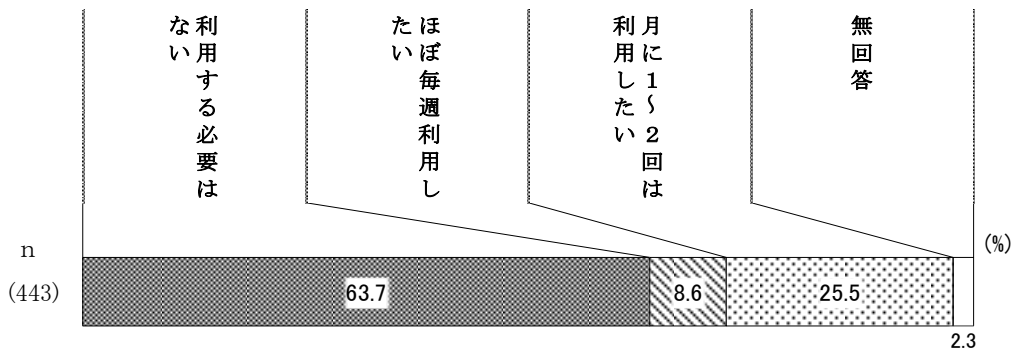
8. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

■土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

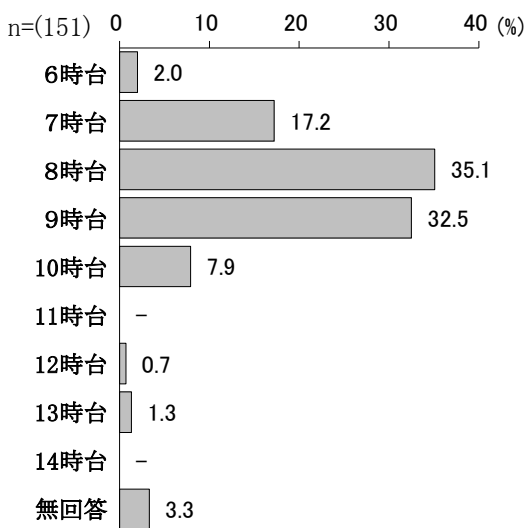
問19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

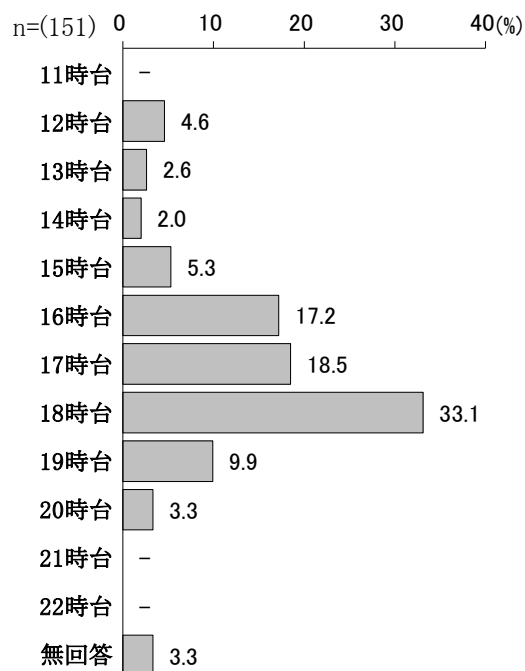
【土曜日の利用希望】



【利用希望開始時刻】



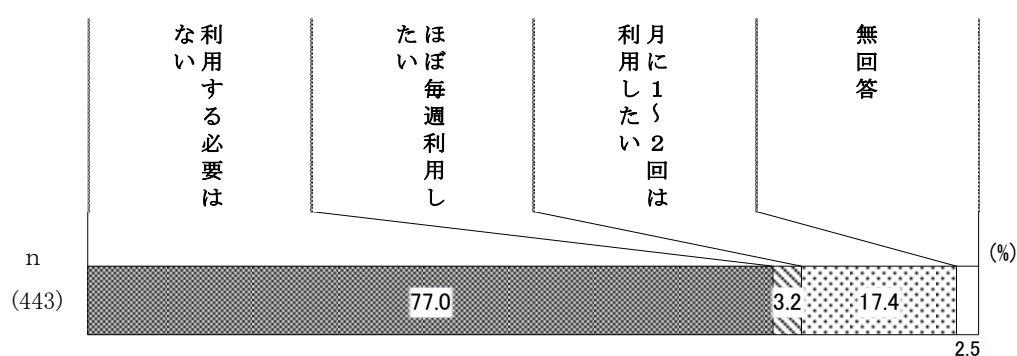
【利用希望終了時刻】



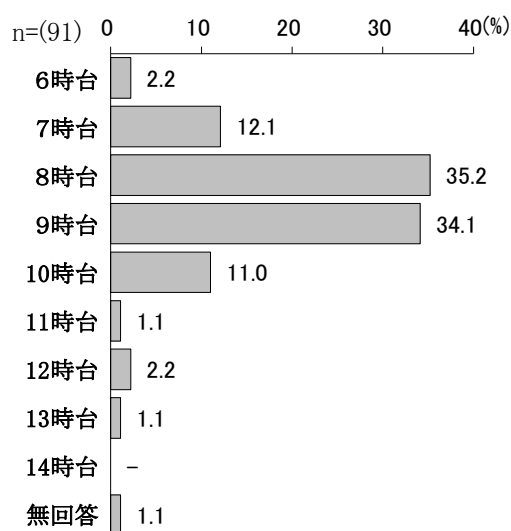
土曜日の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が63.7%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が25.5%、「ほぼ毎週利用したい」が8.6%で、《利用希望》は34.1%となっています。

希望する利用開始時刻は、「8時台」が35.1%で最も多く、次いで「9時台」（32.5%）、「7時台」（17.2%）の順となっています。利用希望終了時刻は、「18時台」が33.1%で最も多く、次いで「17時台」（18.5%）、「16時台」（17.2%）の順となっています。

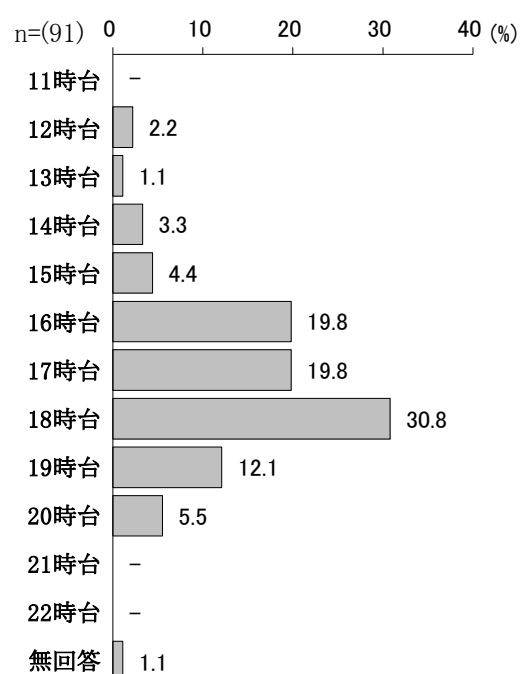
【日曜・祝日の利用希望】



【利用希望開始時刻】



【利用希望終了時刻】

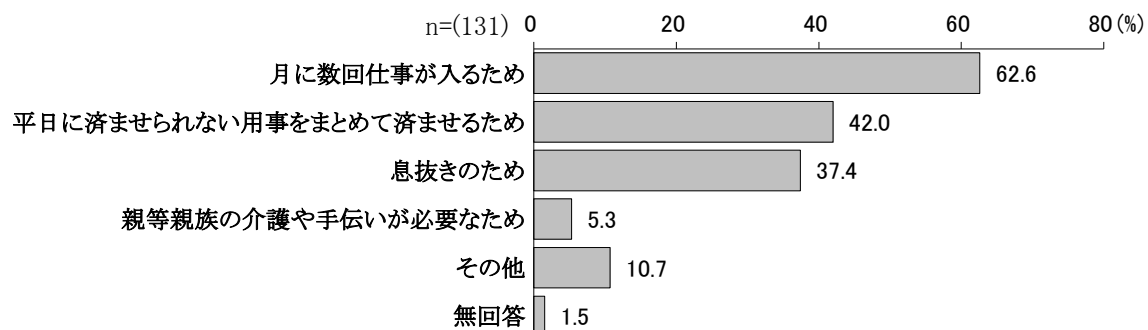


日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要がない」が77.0%を占めています。「月に1～2回は利用したい」が17.4%、「ほぼ毎週利用したい」が3.2%で、《利用希望》は20.6%となっています。

希望する利用開始時刻は、「8時台」が35.2%で最も多く、次いで「9時台」(34.1%)、「7時台」(12.1%)の順となっています。利用希望終了時刻は、「18時台」が30.8%で最も多く、次いで「16時台」と「17時台」(ともに19.8%)の順となっています。

■ たまに利用したい理由

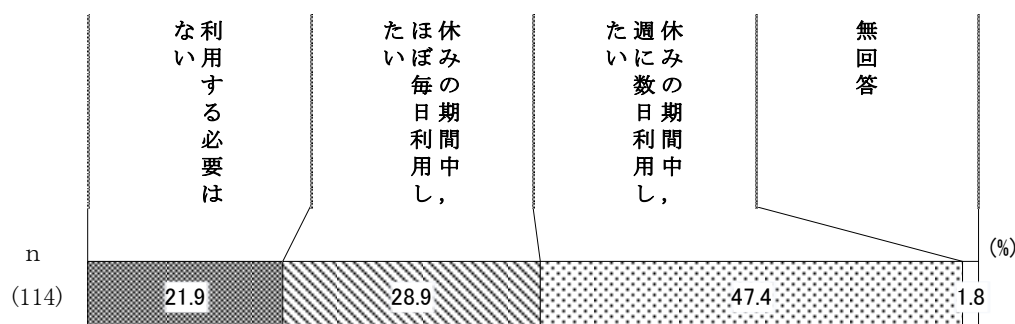
問19-1 問19の（１）もしくは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



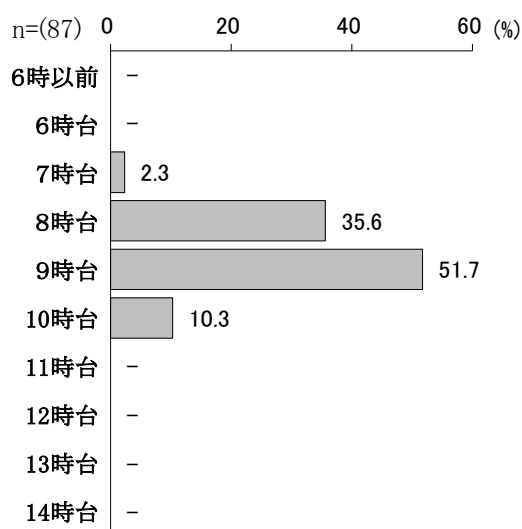
毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が62.6%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(42.0%)、「息抜きのため」(37.4%)の順となっています。

■長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

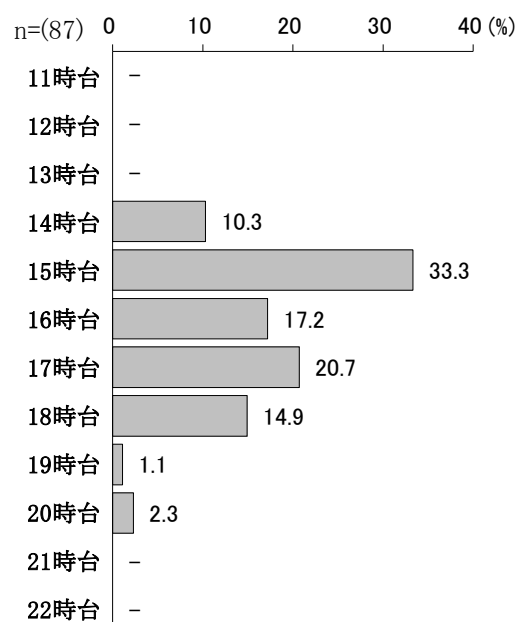
問20 「幼稚園」を利用されている方にお伺いします。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



【利用希望開始時刻】



【利用希望終了時刻】

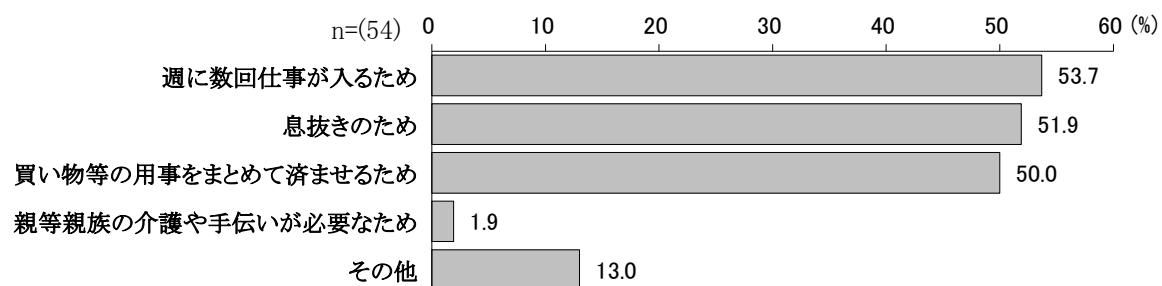


幼稚園利用者における長期休暇中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が47.4%で最も多く、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が28.9%、「利用する必要はない」が21.9%で、利用希望者は76.3%となっています。

希望する利用開始時刻は、「9時台」が51.7%で最も多く、次いで「8時台」(35.6%)、「10時台」(10.3%)の順となっています。利用希望終了時刻は、「15時台」が33.3%で最も多く、次いで「17時台」(20.7%)、「16時台」(17.2%)の順となっています。

■たまに利用したい理由

問20-1 問20で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にお伺いします。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



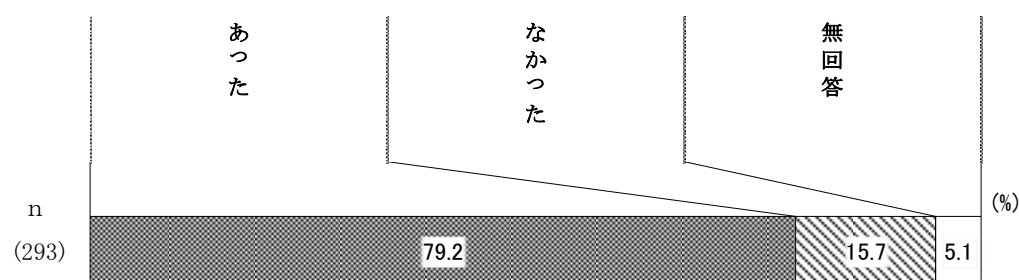
毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が53.7%で最も多く、次いで「息抜きのため」(51.9%)、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(50.0%)の順となっています。

9. 子どもの病気の際の対応について

■病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった経験

問21 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問12で1に○をつけた方）にお伺いします。利用していない方は、問23にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

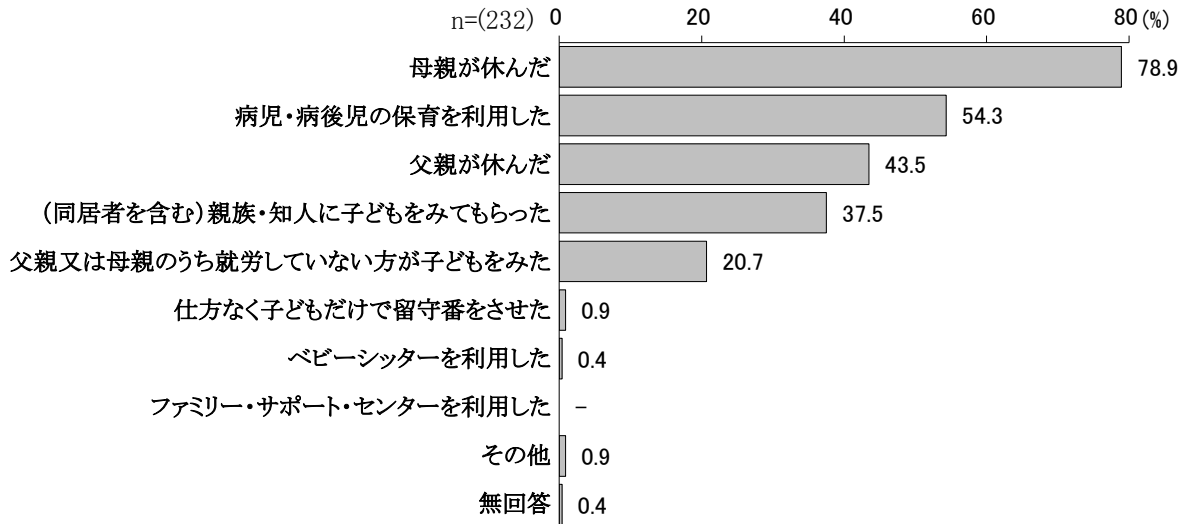


定期的な教育・保育事業の利用者で、1年間で子どもの病気やケガのために事業が利用できなかったことが「あった」人は79.2%を占めています。

■病気やケガで事業が利用できなかったときの対処方法とその日数

問21-1 問21で「1. あった」に○をつけた方にお伺いします。

宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。



【対処方法別日数（年間）】

(%)

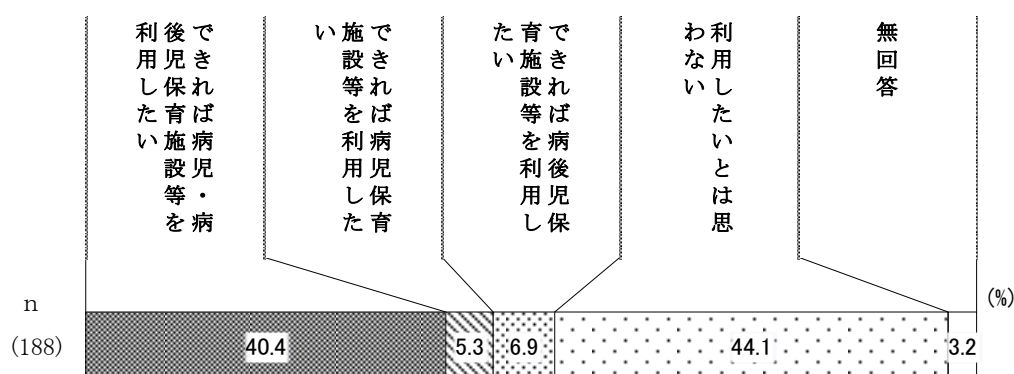
	n	1 日	2 日	3 日	4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 ～ 59 日	60 ～ 119 日	120 日 以上	無 回 答
母親が休んだ	183	6.6	9.3	7.1	6.0	24	26.8	6.0	9.8	2.7	-	-	1.6
病児・病後児 保育を利用	126	1.6	-	-	-	-	0.8	-	-	-	-	-	97.6
父親が休んだ	101	20.8	20.8	21.8	5.9	15.8	12.9	-	-	-	1.0	-	1.0
親族・知人にみて もらった	87	13.8	9.2	18.4	4.6	19.5	21.8	2.3	6.9	1.1	-	-	2.3
就 労 して い な い 保 護 者 が み た	48	4.2	4.2	6.3	4.2	33.3	20.8	6.3	6.3	2.1	4.2	-	8.3
子どもだけで留守 番させた	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッターを 利用	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリーサポート センターを利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-

病気やケガで事業が利用できなかったときの対処方法は、「母親が休んだ」が78.9%で最も多く、次いで「病児・病後児の保育を利用した」(54.3%)、「父親が休んだ」(43.5%)の順となっています。

対処方法別日数は、「母親が休んだ」は“10～14日”(26.8%)が最も多く、「父親が休んだ」は“1～3日”が約2割で多くなっています。

■病児・病後児保育施設の利用希望

問21-2 問21-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にお伺いします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



【利用希望日数（年間）】

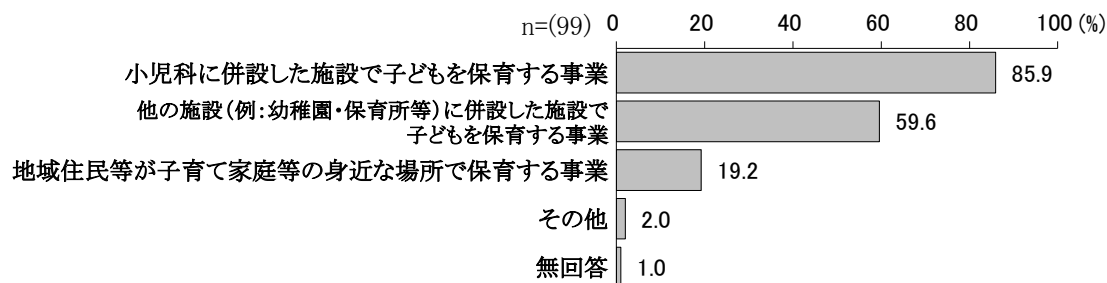
	n	1日	2日	3日	4日	5～9日	10～14日	15～19日	20～29日	30～59日	60日	無回答
病児・病後児保育施設等	76	6.6	10.5	14.5	1.3	31.6	22.4	5.3	—	2.6	—	5.3
病児保育施設等	10	10.0	40.0	—	10.0	10.0	30.0	—	—	—	—	10.0
病後児保育施設等	13	7.7	—	23.1	—	38.5	23.1	—	—	—	—	7.7

父親または母親が休んだと回答した人に、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったかをたずねたところ、「利用したいとは思わない」が44.1%で最も多くなっています。一方「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」(40.4%)、「できれば病後児保育施設等を利用したい」(6.9%)、「できれば病児保育施設等を利用したい」(5.3%)を合わせた《利用したい》は52.6%となっています。

利用希望日数は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」では、「5～9日」(31.6%)、「10～14日」(22.4%)が多くなっています。

■望ましい事業形態

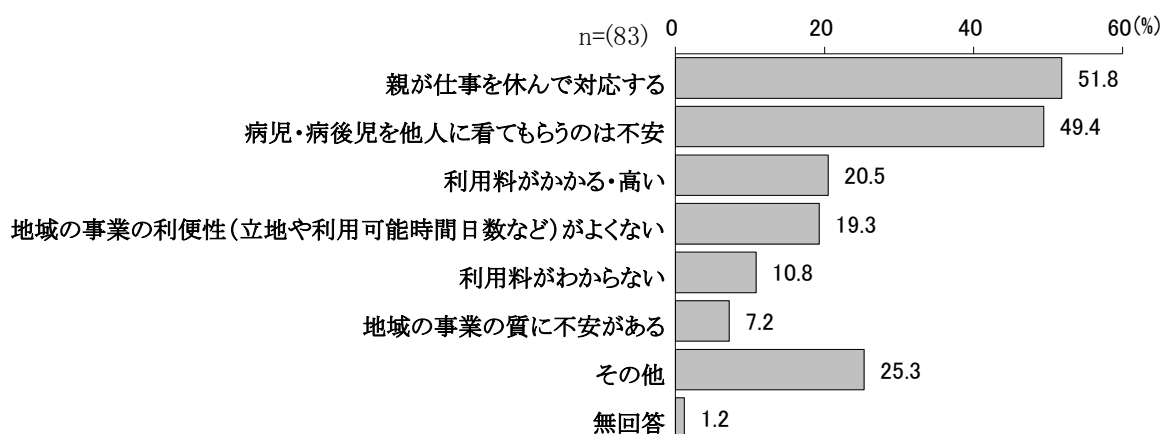
問21-3 問21-2で「1.」～「3.」に○をつけた方にお伺いします。前述の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



病児・病後児保育施設等を利用したい人に、望ましい事業形態をたずねたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が85.9%で最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（59.6%）、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）」（19.2%）となっています。

■利用したいと思わない理由

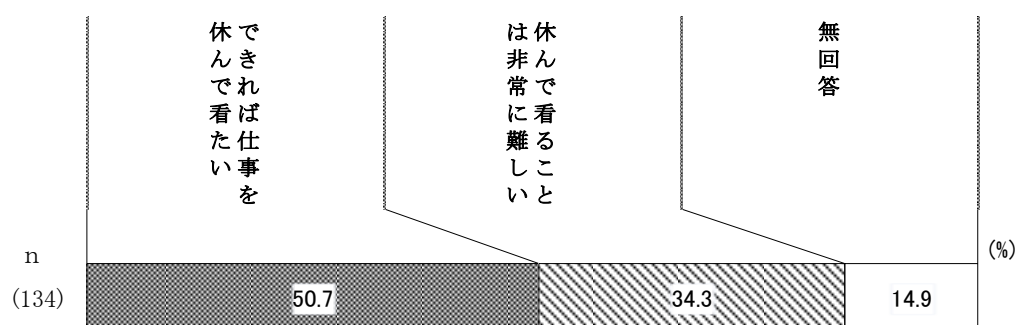
問21-4 問21-2で「4. 利用したいと思わない」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



病児・病後児保育施設等を利用したくない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が51.8%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」（49.4%）となっています。

■仕事を休んで看護したいと思ったか

問21-5 問21-1で「ウ.」～「ケ.」のいずれかに回答した方にお伺いします。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ.」から「ケ.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



【仕事を休んで看たい日数（年間）】

n	1日	2日	3日	4日	5 ～ 9日	10 ～ 14日	15 ～ 19日	20日	無回答
68	14.7	13.2	20.6	4.4	17.6	19.1	1.5	1.5	7.4

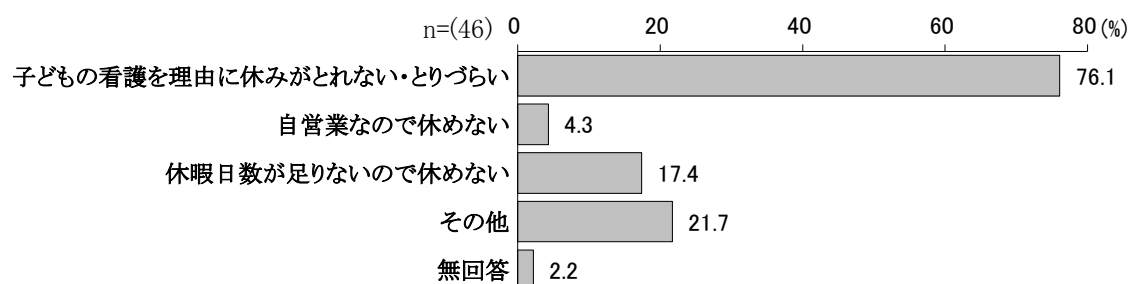
(%)

子どもが病気・ケガのときに親が休む以外の対処方法を取った人に、できれば仕事を休んで子どもを看たいかをたずねたところ、「できれば仕事を休んで看たい」が50.7%、「休んで見ることは非常に難しい」が34.3%となっています。

仕事を休んで看たい日数は、年間「3日」が20.6%、「10～14日」が19.1%となっています。

■休んで看るのが難しい理由

問21-6 問21-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

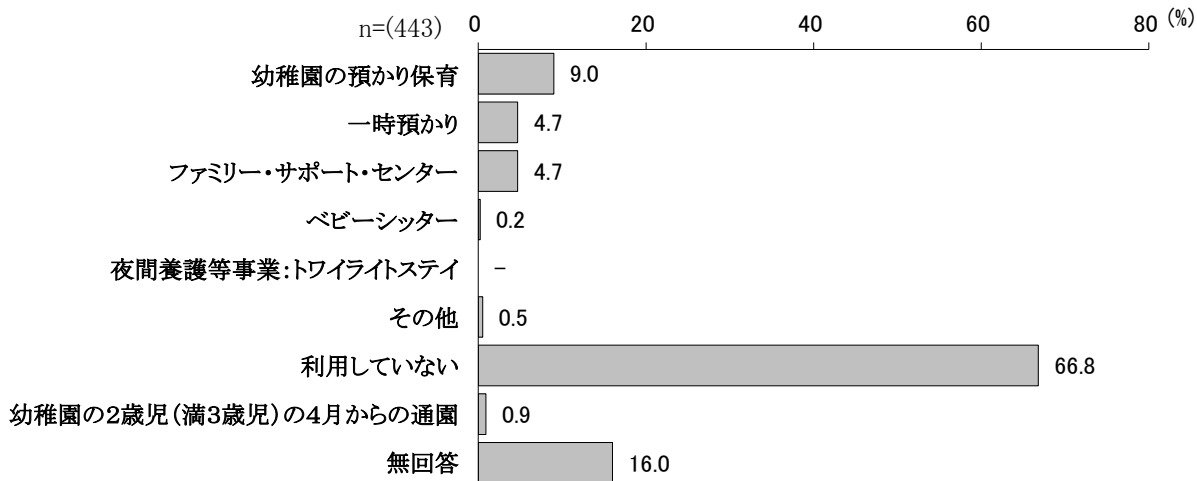


休んで看ることが難しい理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない・とりづらい」が76.1%を占めています。

10. 不特定の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

■一時預かりの経験

問22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



【利用日数（年間）】

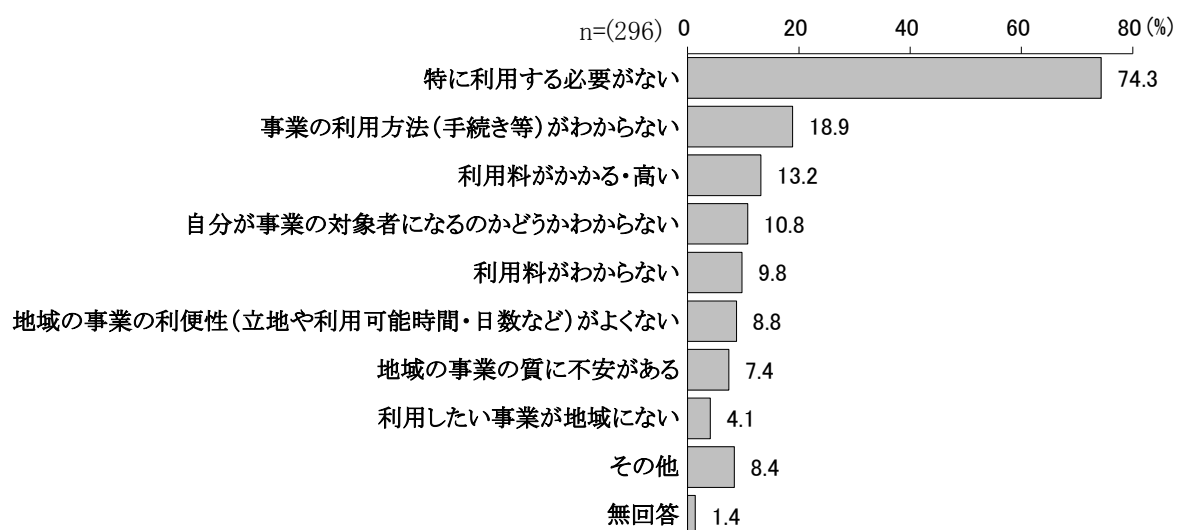
	n	1日	2日	3日	4日	5 ～ 9日	10 ～ 14日	15 ～ 19日	20 ～ 29日	30 ～ 59日	60 ～ 119日	120 日以上	無 回 答
一時預かり	21	19.0	9.5	-	-	9.5	23.8	9.5	4.8	4.8	-	19.0	-
幼稚園の預かり 保育	40	5.0	17.5	2.5	-	20.0	20.0	2.5	20.0	5.0	7.5	-	-
ファミリー・サポー ト・センター	21	9.5	9.5	19.0	9.5	14.3	9.5	4.8	-	14.3	4.8	-	4.8
夜間養護等事業: トワイライトステイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッター	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
その他	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-

日中の定期的な利用以外で預かり事業等の不特定の利用経験は、「利用していない」が66.8%で最も多くなっています。利用している事業では「幼稚園の預かり保育」が9.0%で最も多く、次いで「一時預かり」と「ファミリーサポートセンター」（ともに4.7%）となっています。

利用日数は、「一時預かり」で「10～14日（年間）」が23.8%で最も多くなっています。

■利用していない理由

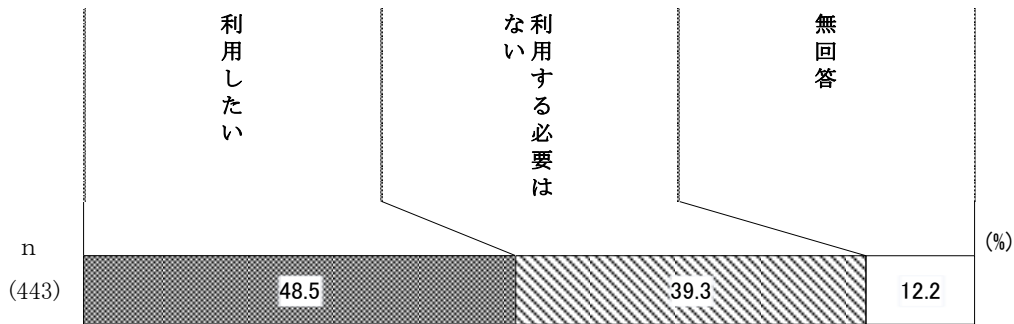
問22-1 問22で「7. 利用していない」と回答した方にお伺いします。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



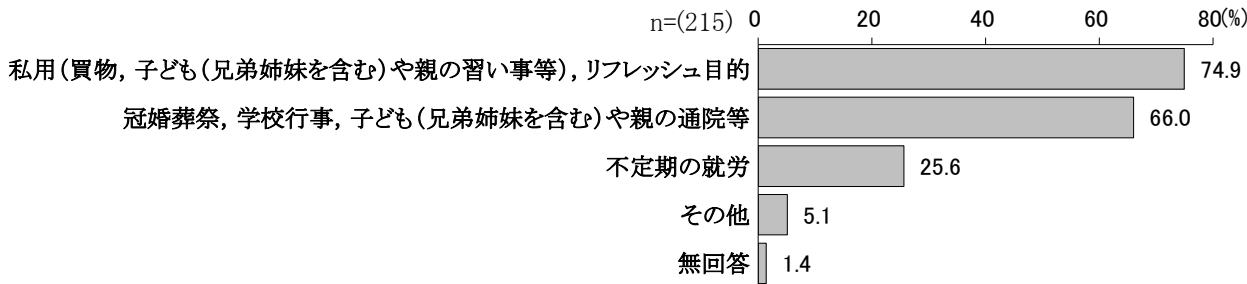
一時預かり等の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が74.3%で最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（18.9%）、「利用料がかかる・高い」（13.2%）の順となっています。

■一時預かりの今後の利用希望

問23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



【一時預かりの利用目的】



【一時預かりの利用希望日数（年間）】

	n	1日	2日	3日	4日	5日 ～ 9日	10日 ～ 14日	15日 ～ 19日	20日 ～ 29日	30日 ～ 59日	60日 ～ 119日	120日 以上	無回答
計	215	1.9	2.8	6.0	1.4	14.9	26.5	8.4	14.9	11.2	6.5	1.4	4.2
私用, リフレッシュ目的	161	1.9	8.1	8.1	2.5	26.7	34.2	3.1	3.1	9.9	0.6	-	1.9
冠婚葬祭, 学校行事, 子どもや親の通院等	142	7.0	9.2	15.5	1.4	29.6	26.8	1.4	5.6	1.4	-	-	2.1
不定期の就労	55	5.5	3.6	1.8	1.8	21.8	20.0	3.6	10.9	14.5	9.1	1.8	5.5
その他	11	18.2	-	-	-	9.1	27.3	-	9.1	18.2	-	9.1	9.1

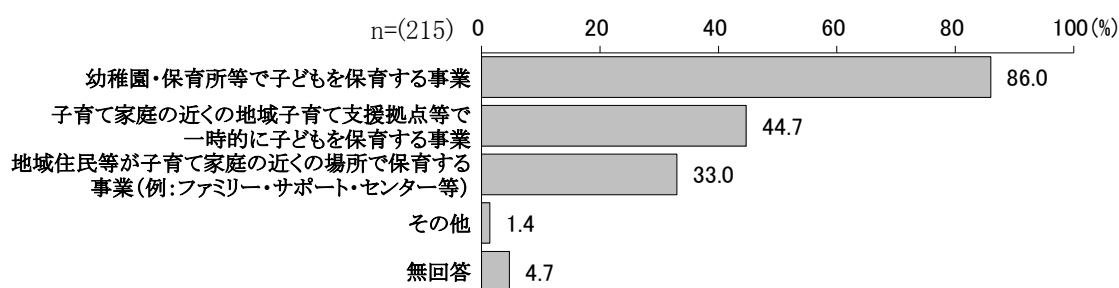
私用，親の通院，不定期の就労等の目的で一時預かり事業の今後の利用希望は，「利用したい」が48.5%，「利用する必要はない」が39.3%となっています。

利用したい人の利用目的としては，「私用（買物，子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等），リフレッシュ目的」が74.9%で最も多く，次いで「冠婚葬祭，学校行事，子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（66.0%），「不定期の就労」（25.6%）となっています。

利用希望日数は，いずれの理由でも年間「5～9日」と「10～14日」が多くなっています。

■一時預かり等の不定期的な望ましい事業形態

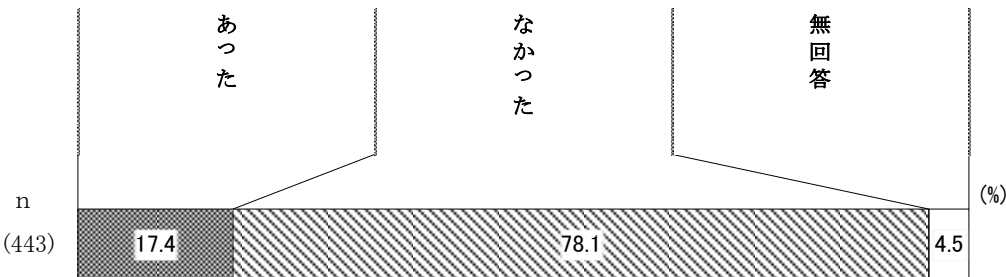
問23-1 問23で「1. 利用したい」に○をつけた方にお伺いします。問23の目的でお子さんを預ける場合，下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



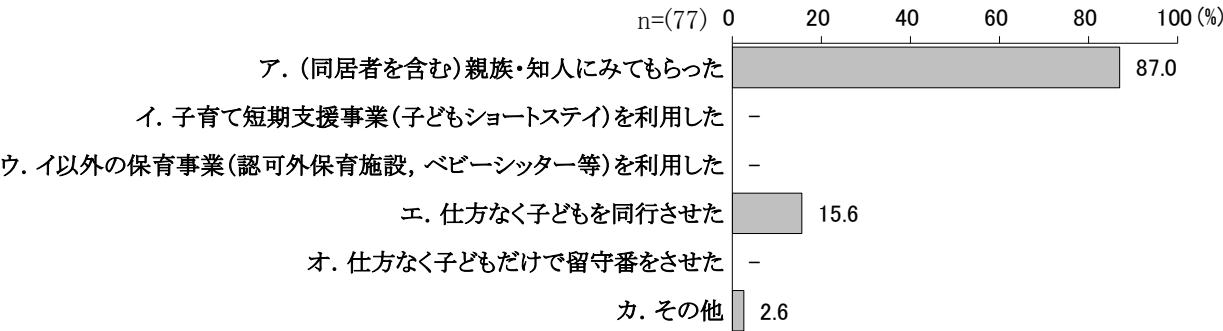
一時預かり事業を利用したい人に，望ましい事業形態をたずねたところ，「幼稚園・保育所等で子どもを保育する事業」が86.0%で最も多く，次いで「子育て家庭の近くの地域子育て支援拠点等で一時的に子どもを保育する事業」（44.7%），「地域住民等が子育て家庭の近くの場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）」（33.0%）の順となっています。

■宿泊を伴う一時預かりについて

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



【対処方法】



【対処方法別日数（年間）】

	n	1日	2日	3日	4日	5日 ～ 9日	10日 ～ 14日	15日 ～ 19日	20日 ～ 29日	30日 ～ 59日	60日	無回答
親族・知人にみてもらった	67	22.4	16.4	9.0	4.5	26.9	11.9	1.5	1.5	3.0	-	-
ショートステイを利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ショートステイ以外の保育事業を利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子どもを同行させた	12	25.0	41.7	16.7	8.3	-	-	-	8.3	-	-	-
子どもだけで留守番をさせた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

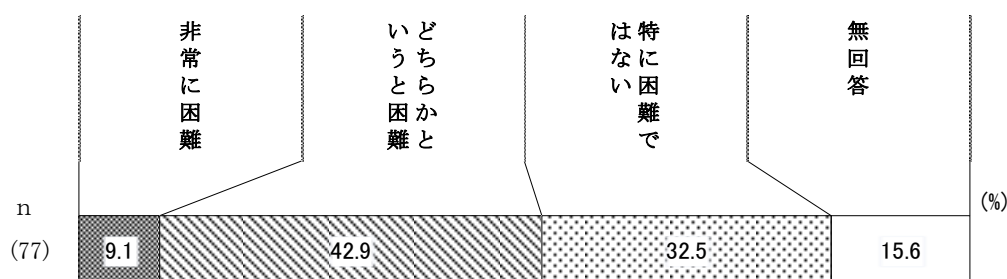
この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）で宿泊を伴う一時預かりの経験があった人は17.4%となっています。

宿泊を伴う一時預かりの対処方法では、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が87.0%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が15.6%となっています。

対処日数は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」は年間「5～9日」が26.9%で最も多く、次いで「1日」（22.4%）、「2日」（16.4%）の順となっています。

■親族・知人に預けた時の困難度

問24-1 問24で「1. あった」「ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



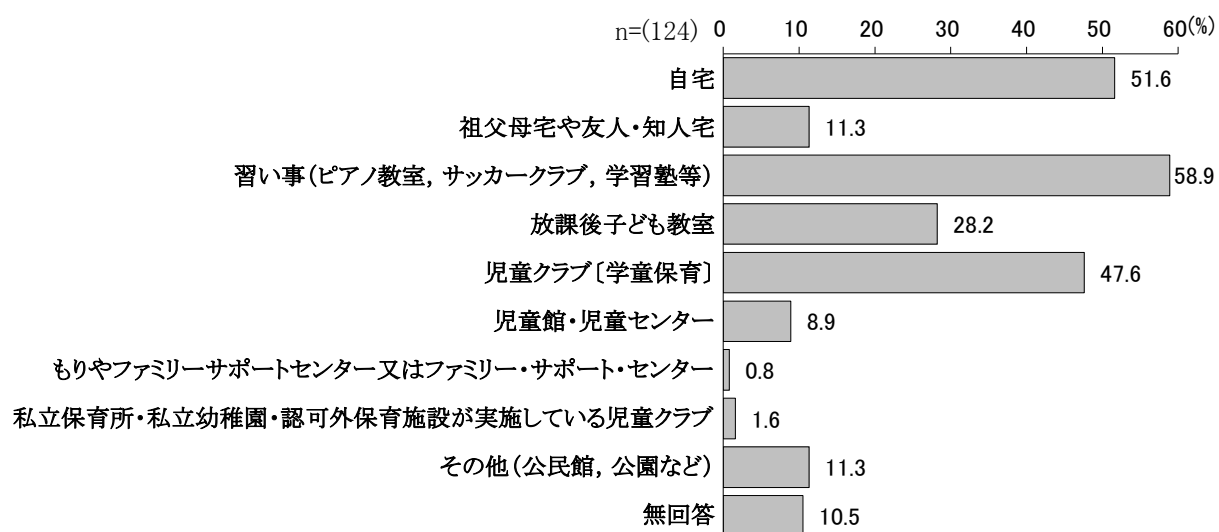
親族・知人に預けたときの困難度は、「どちらかという困難」が42.9%で最も多く、「非常に困難」（9.1%）を合わせた《困難》は52.0%となっています。

11. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

■放課後の過ごし方

問25 宛名のお子さんについて、小学校のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ・放課後子ども教室」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。



子どもが小学校のうち、放課後に過ごさせたい場所としては、「習い事（ピアノ教室，サッカークラブ，学習塾等）」が58.9%で最も多く，次いで「自宅」（51.6%），「児童クラブ〔学童保育〕」（47.6%），「放課後子ども教室」（28.2%）の順となっています。

■小学校低学年

【事業等の利用希望日数（週間）】

(%)

	n	2日未満	2～3日 未満	3～4日 未満	4～5日 未満	5～6日 未満	6～7日 未満	7日	無回答
自宅	64	14.1	23.4	20.3	4.7	20.3	－	1.6	15.6
祖父母宅や友人・知人宅	14	57.1	21.4	14.3	7.1	－	－	－	14.0
習い事(ピアノ教室, サッカー クラブ, 学習塾等)	73	32.9	38.4	16.4	2.7	－	－	－	9.6
放課後子ども教室	35	22.9	22.9	22.9	5.7	17.1	－	－	8.6
児童クラブ〔学童保育〕	59	5.1	6.8	16.9	8.5	57.6	5.1		
児童館・児童センター	11	45.5	9.1	9.1	－	9.1	－	－	37.3
もりやファミリーサポートセン ター又はファミリー・サポート・ センター	1	100.0	－	－	－	－	－		
私立保育所・私立幼稚園・認 可外保育施設が実施してい る児童クラブ	2	－	－	－	50.0	50.0	－		
その他(公民館, 公園など)	14	35.7	42.9	7.1	－	－	－		14.3

【放課後子ども教室の利用希望終了時刻】

(%)

n	16時	17時	18時	19時	20時	無回答
35	20.0	51.4	17.1	2.9	2.9	5.7

【児童クラブ〔学童保育〕の利用希望終了時刻】

(%)

n	16時	17時	18時	19時	20時	無回答
59	5.1	22.0	55.9	13.6	1.7	1.7

【児童館・児童センターの利用希望終了時刻】

(%)

n	16時	17時	18時	19時	20時	無回答
11	18.2	45.5	9.1	－	－	27.3

小学校低学年の子どもに、放課後過ごさせたいとするそれぞれの場所での希望日数は、「習い事（ピアノ教室, サッカークラブ, 学習塾等）」は「2～3日未満／週」（38.4%）, 「自宅」は「2～3日未満／週」（23.4%）, 「児童クラブ〔学童保育〕」は「5～6日未満／週」（57.6%）が最も多くなっています。

また、預かりを希望する時間については、「放課後子ども教室」は「17時まで」（51.4%）, 「児童クラブ〔学童保育〕」は「18時まで」（55.9%）, 「児童館・児童センター」は「17時まで」（45.5%）が最も多くなっています。

■ 小学校高学年

【事業等の利用希望日数（週間）】

(%)

	n	2日未満	2～3日 未満	3～4日 未満	4～5日 未満	5～6日 未満	6～7日 未満	7日	無回答
自宅	64	10.9	18.8	18.8	6.3	15.6	－	－	29.7
祖父母宅や友人・知人宅	14	35.7	21.4	7.1	7.1	－	－	－	28.6
習い事(ピアノ教室, サッカー クラブ, 学習塾等)	73	12.3	41.1	26.0	－	－	－	－	20.5
放課後子ども教室	35	17.1	11.4	14.3	5.7	14.3	－	－	37.1
児童クラブ〔学童保育〕	59	5.1	5.1	11.9	5.1	39.0	－	33.9	59.0
児童館・児童センター	11	27.3	18.2	9.1	－	9.1	－	11	36.4
もりやファミリーサポートセン ター又はファミリー・サポート・ センター	1	100.0	－	－	－	－	－		
私立保育所・私立幼稚園・認 可外保育施設が実施してい る児童クラブ	2	－	－	－	－	50.0	－	50.0	2.0
その他(公民館, 公園など)	14	42.9	21.4	7.1	－	－	－	28.6	14.0

【放課後子ども教室の利用希望終了時刻】

(%)

n	16時	17時	18時	19時	20時	無回答
35	5.7	31.4	17.1	2.9	5.7	37.1

【児童クラブ〔学童保育〕の利用希望終了時刻】

(%)

n	16時	17時	18時	19時	20時	無回答
59	1.7	8.5	42.4	11.9	1.7	33.9

【児童館・児童センターの利用希望終了時刻】

(%)

n	16時	17時	18時	19時	20時	無回答
11	－	45.5	18.2	－	－	36.4

小学校高学年の子どもに、放課後過ごさせたいとするそれぞれの場所での希望日数は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」は「2～3日未満／週」（41.1%）, 「自宅」は「2～3日未満／週」と「3～4日未満／週」（ともに18.8%）, 「児童クラブ〔学童保育〕」は「5～6日未満／週」（39.0%）が最も多くなっています。

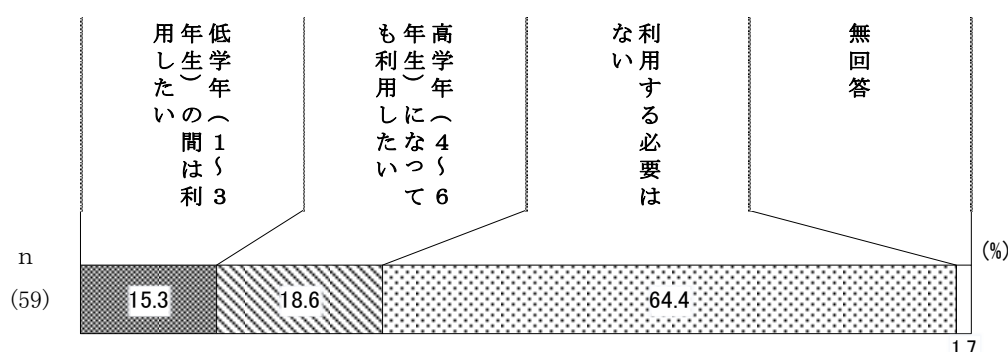
また、預かりの利用希望時間については、「放課後子ども教室」は「17時まで」（31.4%）, 「児童クラブ〔学童保育〕」は「18時まで」（42.4%）, 「児童館・児童センター」は「17時まで」（45.5%）が最も多くなっています。

■児童クラブの土曜・日曜・祝日の利用希望

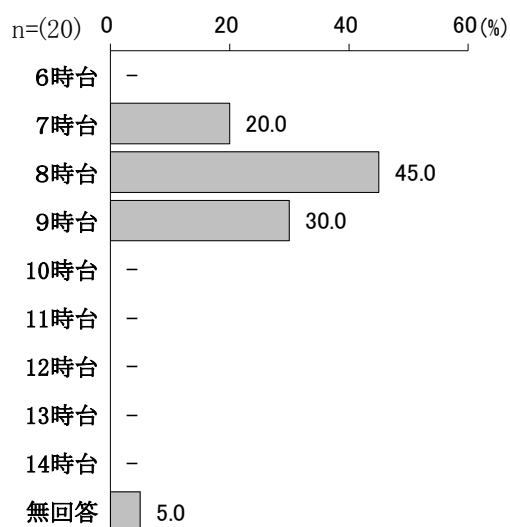
問26 問26で「5. 児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（１）（２）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

■土曜日

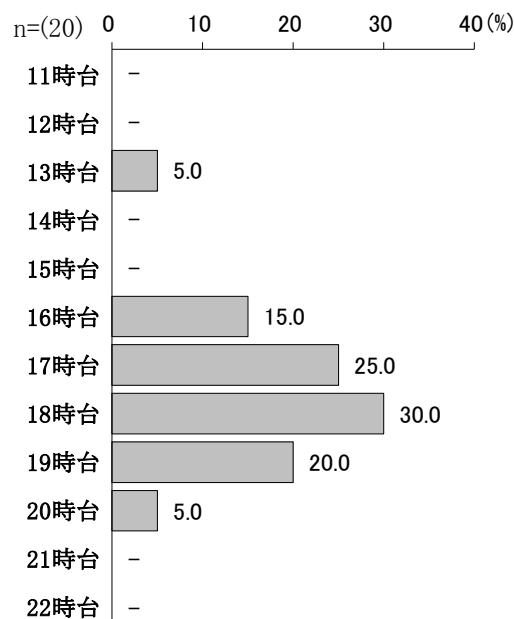
【利用希望】



【利用希望開始時刻】



【利用希望終了時刻】

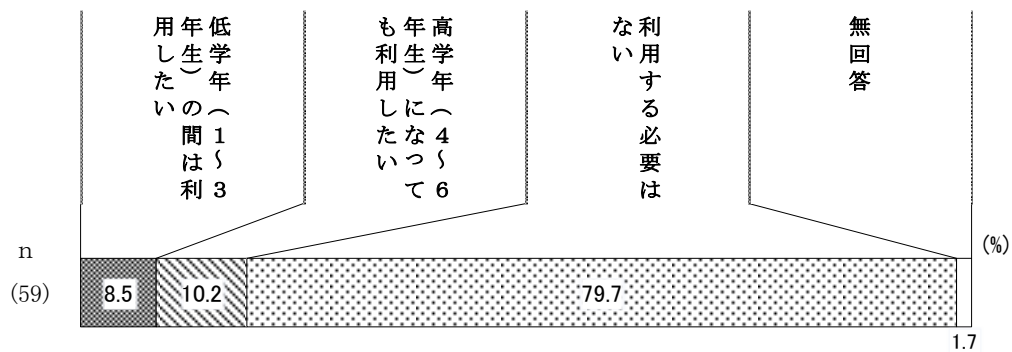


「児童クラブ〔学童保育〕」を利用したいと回答した人に、土曜日の利用希望をたずねたところ、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」（15.3%）と「高学年（４～６年生）になっても利用したい」（18.6%）を合わせた《利用したい》は33.9%となっています。

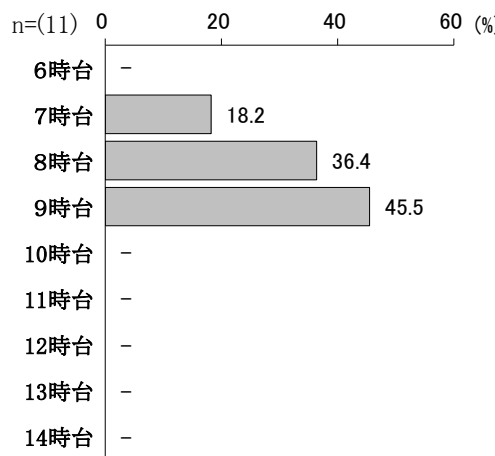
希望する開始時刻は、「８時台」が45.0%で最も多く、次いで「９時台」（30.0%）、「７時台」（20.0%）となっています。利用希望終了時刻は「18時台」が30.0%で最も多く、次いで「17時台」（25.0%）、「19時台」（20.0%）の順となっています。

■日曜日・祝日

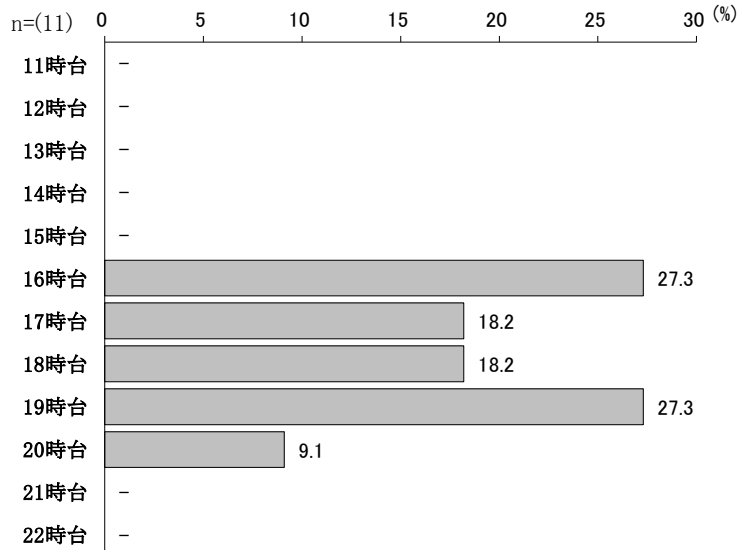
【利用希望】



【利用希望開始時刻】



【利用希望終了時刻】



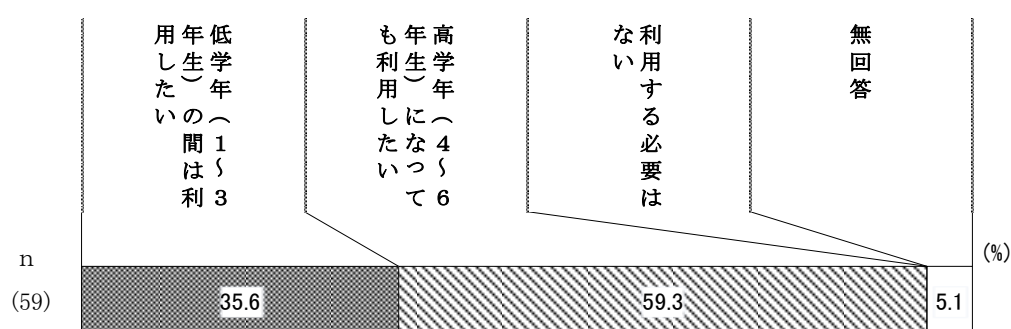
日曜・祝日の利用希望は、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」（8.5%）と「高学年（４～６年生）になっても利用したい」（10.2%）を合わせた《利用したい》は18.7%となっています。

希望する開始時刻は、「９時台」が45.5%で最も多く、次いで「８時台」（36.4%）、「７時台」（18.2%）となっています。利用希望終了時刻は「16時台」と「19時台」がともに27.3%で最も多く、次いで「17時台」と「18時台」（ともに18.2%）となっています。

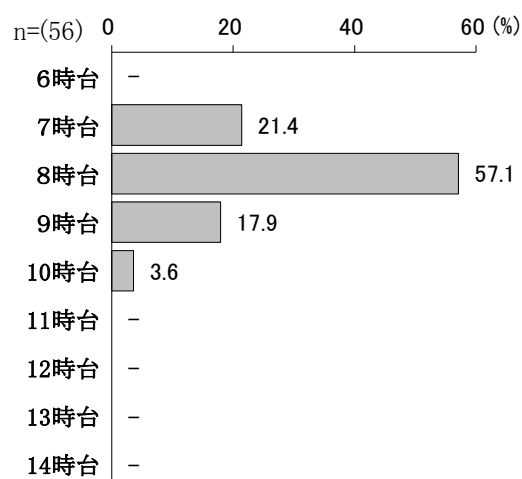
■長期休暇中の児童クラブの利用希望

問27 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

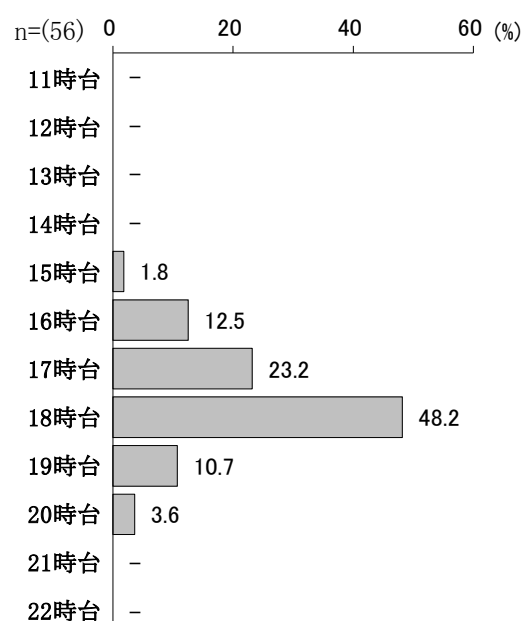
【利用希望】



【利用希望開始時刻】



【利用希望終了時刻】



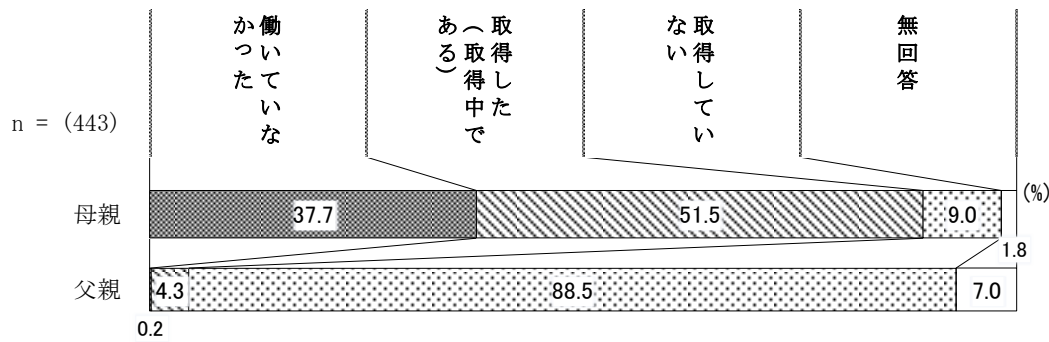
長期休暇中の「児童クラブ〔学童保育〕」の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（35.6%）と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（59.3%）を合わせた《利用したい》は95.3%となっています。

希望する開始時刻は、「8時台」が57.1%で最も多く、次いで「7時台」（21.4%）、「9時台」（17.9%）の順となっています。利用希望終了時刻は「18時台」が48.2%で最も多く、次いで「17時台」（23.2%）、「16時台」（12.5%）となっています。

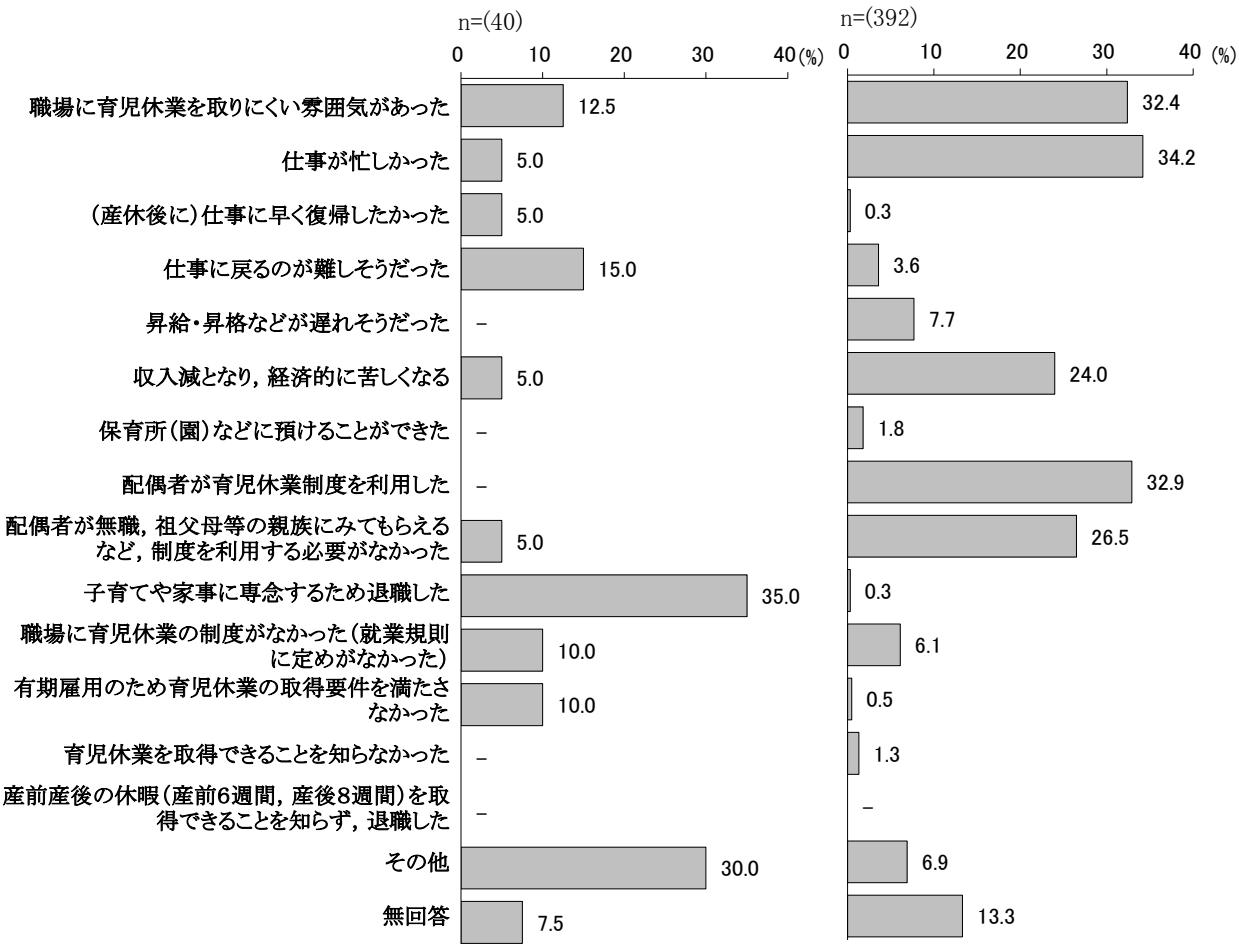
12. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

■育児休業の取得状況

問28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。



【取得していない理由 母親】 【取得していない理由 父親】

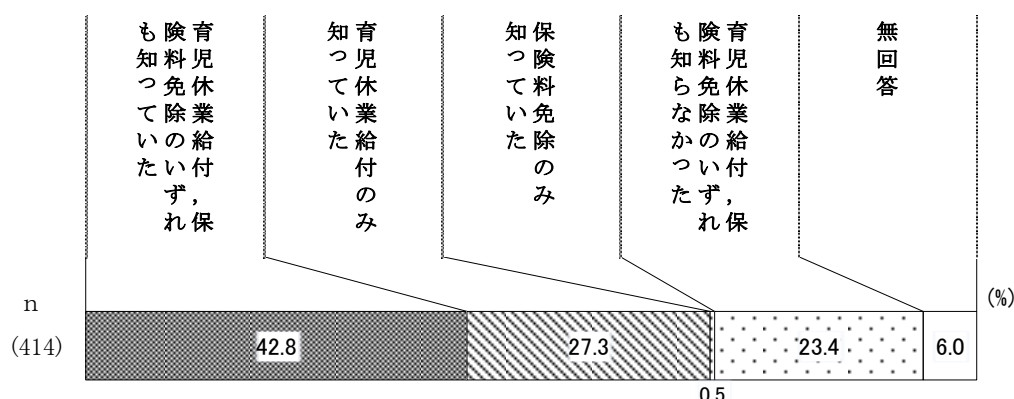


育児休業の取得状況は、母親は「取得した（取得中である）」が51.5%で最も多く、「働いていなかった」が37.7%、「取得していない」が9.0%となっています。父親は「取得していない」が88.5%を占め、「取得した（取得中である）」は4.3%となっています。

取得していない理由は、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が35.0%で最も多く、次いで「その他（自営業・役員等）」（30.0%）、「仕事に戻るのが難しそうだった」（15.0%）の順となっています。父親では、「仕事が忙しかった」が34.2%で最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」（32.9%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（32.4%）の順となっています。

■育児休業給付、保険料免除の認知度

問28-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

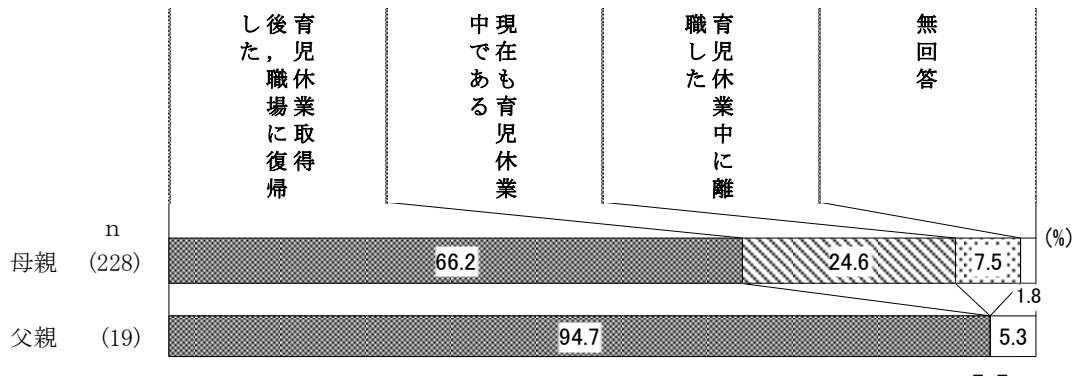


育児休業給付、保険料免除の認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が42.8%で最も多く、「育児休業給付のみ知っていた」が27.3%

、「保険料免除のみ知っていた」は0.5%となっています。一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は23.4%となっています。

■育児休業取得後の職場復帰

問28-2 問28で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にお伺いします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



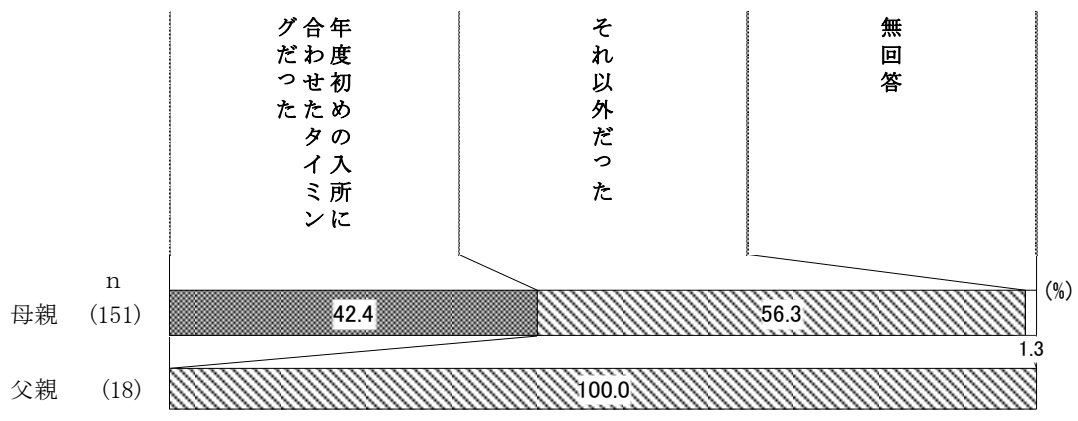
育児休業を取得した人の職場復帰状況は、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が66.2%で、「現在も育児休業中である」は24.6%、「育児休業中に離職した」は7.5%となっています。

父親は、回答者の全員が「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えています。

■復帰のタイミング

問28-3 問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお伺いします。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。



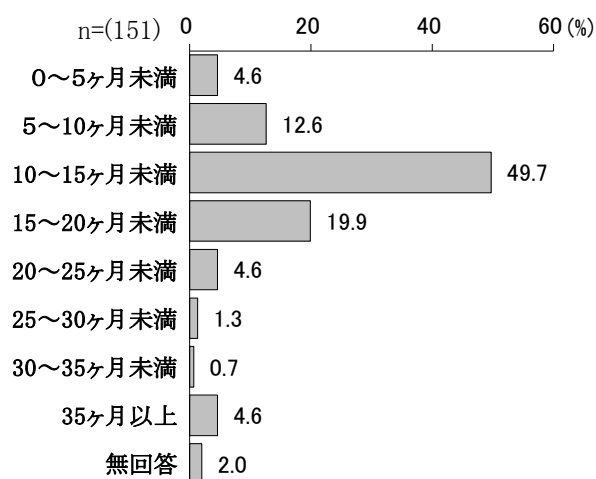
育児休業取得後、職場に復帰した人の復帰のタイミングは、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は42.4%で、「それ以外だった」が56.3%と多くなっています。

父親は、回答者の全員が「それ以外だった」と答えています。

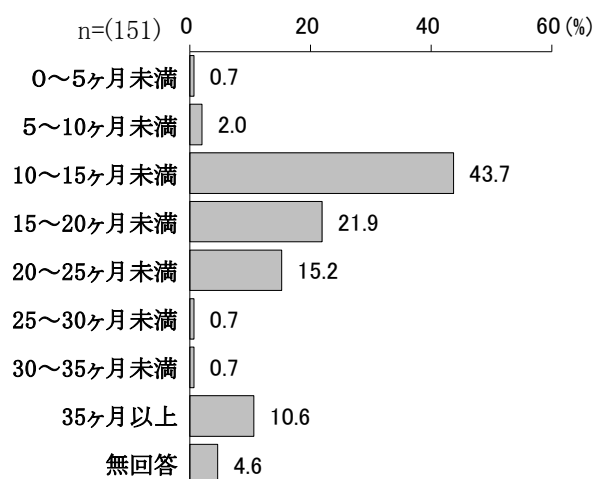
■実際の取得期間と希望

問28-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

【母親の実際の取得期間】



【母親の希望取得期間】



【父親の実際の取得期間・希望取得期間】

(人)

	n	満 0 ～ 5 ヶ月未	未 5 満 10 ～ 10 ヶ月	未 10 満 15 ～ 15 ヶ月	未 15 満 20 ～ 20 ヶ月	20 ヶ月 以上	無回 答
実際の取得期間	18	11	2	3	1	-	1
希望の取得期間	18	4	2	7	1	-	4

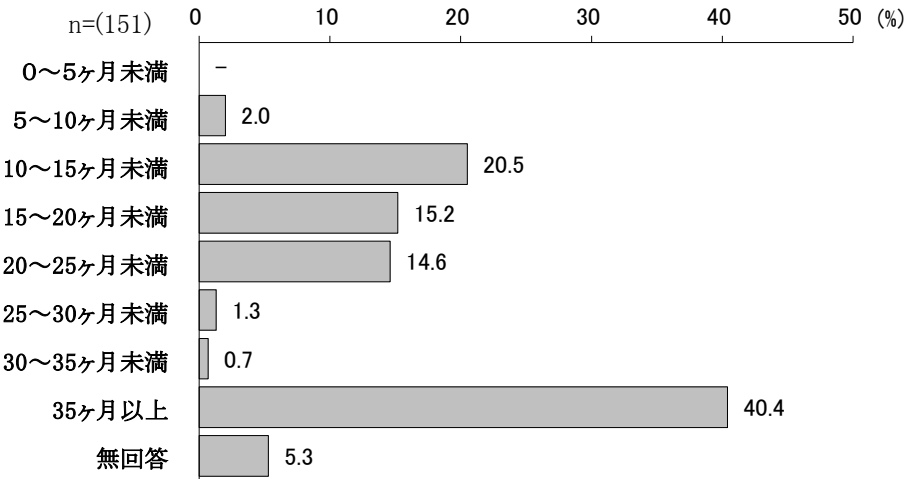
育児休業を取得した母親の実際の取得期間は、「10～15ヶ月未満」が49.7%で最も多く、次いで「15～20ヶ月未満」（19.9%）、「5～10ヶ月未満」（12.6%）となっています。希望の取得期間としては「10～15ヶ月未満」が43.7%で最も多く、次いで「15～20ヶ月未満」（21.9%）、「20～25ヶ月未満」（15.2%）となっています。

父親（該当者18人）の実際の取得期間は「0～5ヶ月未満」が11人で最も多く、「10～15ヶ月未満」が3人などとなっています。希望の取得期間としては「10～15ヶ月未満」が7人で最も多く、「0～5ヶ月未満」が4人、「5～10ヶ月未満」が2人などとなっています。

■ 3歳まで取得できる休暇制度があった場合の取得希望

問28-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

【母親】



【父親】

(人)

n	未 満 0 ～ 5 ヶ 月	未 満 5 ～ 10 ヶ 月	未 満 10 ～ 15 ヶ 月	未 満 15 ～ 20 ヶ 月	未 満 20 ～ 25 ヶ 月	未 満 25 ～ 30 ヶ 月	未 満 30 ～ 35 ヶ 月	35 ヶ 月 以上	無 回 答
18	1	1	5	1	-	-	-	4	6

勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望として取得したかった期間として、母親は「35ヶ月以上」が40.4%で最も多く、次いで「10～15ヶ月未満」(20.5%)、「15～20ヶ月未満」(15.2%)となっています。

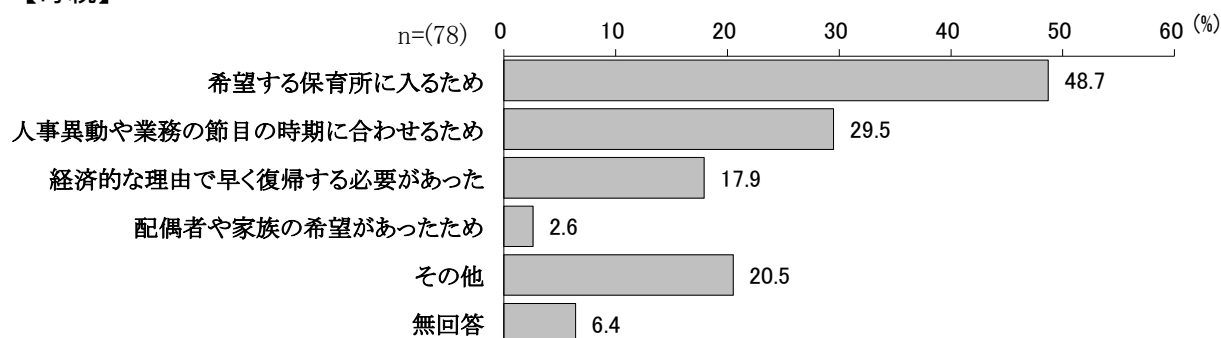
父親（該当者18人）は「10～15ヶ月未満」が5人で最も多く、「35ヶ月以上」が4人などとなっています。

■希望の時期に職場復帰しなかった理由

問28-6 問28-4で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1)「希望」より早く復帰した方

【母親】



【父親】

(人)

n	希望する保育所に入るため	配偶者や家族の希望があったため	経済的な理由で早く復帰する必要があった	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	その他	無回答
9	-	-	3	2	3	1

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【母親】

(人)

n	希望する保育所に入らなかったため	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	配偶者や家族の希望があったため	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	子どもをみてくれる人がいなかったため	その他	無回答
9	-	-	3	2		3	1

【父親】※該当者は0人。

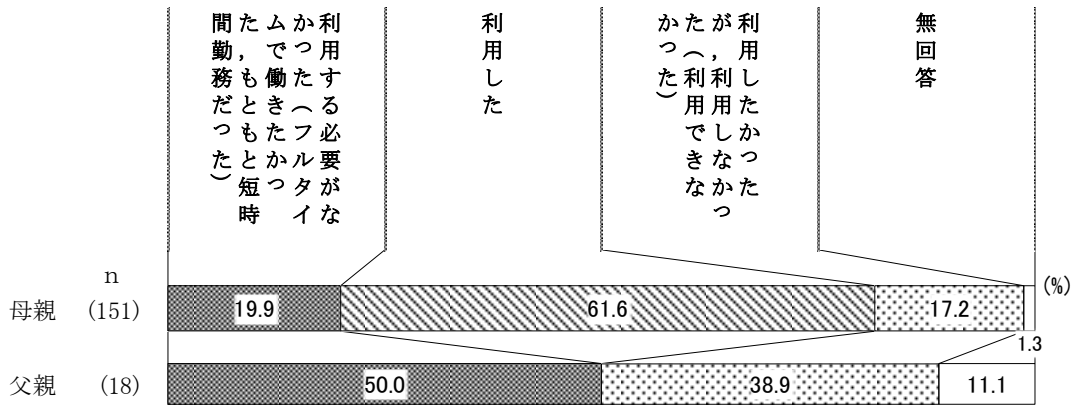
希望していた時期より早く復帰した理由として、母親は「希望する保育所に入るため」が48.7%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(29.5%)、「その他(職場からの要望等)」(20.5%)、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(17.9%)となっています。

父親(該当者9人)は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」と「その他(規定で長期間取れなかった等)」がともに3人、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が2人などとなっています。

希望していた時期より遅く復帰した理由として、母親(該当9人)は「配偶者や家族の希望があったため」と「その他(夫の異動等)」がともに3人、次いで「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が2人などとなっています。

■短時間勤務制度の利用状況

問28-7 問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお伺いします。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

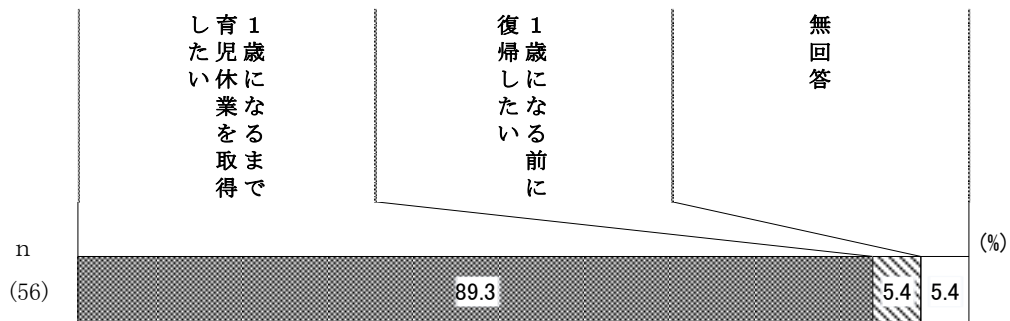


職場復帰した時の短時間勤務制度の利用状況は、母親は「利用した」が61.6%で最も多く、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が19.9%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が17.2%となっています。

父親（該当者18人）は「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が9人、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が7人などとなっています。

■1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得希望

問28-8 問28-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にお伺いします。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

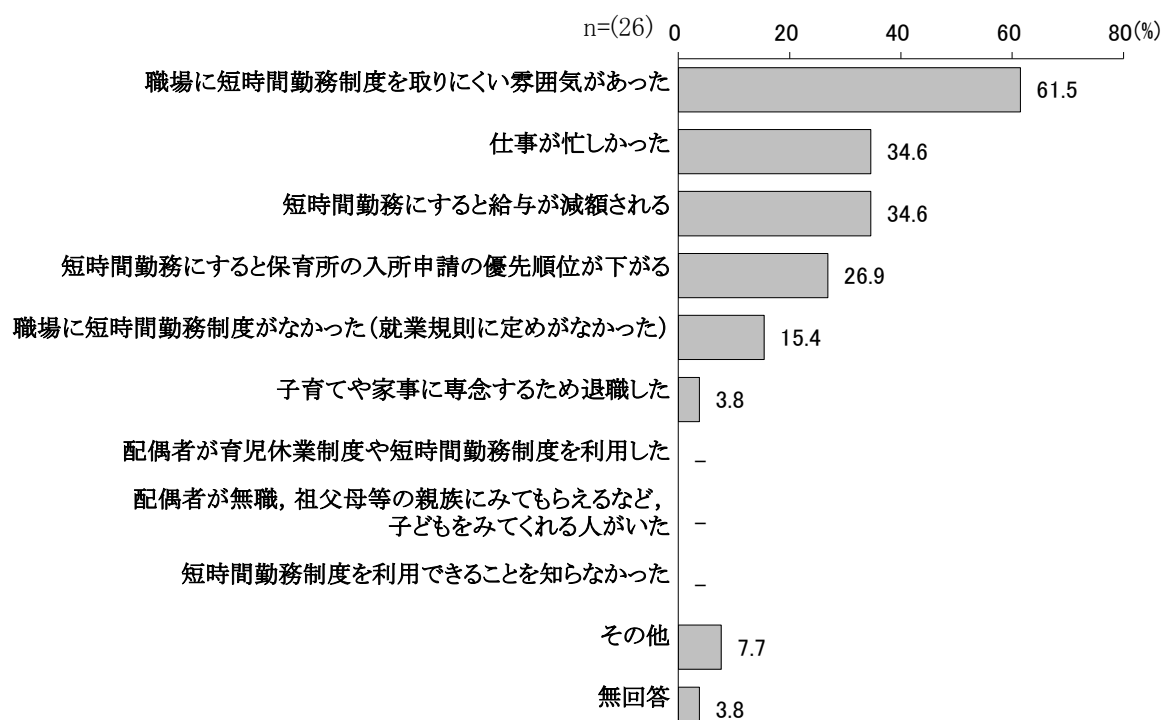


1歳になったときに必ず利用できる保育事業があった場合、現在取得中の育児休業について、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が89.3%を占め、「1歳になる前に復帰したい」は5.4%となっています。

■短時間勤務制度を利用しなかった理由

問28-9 問28-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にお伺いします。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

【母親】



【父親】

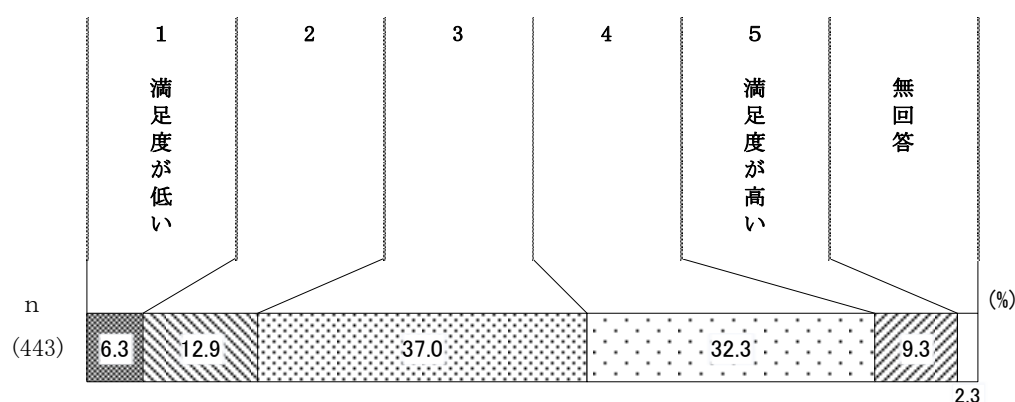
(%)										
n	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	短時間勤務にすると給与が減額される	短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	子育てや家事に専念するため退職した	職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	その他
7	4	3	2	2	2	1	-	-	1	-

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由として、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が61.5%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」（ともに34.6%）、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」（26.9%）となっています。

父親（該当者7人）は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が4人、「仕事が忙しかった」が3人などとなっている。

■子育ての環境や支援への満足度

問29 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけ、その理由をご記入ください。



子育ての環境や支援への満足度を5段階評価でたずねたところ、「3」が37.0%で最も多く、以下「4」(32.3%)、「2」(12.9%)、「5」(9.3%)、「1」(6.3%)の順となっており、平均得点は3.26点となっています。

また、その評価の理由を自由記述でたずねたところ、以下のような回答をいただきました。回答をまとめるにあたり、お一人から複数の満足（不満）な理由、または満足と不満な理由をそれぞれ挙げられるケースがあったため、下記の件数はそれぞれの理由別にまとめたものです。

【満足な理由】

内 容	件 数
<地域子育て支援拠点事業について>	50
地域子育て支援拠点事業が充実している	24
子育てイベントが充実している	10
子育て支援事業が充実している	10
子育て交流が充実している	3
子育て講座・教室が充実している	2
相談・訪問体制が充実している	1
<子どもの遊び場や居場所について>	45
公園や遊歩道など子どもが外で遊べる場所が多い・近い	26
児童センターなど屋内で遊べる施設が充実している	16
図書館などの文化施設が充実している	3
<定期的な教育・保育事業について>	16
保育所が多い、希望通りに入所できた	7
保育所の保育内容が充実・満足している、保育士の質がよい	6
幼稚園の延長保育には助かっている、期待している	1
児童クラブが充実している	1
職場の託児所を利用でき助かっている	1

内 容	件 数
<子どもの医療・福祉について>	7
医療費・予防接種への助成は助かっている	3
医療施設が多い，診療体制が充実している	3
健診・予防接種等の内容がよい	1
<不定期の教育・保育事業について>	5
ファミリーサポートセンターがあり助かっている	3
一時預かり事業が充実している	2
<社会の中での子育て等について>	4
周りに子どもが多い，周囲の目が温かい	4
<居住環境，インフラについて>	4
商業施設が多い，買い物に便利	3
治安がよい	1
<その他>	14
満足している，特に困っていない	13
考えていたより経済的負担が少ない	1
総 計	145

【不満な理由】

内 容	件 数
<定期的な教育・保育事業について>	51
保育所が少ない，待機児童が多い，入所条件が厳しい	43
保育所の預かり時間の延長希望・数枠の拡大	5
児童クラブなど就学後の保育体制が不安	2
利用したいと思える事業がない	1
<経済的問題について>	10
医療費の負担が大きい	6
教育・保育料の負担が大きい	2
子どもが多い場合の助成や支援	2
<子どもの遊び場や居場所について>	8
児童センターなど屋内で遊べる施設が充実していない	4
公園などの環境が悪い	2
大型の公園が少ない・遠い	1
図書館などの文化施設が充実していない	1
<地域子育て支援拠点事業について>	6
子育てイベントが充実していない	2
子育て交流が充実していない	2
開始時間等ニーズに即していない	2

2 就学前児童調査

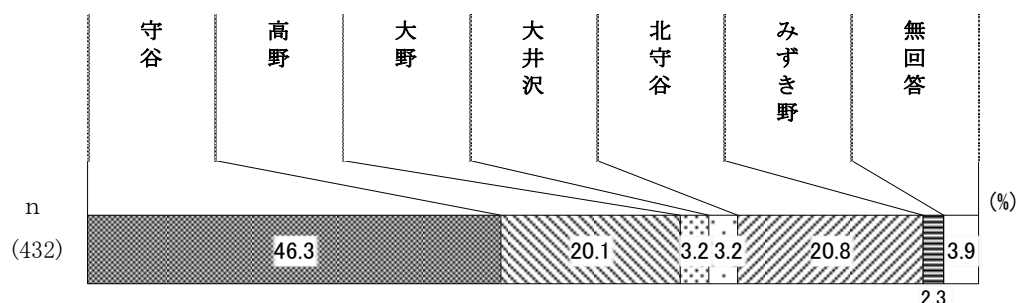
内 容		件 数
<居住環境，インフラについて>		6
交通・ペットの騒音がひどい		2
歩道・通学路等の整備不足で不安		2
交通機関が充実していない，不便，料金が高い		1
駅に子ども用トイレがない		1
<不定期の教育・保育事業について>		4
一時預かり事業が充実していない		2
ファミリーサポートセンターは利用しづらい，改善点がある		2
<子どもの医療・福祉について>		4
病児・病後児保育が充実していない		2
障がい児に対する支援体制が充実していない		2
<社会の中での子育て等について>		2
周りに子どもが少ない，近所づきあいが無い		1
地域での子育て感がない		1
<学校教育について>		1
学校が選択できない		1
<その他>		6
情報の提供不足		2
利用できる・利用したい事業がない		1
子育て支援が充実しているが，まだまだ改善が必要		1
この地で子育てしたいと思えない		1
役所の対応が不親切		1
総 計		98

3 小学生児童保護者

1. お住まいの地域について

■居住地

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1 つに○をつけてください。



【年齢別クロス】

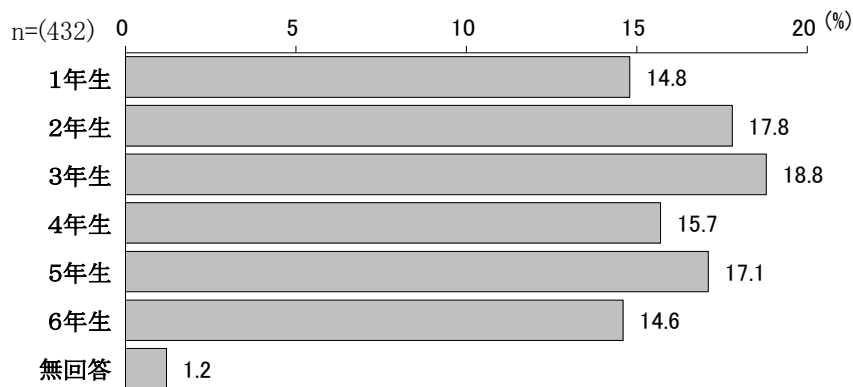
	n	守谷	高野	大野	大井沢	北守谷	みずき野	無回答
全体	432	46.3	20.1	3.2	3.2	20.8	2.3	3.9
1年生	64	62.5	10.9	1.6	1.6	21.9	1.6	—
2年生	77	46.8	20.8	3.9	2.6	20.8	2.6	2.6
3年生	81	44.4	16	4.9	6.2	22.2	3.7	2.5
4年生	68	44.1	20.6	4.4	4.4	19.1	2.9	4.4
5年生	74	44.6	28.4	2.7	—	18.9	1.4	4.1
6年生	63	39.7	25.4	1.6	3.2	23.8	1.6	4.8

居住地区は、「守谷」が46.3%で最も多く、次いで「北守谷」(20.8%)、「高野」(20.1%)となっています。

2. 子どもと家族の状況について

■年齢

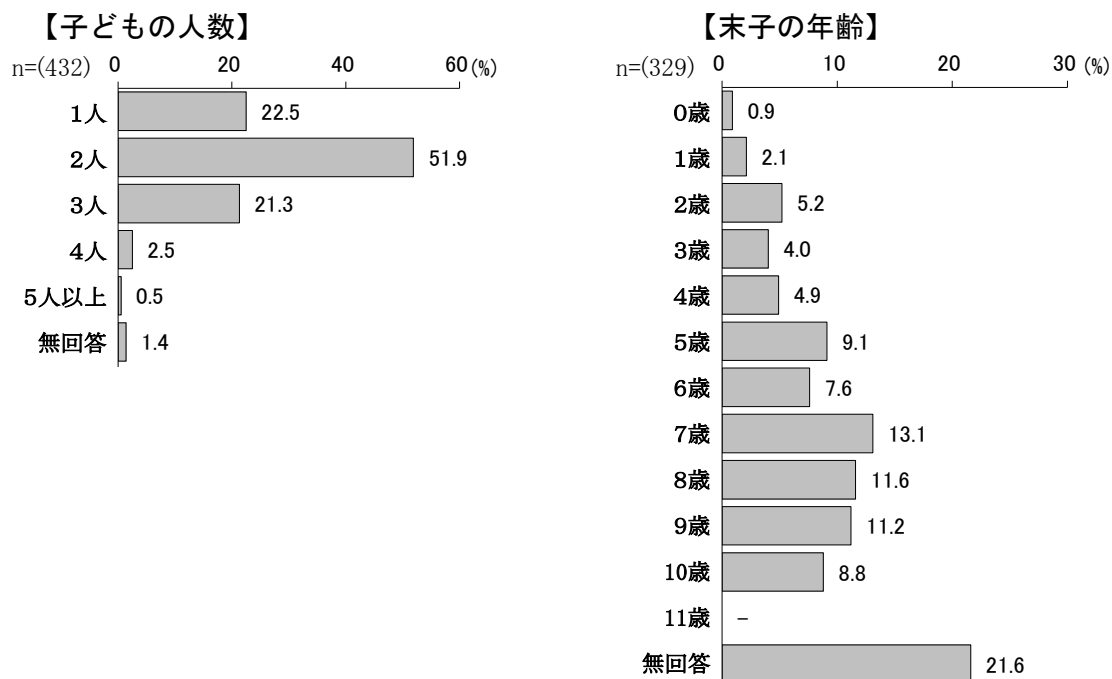
問2 宛名のお子さんは何年生ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



回答者の子どもの学年は、「3年生」が18.8%で最も多く、次いで「2年生」(17.8%)、「5年生」(17.1%)、「4年生」(15.7%)、「1年生」(14.8%)、「6年生」(14.6%)の順となっています。

■子どもの数・末子の年齢

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

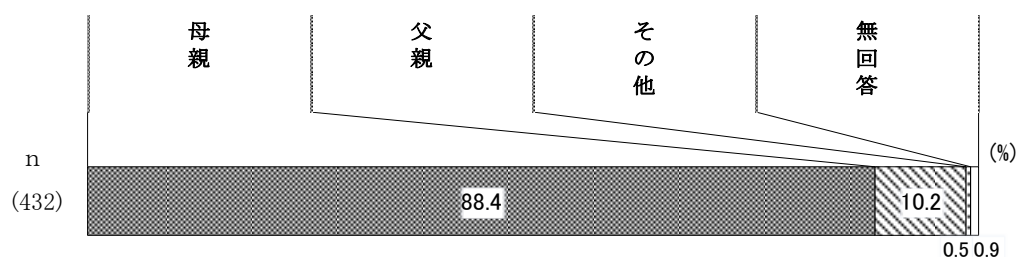


子どもの数は、「2人」が51.9%で最も多く、次いで「1人」(22.5%)、「3人」(21.3%)となっています。

末子の年齢は、「7歳」が13.1%で最も多く、次いで「8歳」(11.6%)、「9歳」(11.2%)となっています。

■回答者

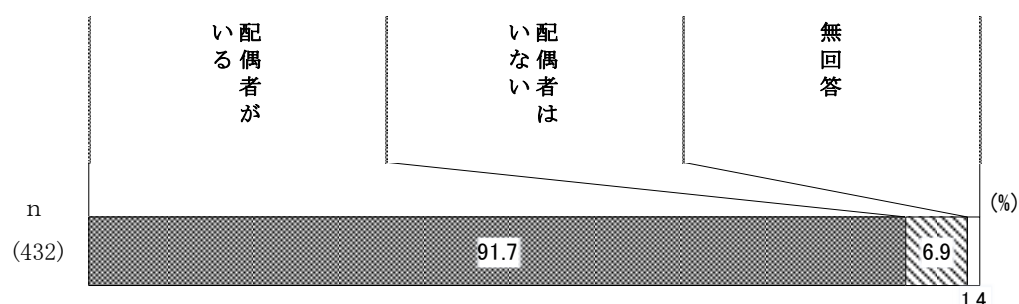
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



本調査の回答者は、「母親」が88.4%を占め、「父親」は10.2%となっています。

■回答者の配偶関係

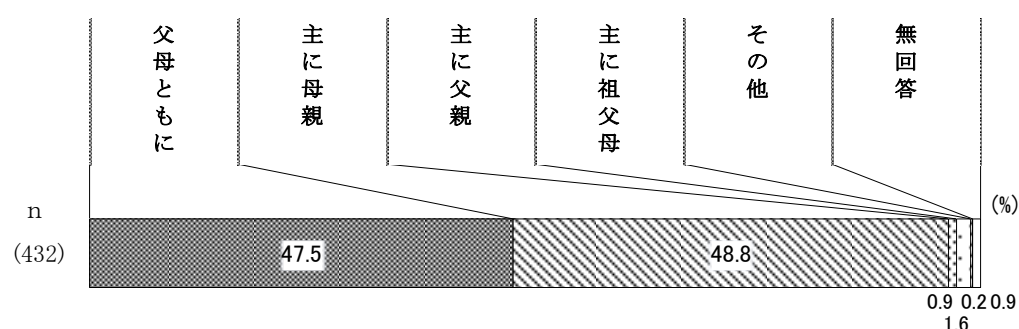
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が91.7%を占め、「配偶者がいない」は6.9%となっています。

■子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

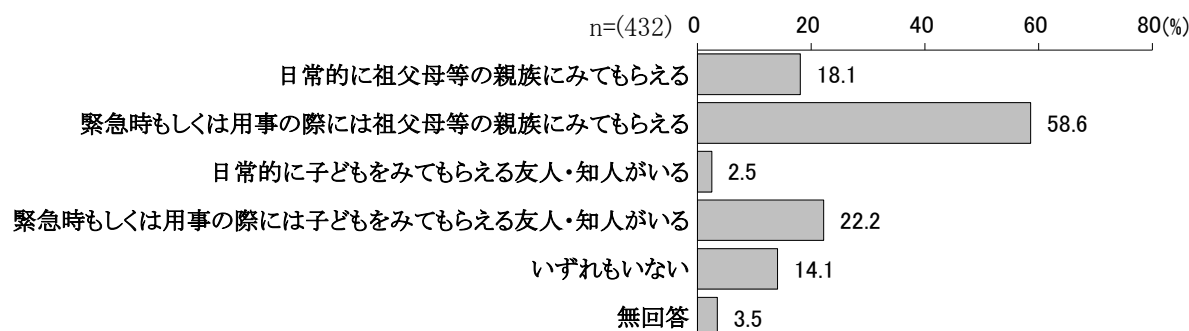


回答者の子どもの子育てを主に行っている人は、「主に母親」が48.8%で、「父母ともに」(47.5%)を上回っています。

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

■日頃、子どもを見てもらえる親族・知人の有無

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

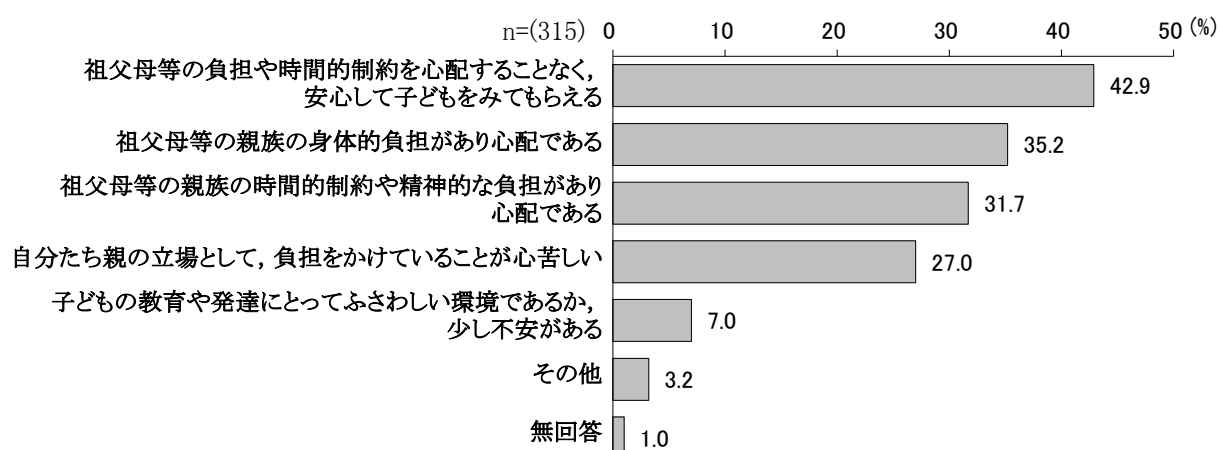


日頃、子どもをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.6%で最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(22.2%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(18.1%)となっています。

■祖父母等の親族の預かり状況

問7-1 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にお伺いします。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

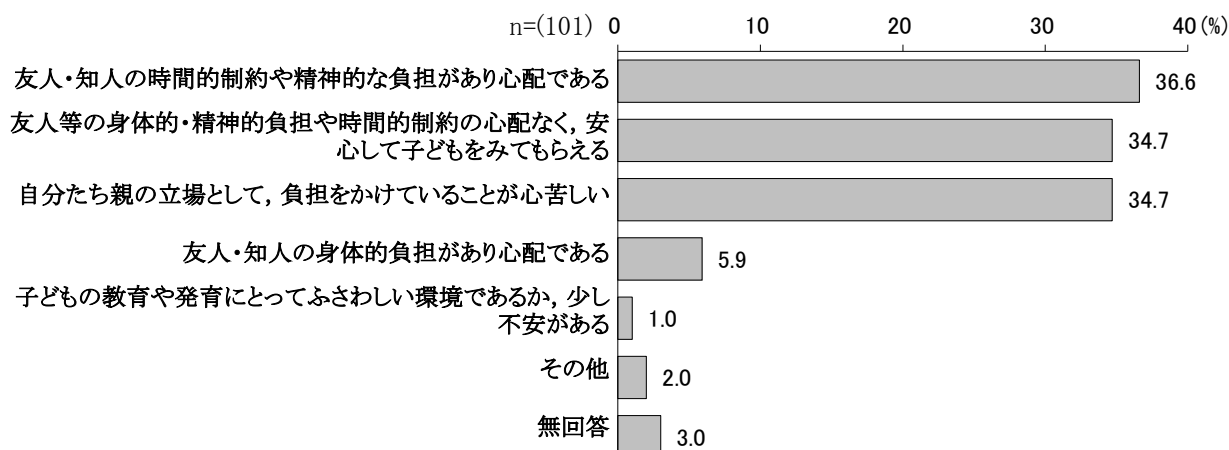


祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が42.9%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担があり心配である」(35.2%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担があり心配である」(31.7%)となっています。

■友人・知人の預かり状況

問7-2 問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にお伺いします。

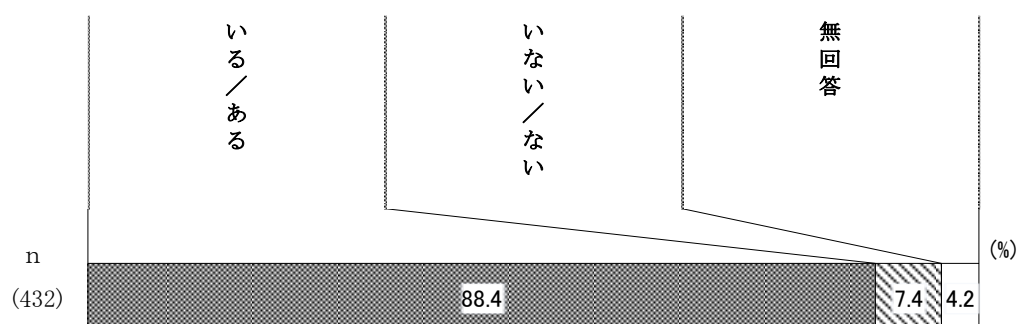
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担があり心配である」が36.6%で最も多く、次いで「友人等の身体的・精神的負担や時間的制約の心配なく、安心して子どもをみてもらえる」と「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（ともに34.7%）となっています。

■子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

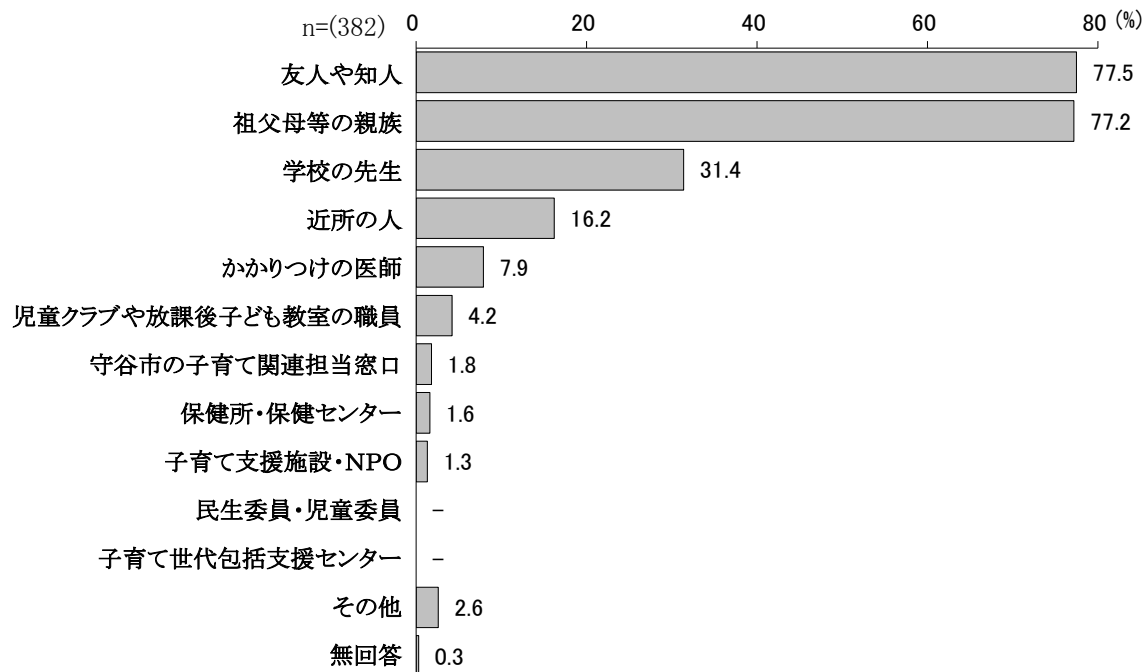


子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所の存在については、「いる／ある」が88.4%を占めており、「いない／ない」は7.4%となっています。

■子育て（教育を含む）に気軽に相談できる相手（先）

問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にお伺いします。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



気軽に相談できる相手（先）は、「友人や知人」が77.5%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」(77.2%)、「学校の先生」(31.4%)、「近所の人」(16.2%)となっています。

■子育てをする上で周囲に望むサポート

問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上であればよいと考える周囲からのサポートについて自由記述形式でたずねたところ、116人の方から回答をいただきました。1人の方が複数の内容を記載していることがあるため、意見の合計は126件となっています。記載内容をまとめると以下の通りとなっています。

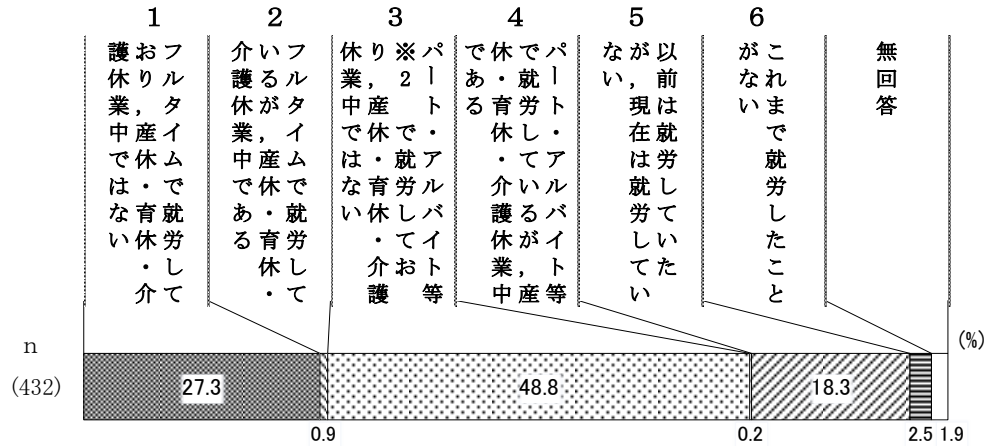
内 容	件 数
子育てについてのアドバイスをいただいたり、相談に乗ってもらえるサポート	31
緊急時の一時預かりの場所	19
病気（親・子ども）のときの生活サポート	13
情報提供の充実	8
児童クラブ（学童保育）などの預かり事業の充実（長期休暇中の利用や時間延長など）	7
地域や行政からの親や子どもに対する見守り・声掛け、近所づきあいを増やす	7
経済的支援の充実	6
教育（宿題・授業補助・習い事等）のサポート・充実	6
子育て世帯間での交流の場や体験談が聞ける機会の提供・充実	4
父親の育児参加のフォロー，育児に対する企業の理解の促進	4
児童クラブや習い事等への送迎サービス	4
障がい児へのサポート	3
家庭訪問の充実	3
児童センター・図書館など屋内で遊べる（過ごせる）場所の充実	2
ファミリーサポートセンターの充実	2
交通等インフラの整備	2
その他	2
満足している，助かっている，特にサポートは必要ない	3
計	126

4. 保護者の就労状況について

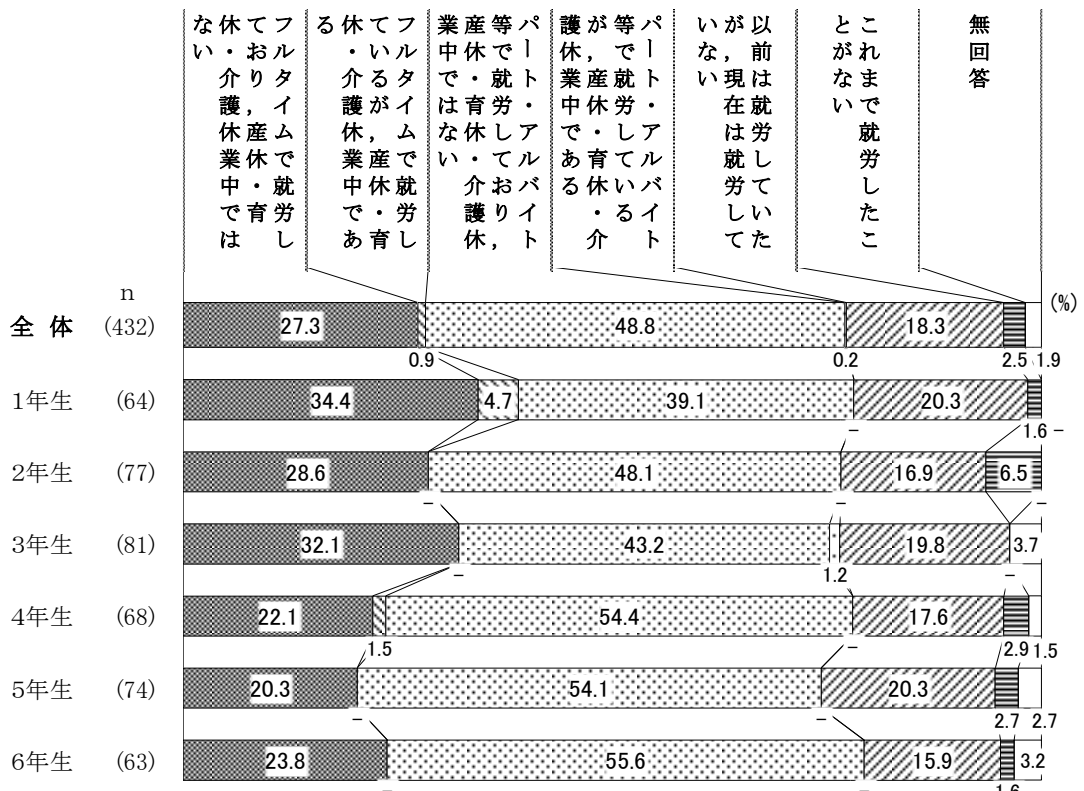
■母親の就労状況

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。

（１）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



【学年別】



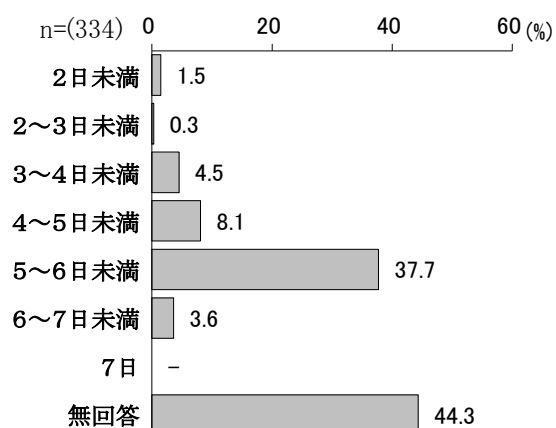
母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が48.8%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(27.3%)、「これまでに就労したことがない」(18.3%)となっています。

学年別でみると、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は《高学年（4～6年生）》で5割を超えて高くなっており、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は《低学年（1～3年生）》で3割前後と高くなっています。

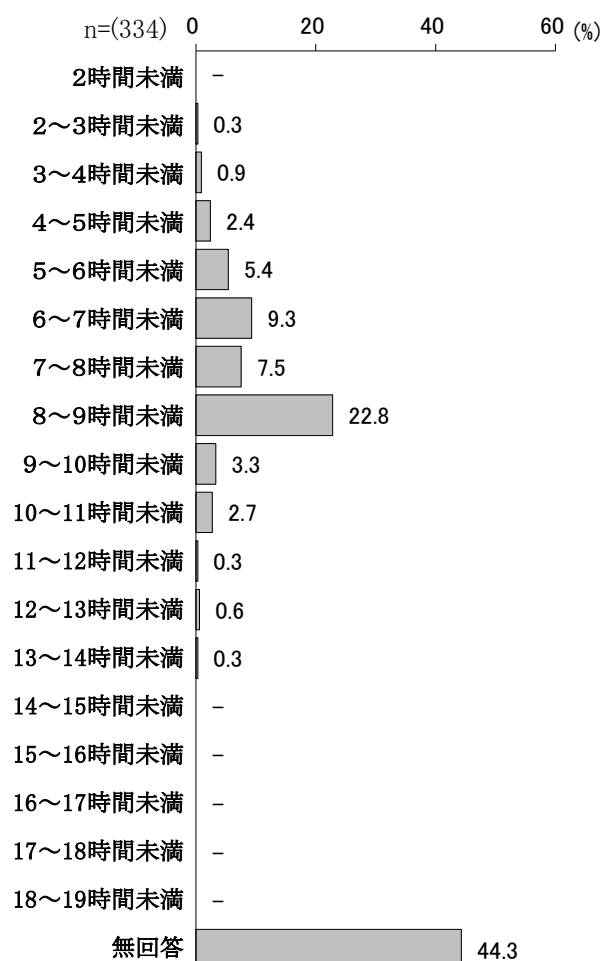
■母親の就労日数・就労時間

(1) -1 (1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字で、時間は24時間制。)

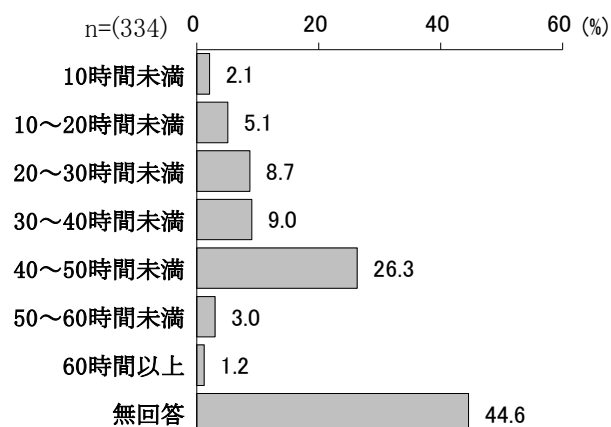
【就労日数 (週当たり)】



【就労時間 (1日当たり)】



【就労時間 (週当たり)】

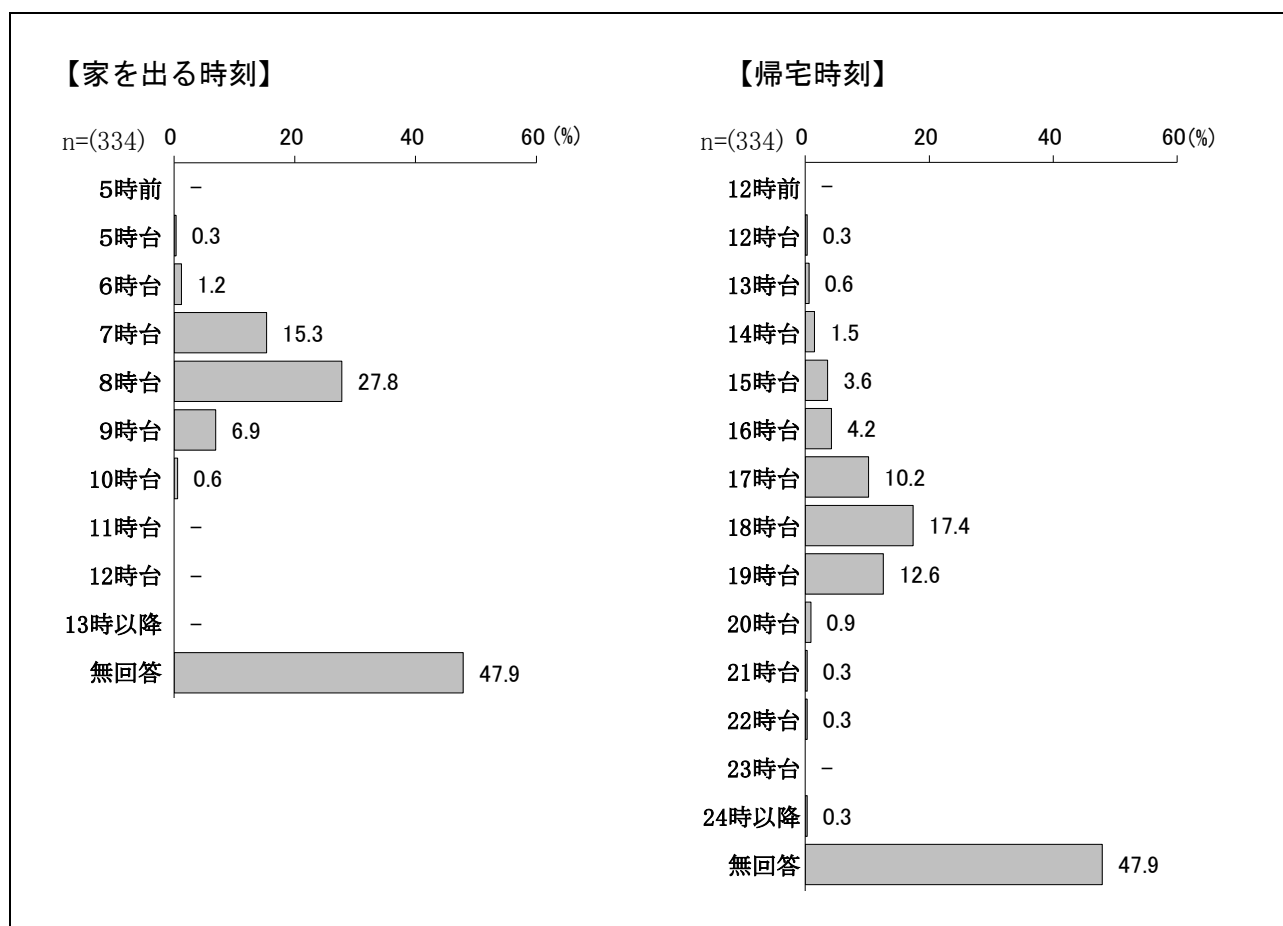


就労している母親の1週間当たりの就労日数は、「5～6日未満」が37.7%で最も多く、次いで「4～5日未満」(8.1%),「3～4日未満」(4.5%)の順となっています。

1週間当たりの就労時間は、「40～50時間未満」が26.3%で最も多く、次いで「30～40時間未満」(9.0%),「20～30時間未満」(8.7%)の順となっています。

1日当たりの就労時間は、「8～9時間未満」が22.8%で最も多く、次いで「6～7時間未満」(9.3%),「7～8時間未満」(7.5%)の順となっています。

■母親の家を出る時刻，帰宅時刻

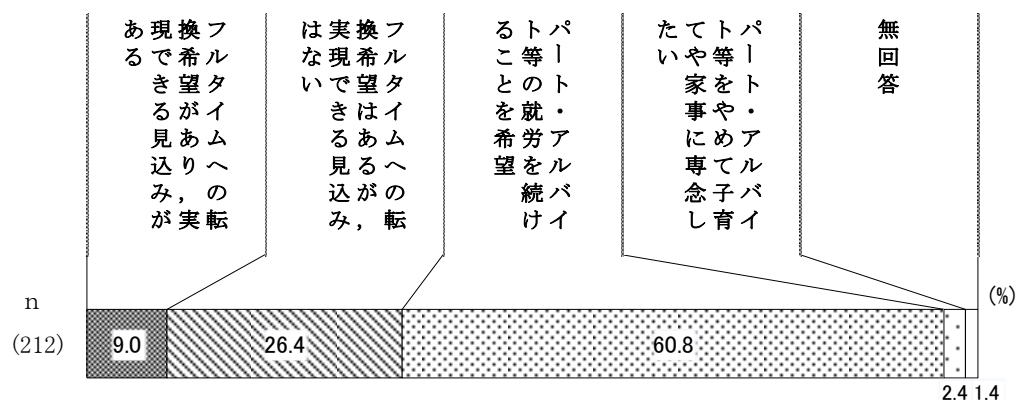


就労している母親の家を出る時刻は，「8時台」が27.8%で最も多く，次いで「7時台」（15.3%），「9時台」（6.9%）の順となっています。

帰宅時刻は，「18時台」が17.4%で最も多く，次いで「19時台」（12.6%），「17時台」（10.2%）の順となっています。

■母親のフルタイムへの転換希望

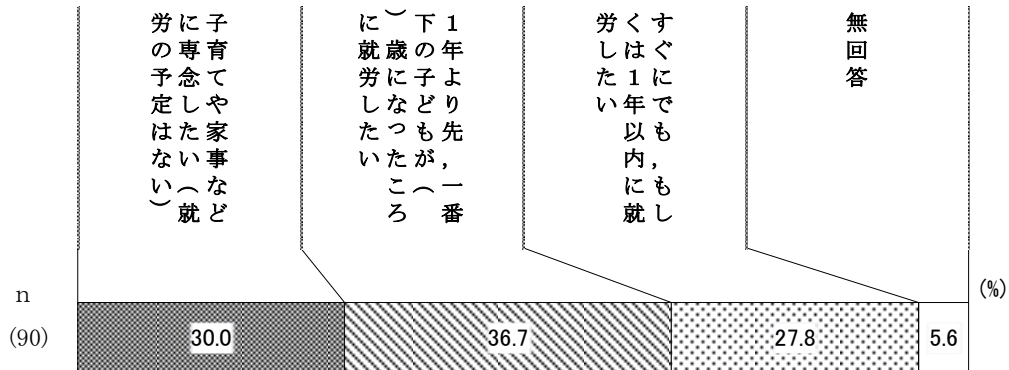
(1) -2 (1)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



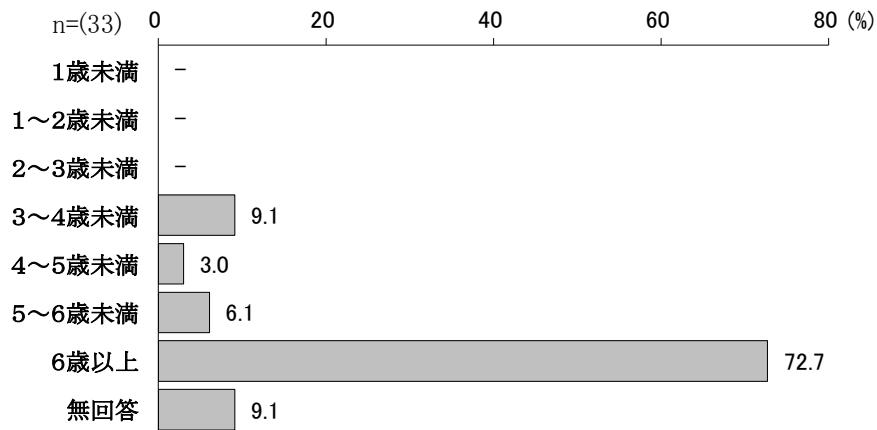
パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が60.8%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(26.4%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(9.0%)となっています。

■母親の就労希望

(1) -3 (1)で「5.」「6.」(就労していない)に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。



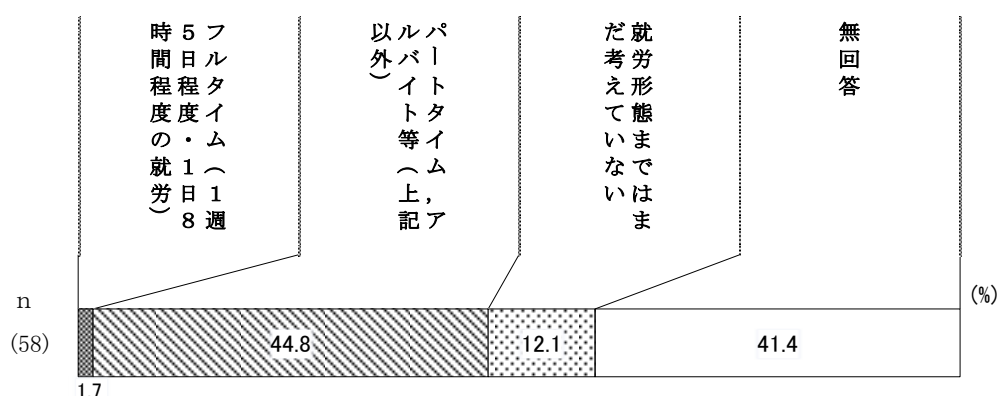
【就労希望時期の末子年齢】(就労希望で2と回答した人)



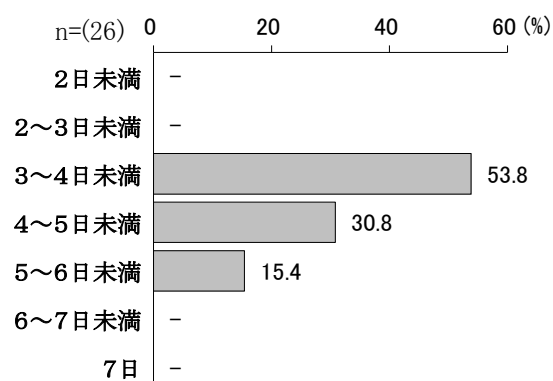
現在就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子が（ ）歳になったころに就労したい」が36.7%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」(30.0%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(27.8%)となっています。

1年より先に就労を希望すると回答された母親が就労希望時の末子年齢は、「6歳以上」が72.7%で最も多く、次いで「3～4歳未満」が9.1%となっています。

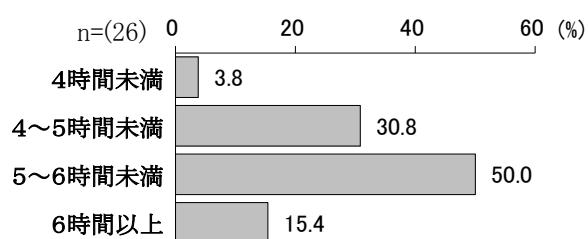
【就労希望形態】（就労希望で2または3と回答した人）



【就労希望日数（週当たり）】



【就労希望時間（1日当たり）】



※日数・時間は就労希望形態が「パートタイム・アルバイト」の場合

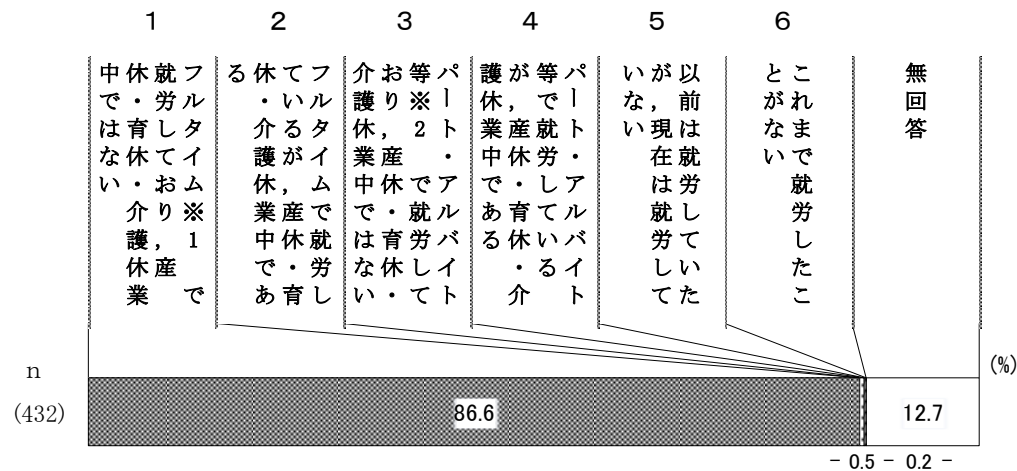
すぐにでも、もしくは1年以内に就労希望がある母親の、希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が44.8%で最も多く、次いで「就労形態まではまだ考えていない」（12.1%）となっています。

パートタイム、アルバイト等の就労を希望する人の1週間当たりの就労希望日数は、「3～4日未満」が53.8%で最も多く、次いで「4～5日未満」（30.8%）、「5～6日未満」（15.4%）となっています。

1日当たりの就労希望時間は、「5～6時間未満」が50.0%で最も多く、次いで「4～5時間未満」（30.8%）、「6時間以上」（15.4%）となっています。

■父親の就労状況

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

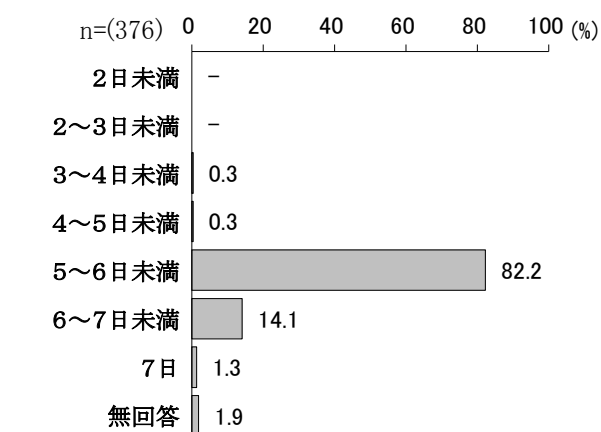


父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が86.6%で、回答者のほぼ全てとなっています。

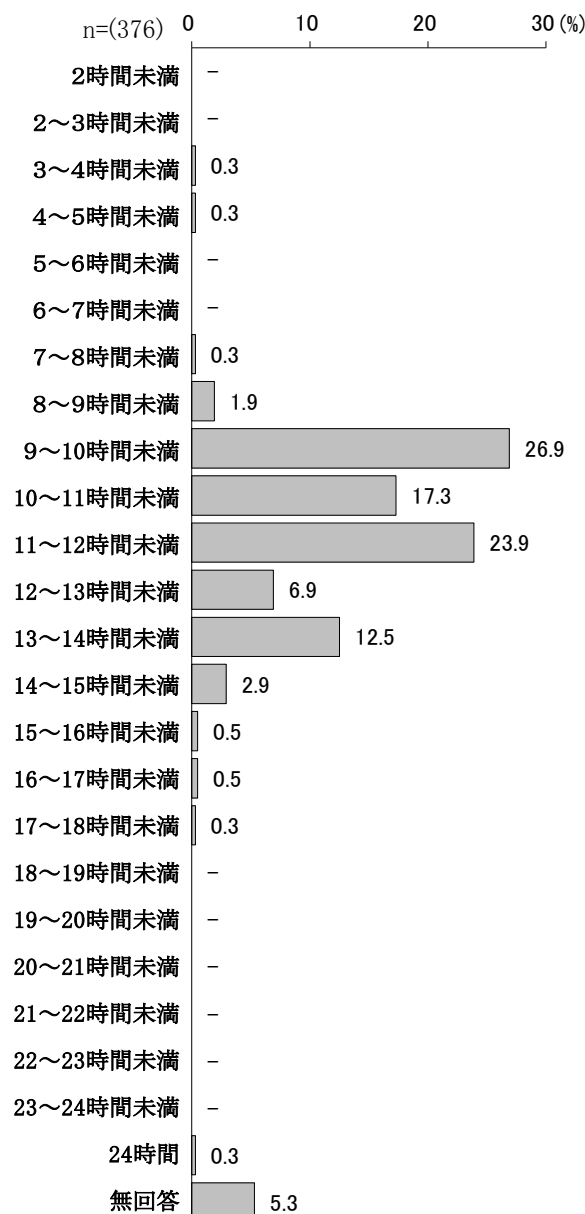
■父親の就労日数・就労時間

(2) -1 (2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で、時間は24時間制。)

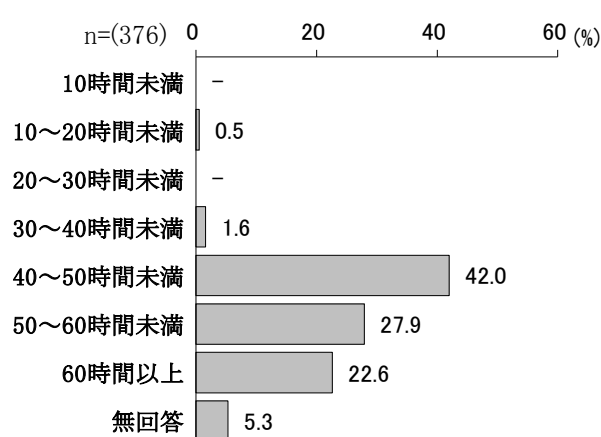
【就労日数(週当たり)】



【就労時間(1日当たり)】



【就労時間(週当たり)】

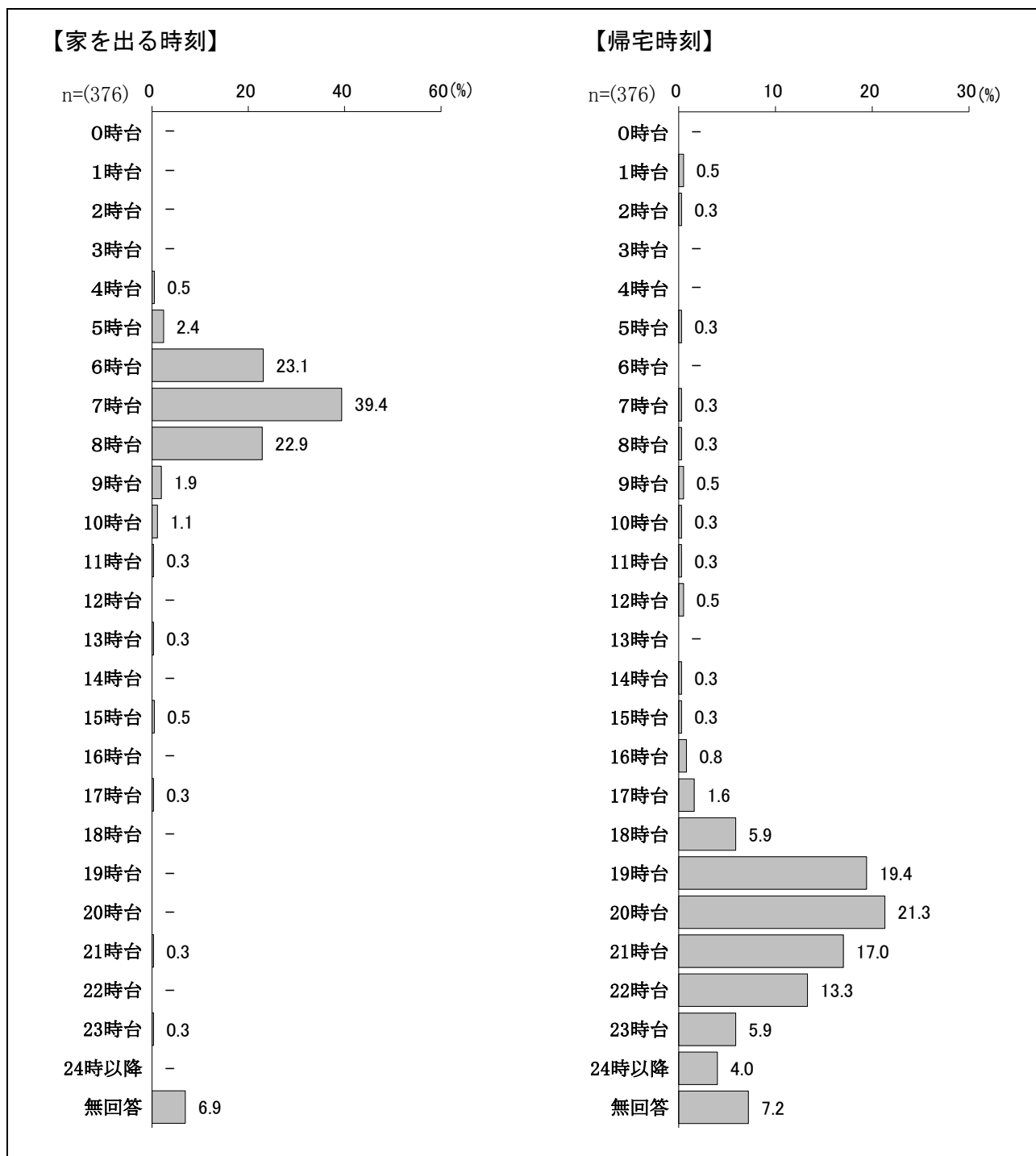


就労している父親の1週間当たりの就労日数は、「5～6日未満」が82.2%を占めており、次いで「6～7日未満」(14.1%)となっています。

1週間当たりの就労時間は、「40～50時間未満」が42.0%で最も多く、次いで「50～60時間未満」(27.9%)、「60時間以上」(22.6%)の順となっています。

1日当たりの就労時間は、「9～10時間未満」が26.9%で最も多く、次いで「11～12時間未満」(23.9%)、「10～11時間未満」(17.3%)の順となっています。

■父親の家を出る時刻，帰宅時刻



就労している父親の家を出る時刻は、「7時台」が39.4%で最も多く、次いで「6時台」(23.1%)、「8時台」(22.9%)の順となっています。

帰宅時刻は、「20時台」が21.3%で最も多く、次いで「19時台」(19.4%)、「21時台」(17.0%)の順となっています。

■父親のフルタイムへの転換希望

(2) -2 (2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(人)

n	フルタイムへの転換希望があり, 実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが, 実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
2	-	-	2	-

現在「パート・アルバイト等で就労している」父親(該当者2人)の, フルタイムへの転換希望は, 2人とも「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」となっています。

■父親の就労希望

(2) -3 (2)で「5.」「6.」(就労していない)に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

(人)

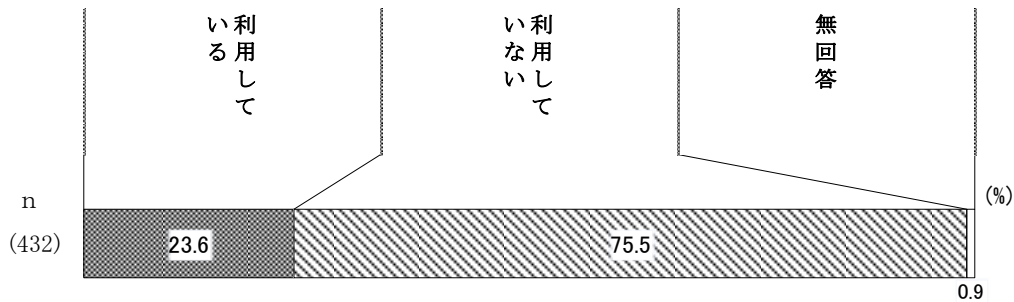
n	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1年より先, 一番下の子どもが()歳になったころに就労したい	すぐにも, もしくは1年以内に就労したい
1	1	-	-

現在就労していない父親(該当者1人)の就労希望は, 「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」となっています。

5. 児童クラブ・放課後子ども教室の利用状況について

■児童クラブの利用状況

問11 宛名のお子さんは、現在、児童クラブを利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

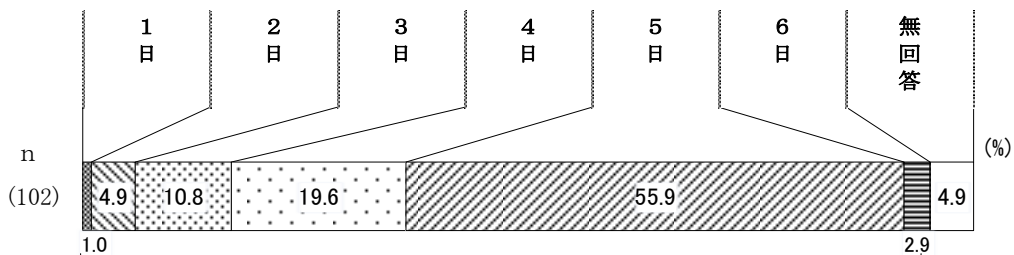


児童クラブの利用状況は、「利用していない」が75.5%で、「利用している」が23.6%となっています。

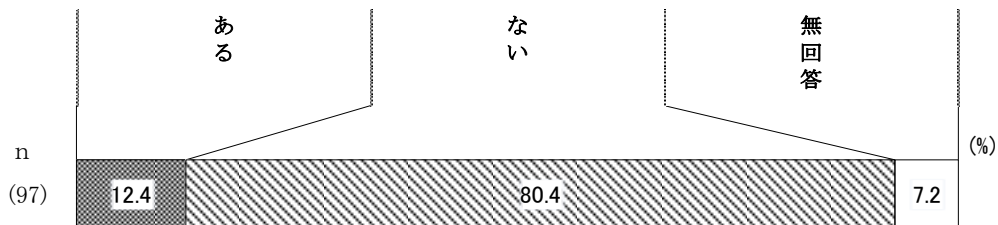
■児童クラブの利用日数・土曜の利用状況

問11-1 問11で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。

児童クラブの利用日数は、どれくらいですか。□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。また、土曜日の利用についてもお答えください。



【土曜日の利用】



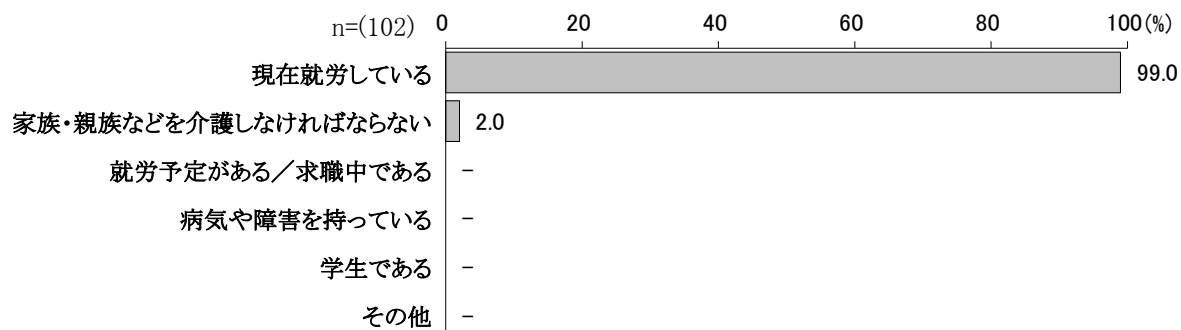
児童クラブの週当たりの利用日数は、「5日」が55.9%で最も多く、次いで「4日」(19.6%)、「3日」(10.8%)の順となっています。

また、児童クラブの土曜日の利用については、「ない」が80.4%で、「ある」が12.4%となっています。

■児童クラブを利用している理由

問11-2 問11で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。

児童クラブを利用している理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

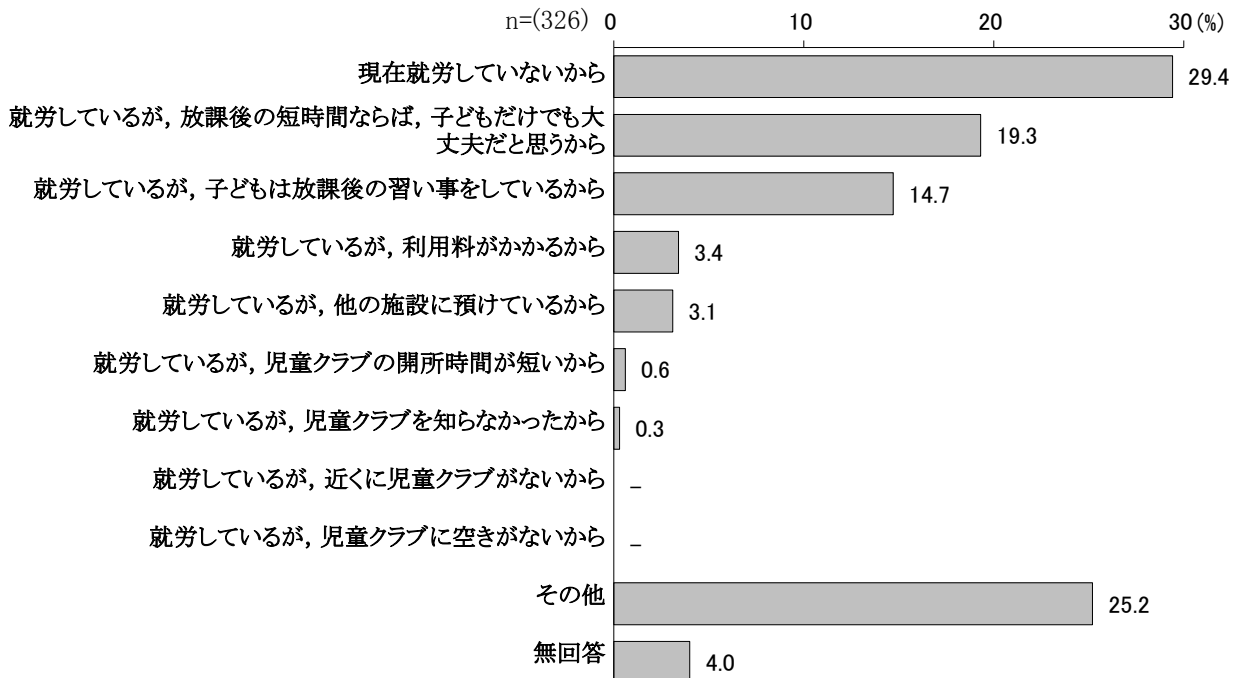


児童クラブを利用している理由は、「現在就労している」が99.0%を占めています。

■児童クラブを利用していない理由

問11-3 問11で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。

児童クラブを利用していない理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



児童クラブを利用していない理由は、「現在就労していないから」が29.4%で最も多く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」(19.3%)、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」(14.7%)の順となっています。

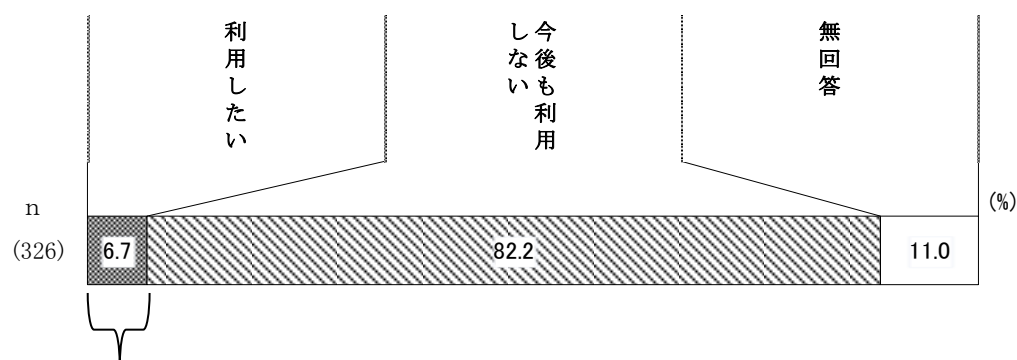
なお、「その他」の内訳としては、下記の通りとなっています。

内 容	件 数
就労しているが、下校時には帰宅しているから	39
子どもが嫌がっているから	10
放課後子ども教室を利用しているから	7
就労しているが、親以外のものが家に居るから	6
子ども一人でも問題がない／必要がないから	4
サービス利用条件に合わないので利用できないから	4
放課後クラブを利用しているから	3
その他	7
計	126

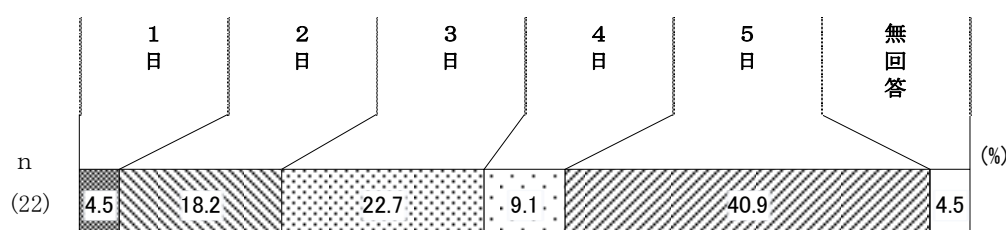
■今後の児童クラブの利用意向

問11-4 問11で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。

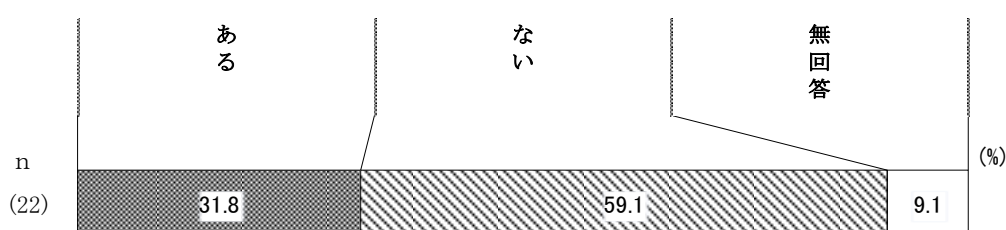
宛名のお子さんについて、今後、児童クラブを利用したいとお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用を希望される方は、1週間の利用希望日数を□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）さらに、土曜日の利用希望について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



【利用希望日数（週当たり）】



【うち土曜日の利用希望】



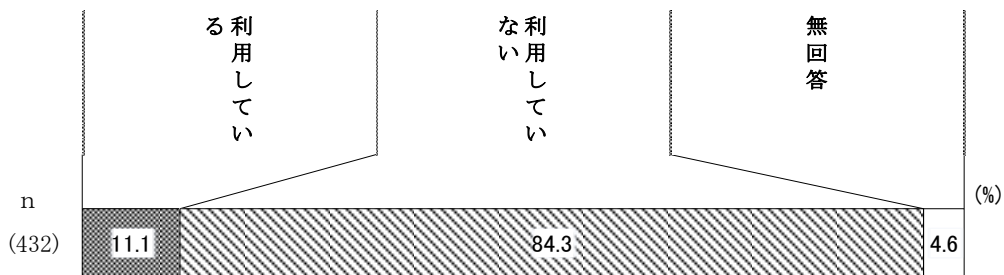
現在、児童クラブを利用していない方の今後の利用意向については、「今後も利用しない」が82.2%を占めており、「利用したい」は6.7%となっています。

「利用したい」と回答された方の週当たりの利用希望日数は、「5日」が40.9%で最も多く、次いで「3日」(22.7%)、「2日」(18.2%)となっています。

また、土曜日の利用希望については、「ない」が59.1%で、「ある」は31.8%となっています。

■放課後子ども教室の利用状況

問12 宛名のお子さんは、現在、放課後子ども教室を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

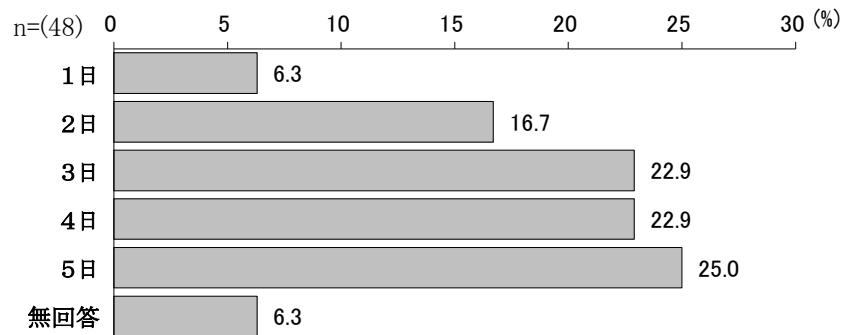


放課後子ども教室の利用状況は、「利用していない」が84.3%で、「利用している」が11.1%となっています。

■放課後子ども教室の利用日数

問12-1 問12で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。

放課後子ども教室の利用日数は、どれくらいですか。口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

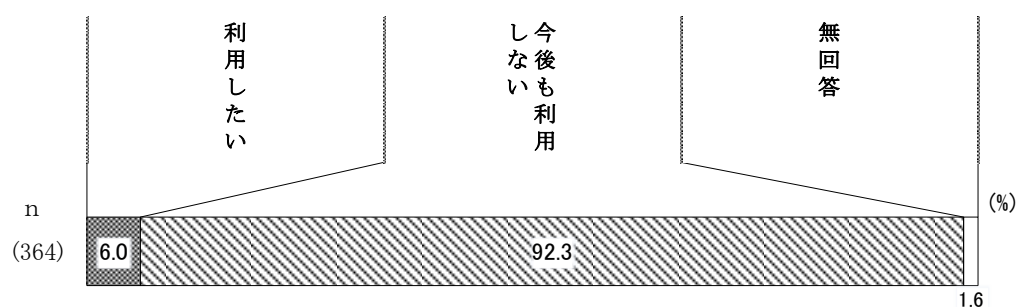


放課後子ども教室の週当たりの利用日数は、「5日」が25.0%で最も多く、次いで「3日」と「4日」（ともに22.9%）の順となっています。

■放課後子ども教室の今後の利用意向

問12-2 問12で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。

宛名のお子さんについて、今後、放課後子ども教室を利用したいとお考えですか。当
てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用を希望される方は、1週間の利用
希望日数を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。



現在、放課後子ども教室を利用していない方の今後の利用意向については、「今後も利用しない」が92.3%を占めており、「利用したい」は6.0%となっています。

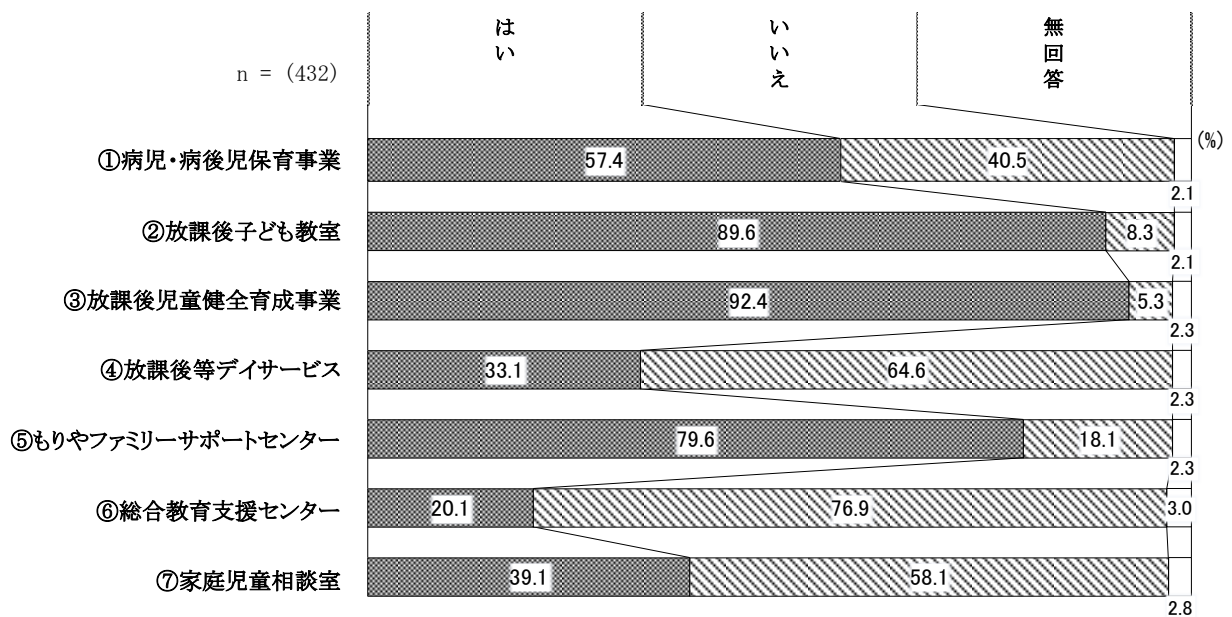
6. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

■各種支援事業の認知度，利用状況，利用希望

問13 市では，安心して子育てすることができるよう，親子が集まって過ごしたり，子育てについて相談したり，お子さんを一時的に預けたりできる様々な事業を実施しています。

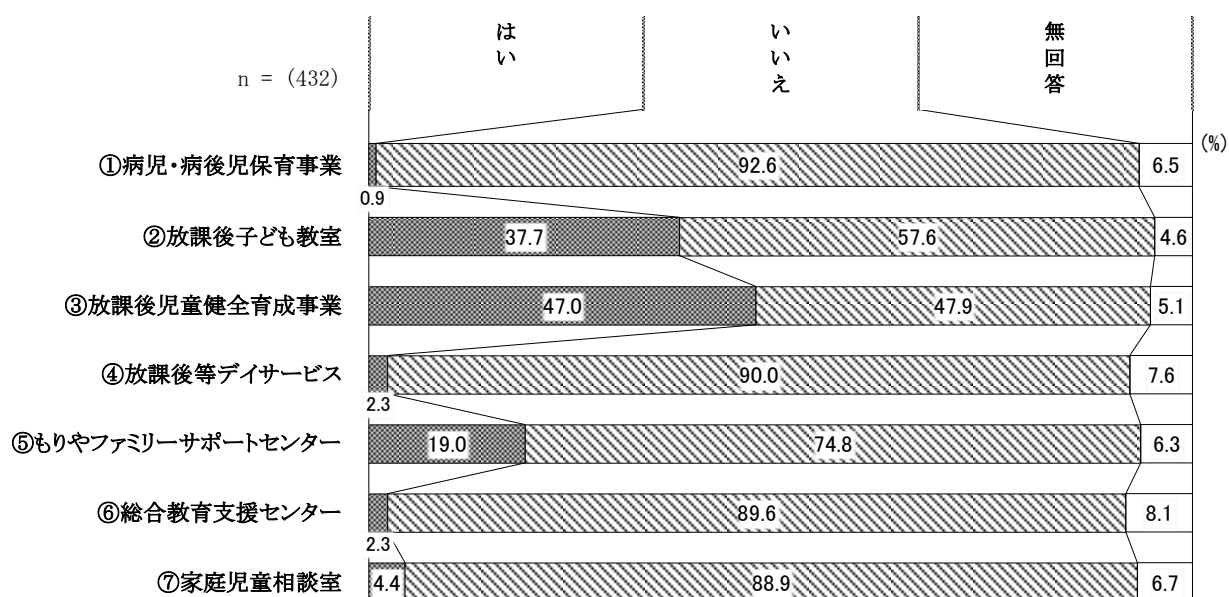
下記の事業のうち，知っているものや，これまでに利用したことがあるもの，今後，利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに，AからCのそれぞれについて，「はい」，「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【認知度】



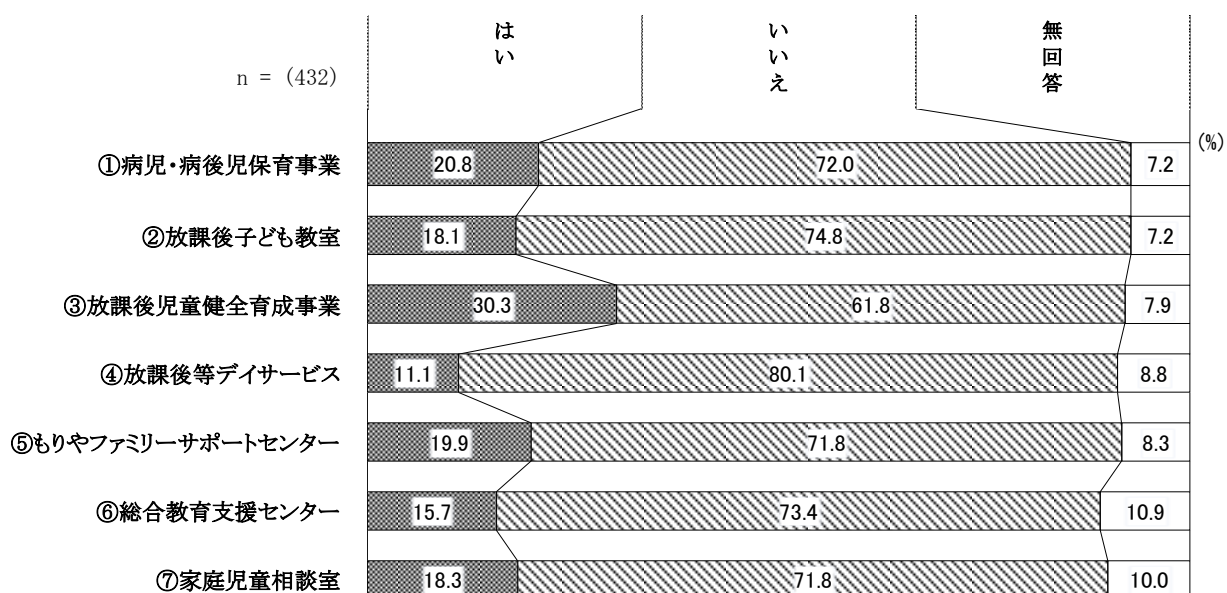
地域の各種子育て支援事業の認知度について，「はい（知っている）」は「放課後児童健全育成事業」が92.4%で最も多く，次いで「放課後子ども教室」（89.6%），「もりやファミリーサポートセンター」（79.6%），「病児・病後児保育事業」（57.4%）となっています。

【利用経験】



各種子育て支援事業の利用状況については、「はい（利用したことがある）」は「放課後児童健全育成事業」が47.0%で最も多く、次いで「放課後子ども教室」（37.7%）、「もりやファミリーサポートセンター」（19.0%）となっています。

【利用希望】



各種子育て支援事業の今後の利用意向については、「はい（利用したい）」は「放課後児童健全育成事業」が30.3%で最も多く、次いで「病児・病後児保育事業」（20.8%）、「もりやファミリーサポートセンター」（19.9%）となっています。

■子育て支援事業の利用回数

問13-1 問13で、下記の事業B欄の「これまでに利用したことがある」に「はい」を選んだ内容についてお伺いします。(すべて「いいえ」を選んだ方は、問13-2へお進みください)

現在、利用している事業のおよその利用回数（頻度）を【 】内に数字で記入ください。

【月当たりの利用回数】

(%)

	n	1 回 未 満	1 ～ 2 回 未 満	2 ～ 3 回 未 満	3 ～ 4 回 未 満	4 ～ 5 回 未 満	5 ～ 10 回 未 満	10 回 以 上	無 回 答
①病児・病後児保育事業	4	-	-	-	-	-	-	-	100.0
②放課後子ども教室	163	-	2.5	1.2	-	19.0	6.1	30.7	40.5
③放課後児童健全育成事業	203	-	-	-	0.5	1.5	2.5	48.3	47.3
⑤もりやファミリーサポートセンター	82	4.9	13.4	4.9	-	6.1	2.4	1.2	67.1

各種子育て支援事業の利用回数は、“放課後児童健全育成事業”は、「10回以上」が48.3%で最も多く、“放課後子ども教室”は「10回以上」(30.7%)、“もりやファミリーサポートセンター”は「1～2回未満」(13.4%)がそれぞれ最も多くなっています。

■地域子育て支援拠点事業の利用希望回数

問13-1 問13で、下記の事業C欄の「今後利用したい」に「はい」を選んだ内容についてお伺いします。

(すべて「いいえ」を選んだ方は、問14へお進みください)

今後利用したい事業のおおよその利用回数（頻度）を【 】内に数字でご記入ください。

【月当たりの利用希望回数】

(%)

	n	1 回 未 満	1 ～ 2 回 未 満	2 ～ 3 回 未 満	3 ～ 4 回 未 満	4 ～ 5 回 未 満	5 ～ 10 回 未 満	10 回 以 上	無 回 答
①病児・病後児保育事業	90	4.4	21.1	4.4	1.1	2.2	-	3.3	63.3
②放課後子ども教室	78	-	3.8	-	-	7.7	7.7	44.9	35.9
③放課後児童健全育成事業	131	-	3.1	-	-	-	3.1	45.8	48.1
⑤もりやファミリーサポートセンター	86	2.3	18.6	8.1	1.2	11.6	5.8	4.7	47.7

各種子育て支援事業の今後利用したい回数は、“放課後児童健全育成事業”は、「10回以上」が45.8%で最も多く、“病児・病後児保育事業”は「1～2回未満」(21.1%)、“もりやファミリーサポートセンター”は「1～2回未満」(18.6%)、“放課後子ども教室”は「10回以上」(44.9%)がそれぞれ最も多くなっています。

■地域子育て支援拠点事業への要望

問14 市が実施する地域子育て支援拠点事業について、今後のどのような支援があればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

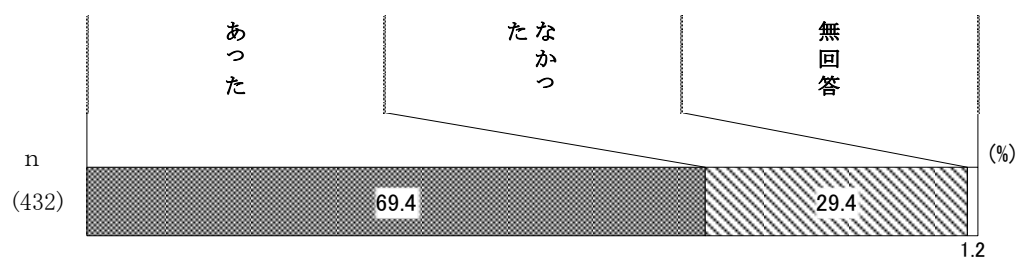
地域子育て支援拠点事業への要望を自由記述形式でたずねたところ、108人の方から記入がありました。1人の方が複数の支援内容を記載していることがあるため、意見の合計は124件となっています。記載内容をまとめると以下の通りとなっています。

内 容	件 数
一時預かりの支援	21
病児・病後児保育に関する支援	16
児童クラブ等の利用のしやすさの改善	12
学童クラブ・児童クラブの時間延長や休日営業	11
子育て・教育に関する経済的支援	10
新しい児童館などの設立	10
学校外での教育支援	9
子育て・教育に関する情報提供支援	6
子育て・教育に関する相談支援	6
学童クラブ・児童クラブの内容の充実	6
施設・塾などへの送迎サービス	6
親同士の交流の場の充実	3
学校教育・教育関係者の質の向上	21
その他	6
計	124

7. 子どもの病気の際の対応について

■病気やけがで学校を休んだ経験

問15 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。



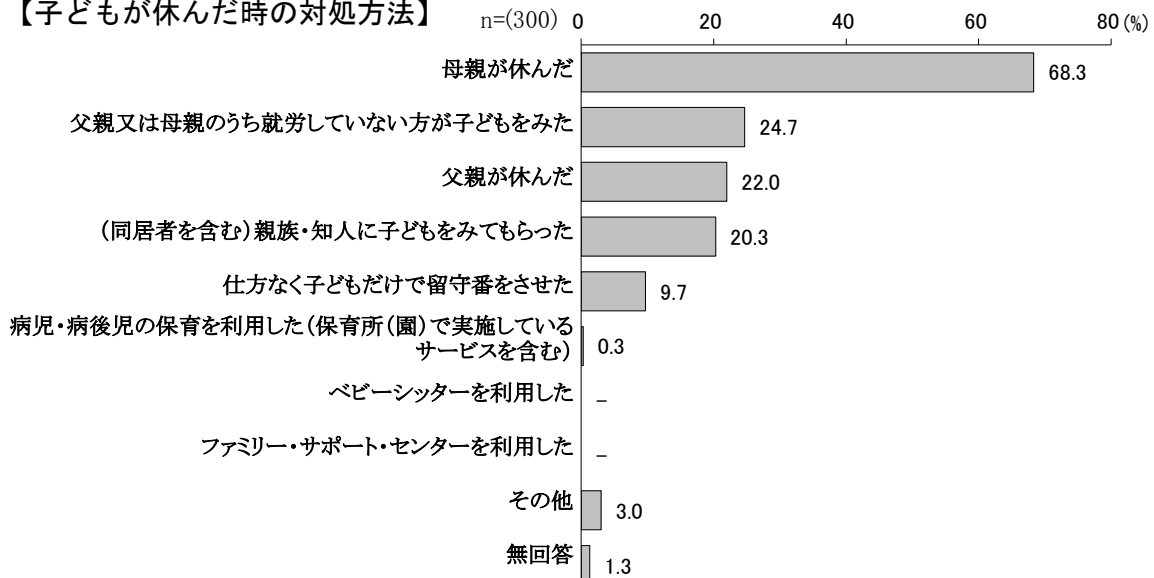
この1年間に病気やけがで学校を休んだ経験は、「あった」が69.4%で、「なかった」が29.4%となっています。

■病気やけがで学校を休んだときの対処方法とその日数

問15-1 問15で、「1. あった」に○をつけた方にお伺いします。

この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）

【子どもが休んだ時の対処方法】



【対処方法別日数（年間）】

	n	1日	2日	3日	4日	5 ～ 9日	10 ～ 14日	15 ～ 19日	20 ～ 29日	30 ～ 59日	60 日以上	無回答
母親が休んだ	205	22.4	21.5	18.5	3.9	22.0	0.5	1.5	0.5	-	-	1.0
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	74	14.9	14.9	5.4	4.1	41.9	10.8	1.4	1.4	1.4	-	4.1
父親が休んだ	66	39.4	36.4	7.6	6.1	9.1	1.5	-	-	-	-	-
親族・知人に子どもをみてもらった	61	27.9	26.2	23.0	-	14.8	4.9	-	-	-	-	3.3
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	29	37.9	20.7	13.8	6.9	6.9	10.3	-	-	-	-	3.4
病児・病後児の保育を利用した	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	9	11.1	-	-	-	33.3	22.2	-	-	-	-	22.2

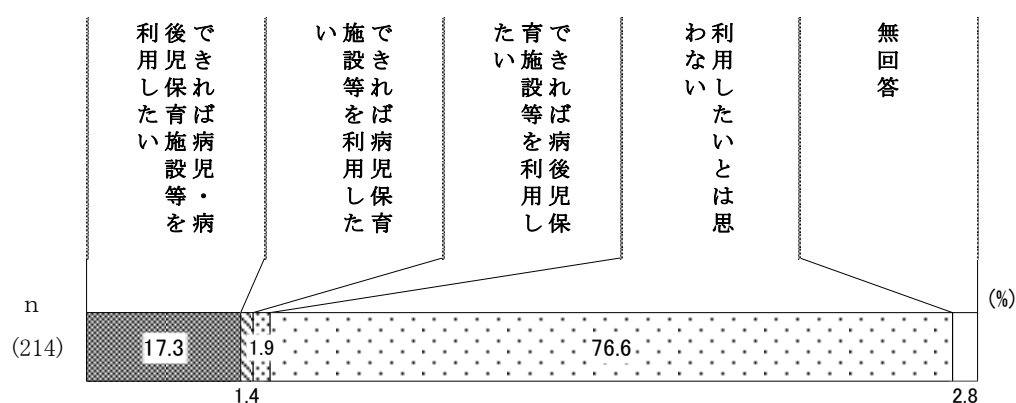
子どもが病気やケガで学校を休んだ時にとった対処方法は、「母親が休んだ」が68.3%で最も多く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(24.7%)、「父親が休んだ」(22.0%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(20.3%)となっています。

また、それぞれ対処した日数は、「母親が休んだ」は「1日」「2日」「5～9日」で2割以上、同様に「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」は「5～9日」,「父親が休んだ」は「1日」「2日」,「親族・知人に子どもをみてもらった」は「1日」「2日」「3日」でそれぞれ2割以上となっています。

■病児・病後児保育施設の利用希望

問15-2 問15-1で、「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にお伺いします。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

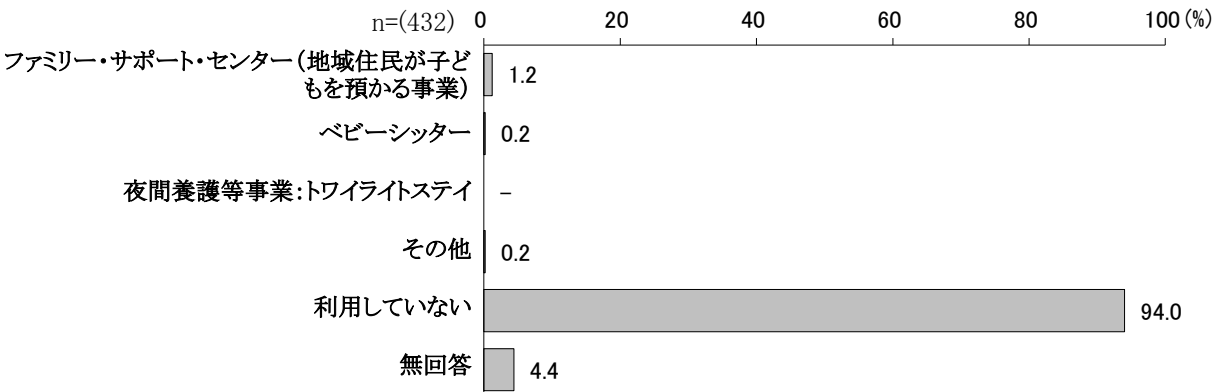


子どもが休んだときに病児・病後児保育施設を利用したかったかについては、「利用したいとは思わない」が76.6%と最も多く、次いで「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は17.3%となっています。

8. 不特定の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

■一時預かりの経験

問16 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



【利用日数（年間）】

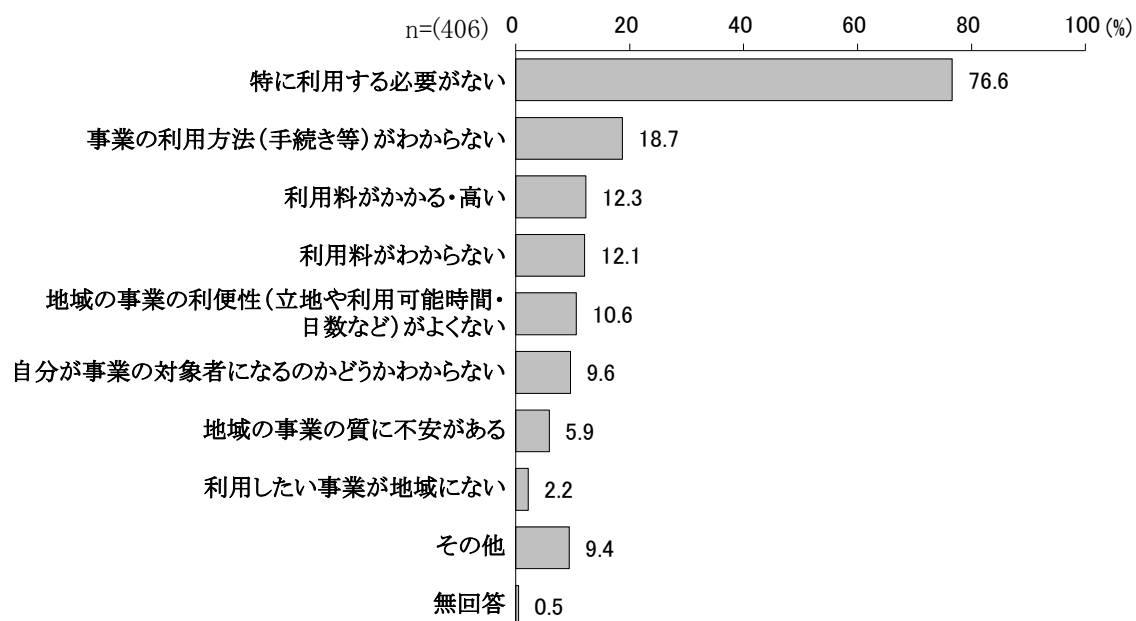
	n	1日	2日	3日	4日	5～9日	10日以上	無回答
ファミリー・サポート・センター	5	-	1	2	-	1	-	1
ベビーシッター	1	1	-	-	-	-	-	-
夜間養護等事業	-	-	-	-	-	-	-	-
その他(放課後デイサービス)	1	-	-	-	-	1	-	-

一時預かり事業の利用状況については、「利用していない」が94.0%を占めています。利用した事業としては、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」が1.2%、「ベビーシッター」が0.2%、「その他（放課後デイサービス）」が0.2%となっています。

■利用していない理由

問16-1 問16で、「5. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。

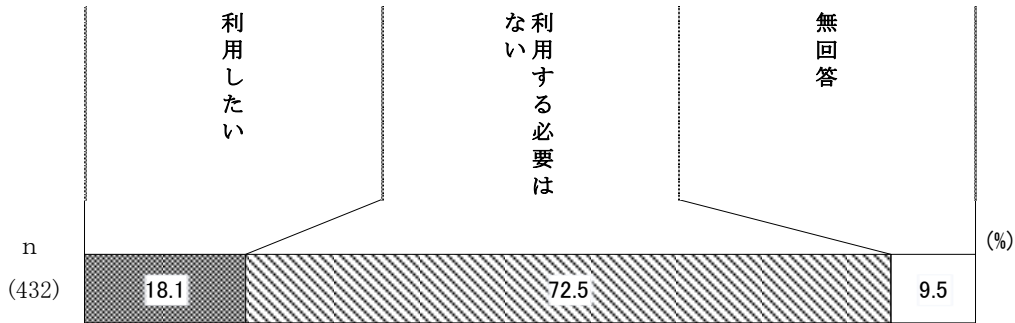
現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



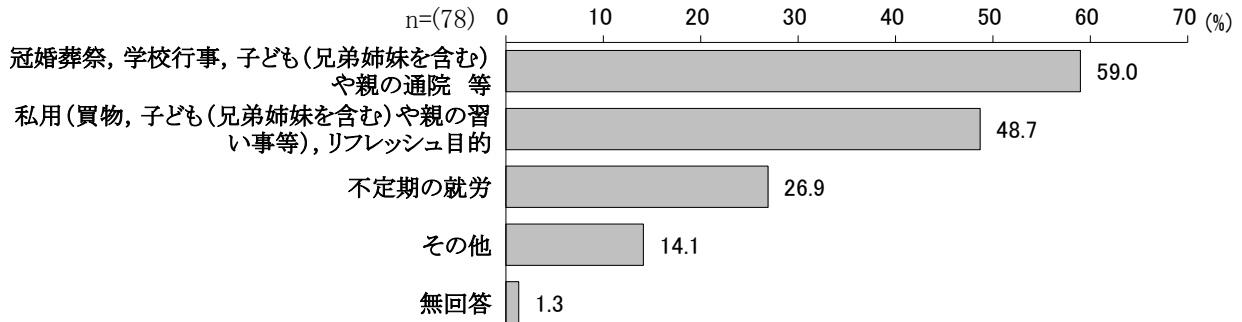
不定期に利用した事業がない理由は、「特に利用する必要がない」が76.6%で最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（18.7%）、「利用料がかかる・高い」（12.3%）、「利用料がわからない」（12.1%）となっています。

■一時預かりの今後の利用希望

問17 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時的な事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



【一時預かりの利用目的】



【一時預かりの利用希望日数（年間）】

	n	1日	2日	3日	4日	5日 ～ 9日	10日 ～ 14日	15日 ～ 19日	20日 ～ 29日	30日 ～ 59日	60日 ～ 119日	120日以上	無回答
利用希望日数（合計）	78	3.8	3.8	9.0	3.8	20.5	21.8	7.7	9.0	6.4	2.6	-	11.5
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	38	10.5	5.3	7.9	7.9	26.3	28.9	-	5.3	5.3	2.6	-	-
私用、リフレッシュ目的	46	10.9	4.3	17.4	10.9	26.1	23.9	-	4.3	2.2	-	-	-
不定期の就労	21	9.5	14.3	4.8	4.8	28.6	28.6	-	4.8	-	4.8	-	-
その他	11	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	-	-	-	-	18.2

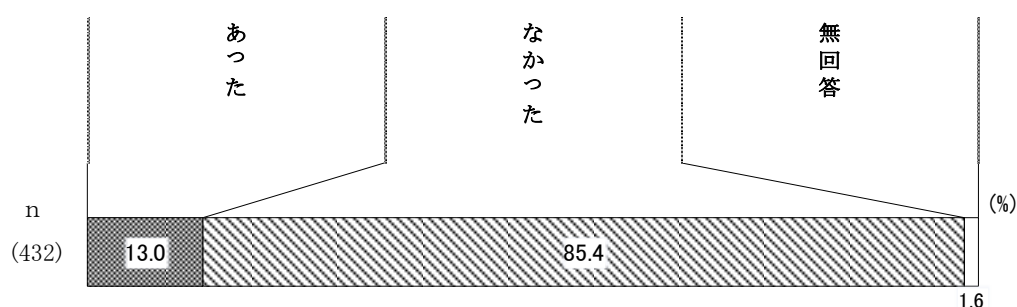
一時預かり事業の利用意向は、「利用する必要はない」が72.5%を占め、「利用したい」は18.1%となっています。

一時預かり事業を利用したい目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が59.0%で最も多く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（48.7%）、「不定期の就労」（26.9%）となっています。

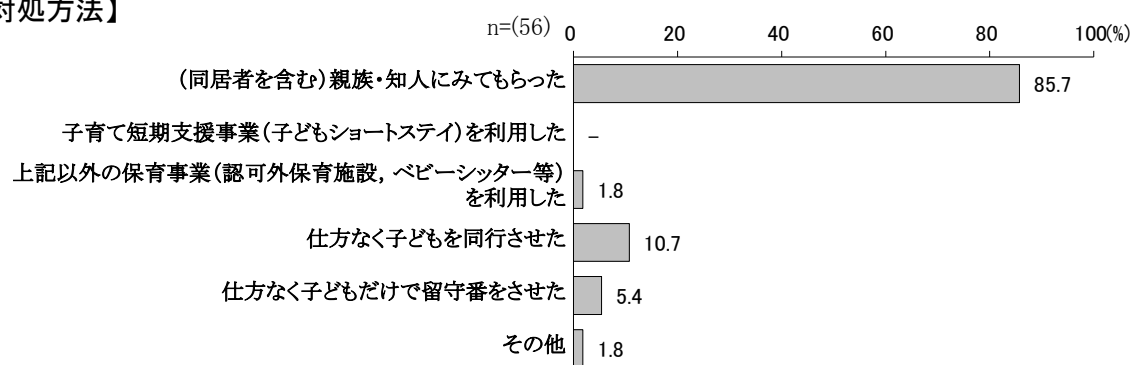
一時預かり事業の利用希望日数は、「10～14日」が21.8%で最も多く、次いで「5～9日」（20.5%）となっており、それぞれの事業別にみても、「5～9日」「10～14日」が2割以上と多くなっています。

■宿泊を伴う一時預かりについて

問18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



【対処方法】



【対処方法別日数（年間）】

	n	1日	2日	3日	4日	5 ～ 9日	10 ～ 14日	15 ～ 19日	20 ～ 29日	30 ～ 59日	60 日以上	無回答
親族・知人にみてもらった	48	16 (33.3%)	14 (29.2%)	4	3	5	3	-	1	-	-	2
子育て支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上記以外の保育事業	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子どもを同行させた	6	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	2
子どもだけで留守番させた	3	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
その他	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

この1年間に保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）で子どもを泊りがけで家族以外に見てもらったことは、「なかった」が85.4%を占め、「あった」は13.0%となっています。

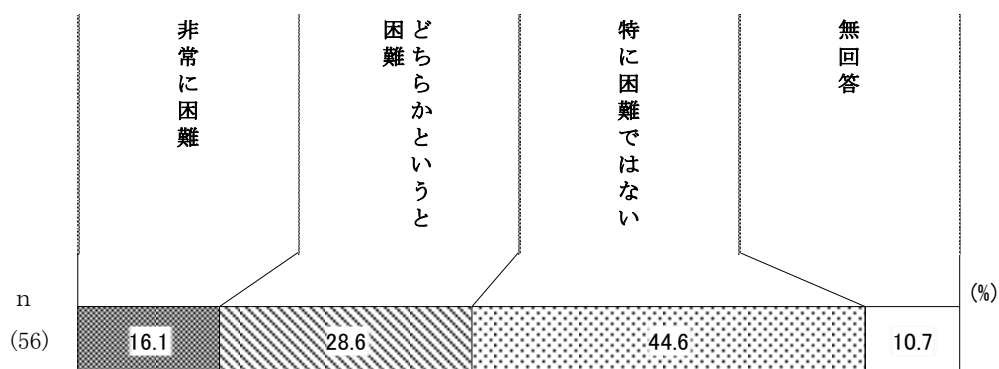
その際の対処方法、「(同居者を含む) 親族・家族にみてもらった」が85.7%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」(10.7%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(5.4%)となっています。

みてもらった日数は、「(同居者を含む) 親族・家族にみてもらった」で「1日」が33.3%で最も多く、次いで「2日」(29.2%)となっています。

■子どもを泊りがけで（同居者を含む）親族・知人にみてもらったときの困難度

問18-1 問18で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と回答した方にお伺いします。

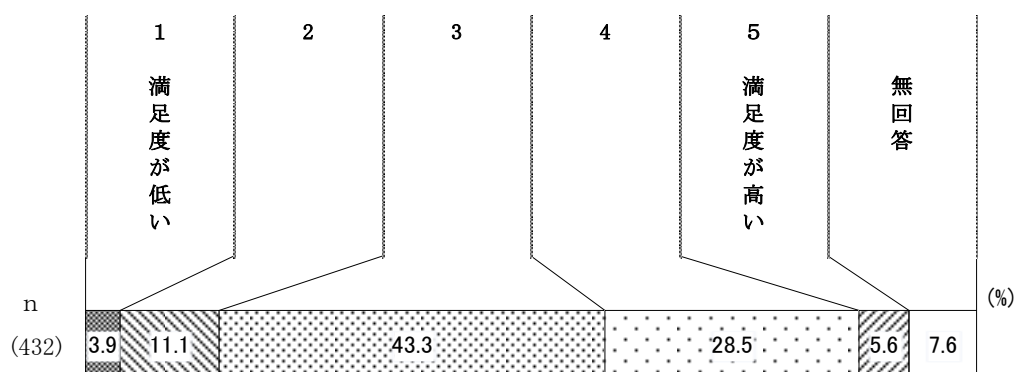
その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



子どもを泊りがけで（同居者を含む）親族・知人にみてもらったときの困難度は、「特に困難ではない」が44.6%で最も多く、次いで「どちらかというと困難」（28.6%）、「非常に困難」（16.1%）となっています。

■子育ての環境や支援への満足度

問19 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけ、その理由をご記入ください。



子育ての環境や支援への満足度を5段階評価でたずねたところ、「3」が43.3%で最も多く、以下「4」(28.5%)、「2」(11.1%)、「5 (満足度が高い)」(5.6%)、「1 (満足度が低い)」(3.9%)の順となっており、平均得点は3.22点となっています。

また、その評価の理由を自由記述でたずねたところ、以下のような回答をいただきました。回答をまとめるにあたり、お一人から複数の満足(不満)な理由、または満足と不満な理由をそれぞれ挙げられるケースがあったため、下記の件数はそれぞれの理由別にまとめたものです。

【満足な理由】

内 容	件 数
<放課後こどもプラン総合プラン(児童クラブ・子ども教室)について>	33
児童クラブに希望通りに入れた。保育園にも入所できた。	8
児童クラブが充実している。	7
放課後子ども教室や習い事が充実している。	7
児童クラブに6年生まで預かってもらえる。	3
児童クラブで長期休暇中みてもらえる。	3
児童クラブの預かり時間が長く助かっている。	2
保育施設の対応に対する感謝。	2
学童など子どもを預かってもらえる場所がきちんとある。	1
<子どもの遊び場や居場所について>	27
児童センターなど屋内で遊べる施設が充実している。	13
公園など子どもが外で遊べる場所が多い・近い。	10
図書館・公民館など文化施設が充実している。	2
一時預かりなど施設が充実している。	1

3 小学生調査

内 容	件 数
防犯対策が充実している。	1
<居住環境，インフラについて>	17
交通インフラが便利。環境がいい。	14
登下校時に見守りをしてくれる。	3
<学校教育について>	11
学力に力を入れてくれている。	3
教職員の質，相談体制が充実している。	3
教育面は充実している。	2
学校設備が充実している。	2
学校（小学校）が近い。	1
<（具体的には不明だが）満足している>	11
（具体的には不明だが）満足している。	11
<医療について>	7
医療費・予防接種への助成は助かっている。	7
<社会の中の子育て等について>	6
同年齢のお友達も多く，ほぼ満足している。	4
子どもをみてもらったり相談に乗ってもらえる親族や友人・知人がいる。	2
<ファミリー・サポート・センターについて>	2
学校内のファミリー・サポート・センターの対応に満足している。	1
ファミリー・サポート・センターが充実している。	1
<その他>	2
総 計	116

【不満な理由】

内 容	件 数
<子どもの遊び場や居場所について>	20
公園など子どもが外で遊べる場所が近くにない	8
児童センターなど屋内で遊べる施設がない。	5
一時預かりなど施設が充実していない	4
図書館・公民館など文化施設が充実していない。	2
防犯対策が充実していない	1
<放課後こどもプラン総合プラン（児童クラブ・子ども教室）について>	19
児童クラブが充実していない	8
児童クラブの預かり時間が短い。	3
保育園に入れない	3
学童など子どもを預かってもらえる場所がない	2
あり，整っている方ではないかと思います（子どもが	2
病気の時にもあると聞いたので）。	1

内 容	件 数
<医療について>	10
病児保育が充実していない	7
土・日に見てくれる病院が少ない	2
医療費・予防接種への助成がない	1
<社会の中での子育て等について>	9
地域の支援や情報・フォローが少ない	7
子どもをみてもらえない・相談に乗ってもらえない	1
親族や友人・知人がいる。	1
<同年齢のお友達が少ない>	8
学校教育について	5
教育費の助成金が少ない・教育費（保育料含む）が高い	2
教職員の質、相談体制が充実していない	1
<住環境、インフラについて>	7
交通インフラが不便・環境が悪い	6
登下校時に見守りをしてくれていない	1
<（具体的には不明だが）不満を感じている>	5
<ファミリーサポートセンターが充実していない>	3
<その他>	3
学校、幼稚園も、人数が多すぎる為たくさんのイベントに支障が出ている。大人数を収容できるホールなどが無い。通学路も道が狭く危ない。公園や公道の破損を市に訴えても、1年以上直されていない。	1
子育て支援を全面にうち出した政策が少ない。市の発展のためには人口を増やす必要があり、若い人の移住には子育て環境も大切な要素。ファミサポさんがもっと周知されるといい。	1
児童だけの登下校や習い事等の途中抜けができないなど、柔軟性に欠ける点がやや不満である。	1
総 計	76

4 自由回答

1. 妊娠期 自由記述

問16 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て環境や支援に関しての意見を、市に対するものと国に対するものに分けて自由記述形式でたずねました。いただいたご意見を分野別に分けて、主なご意見を紹介いたします。

■市に対するご意見

市に対するご意見として、27人の方から延べ35件のさまざまなご意見をいただきました。

●保育所の増設・待機児童対策（15件）

- ・保育所に希望通り入れない人がこんなにいるとは思わず、現在妊娠中ですが、今後を思うと大きな不安があり、素直に妊娠を喜ぶことができません。どうか希望されるお母さん達の希望通りに全て入所させることができるような体制をお願いします。人口がどんどん増えているのに、保育所の定員が追い付いていないと感じます。
- ・平成31年度保育所の利用不承諾通知書が届いています。両親共にフルタイム勤務、祖父母も遠方という条件で入所できない現状に大変不満です。守谷が住みやすい街ランキング1位との評価に納得できかねます。開園延期の園についての情報も、その後更新されず、大変残念です。とにかく保育所が利用できる環境を整えていただきたく、お願い申し上げます。
- ・近隣のつくば、柏のように保育士への手当を出し、保育士不足を解消し、待機児童をなくして欲しい。2月に生まれた娘は、早生まれのため、年度始めの入園ができず、退職せざるを得ない。

●入所手続きの簡略化や情報の提供の充実（4件）

- ・産後ケア事業について、もう少し細かい説明が書かれたチラシを用意していただきたい。産科・婦人科のある病院を増やして欲しい。
- ・初めての子でまだ何も分かっていないので、保育環境、子育て環境や支援をしっかりと伝えてくれる、教えてくださる職員の方やそういう施設などを分かりやすく教えて、話してくれる場所があったらいい。今のところ、親や友人に聞けば何とかかなという感じなので。
- ・市のHPを見なければ、知らなかったり、分からない制度などがあるかと思います。年齢や状況に応じて、自宅などにチラシなどでも良いので、「〇〇のような制度がある」など、お知らせを入れてくれると助かります。
- ・色々、制度などが充実しているのはありがたいですが、母子手帳交付の際にいただいた資料が。サイズ、様式もバラバラなので管理しづらいのと、必要な情報を探すのが大変です。理想を言えば、一冊にまとめて欲しいです。

●立地（通勤に便利な駅近等）の良い保育所（3件）

- ・認可保育園を駅前もしくは駅近くに作って欲しい。電車通勤する私にとって、駅から遠いと送り迎えが負担。子育て支援の施設を増やして欲しい。今住んでいる場所からすぐ行ける所が、なかなかない。経済的な支援をすることも検討して欲しい。
- ・駅に近い保育園が少なすぎる（TX利用者に対して）。年度始めでないと、保育園に入るために不利なイメージがある。好きな時期に入園できるようにしたい。出産後は時短で働きたいが、点数が低くなるため、諦めている。
- ・電車通勤の方が多いので、守谷駅近くに早朝（7時くらい）から子どもを預かってくれる保育園があったらいいと思います。同時に、守谷駅近くにスーパーがあったら、仕事帰りに、子どもを

4 自由回答

迎える→買い物ができる、という流れでとても便利になり、良いと思います。

●医療機関・保険制度 （3件）

- ・守谷市に産科が少なすぎる。里帰り出産（守谷市外で）となると、通常の検診を受け入れてくれるのは、第一病院しかない。市の保育所も増やして欲しい。
- ・予防接種は無料のものと有料のものがある。無料にしてください。

●子育てしやすい就労環境の支援 （2件）

- ・親の収入に関わらず、子どもが平等に教育・保育支援を受けられるようなセーフティネットづくりを強化して欲しい。地域の住民自らが、お互いを支援できるようなコミュニティづくりの支援をして欲しい。

●悩みの相談支援 （2件）

- ・かすみがうら市にある“やまゆり館”という所では、保育士の免許を持っている方が一緒になって子どもと遊んだり、親への子育てのアドバイスをしたりしてくれるようです。コミュニティセンターにそういう方が毎日いてくださると心強いので、守谷市でもぜひ取り入れて欲しいです。
- ・同じ立場の母親（妊婦）同士の交流や、悩みを気軽に話せる機会がもっとあると良い。相談できる場所が市役所にあるとしてもなかなか言い出しにくい。

●病児保育制度の充実 （2件）

- ・まだ実際に活用していない制度が多く、状況は分かりませんが、子育て世代の人口も増えていると思うので、保育所の充実や一時預かり制度・病児保育制度の充実、女性が働きやすい環境をつくっていただけると嬉しいです。
- ・待機児童がなくなるよう、市の積極的な施策の推進をお願いします。病気になった児童を預けることができる施設の設置をお願いしたい（東京都にはあると聞いています）。

●公共交通機関の充実 （1件）

- ・働きたくても子どもを預けられる場所がありません。保育所などをもっと増やしてください。守谷は車社会だと感じます。今年4月からモコバスも再編成され、交通手段がなくなり、ますます不便になりそうです。公共交通機関をもっと増やしてください。

●安全・安心な環境づくり （1件）

- ・初めての出産なので、詳しいことはよく分からないのですが、子育て支援などが沢山あるので、育休中に色々と活用してみたいと思っています。最近、運動のため、夕方歩いているのですが、公園などで子ども達の声は聞こえますが、街灯が少なく、少し不安です。特に冬は日が落ちるのが早いので、大丈夫かな？と心配になります。けやき台公園周辺は、使用している方も多いため、もう少し整えるだけで、また違った環境ができあがるのではないかなと、今後少し期待しています。

●サポートの一元管理 （1件）

- ・保育園入所申し込みの手続きを分かりやすくして欲しい。サポートの一元管理をして欲しい。現状に満足せず、さらに充実させて欲しい（医療費、保育園数など）。

●小学校の整備 （1件）

- ・保育士の確保、学校（小学校）の整備。

■国に対するご意見

国に対するご意見として、18人の方から延べ22件のご意見をいただきました。

●待機児童の対策・入所入園支援（9件）

- ・幼児教育・保育の無償化ではなく、待機児童ゼロ、保育園入所希望者の入所承諾制度を充実させて欲しい。
- ・助成制度を増やして欲しい。希望するタイミングで保育所に入れる制度が欲しい。
- ・保育園を増やして、仕事に母親も就きやすくなるように入りやすい保育園をつくって欲しい。保育士の制度や報酬をもっと充実して人員が増えるようにして欲しい。子どもが亡くなるような保育園はつくらないで欲しい。
- ・保育の無償化もすばらしいが、待機児童問題を解決して欲しい。働けず、保育園にも入園できずでは、2人目の子は難しいと感じてしまうし、今後の生活に不安しかない。
- ・待機児童ゼロにしてください。子どもにかかるお金が、今後も支援によって減ってくれば、子どもが欲しくなる方も増えると思います。

●待機児童の対策・入所入園支援（5件）

- ・ただでさえ、待機児童問題が解決していないのに、なぜ保育の無償化がされるのか甚だ疑問です。
- ・共働きが多くなっている現在、早く教育費の無償化をして欲しい。無償化に条件を付けて欲しい。
- ・児童手当や教育・保育の無償化に際し、所得制限の必要性は理解しますが、上限が低すぎると思います。利用したくてもできないことが多々あります。
- ・保育料が高い。3～4人欲しいので、共働きしないといけませんが、保育料が高くて、何のために働いているのか分からなくなる。

●子育てしやすい就労環境の支援（5件）

- ・妊娠中、出産後共に女性が働きにくい、働いていても仕事を辞めざるを得ない現状があります。また、一度辞めると復帰が難しいです。働き方を選べる、辞めるのではなく、休めるよう、国として支援して欲しいです。
- ・保育士の増員及び保育施設の増設のみならず、子育てしやすい家庭環境とするため、職場での勤務時間（過重労働）などの見直しを含む、働き方改革などの更なる推進をお願いしたい。
- ・公務員だけでなく、民間に対しても男性の育児参加をもっと促して欲しい。
- ・子連れ出勤の推奨は、非現実的。保育園を増やし、保育士の数を増やし、賃金を上げ、母親が働きたい時に働ける環境を整えて欲しい。

●出産時の助成（3件）

- ・国からの給付金の制度も沢山ありますが、それにしても出産には本当に沢山お金がかかります。もっと負担を減らして欲しい。出産一時金42万円ですが、守谷ではどの病院でも70万円近くかかります（初産婦で）。
- ・出産に伴う費用の無料化、支援をより強化して欲しい。契約社員・派遣社員として働いている方の産休・育休の取得を徹底して欲しい。
- ・少子化、子どもを産まないのが悪いという意見がありますが、産みたくても産めない方が非常に多いです。不妊治療をしても結果が出ず、お金の問題で諦めてしまう人が多いです。不妊治療の助成金を増やす、もしくは、保険適用にするなどの対応を望みます。また、不妊治療助成金も一度妊娠、出産したら、助成回数をリセットしてはいかがでしょうか。

2. 就学前児童保護者 自由記述

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て環境や支援に関しての意見を、市に対するものと国に対するものに分けて自由記述形式でたずねました。いただいたご意見を分野別に分けて、主なご意見を紹介いたします。

■市に対するご意見

市に対するご意見として、233人の方から延べ276件のさまざまなご意見をいただきました。

●待機児童対策について（53件）

- ・いつまで経っても空きがないので保育園を増やす等して早く入れて欲しい。仕事がしたいのにできない。これでは少子化が進んでも仕方がない。支援云々より早く入れてください。
- ・保育園に待機児童として待っているのに毎年点数選考によって入れない。先に待っている人を優先してくれるなどの対応はないのか？
- ・希望した人が全員何らかの保育園、幼稚園に入れる状況にしてほしいです。0才児のうちに入らなければ、1才以降は持ち上がりの子優先で1～2人枠くらいしかないのは改善してほしい。本当は1～2才くらいまで自宅で育てたくても、保活のため早期復帰せざるをえないのはどうかと思う。
- ・出来る予定の保育園ができなく結局待機児童は減らないし、出来ませんのみだと無責任すぎる。3園できるときいて引越してきたのに残念です。
- ・若い世帯が増え、保育園など入りたくても入れない。待機児童数も多いとよく聞く。最初は出産したら働くつもりだったが、専業主婦なので申請をしてもどうせ入れないだろうとあきらめて申請していない。現状を良くして頂きたい。
- ・保育園に落ちた具体的理由を教えてください。なぜ2次募集で前から待っている人より、変更した人が点数のみで優先されるのかがわからない。落ちた人に説明会をひらいてほしい。

●保育サービスについて（42件）

- ・早朝から夜遅くまで預けられる保育所・保育園を増やしてほしい。
- ・保育料無償化により、保育士さんたちの給与に悪影響はないでしょうか？また、それによって質が低下しないようにして下さい。
- ・駅の近くに保育園を増やしてほしい。駅の近くでないと預けた後に電車通勤が難しい。
- ・保育所の数を増やしてほしいのと、全ての保育所で、もっと、いろいろな種類の教育（英語・音楽・リズム・運動）等を増やしてほしいです。
- ・私には障害を持った子どももいるのですが、障害を持った子どもが幼稚園にも行けず、保育所も加配枠が足りず入園できない状態で困っています。加配希望の子が多いと聞きましたが、障害を持った子どもも健常な子と同じように幼稚園や保育所に入れる環境を作ってほしいと思います。
- ・保育園内でも併設して病後児保育を設けてほしい。（小児科医や看護師配置等）
- ・公立の保育所ですが、予算が足りないのかなと思う場面がよくある。私立と同じとは言わないが、お金はそれなりにかけてほしい。また、「学び」に関してももう少し取り入れて、小学校入学時の他（保育園等）との差を少なくできると嬉しい。
- ・下の子を出産した時に上の子の保育園を短時間にされとても困りました。特に下の子はとても手のかかる子で常に睡眠不足で悩まされ、上の子を保育園へ連れて行くことすら困難な時期も…。ケースバイケースで各家庭の状況に寄り添って欲しいです。

●経済的な支援・手当の拡充 (42件)

- ・低所得者に対しての教育・保育の支援をもっとがんばってほしい。
- ・保育料など子供に関わる費用を安くして欲しい。早く無料にして欲しい。
- ・子供が少ない今、3人目以降やたくさん産んでくれた人には手厚い支援や援助があると産みやすく、育てやすい環境ができると思う。金銭的な面や、ワンオペになる人が多いのでその辺を改善してほしい。この辺が改善できたら3人目を産みたい。
- ・子供が病気にかかった場合、守谷市は（福）医療福祉費受給者証を利用しても600円かかる。無償化である自治体が増えている中、無償化にしてとは言わないが、せめて半分の300円くらいにしてもらいたい。守谷市の人口は年々増えてきて、税収が増えているのだから。
- ・市で可能であるなら、守谷市初（発）で未成年手当給付金ができたらいいと思う。よりよい守谷になりますように。
- ・市からの助成はあるものの、産婦人科が少なくそもそも高い。妊娠して働けなくなったのにもかかわらず、保健料免除は分かるが免除が無い市民免で20万以上支払わないといけないので妊婦助成制度がプラマイ0なのではとさえ感じてしまう。第2子は金銭的に無理。
- ・江戸川区のように、子どもの受診料を無料にしたり、幼児教育の一部資金援助を市の事業として進めてほしい。
- ・働いていない方に「うち幼稚園ただだよ」等聞くと必死に働いているのがバカらしく感じます。せめて、子供の教育にかかるお金を非課税にするとか、一生懸命頑張っている人がバカをみないようになればと願っています。

●場（遊び場・居場所等）づくりについて (27件)

- ・子供が遊べるスペース（無料で）がもっと増えると嬉しいです。また、余っていて荒地になっている土地もあると思います。（きっと反対勢力とかいろいろな背景があって手を出せない現実もあるのかもですが）そこを有効活用することで、もっと住みよい市になると思います。例えば、大きなショッピングモールとか、公園にするとか…。（ショッピングモールとかだったら、一時託児ルームとかあるとよりありがたい）何かしらないと勿体無いなあと感じることがよくあります。
- ・夢っ子ひろばをよく利用させていただいています。設備等大変満足しておりますが、1つだけ改善していただきたいことがあります。野木崎の夢っ子の木曜日のお休みです。サークルに部屋を貸出しているとのことですが、子育てしている私達にとって、あまり良くわからない理由かな、と思います。木曜の休みをやめられないなら、大柏の夢っ子を木曜にするなどの改善もあるのではと思います。わがままを言っすいません。
- ・公園を全体的に、しっかり整備して欲しい。（砂場→犬猫のフンが常にある。夏場など→雑草が生いげっており、毒グモなどが目視不可能。すずめバチがフジだな付近にウヨウヨ居る。遊具の老朽化。）
- ・子どもらしい遊びや子どもだけの関わりができ、またおとなが管理する場所で子どもが過すだけでなく、年齢が異なる子どもが遊べるような外遊びの場所を提案、支援してほしい。
- ・子どもを預ける施設を増やして欲しい。土塔の公園の遊具を増やして欲しい。その他の公園の遊具の老朽化があるので新しくして欲しい。（みずきの公園、さくらの杜公園など）

●教育・学校施設やシステムの充実改善 (26件)

- ・野田市のように、小学校、教育委員会、児相の連携がとれていないようなことにならないでほしい。子どものことをきちんと考えてほしい。
- ・小学校のPTAの制度を、実質強制参加なのを何とかできないか。PTAをなくして下さいと言うわけではなく、PTAのために仕事に穴をあけたり有休を浪費しなくてすむ完全自由参加を徹底してほしい。共働きで、気軽に子供を預けられる人がいない夫婦にとって負担が重すぎる。
- ・市内のある中学校のホームページに、修学旅行の様子が逐一掲載されていて個人の顔も写っていたことに危機感を感じました。きちんと生徒に許可をとっているのか、教員のネットリテラシーは大丈夫なのか。犯罪につながる可能性もあるかと思います。

4 自由回答

- ・守谷は、私立の幼稚園しかありませんが、私立の保育園があると利用したい方もいるのではないかと思います。小・中学校の教育が充実してきていますので、幼稚園も同様に、まさに幼・保・小・中一貫教育ができると思います。

●児童クラブ・学童クラブのサービス拡大等の充実（14件）

- ・サービス業なので、土曜日だけではなく、日曜日も学童の利用があると非常に助かる。
- ・児童クラブのお盆（8/12～8/16）と年末年始（12/28～1/4）に休みになって預ってもらえないのは非常に不便です。保育園はやっています。お盆だから一斉に夏休みをとるという職場ではなく交代で夏休みをとるので、お盆も普通に出勤します。年末年始も12/28と1/4は出勤します。なので、お休みしないで預ってほしいです。
- ・学童クラブを6年生までにしてほしい。やはり、事件など多いので、4年生になっても家にひとりでは心配。安心して働けない。
- ・学童など、選択肢を増やしてほしい。（民営のサービスなどを含め）放課後子ども教室の利用時間の延長、もしくは、学童を週1回～利用可能にするなど、多様な働き方に対応できるようにしてもらいたい。

●子育て・教育に関する情報提供について（11件）

- ・貧困家庭の子や虐待を受けている子への支援はどのようなものがあって、周りは何の手助けができるのか、1人でも救ってあげたいので、自分に何ができるのか教えてほしい。
- ・市役所の方々の親切さや、取り組みはとても有り難いと感じます。HPの記載も威圧感がなくてとても良いです。子育て支援の情報が、たとえばパンフレットを保育園に置いてくれるなど、日常のついでに手に入れられると助かります。
- ・ファミリー・サポートや支援センターを実際に利用した人の口コミや、どんな状況で利用したかなどがわかるとありがたい。
- ・障がいがあるので就学時にアドバイス、支援があるといい。子どもに合った学校を見つけてほしい。
- ・保育所が足りない。もっと保育をしたいのに年度初めでないと入所できないと育児をあきらめなければならないのはつらいです。母子手帳をもらう際に、保育園の案内をしていただきたい。保育園の入所申し込みの案内等、どこに情報があるのかわかりにくい。
- ・他からの転入者が多いので（若年の家族）知人がいない中での情報収集が難しいので、行政がもっと積極的に情報提供をしたり、サポートをしてほしいです。

●保健・医療について（12件）

- ・1歳半検診が最近ありましたが、13:00～は子供のお昼寝の時間なうえに、45分の予定が1時間45分かかりました。もっと人数を減らすことやスムーズに進める、色々な改善策があったのではないのでしょうか。
- ・夜間、休日に小児科をやっている病院が市内に少ないので近くで受診できる環境をつくってほしい。
- ・守谷市の子どもの救急外来を、守谷市内で毎日対応してほしい。（夜間、休日共に）水曜日のみの守谷第一では少なすぎる。
- ・日、祝に対応できる小児科の病院が少ないので困った事が何度もあった。救急の場合、取手まで行かないといけないうのは、どうかしてほしい。第一病院で全曜日対応してほしいです。

●安全・安心について（10件）

- ・安全な生活の為、交差点への信号の設置をしてほしい。松並木の入口・出口、危ないので、信号つけて下さい。ベビーカーで歩いていると、何度もひかれそうになります。
- ・立沢里山の道路に、車道と歩道を分けるブロックを置いてほしい。立沢里山の道路にある街灯が

オレンジ色で暗い。

- ・駅前に民間学童が欲しい。習い事の送迎がほしい。その際市から補助がでるとかにしてほしい。また守谷市の交通マナーの強化をはかってほしい。一時停止無停やスマホ運転などびっくりするし、子供の命の危険を感じることもある。

●一時預かりについて (9件)

- ・父母が就労していなくても、夏休みなどの長期休暇中に子供を預ってもらえる場所があったらいいです。
- ・子供は環境や人に慣れるのに時間がかかり、ストレスにもなると思うので、下の子（未就園児）も上の子と同じ施設で一時預かりなどをして頂けると負担も少なくありがたい。
- ・もっと気軽に預けられるしくみ（サービス）。例えば専用アプリにて、ネットで空き情報などを見られて、ネットで申込みできる…など。
- ・育児中の母親が子育てを大変だと思った時に、少しでも休めるような体制づくりをお願いします。（気軽に子供を預けられる、子供と遊びに行けるなど）
- ・小学校の児童クラブや放課後子ども教室では前もっての申し込みが必要で、急に子どもを預ってほしい時など困ってしまいます。幼稚園の延長保育のように、その日に申し込め使えるものがあれば助かります。

●相談・悩みについて (5件)

- ・町内の子供会について。近所で同い年の子供がいて、それでいて何かトラブルや関係が悪化してなるべく関わりたくない人も、近所なので同じ子供会に入りたくない。でも子どもには入らせて色んな経験をさせたいというツライ状況での対処法がわからない。
- ・子育て支援センターは、とても助かっている。子育てをしていると、悩みや不安が大きいときもあるので、親の精神面でのサポート（相談など）もしてもらえるとよいと思う。

●送迎サービスについて (5件)

- ・もっと活発に活動してほしい。すごく保守的！流山おおたかのように、保育園へ駅前から送迎してくれるサービスを行ってほしい。（早急に）共働きの家庭を考えたサービスをもっと充実させてほしい。（送迎や習い事など）イベントなどももっとやってほしい。TXの乗車料金やバス料金を子供はタダか半額以下にしてほしい。病院代もタダにしてほしい。
- ・いつも様々な施策ありがとうございます。市内の送迎用バスについてぜひご検討をお願いします。それだけで親子の負担が減り子育てに使える時間が大幅に増えます。

●本アンケートについて (5件)

- ・本アンケートが長すぎる。複雑すぎる。わかりにくい。きちんと回答する時間がとれない。（子育ての合間で厳しい）。途中とばした回答もある。子供がさわいだ為。申し訳ないですが。
- ・まずこのアンケートを実施するのが遅い。年度末にするものではない。4月～環境や状況が変わるので非常に混乱するし、本当に必要な数が把握できないと思う。新年度が始まった頃に行うべき。保育園の結果次第でまた状況も変わってくる。非常に無責任。不満が増すだけ。

●子育てしやすい就労環境について (3件)

- ・上の子だけ認可保育園に入園させて、下の子は1歳になるまで育児休業を取り続けたかった。下の子を0歳5ヶ月で親元から離すのは淋しい。
- ・子供を育てるために、働く環境の条件をもっと母親がまわりを気にせず働きやすい環境にしてほしい。もっと働き方をフルタイムでも自由に選んで子供や親の介護、家事など無理せずできる様にしてほしい。そうなってくればもっと子供のためにしてあげたい事がたくさんできる。祖母などへの負担もへらせる。

4 自由回答

●その他（12件）

- ・うちから図書館は少し離れていて、借りに行きたくても行きづらいです。保健センターや他の場所でも貸し出しできたらとても助かります。
- ・子どもを連れて遊びに行けるセンターが沢山あり嬉しい。公園もきれいにされており数もとても多いと思う。とても子育てしやすい町と感じている。今後もより子育て支援に力を入れて頂きたい。
- ・住宅ばかり増やさないで、自然を多く残してほしい。家ばかり増えたら、守谷に来た意味がなくなってしまう。
- ・国の政策に従うだけでなく、市として独自の政策を考えてほしいと思う。予算が厳しければもっとボランティアを活用して、守谷の満たされたい子どもを一人でもへらしてほしいと願う。

■国に対するご意見

国に対するご意見として、138人の方から延べ180件のさまざまなご意見をいただきました。

●経済的な支援・手当について（42件）

- ・子供に対しての手当てが、市町村、県によって差があると思うので、うまく平等にしてほしい。
- ・子供がいる人の働く場、働きやすさがまだまだだと思う。金銭面や仕事の面でたくさん子供を産むのを悩む事が多いと思うので、その辺の改善などをもっと真剣に考えていただきたいです。
- ・施設ばかり増やすのではなく、そもそも子どもが小さいうちは働かなくても経済的な負担が少なくなるように補助金等あればいいのでは？ほとんどの親は、経済的な負担の軽減のために泣く泣く復帰している。本来なら子どもと一緒にいたいという人も多いと思う。中身のともなっていない施設が多い。
- ・様々な手当や無償化、子供の幼少期より中・高・大の頃の方がずっと大変です。所得も年収800万や900万は子供の数や家庭環境によっては全く余裕がないのに、高額所得者の線引きがおかしいです。マル福なし、子供手当なしで周囲と平等に子育てなんてできません。無償化は条件なし。つり合いは他のところでとれるはずです。
- ・少子化対策としても、子育て環境の充実を急いでほしい。医療費高校まで、授業料無償化、返済の不必要な奨学金など制度を整備してほしい。
- ・子どもの医療費、教育費が無償化されるなら、もっと子どもを生み育てたいです。そういう人はたくさんいると思います。とにかく、子ども1人育て上げるのに経済的負担が大きい。少子化対策、本気で考えていますか？
- ・子供が大きくなるにつれてお金が掛るのに、大きくなるとどんどん減額されてしまうのが辛い。また子供は病気になりやすく病院に行く回数が多いので、もう少し安くして欲しい。予防接種も高い。
- ・医療費や学費を気にせずに、大学までどの子も自分の学びたい事を学べる社会になったらと思う。

●幼稚園・保育園の無償化について（39件）

- ・幼児教育の無償化のメリットは少ないと思う。有料でも質の高い保育と教育をうけたい。
- ・認可に入れて働ける人を無償にする一方、入れない人は働けず、ますます差が出てしまうのはおかしいのでは？
- ・幼児教育・保育の無償化に反対です。そこに税金を出すならば、保育士の賃金などの待遇をよくして、人員の確保や保育園の増設に税金をあててほしい。
- ・幼稚園、保育園、無償化なんてしなくても良いと思う。きちんと支払う所は払って、それをしっかりと事として使用してくれたら良いと思う。障害児についても同じです。いただける手当てはありがたいのでいただきますが、そこから必要な金額はお支払いしてサポートや支援の役に立てていただいた方が良いのではと思います。
- ・保育の無償化のお金を、新たな保育園新設にまわしてほしい。ニーズがわかってない。
- ・幼児教育が無償化されても、それで税金が上がってしまうならかえって生活が苦しくなると思います。
- ・幼児教育無償化は本当にありがたい。子育てにはとてもお金がかかるので一番嬉しいところ。今後もより子育て支援の金銭の面で補助がほしい。
- ・幼児教育の無償化について、世帯収入に関わらず、0才から一律にしてほしい。
- ・0～2才の保育が一番大変なのに（料金も高い）3才以上が無償化の対象って、何も分かってない。

●子育てしやすい就労環境の支援（30件）

- ・仕事と育児を両立できるようなシステムを制度化してほしい。現状は、短時間勤務終了時、子どもの小学校入学時に両立のバランスを取るのがとても難しくなる。

4 自由回答

- ・育休を義務にしてほしい。育休社員数と期間に応じて企業へ補助金を支給してほしい。
- ・子供が小さいうちは短時間で働きたい人も多いと思いますので、ライフステージに合った働き方の提案や企業への浸透をこれからも進めて欲しいと思います。
- ・働く母親が増えましたが、皆一人で子育て、家庭の事を背負っています。子育ての環境を整えるのも大切ですが、男性がもっと家庭の事を普通に対応できるよう、働き方の見直しを考えるべきと思っています。

●待機児童の対策・入所入園支援（28件）

- ・希望する全ての子供が保育園に入れるようにして欲しい。ほとんどの母親は家で一人で育児をしているので、うつやノイローゼを進行させているようなもの。早く保育園に空きをください。
- ・保育園などを無料にするよりも、保育園の充実をのぞむ。すべての子ども達が入園出来たり、困っている人が入れる場所であってほしい。
- ・保育園等を増やして！！少子化で子どもを増やせと言っているのに優遇が悪すぎる！無償化（0～2歳を対象に）も平行して早急に動くべき！！税金が上がるならなおさら…。
- ・働きたくても、保育園になかなか入れないので働けない。認証保育園だと、経済的な負担が多くなってしまうので、入園させるか考えてしまう。
- ・無償化の前に待機児童問題をどうにかするべき。女性に働けと言って、働ける環境では全くない。
- ・認可保育所は最低限の福祉として、高所得世帯は質のよい無認可へ誘導しても良いと思う。幼保無償化は特に高所得で認可へ入れている世帯への優遇に思えるため、認可に入れずに幼稚園に入れている我が家には不公平に思える。無償化するよりも保育所を増やして希望する人みんな入所できるようにしてほしい。
- ・保育園が少なすぎて入れない状況。全く子育ての環境が整っていないように思う。このままだと退職せざるをえない。もっと考えてほしい！！

●保育士の待遇改善について（25件）

- ・保育士不足をなんとかして（支援や免除などを行い）人数を増やし、子どもを預けられる場所をもう少し充実させてもらいたいです。働きたくても働けず困っている人もたくさんいるので、そこもなんとかして欲しいです。
- ・保育士さんの給料改善等、働く環境を整えて欲しい。人材が確保できなければ、保育園も増えないし、保育士の質も下がる。男性も育児に関する休暇等の制度を取りやすい環境にしてほしい。
- ・保育の無償化より保育士さんの待遇を良くしてあげてほしいです。通っている保育園の先生方は朝から夜まで勤務されて大変そうです。安心して仕事できるのは先生方のお陰です。
- ・幼児教育・保育の無償化よりも、保育士・児童クラブの指導員の給与や待遇改善に予算を使ってください。子どもにとって身近な保育士・指導員の先生が頻繁に辞めて入れ替わることのない職場環境を整備してください。

●保育施設やサービスの充実や改善（6件）

- ・幼児教育、保育の無償化はありがたいが、まずそれよりも保育施設サービスの需要と供給のつり合いがとれた状態になるような取組みをしてほしい。
- ・子供達は国の宝です。母親がどんな状況でも支援がうけられるように、0歳から保育園なり幼稚園（保）園なりにあずけられる環境を作ってほしいです。0歳児から母親と一緒にプレ保育のようなものがあれば、母親の悩みもサポートでき、長期間にわたって子どもの成長を支援できるようになるのではないのでしょうか。

●教育・学校施設やシステムの充実改善（4件）

- ・無償化ではなく、“保育・教育”の受け皿、質の向上、従事者の待遇改善に費用を投入すべき。また、児童クラブの法整備を早急に実施頂き、安全な環境を策定頂きたい。また、昨今の教育施設

と児相、他の都道府県との連携を深め、子供の未来を守る方策を定めて頂きたい。

- ・今いる子供達、未来に生まれてくる子供達のことを真摯に考えた施策を実行して欲しい。(2019年10月～の)保育料無償化のようなバラマキではなく、保育士の待遇改善(特に給与)や質の向上に予算を使ってほしい。その後の小中高・大学の教育費の負担を軽減し、どの子供も国内のどの地域にいても質の高い教育を受け、社会に貢献できるような人になれるよう尽力していただきたい。子供達や子育て世代のことを本当に考えた支援を行なうことで、少子高齢化に少しでも歯止めがかかる一助となるはずである。

●情報提供や交換による健全な育児の支援 (2件)

- ・自分のことではないですが、虐待等を受けている子どもが死んでしまう事件を最近よく見て心が痛いです。虐待している親から一度引き離しても、戻ってしまう現状があるのでしょうか…もっともっと、虐待している親に対して厳しい措置を、虐待を受けている子どもに手厚い対応を…と思ってしまう。

●その他 (4件)

- ・オムツ替え台や授乳室がまだまだ足りないと感じます。
- ・少子化が問題のはずなのになぜ子育てしている親、子ども自身を大切にしないのか。もっと必要な人へ耳を傾けて欲しい。
- ・乳児期における愛着形成の重要性を示しているにも関わらず、社会全体として家庭的保育よりも保育施設利用をすすめているようで、その部分に疑問を感じる。

3. 小学生児童保護者 自由記述

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て環境や支援に関しての意見を、市に対するものと国に対するものに分けて自由記述形式でたずねました。いただいたご意見を分野別に分けて、主なご意見を紹介いたします。

■市に対するご意見

市に対するご意見として、165人の方から延べ176件のさまざまなご意見をいただきました。

●経済的な支援・手当について（32件）

- ・子供が3人いるので何かとお金がかかる。もう少し補助をしてもらいたい。他の県や市などは子供の医療費が無料なので、そうしてもらえると助かる。
- ・子育て支援のための資金的援助をもっと充実してほしい。例えば育児消耗品等の購入に限った地域に限定の金券等。
- ・公立中学でも制服は結構高いので、家計にひびきます。もう少し、どうにかならないものかと。
- ・本当に子育てにお金が必要なのは、中・高校生になってからです。医療費の補助金を高校卒業までにしていただきたいと思います。
- ・医療費の負担額、他の市町村より高いです。また、補助を受けられる年齢の見直しをして欲しいです（もう少し長く）。

●教育・学校施設やシステムの充実改善（30件）

- ・A L Tと遊ぶの内容があまり魅力的ではないのもっとおもしろい内容にしてほしい。英語で理科実験、英語で買い物ツアーなど。もっと英語を使ったイベントを開催してほしい。
- ・来年度から二学期制になるにあたって、時間割等を早めに知りたい。それによって放課後子ども教室の利用日を決めたいので。
- ・新しいきれいな学校もありますが、すべて汚い学校もあります。うちの子が通っている伊奈特別支援学校は古くて汚いです。せめて菌が繁殖しそうなトイレだけでもリフォームできないかなと思います。家、職場、お店で当たり前になってしまったウォシュレット（例えば）とか考えると時代に残された学校が散見される感じがします。
- ・P T Aをはじめとし、親が無償で協力しないとたちいかない運営は見直してほしい。外部委託なども検討してみても？ P T Aや保育園の委員のため会社を休み、兄弟を誰か、どこかに預けなければならないので、お金もかかっている。親以外に完全にボランティアやアルバイトなど、人を集める方法は他にもありますし…。
- ・県民の日、創立記念日を以前のように小学校を休みにしてほしい。家庭学習の習慣づけは各家庭のとりくみで、市で強制しないでほしい。市の方針があるから、小学校側も宿題を出す。特に小学校低学年のうちは机に向かって行う学習より、本人の興味のある事に取り組んだり、外遊びを優先させたい家庭からすると余計なお世話になる。
- ・小・中学校の荷物が重過ぎて、子ども達の登下校の負担になるので、課題の出ていない教科の教科書は学校に置いてもいいシステムにしてほしいです。
- ・来年度より夏休み期間が減るが、宿題もその分減るのかな。遊びを通して、学ぶのも大きい。遊ぶ時間も確保してあげたい。夕方5時に市全体に聞こえるようなチャイムを鳴らして欲しい（統計をとり、みんなが帰宅する時間）。
- ・最近、インターネットを利用した家庭学習ができるようになり、非常に力を入れてくれていると感じる。これからも充実させていって欲しい。

●場（遊び場・居場所等）づくりについて（19件）

- ・駅前児童館ですが、学童と同じく夜7時までにすると思う。又、6時以降は有料にして一人になってしまう児童の居場所作りに活用してはいいががでしょうか？又、駅前での騒音に関して貼紙のみで防止策にはなっておりません。警察の方へ電話をして対応して下さい。市の方でももっとしっかり対応して下さい。
- ・児童センターが守谷駅周辺にない。南守屋、北守谷に比べ、子供の数が増えているのにおかしい。「エ・ガーオ」はあるが施設が小さすぎて、年齢により利用できない時間が多すぎるし、全体的に低年齢向きである。
- ・いつも子ども達を大切にみていただき、ありがとうございます。小学校くらいの学区内に、室内の児童施設があるといいなと思います。少し体も動かせたり、大きな声を出せたりする所があると良いなあと思います。
- ・キ・ターレやミ・ナーデのような児童センターが、住んでいる大野地区には無く、主な道路も歩道が狭いため、子どもが自ら遊びに行ける環境でないため、親の負担が大きい。地域によって、同じ市内でも子どもの遊び場や集まる場所がある所、ない所の差が大きい。

●児童クラブ・学童クラブのサービス拡大等の充実（19件）

- ・学級閉鎖時の子どもの預かり（児童クラブ）がないのが保育所時期と異なり、困る。児童クラブが20時までだと助かる。
- ・保育園の数を増やすのはいいのですが、学童クラブの生活環境の改善もよろしくお願いします。はがれた壁紙、ボロボロのマット…将来保育園にいた子どもたちも学童を利用すると思いますし、ぜひお願いします。
- ・児童クラブの長期休みのお弁当を手作りしなければいけないことが負担に感じています。できれば選択ができるようになれば助かります（手作り弁当か、児童クラブで注文できるか）。
- ・祖父母と同居しているというだけで児童クラブを利用できないのは不公平だと思います。祖父母にも自分たちの時間が必要なので、是非全ての働く親が利用出来る様に検討していただけないでしょうか。宜しくお願いします。
- ・児童クラブはお盆や年末年始などに、仕事のある日（普通の日）に休みがありますが、預けられるようにして欲しい。学級閉鎖になると預け先がなくて困る。
- ・安心して仕事ができるよう、児童クラブ等の支援がとても大切だと思う。学校によっては、児童クラブの人数もとても増えているので、施設を増やす、先生を増やすなどの対策をして欲しい。母子家庭も増え、家庭の収入等により、教育格差があると思います。教育格差についても考えていただきたい。

●防犯（安全・安心）の充実や改善（17件）

- ・街灯が暗い、歩道が狭い、大きい公園（柏の葉公園くらい）がない、などのインフラ設備が不十分。
- ・不審者対策として、みまわりを増やしてほしいです。
- ・子どもの命や安全を最優先に考えた施策をたてて欲しい。虐待などで命を落としたり、悲しい日々を送っている子ども、追い詰められている親などを支援して欲しい。
- ・登・下校時の見守りの強化。習い事や塾等への送迎サービス（個人が一人を送るような個別送迎だと不安（連れ去られそう）なので、バス等で色々な習い事等へ送迎するような公共のサービス）。
- ・西板戸井地区の街灯や歩道をもう少し増やして欲しい。
- ・年齢が上がるにつれ、少しずつ一人で行動することが増えていきます。歩道が無い、暗い、スピードを出す車が多いなど、危険な場所への対応をお願い致します。送迎にかかる親の負担を減らすと、仕事を続けやすくなります。公共の施設や私学の小学校への通学路にも防犯カメラ、信号、街灯、ガードレールの設置をお願いします。守谷近隣の私学への通学路が守谷市内ですが、歩道が無く危険で困っています。

4 自由回答

●相談・悩みについて (12件)

- ・今までは、実母に子どもを預けられたが、死亡したため、今後が不安である。病児を預かってもらえるのは嬉しいが、正直、質が心配である。
- ・子育てに対しての色々なサポートがとても充実していると思います。ただ、悩みや不安を相談する為に、児童相談室を利用と思っても、相談する予約がなかなか取れず、又、平日のみの為、父親が参加するのはとても難しいです。我が家では、相談室にとっても助けていただいたので、もっと利用しやすくしていただきたいです。
- ・子育ての講演会などが平日の昼間だったり料金が高等とても参加しづらいです。保育園では保育士に気軽に相談できましたが、小学校ではとても先生に相談できません。
- ・学校に心理カウンセラーや相談にのってくれる人が常駐して、相談したい時にいつでも利用できるという。
- ・もっと身近に子育て相談できる場所が欲しい。民間を含めた保育士や保健師（子育て経験あり）をショッピングセンターや公共施設内に週3～4日、配置できるようにして欲しい。必要に応じて行政（警察を含む）に直接連絡でき、連携できるようにする。

●保育施設やサービスの充実や改善 (11件)

- ・小・中学生もちろん大事ですが、市としては保育所問題の方のもっと力を入れてほしい。保育所がたりなすぎる！！
- ・来年度から保育園も増えるが、園自体の環境は整っているのか？どこも人手不足で十分とは言えない環境の中で、受け入れなくてはならない状況で、市からも補助などを出して、子どもをみる環境を整えるべきでは？園があっても、子どもをみる人が集まらなければ、園は機能しないと思う。
- ・近年、保育所のキャパシティに対して子どもの数が増えすぎていると思う（ルールに反してないのしょうが）。無理して詰め込まず、小規模保育を増やしたり、保育士の給料を上げて、保育士を増やしたり、もっと充実した保育環境を作って欲しい。

●子育て・教育に関する情報提供について (11件)

- ・子育て支援に関する事業が、年齢により分断されている気がします。成人するまでが子育てであると思いますが、未就学、小学生、それぐらいまでの支援（相談窓口）が個々にあり、一貫して1つの窓口が受けてくれたほうが安心。窓口が沢山あっても、まずはどこなのか、そこへ連絡（相談）すると言う判断が正しいのかわからない。1つの窓口から、展開していく体制が望ましいと思います。
- ・学校教育改革プランの周知が十分でないと思います。早めにしっかりと周知して頂けたら有難かったと存じます。
- ・子育てトライアングルブックは、働いていると各センターに取りに行けないので、わざわざもらおうと思わない、各家庭に送付しても良いのでは。同封の子育て支援事業も、文字ばかりで分かりづらい。
- ・トライアングルブックが分かりにくい。基本、文字ばかりで、子育て期に目を通すのは大変だと思います。母親の目線で、もっと分かりやすく、情報を発信して欲しい。

●保健・医療について (8件)

- ・子供が救急外来（夜間）でみてもらえる病院があまりにも少なすぎる（むしろない）。ほとんど断られる。夜、発熱などすると不安です。
- ・保健センターでの乳幼児の健康相談会（身体計測）を増やしてほしい。2か月1回木曜固定では、都合がつけにくい。病院、特に小児科が増えて助かるが、眼科、皮膚科を増やしてほしい。公園の修理は短期間でお願いしたい。

●一時預かりについて (6件)

- ・子供が急な怪我をして入院・手術することになり、下の子の預け先が見つからず大変苦労した。週末に怪我したため、一時預かりなどは担当者不在で、預け先を確保できず。難しい要望とは思いますが、預かり保育やファミリー・サポートなど、空き状況をインターネットで確保できるサービスがあると、とても便利でありがたいです。昼間電話も大変な時ほどバタバタしている事が多くて難しいので。
- ・安く姉妹で（長期休みの時）一緒に預けられる施設が欲しい。

●交通・道路等インフラ基盤の充実 (4件)

- ・歩道をきちんと作ってほしい。特に通学路にはぜったい！！
- ・公共交通の充実とともに守谷市自体が各駅を中心としたコンパクトシティだと、日常、車を使う必要がなくなるので、ぜひ実現していただけると嬉しいです。そのほうがエコですし、渋滞が減ると思います。子どもたちも移動しやすいです。

●図書館・美術館・幻術センター等の文化施設の充実 (2件)

- ・図書館，美術館，芸術センターを充実させて欲しい。中・高校生が気軽に寄れる場所が増えて欲しい。
- ・本屋が少ないのが大問題だと思います。商業目的ではなく、国の未来のために、、、。柏にあるT－SITEのような施設ができれば、教育上、とてもいいのではないかな。

●その他 (5件)

- ・キッズカードで特典ある店がもっと増えると良い。
- ・ファミリーサポートセンター等もう少し、守谷市の中心に位置して欲しい。車のない人など、遠い所にセンターがあっても全く利用できない。
- ・スポーツや音楽，芸術など、もっと盛り上げて行って欲しいなと思います。

■国に対するご意見

国に対するご意見として、94人の方から延べ100件のさまざまなご意見をいただきました。

●経済的な支援・手当について（43件）

- ・保育園等の保育費用には、補助が拡大される方向に進むが、高校や大学の費用も補助して欲しい。2人目、3人目と補助額が大きくなれば、教育費を心配して2人までと決めてしまう人も、3人目を産もうとするだろうし、少子化には費用の補助が一番だと思う。
- ・幼児の教育の無償化より、高校または中学までの教育や医療費の無料化や援助をして欲しい。保育士の金銭的援助も長期的に続けられるような対策をして欲しい。
- ・保育料の無償化が進みましたが、学童も無償化して欲しい。他、給食費も。
- ・児童手当や税金など、何でも所得制限があるが、三人以上子供がいる家庭には関係なく何らかの支援がある方が、少子化を防げると思う。幼児教育が無償になっても産む人数は変わらない。
- ・おむつや粉ミルク等子供に必要な品物には消費税をつけないでほしい。

●子育てしやすい就労環境について（15件）

- ・“働き方改革”などと言って対策をしているようだが、全く恩恵はない。世の中のお父さん達の帰宅時間を早めて（18時には在宅）くれるような対策を望みます。
- ・母親だけでなく、父親も子育てができるように就労環境を整えて欲しい。母親にばかり子育てはさせて、仕事を休む時に嫌な顔をするのはおかしいと思います。精神、体力とも女性にばかり負担をかけ過ぎていると思います。
- ・子どもが幼い間だけでも、夫婦そろって子育てできるように環境を整えて欲しいです。また、子どもを2人以上育てる場合、共働きでないと困難な家庭も多く、安易に出産できない現状があります。子どもを沢山育てやすい国になるよう祈っています。
- ・子どもの病気等で仕事を休む時には周囲に迷惑がかかる。もっと休みやすい職場環境にしてほしい。

●教育・学校施設やシステムの充実改善（10件）

- ・支援が必要な子どもは、確かに支援に手厚い支援学校でみてもらった方が安心できることもあります。しかし、地域の小学校に通わせることも、一生涯において必要な時間と思うので、もっと地域の小学校の支援の質を上げてほしいです。
- ・英語教育に力を入れる時代なのは当然だが、その裏で国語力の低下を感じる。子どもに作文を書かせたり、語彙力をつけたりする教育にも力を入れるべき。
- ・毎日、子どもが持ち運ぶランドセルの中味が、もう少し減らないか（ノート、ドリル等）。
- ・2020年からの新学習指導要領や、大学入学共通テストの実施など、今後どの様にならっていくのか、とても不安です。子どもにとって良い方向への改革となる様にお願いしたいです。

●保育施設やサービスの充実や改善（8件）

- ・日・祝も働く仕事はこれだけ多いのに、保育所が休みなのはおかしい。労働人口を安定するなら考慮すべきである。
- ・保育園をどんどん作って、0歳から預ける環境づくりではなく、幼稚園入園までは安心して家庭で保育、3歳から入園、復職できる環境づくりの方が大切なのでは、と思います。
- ・保育園を希望する子は、全員入れるようにして欲しい。そして、保育士の収入を上げて欲しい。教育費を拡充して欲しい。

●防犯（安全・安心）の充実や改善（4件）

- ・隣の道が県道なのですが、電気（ライト）がない為、だれかが歩いているのが、車を運転してい

るとあぶない。

- ・防犯の強化をお願いしたい。子どもが一人になる場面が大変不安。学校内で放課後に英語教育するようなものを作って欲しい。

●保育士・教師等子育て教育に携わる人の質の向上や就労環境の改善（3件）

- ・児童福祉の専門家養成に力を入れていただきたい。

●保健・医療の支援・拡充について（2件）

- ・子どもの病気等で仕事を休む時には周囲に迷惑がかかるので、病後施設などをもっと増やしてほしい。
- ・子どもの医療費をもう少し安くできませんか？兄弟がいたりだと負担になります。そして、親にうつることも多いのに、大人はもっと高額で病院に行けません。マル福みたいな形でもいいので、妊婦でなくても援助して欲しいです。

●一時預かりの支援・拡充について（2件）

- ・母子家庭のお母さんは、時間に制限があります。その中で、一人で仕事、家事、育児を毎日こなさなければならず、自由な時間などとれません。私も、正直若くはないですし、体力的、精神的に年々きつく、休みたい時があります。そんな時に、子供をお泊りサポートで、預かってもらえるプランがあったら本当に助かります。
- ・長期休み時や緊急時のスポット的な子供の預かり先の充実をお願いしたい。

●場（遊び場・居場所等）づくりについて（2件）

- ・母子家庭のため、子供が、私と一緒にいられないことを不安に感じない空間（近場に）・時間が過ごせる場所があったら幸いです。
- ・児童数が多いのに子ども達が出歩くことができていないのです。子どもが安心して過ごせる場所があれば、親も安心して働くことができると思います。見通しの良い公園、またそこに、児童館等の施設があれば望ましいと思います。いずれは老人施設へ対応できるような場所が必要だと思います。

●その他（11件）

- ・我家はいわゆる「普通」ですが、障害、目に見えない発達障害、それにともなう不登校など、親だけの負担で解決させるのではなく、社会全体が「普通以外」を排除しないようになってほしいと思います。
- ・守谷は比較的貧困している家庭も他の地域と比べると少ないように感じるが、地域によって差も激しく、大変な環境にいる子供もいると思われる。子供には大きな可能性をもっているのに、みんなに平等にチャンスがあたえられような世の中になってほしい。
- ・人口が増える政策、富の再配分、機会の平等に関する政策を国民のニーズに沿って検討していただきたい。

守 谷 市
子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査
報 告 書

発行：平成31年3月
編集：守谷市役所
保健福祉部児童福祉課
